

第 2 部 調査結果の概要

第1章 障害等のある人への調査

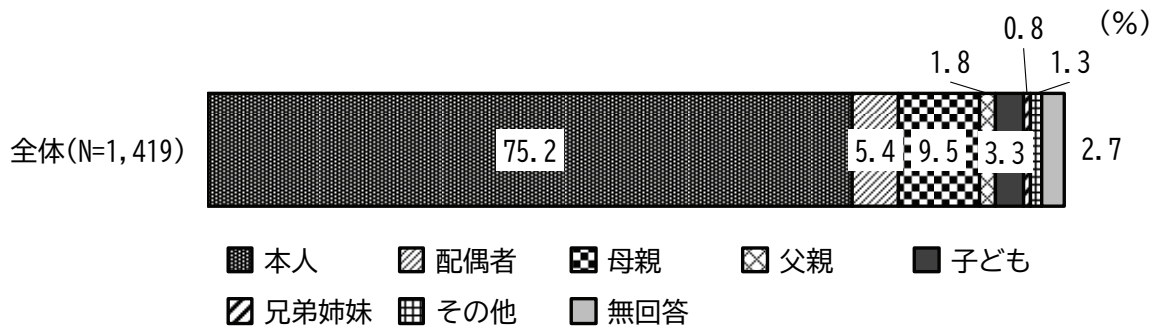
1-1 調査結果の概要

(1) 基本属性について

記入される方とあて名ご本人との関係についておたずねします。(1つに○)(F1)

- ・「本人」(75.2%)が最も多く、次いで「母親」(9.5%)、「配偶者」(5.4%)が続いている。

図表 記入者(全体)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「本人」(80.3%)が最も多く、次いで「配偶者」(8.4%)、「子ども」(4.9%)が続いている。
- ・知的障害者は「母親」(46.3%)が最も多く、次いで「本人」(37.7%)、「父親」(6.9%)が続いている。
- ・精神障害者は「本人」(76.8%)が最も多く、次いで「母親」(14.5%)、「父親」(3.0%)が続いている。
- ・難病患者は「本人」(91.2%)が最も多く、次いで「子ども」(3.2%)、「配偶者」(2.4%)が続いている。

図表 記入者(全体、障害等の種類別)

		(%)							
		本人	配偶者	母親	父親	子ども	兄弟姉妹	その他	無回答
全体	(N=1,419)	75.2	5.4	9.5	1.8	3.3	0.8	1.3	2.7
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	80.3	8.4	1.1	0.3	4.9	0.5	1.6	2.9
	知的障害者 (n=175)	37.7	0.6	46.3	6.9	0.0	3.4	1.7	3.4
	精神障害者 (n=304)	76.8	2.0	14.5	3.0	0.7	0.0	1.0	2.0
	難病患者 (n=125)	91.2	2.4	0.8	0.8	3.2	0.8	0.0	0.8

あなたの性別と年齢をお答えください。(1つに○)(F2)

性別*戸籍上の区別とは別にご自身の主観によりご記入ください。(F2(1))

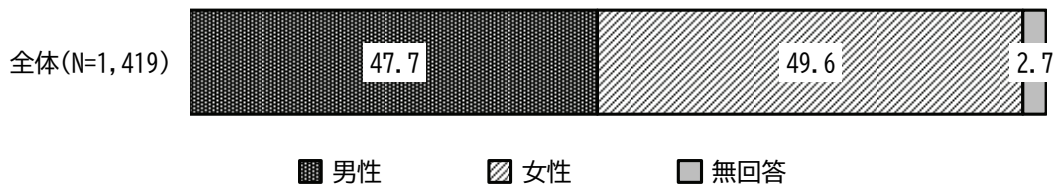
年齢 *平成31年4月1日現在の年齢でお答えください。(F2(2))

(1)性別

- ・「男性」が47.7%、「女性」が49.6%となっている。

図表 性別 (全体)

(%)

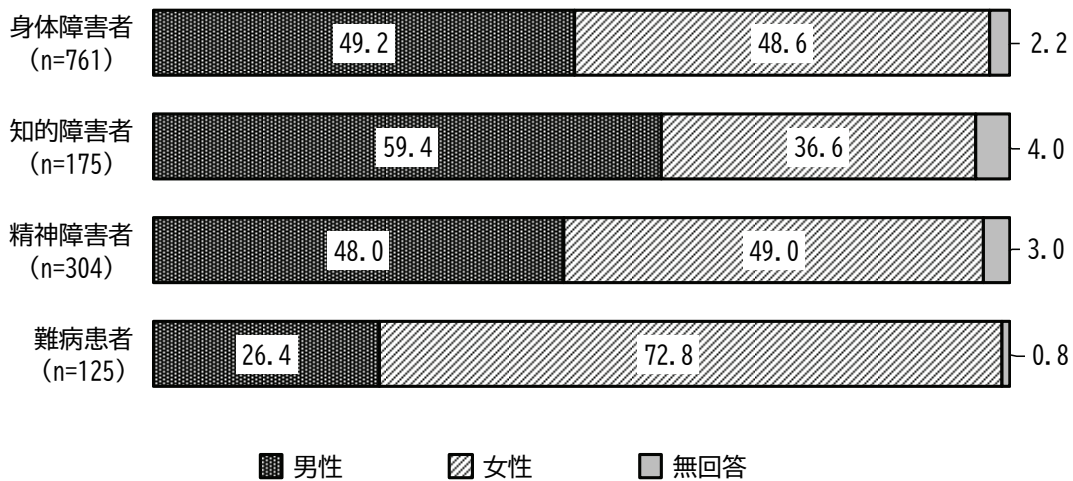


【障害等の種類別】

- ・身体障害者は、「男性」が49.2%、「女性」が48.6%となっている。
- ・知的障害者は、「男性」が59.4%、「女性」が36.6%となっている。
- ・精神障害者は、「男性」が48.0%、「女性」が49.0%となっている。
- ・難病患者は、「男性」が26.4%、「女性」が72.8%となっている。

図表 性別 (障害等の種類別)

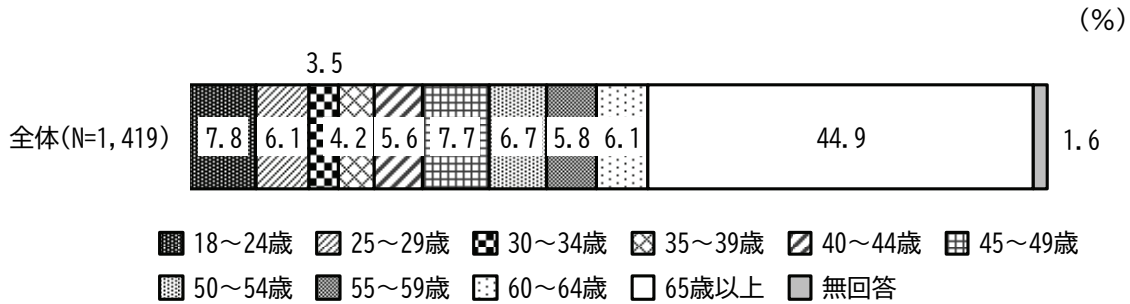
(%)



(2)年齢

- ・「65歳以上」(44.9%)が最も多く、次いで「18～24歳」(7.8%)、「45～49歳」(7.7%)が続いている。

図表 年齢 (全体)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「65歳以上」(70.0%)が最も多く、次いで「60～64歳」(8.1%)、「55～59歳」(5.5%)が続いている。
- ・知的障害者は「18～24歳」(33.2%)が最も多く、次いで「25～29歳」(22.3%)、「35～39歳」(8.6%)が続いている。
- ・精神障害者は「45～49歳」(15.2%)が最も多く、次いで「18～24歳」(12.8%)と「25～29歳」(12.8%)が同率で続いている。
- ・難病患者は「65歳以上」(28.0%)が最も多く、次いで「40～44歳」(14.4%)、「30～34歳」(11.2%)と「45～49歳」(11.2%)が同率で続いている。

図表 年齢 (全体、障害等の種類別)

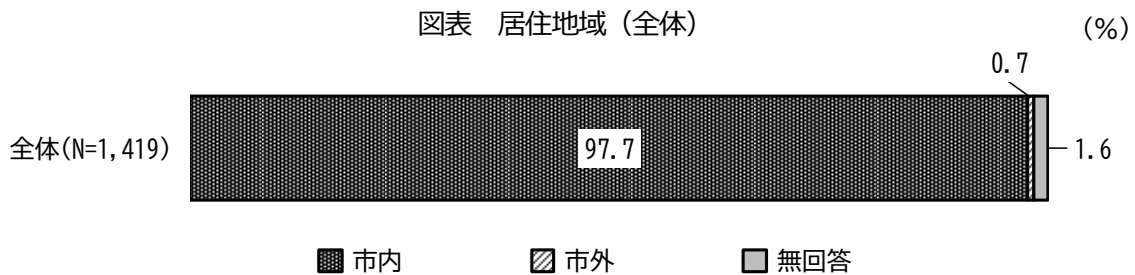
		18～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
全体 (N=1,419)		7.8	6.1	3.5	4.2	5.6	7.7
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	0.8	0.7	0.8	0.5	2.4	4.2
	知的障害者 (n=175)	33.2	22.3	6.9	8.6	5.1	7.4
	精神障害者 (n=304)	12.8	12.8	5.9	9.5	11.2	15.2
	難病患者 (n=125)	3.2	3.2	11.2	8.8	14.4	11.2

		50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上	無回答
全体 (N=1,419)		6.7	5.8	6.1	44.9	1.6
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	5.0	5.5	8.1	70.0	2.0
	知的障害者 (n=175)	6.3	2.3	1.7	5.1	1.1
	精神障害者 (n=304)	12.2	8.2	4.6	6.9	0.7
	難病患者 (n=125)	6.4	7.2	5.6	28.0	0.8

あなたはどちらにお住まいですか。(1つに○)(F3)

*市内にお住まいの方は 内にも記入してください。

- ・「市内」が97.7%、「市外」が0.7%となっている。
- ・「市内」と回答した人を市内11か所の文化センター圏域ごとにみると、「中央文化センター圏域」(16.6%)が最も多く、次いで「新町文化センター圏域」(11.7%)、「住吉文化センター圏域」(11.0%)が続いている。



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「市内」が98.1%、「市外」が0.5%となっている。文化センター圏域ごとにみると、「中央文化センター圏域」(15.8%)が最も多く、次いで「新町文化センター圏域」(12.5%)、「住吉文化センター圏域」(10.3%)が続いている。
- ・知的障害者は「市内」が97.2%、「市外」が1.1%となっている。文化センター圏域ごとにみると、「住吉文化センター圏域」(12.9%)が最も多く、次いで「中央文化センター圏域」(12.8%)、「片町文化センター圏域」(12.4%)が続いている。
- ・精神障害者は「市内」が97.0%、「市外」が1.0%となっている。文化センター圏域ごとにみると、「中央文化センター圏域」(22.4%)が最も多く、次いで「住吉文化センター圏域」(11.2%)、「新町文化センター圏域」(10.8%)が続いている。
- ・難病患者は「市内」が98.4%、「市外」が0.8%となっている。文化センター圏域ごとにみると、「中央文化センター圏域」(16.0%)が最も多く、次いで「住吉文化センター圏域」(13.0%)、「白糸台文化センター圏域」(10.6%)と「新町文化センター圏域」(10.6%)が同率で続いている。

図表 文化センター圏域 (全体、障害等の種類別)

		文化センター圏域 (%)						
		中央文化センター圏域	白糸台文化センター圏域	西府文化センター圏域	武蔵台文化センター圏域	新町文化センター圏域	住吉文化センター圏域	
全体	(n=1387)	16.6	10.2	6.3	6.9	11.7	11.0	
障害等の種類	身体障害者 (n=746)	15.8	9.9	6.4	8.3	12.5	10.3	
	知的障害者 (n=170)	12.8	10.6	10.6	5.3	10.6	12.9	
	精神障害者 (n=295)	22.4	10.2	5.1	5.8	10.8	11.2	
	難病患者 (n=123)	16.0	10.6	4.9	3.3	10.6	13.0	

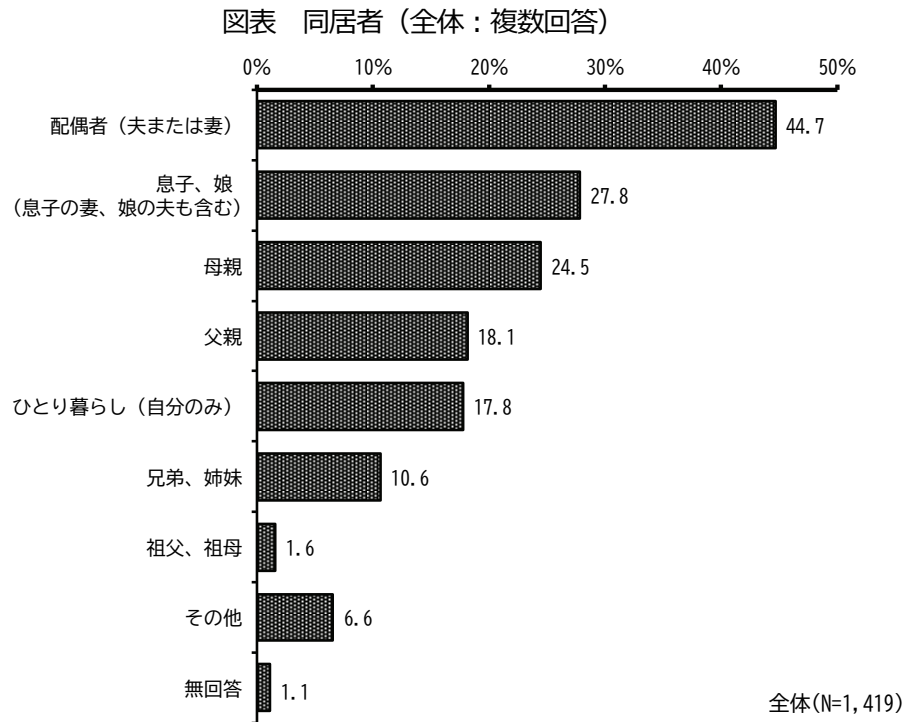
		文化センター圏域 (%)					
		是政文化センター圏域	紅葉丘文化センター圏域	押立文化センター圏域	四谷文化センター圏域	片町文化センター圏域	無回答
全体	(n=1387)	8.7	7.7	4.2	4.8	8.9	3.0
障害等の種類	身体障害者 (n=746)	8.3	7.6	4.6	5.4	7.5	3.4
	知的障害者 (n=170)	8.2	7.1	2.4	5.3	12.4	1.8
	精神障害者 (n=295)	8.8	8.1	3.7	3.7	8.5	1.7
	難病患者 (n=123)	7.3	9.8	6.5	3.3	9.8	4.9

あなたと同居*している方はどなたですか。(いくつでも○)(F4)

*2世帯住宅は同居としてお答えください。

*配偶者の親族を含めてお答えください。

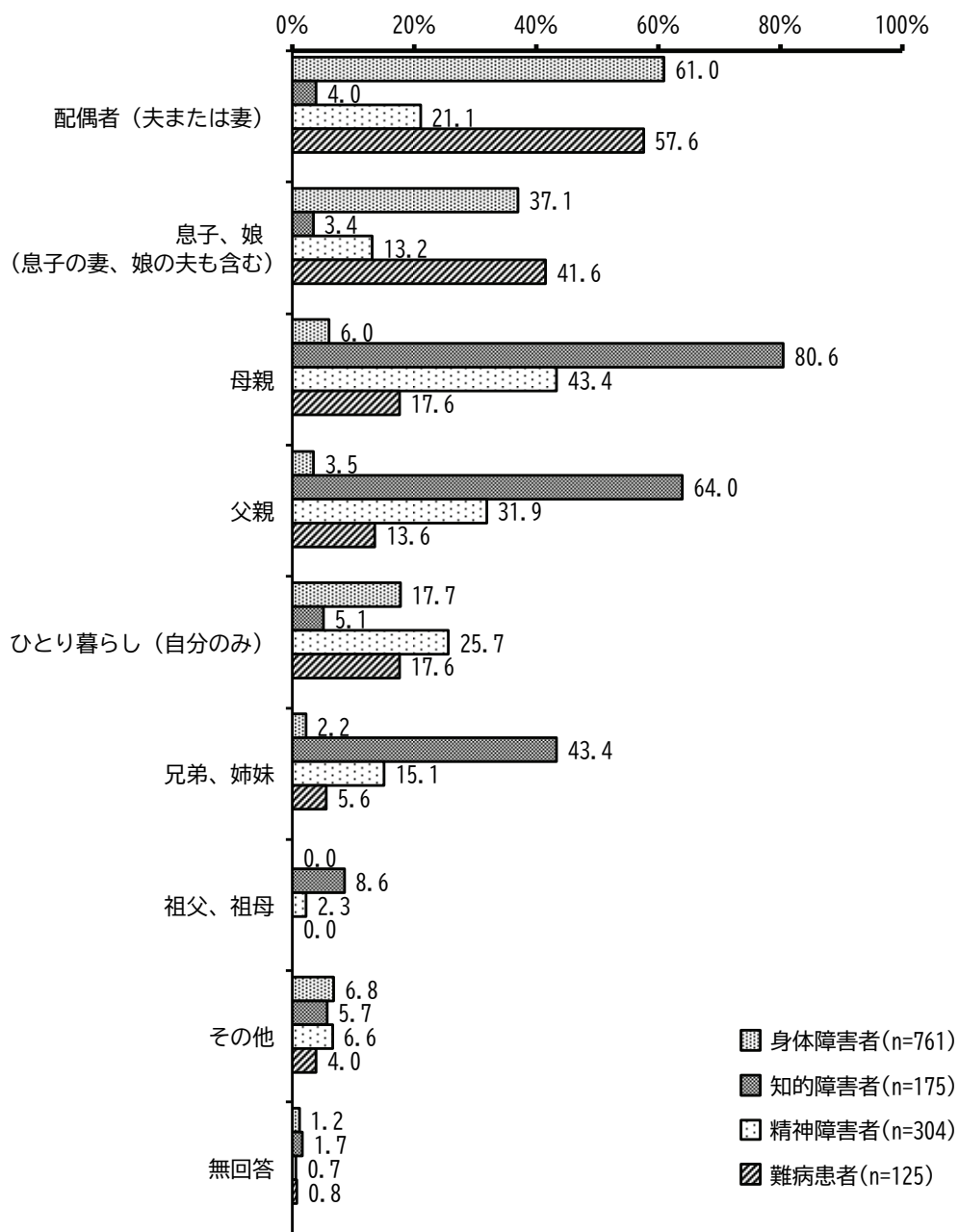
- ・「配偶者(夫または妻)」(44.7%)が最も多く、次いで「息子、娘(息子の妻、娘の夫も含む)」(27.8%)、「母親」(24.5%)が続いている。



【障害等の種類別】

- ・ 身体障害者は「配偶者（夫または妻）」(61.0%)が最も多く、次いで「息子、娘(息子の妻、娘の夫も含む)」(37.1%)、「ひとり暮らし」(17.7%)が続いている。
- ・ 知的障害者は「母親」(80.6%)が最も多く、次いで「父親」(64.0%)、「兄弟、姉妹」(43.4%)が続いている。
- ・ 精神障害者は「母親」(43.4%)が最も多く、次いで「父親」(31.9%)、「ひとり暮らし」(25.7%)が続いている。
- ・ 難病患者は「配偶者（夫または妻）」(57.6%)が最も多く、次いで「息子、娘(息子の妻、娘の夫も含む)」(41.6%)、「母親」(17.6%)と「ひとり暮らし」(17.6%)が同率で続いている。

図表 同居者（障害等の種類別：複数回答）



あなたがお持ちの手帳または受給者証の種類ごとに、現在の程度に○をつけてください。(F5)

- ・身体障害者手帳の所持者は882人である。等級は「1級」(304人)が最も多く、次いで「4級」(206人)、「2級」(168人)が続いている。年代別では65歳以上が552人と最も多い。
- ・愛の手帳の所持者は234人である。「4度」(108人)が最も多く、次いで「2度」(54人)、「3度」(50人)が続いている。年代別では18～30歳が168人と最も多い。
- ・精神障害者保健福祉手帳の所持者は198人である。「3級」(96人)が最も多く、次いで「2級」(92人)、「1級」(10人)である。年代別では40～64歳が111人と最も多い。
- ・自立支援医療受給者証の所持者は245人である。年代別では、40～64歳が122人と最も多い。
- ・特定医療費受給者証の所持者は200人である。年代別では40～64歳が84人と最も多い。

図表 所持する手帳の程度(全体、年代別)

【身体障害者手帳】

			1級	2級	3級	4級	5級	6級	非該当	所持者数 (再掲)
全体		(N=1,419)	304	168	117	206	45	42	537	882
年代別	18～39歳	(n=307)	28	19	10	3	1	8	238	69
	40～64歳	(n=453)	91	53	28	46	15	12	208	245
	65歳以上	(n=636)	179	95	77	150	29	22	84	552

【愛の手帳】

			1度	2度	3度	4度	非該当	所持者数 (再掲)
全体		(N=1,419)	22	54	50	108	1,185	234
年代別	18～39歳	(n=307)	13	48	33	74	139	168
	40～64歳	(n=453)	5	4	15	31	398	55
	65歳以上	(n=636)	4	2	1	2	627	9

【精神障害者保健福祉手帳】

			1級	2級	3級	非該当	所持者数 (再掲)
全体		(N=1,419)	10	92	96	1,221	198
年代別	18～39歳	(n=307)	3	32	43	229	78
	40～64歳	(n=453)	6	55	50	342	111
	65歳以上	(n=636)	1	5	2	628	8

【自立支援医療受給者証】

			受給している	受給していない	非該当	所持者数 (再掲)
全体		(N=1,419)	245	141	1,033	245
年代別	18～39歳	(n=307)	103	34	170	103
	40～64歳	(n=453)	122	43	288	122
	65歳以上	(n=636)	18	63	555	18

【特定医療費受給者証】

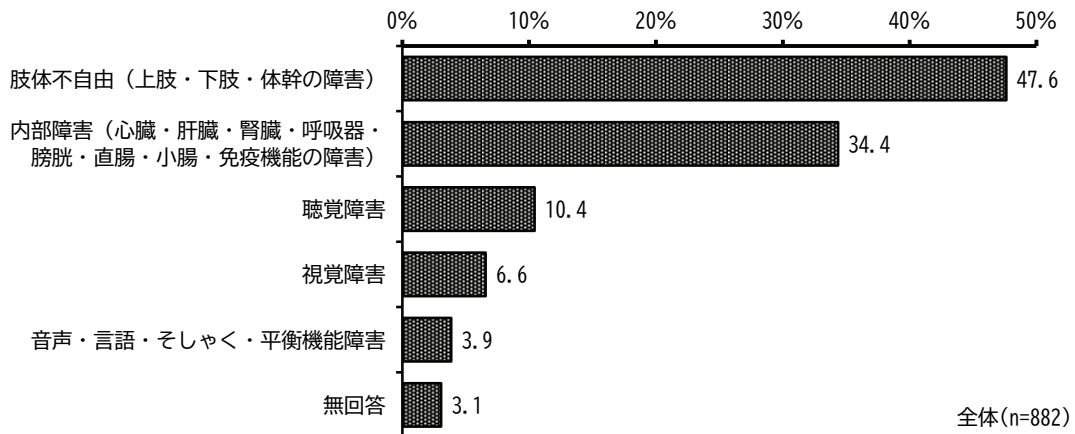
			受給している	受給していない	非該当	所持者数 (再掲)
全体		(N=1,419)	200	205	1,014	200
年代別	18～39歳	(n=307)	46	70	191	46
	40～64歳	(n=453)	84	72	297	84
	65歳以上	(n=636)	67	62	507	67

身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。身体障害者手帳に記載された項目は次のどれですか。

(いくつでも○)(F6)

- ・「肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害)」(47.6%)が最も多く、次いで「内部障害」(34.4%)、「聴覚障害」(10.4%)が続いている。

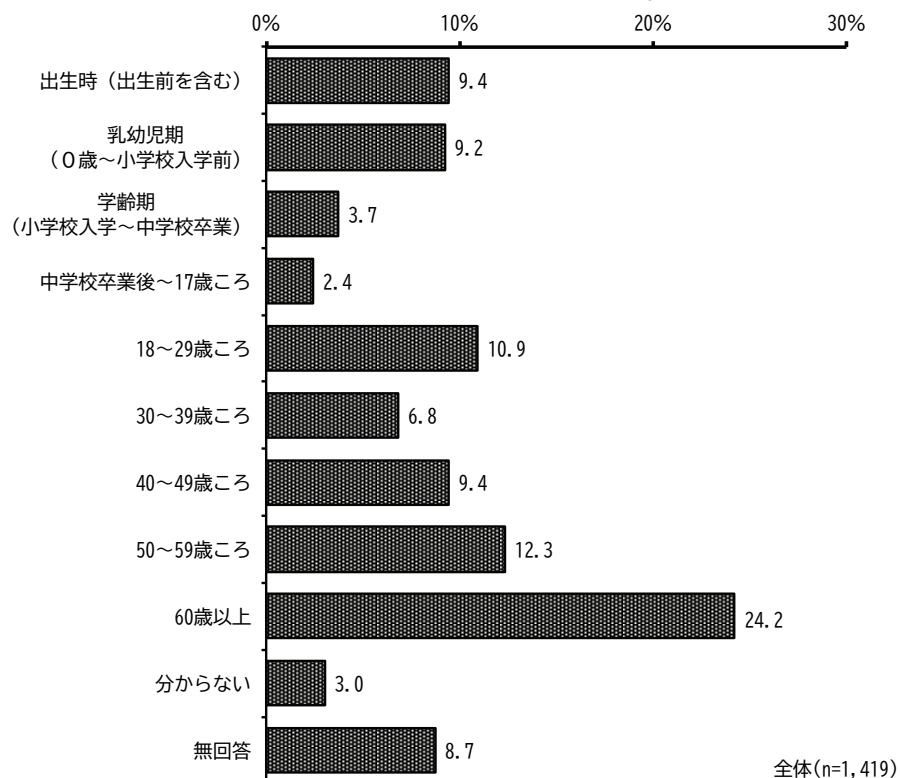
図表 身体障害者手帳に記載された項目 (全体)



主な障害や疾病が生じたのは、いつごろですか。(1つに○)(F7)

- ・「60歳以上」(24.2%)が最も多く、次いで「50～59歳ころ」(12.3%)、「18～29歳ころ」(10.9%)が続いている。

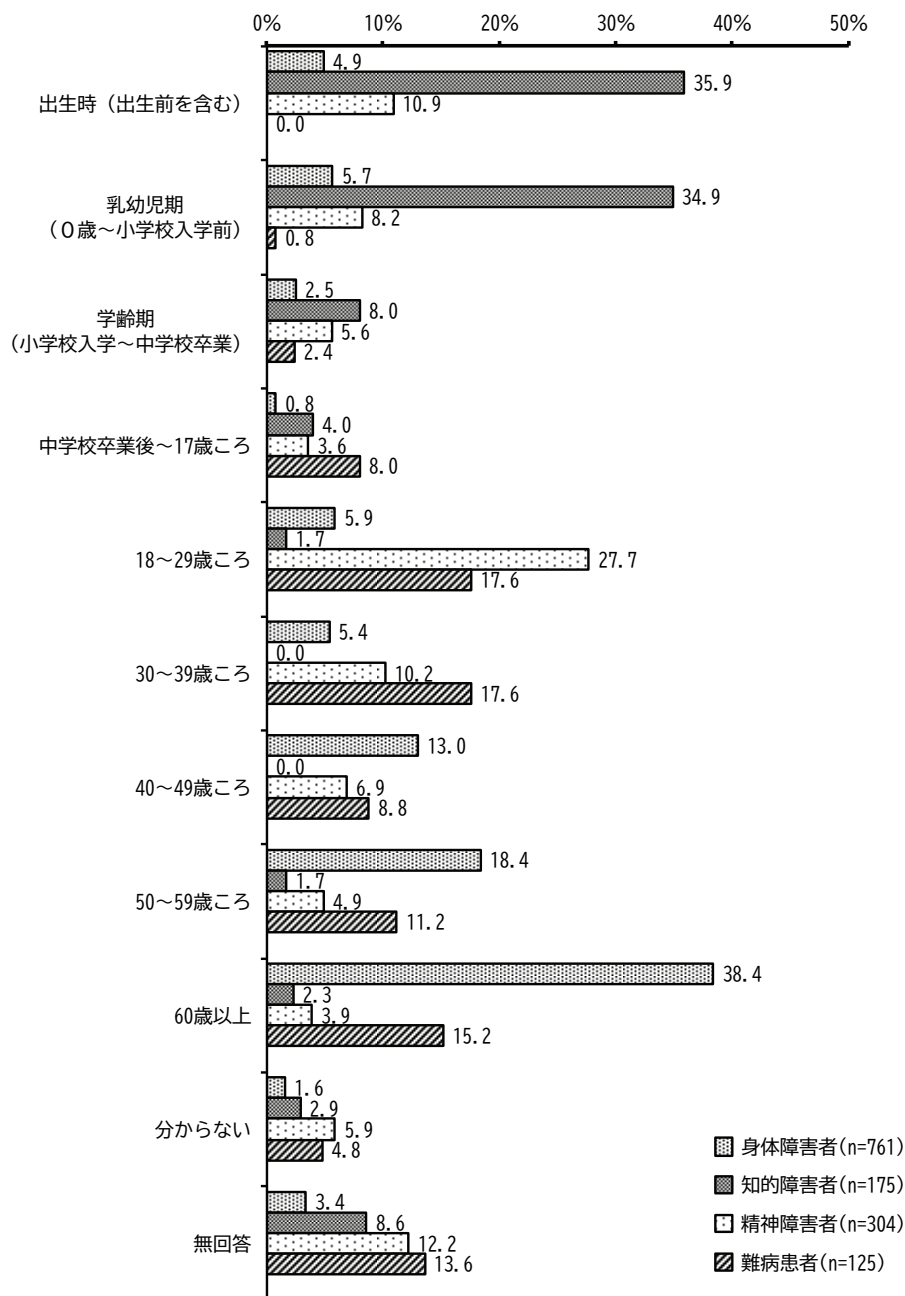
図表 障害・難病が生じた時期 (全体)



【障害等の種類別】

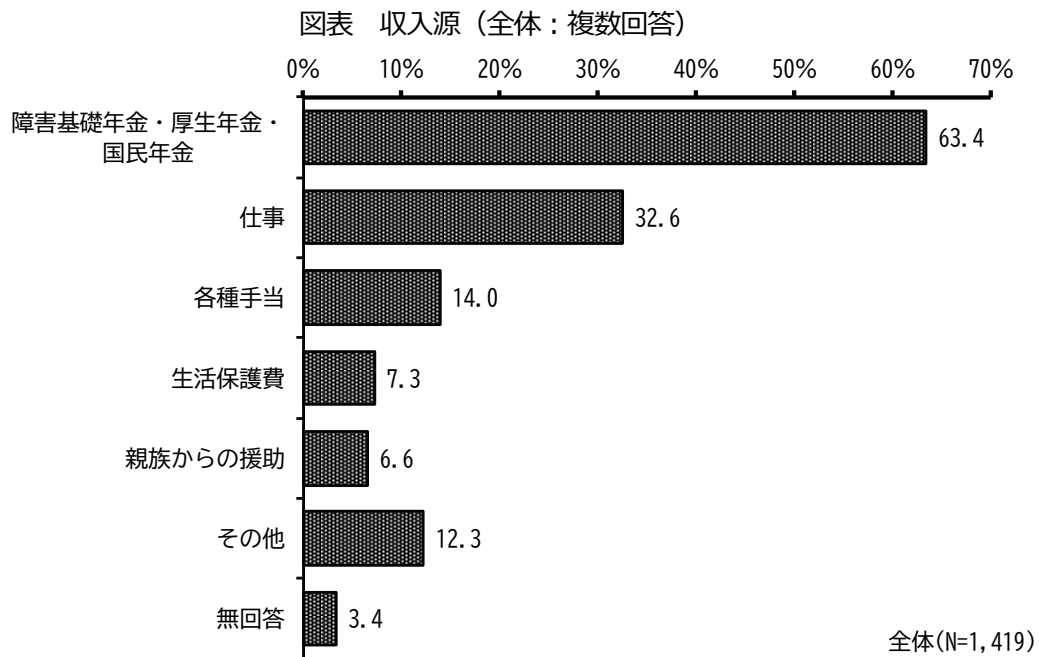
- ・ 身体障害者は「60歳以上」(38.4%)が最も多く、次いで「50～59歳ころ」(18.4%)、「40～49歳ころ」(13.0%)が続いている。
- ・ 知的障害者は「出生時(出生前を含む)」(35.9%)が最も多く、次いで「乳幼児期(0歳～小学校入学前)」(34.9%)、「学齢期(小学校入学～中学校卒業)」(8.0%)が続いている。
- ・ 精神障害者は「18～29歳ころ」(27.7%)が最も多く、次いで「出生時(出生前を含む)」(10.9%)、「30～39歳ころ」(10.2%)が続いている。
- ・ 難病患者は「18～29歳ころ」(17.6%)と「30～39歳ころ」(17.6%)が同率で最も多く、次いで「60歳以上」(15.2%)が続いている。

図表 障害・難病が生じた時期（障害等の種類別）



あなたの収入源と年収はどれくらいですか。年収は、税金などを差し引く前の額でお答えください。
年金、手当、生活保護費、親族からの援助もすべて含みます。
収入源(いくつでも○)(F8(1))

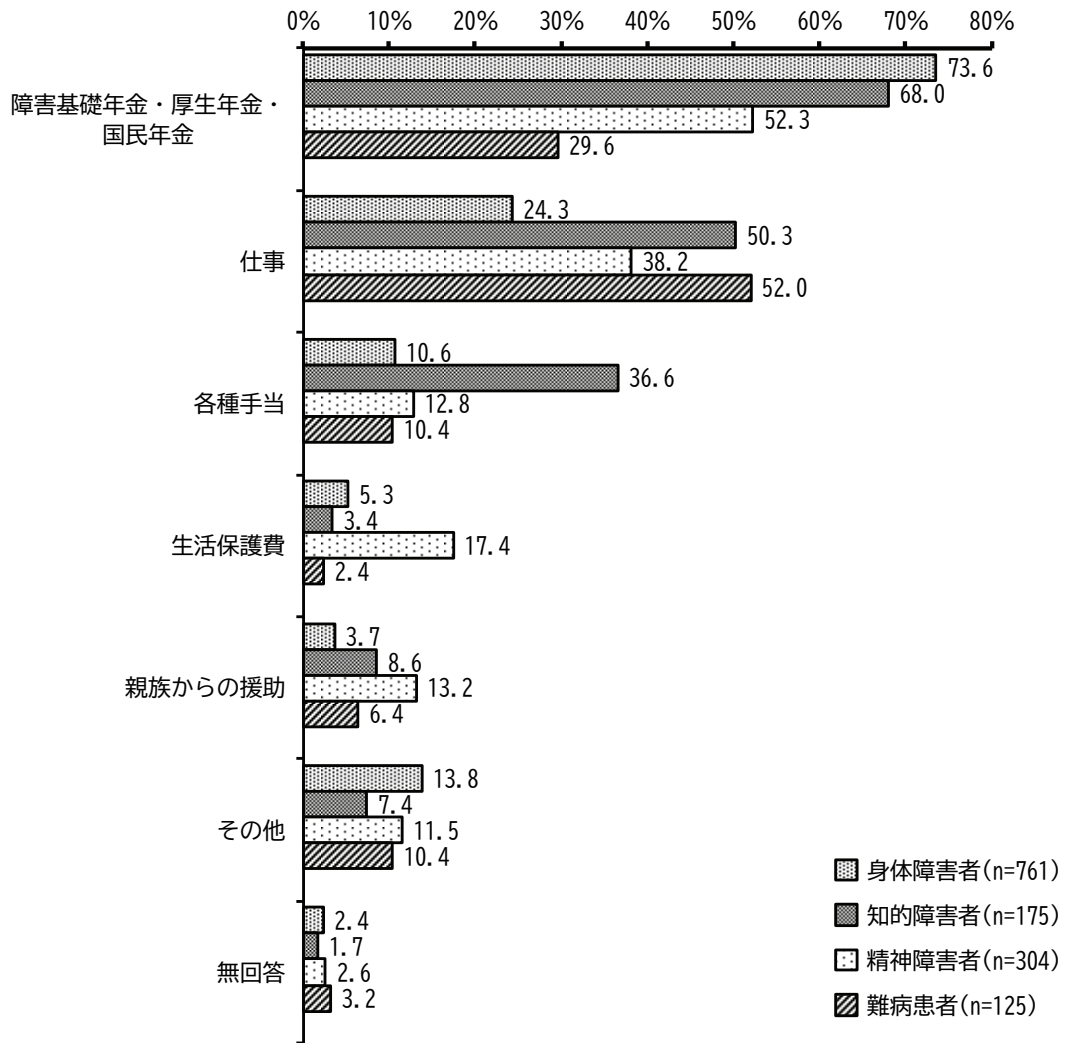
- ・「障害基礎年金・厚生年金・国民年金」(63.4%)が最も多く、次いで「仕事」(32.6%)、「各種手当」(14.0%)が続いている。



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「障害基礎年金・厚生年金・国民年金」(73.6%)が最も多く、次いで「仕事」(24.3%)、「その他」(13.8%)が続いている。「その他」の具体的な内容は、不動産収入、扶養、預貯金などである。
- ・知的障害者は「障害基礎年金・厚生年金・国民年金」(68.0%)が最も多く、次いで「仕事」(50.3%)、「各種手当」(36.6%)が続いている。
- ・精神障害者は「障害基礎年金・厚生年金・国民年金」(52.3%)が最も多く、次いで「仕事」(38.2%)、「生活保護費」(17.4%)が続いている。
- ・難病患者は「仕事」(52.0%)が最も多く、次いで「障害基礎年金・厚生年金・国民年金」(29.6%)、「各種手当」と「その他」がともに10.4%で続いている。

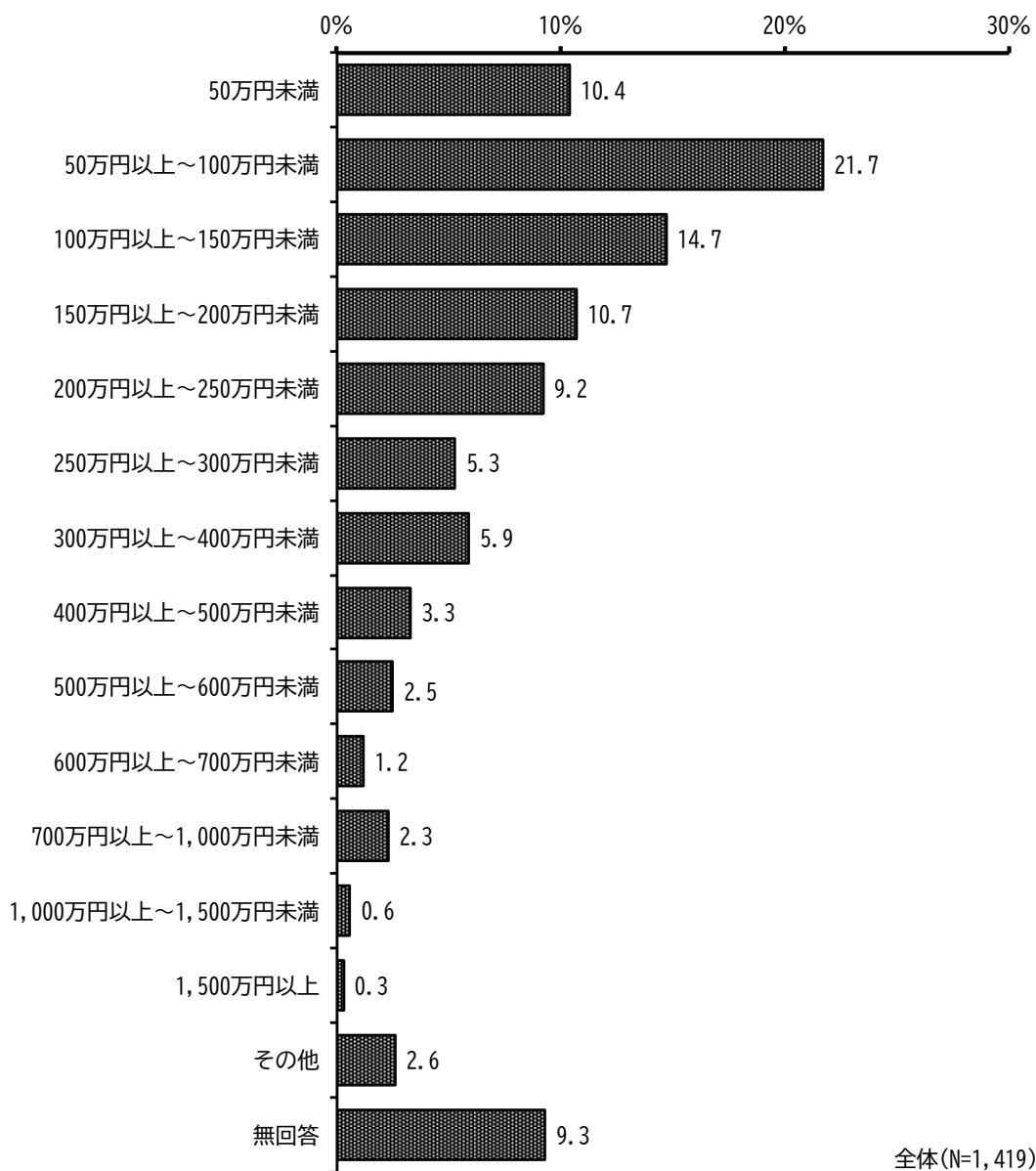
図表 収入源（障害等の種類別：複数回答）



年収(1つに○)(F8(2))

- ・「50万円以上～100万円未満」(21.7%)が最も多く、次いで「100万円以上～150万円未満」(14.7%)、「150万円以上～200万円未満」(10.7%)が続いている。

図表 年収(全体)



【障害等の種類別】

- ・ 身体障害者は「50万円以上～100万円未満」(20.7%)が最も多く、次いで「100万円以上～150万円未満」(14.5%)、「150万円以上～200万円未満」(11.7%)が続いている。
- ・ 知的障害者は「50万円以上～100万円未満」(30.2%)が最も多く、次いで「100万円以上～150万円未満」(16.6%)、「150万円以上～200万円未満」(14.3%)が続いている。
- ・ 精神障害者は「50万円以上～100万円未満」(22.8%)が最も多く、次いで「100万円以上～150万円未満」(18.4%)、「50万円未満」(18.1%)が続いている。
- ・ 難病患者は「50万円以上～100万円未満」(16.0%)が最も多く、次いで「50万円未満」(15.2%)、「300万円以上～400万円未満」(8.0%)が続いている。

図表 年収（障害等の種類別）

(%)

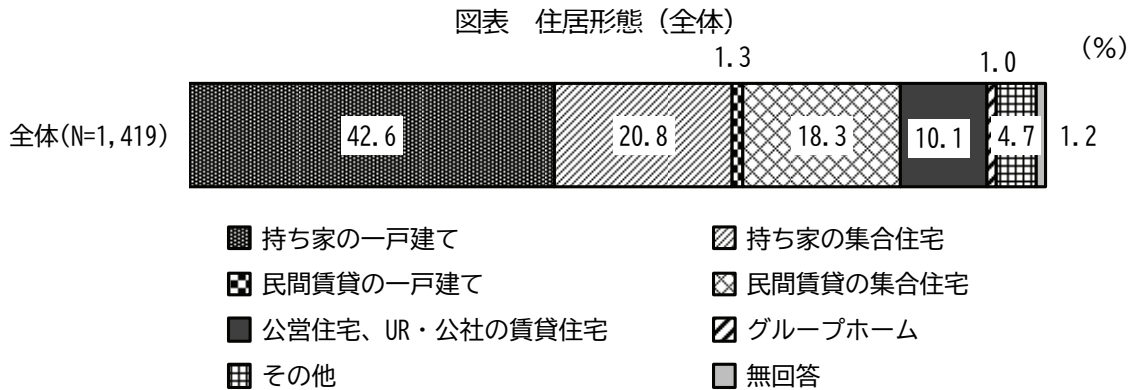
		50万円未満	50万円以上～100万円未満	100万円以上～150万円未満	150万円以上～200万円未満	200万円以上～250万円未満	250万円以上～300万円未満	300万円以上～400万円未満	400万円以上～500万円未満
全体 (N=1,419)		10.4	21.7	14.7	10.7	9.2	5.3	5.9	3.3
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	5.8	20.7	14.5	11.7	10.9	6.8	8.1	4.5
	知的障害者 (n=175)	13.7	30.2	16.6	14.3	6.9	2.3	1.7	0.0
	精神障害者 (n=304)	18.1	22.8	18.4	9.5	7.2	2.6	2.0	2.0
	難病患者 (n=125)	15.2	16.0	7.2	6.4	7.2	5.6	8.0	4.8

		500万円以上～600万円未満	600万円以上～700万円未満	700万円以上～1,000万円未満	1,000万円以上～1,500万円未満	1,500万円以上	その他	無回答
全体 (N=1,419)		2.5	1.2	2.3	0.6	0.3	2.6	9.3
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	3.2	1.2	2.4	0.5	0.3	1.6	7.8
	知的障害者 (n=175)	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	5.7	8.0
	精神障害者 (n=304)	1.3	0.7	1.6	0.3	0.0	3.6	9.9
	難病患者 (n=125)	4.8	4.8	6.4	2.4	0.8	3.2	7.2

(2) 住まいについて

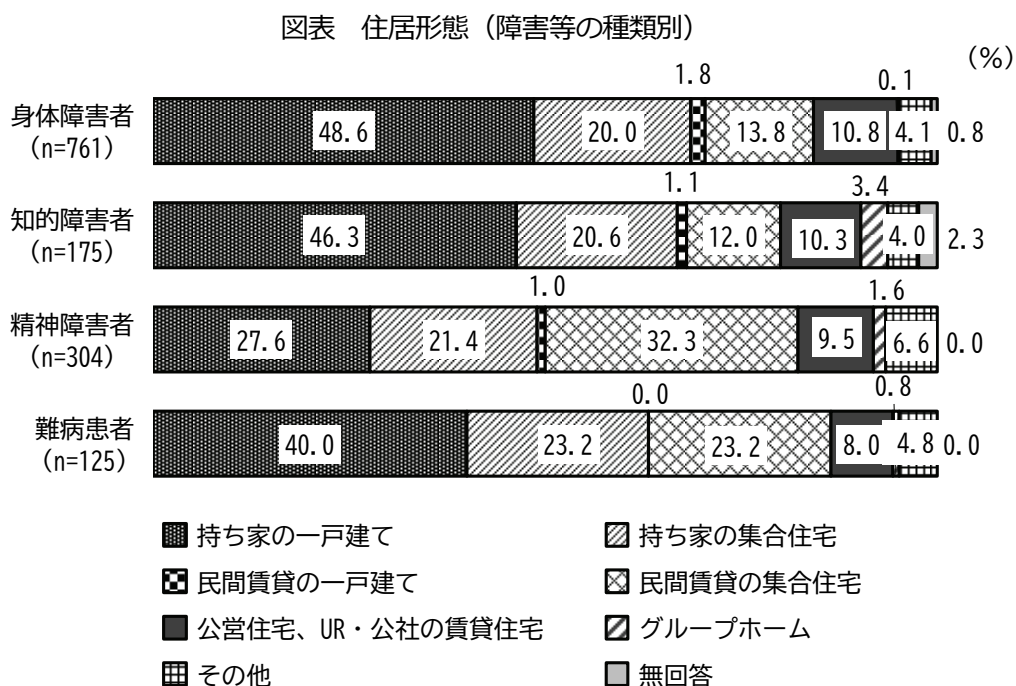
問1 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

- ・「持ち家の一戸建て」(42.6%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(20.8%)、「民間賃貸の集合住宅」(18.3%)が続いている。



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「持ち家の一戸建て」(48.6%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(20.0%)、「民間賃貸の集合住宅」(13.8%)が続いている。
- ・知的障害者は「持ち家の一戸建て」(46.3%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(20.6%)、「民間賃貸の集合住宅」(12.0%)が続いている。
- ・精神障害者は「民間賃貸の集合住宅」(32.3%)が最も多く、次いで「持ち家の一戸建て」(27.6%)と「持ち家の集合住宅」(21.4%)が続いている。
- ・難病患者は「持ち家の一戸建て」(40.0%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(23.2%)と「民間賃貸の集合住宅」(23.2%)が同率が続いている。



問2 お住まいについて何か困っていることがありますか。

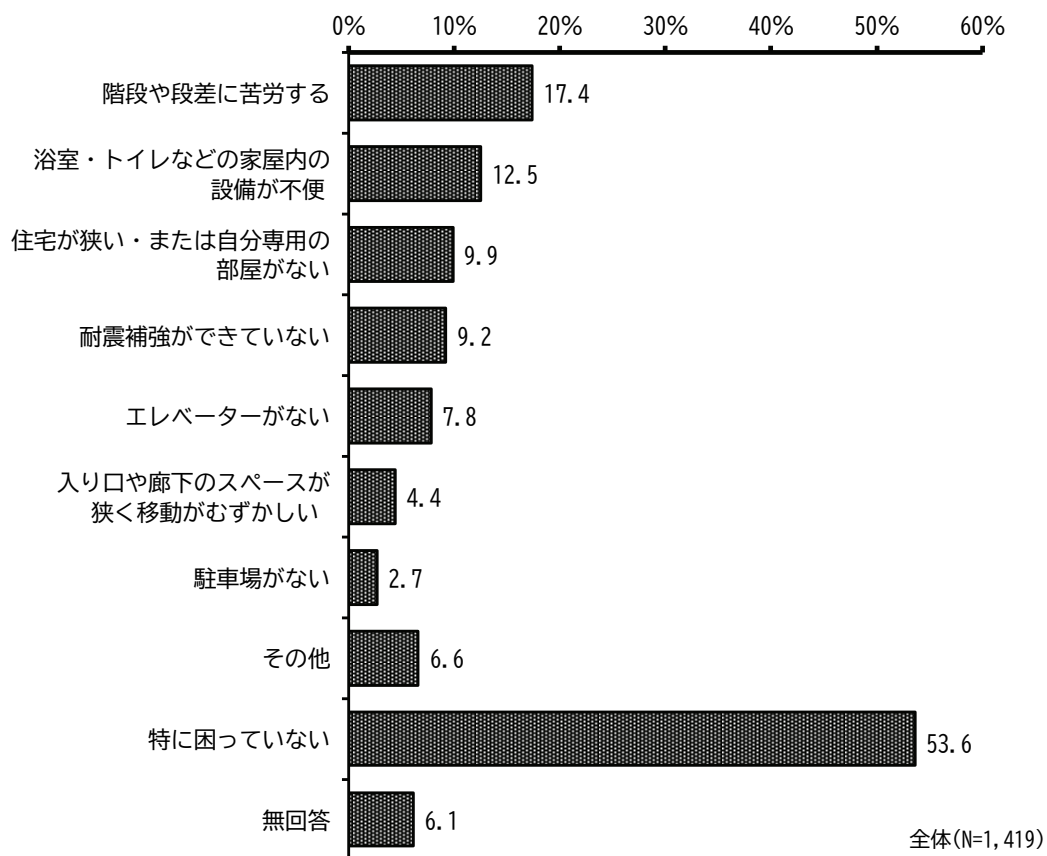
(1)設計・設備について(いくつでも○)

(2)住宅事情について(いくつでも○)

(1)設計・設備について

- ・「特に困っていない」(53.6%)が最も多いが、それ以外では「階段や段差に苦労する」(17.4%)、「浴室・トイレなどの家屋内の設備が不便」(12.5%)、「住宅が狭い・または自分専用の部屋がない」(9.9%)が続いている。

図表 住居について困っていること：設計・設備（全体：複数回答）

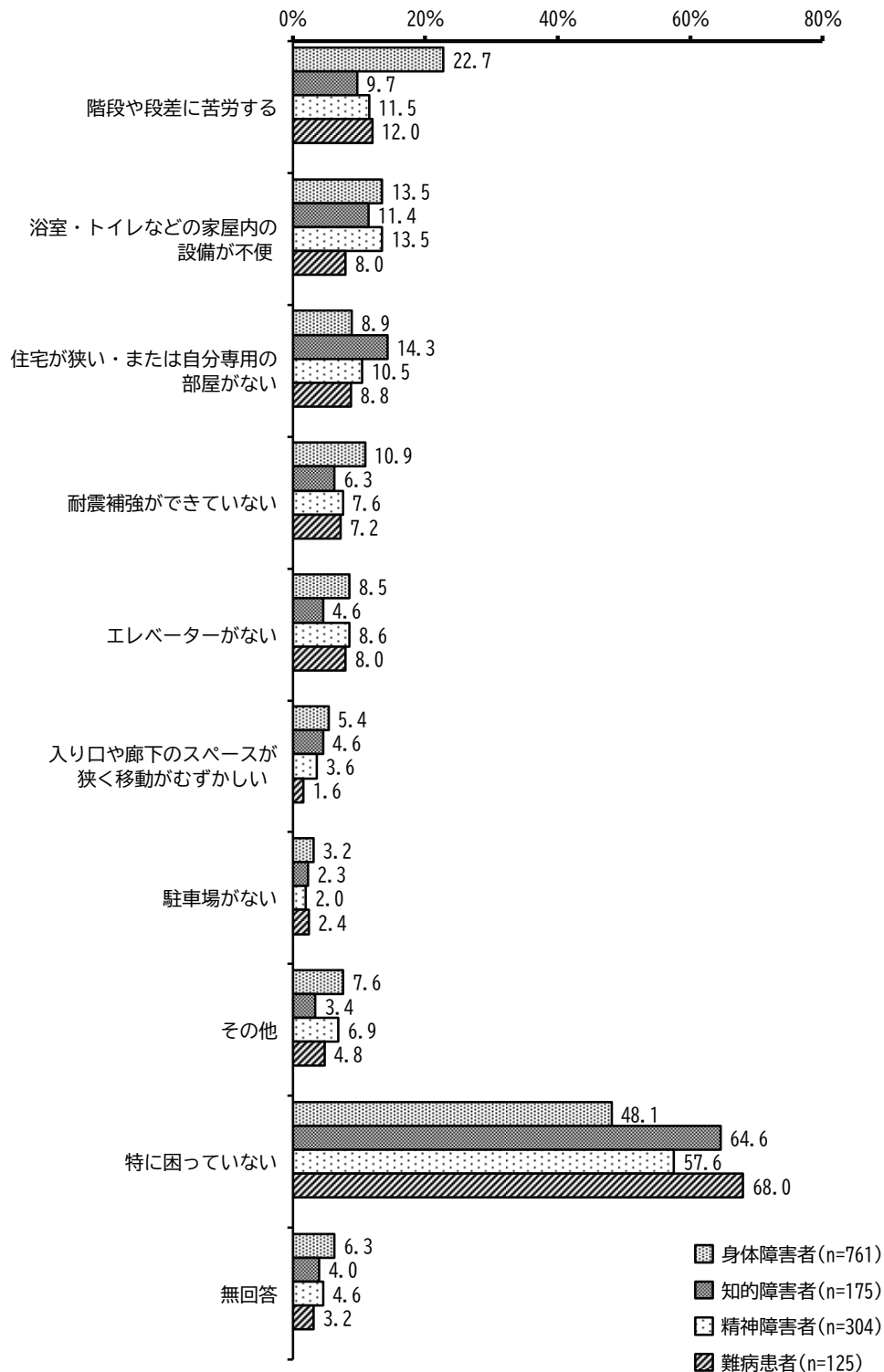


【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「特に困っていない」(48.1%)が最も多いが、それ以外では「階段や段差に苦労する」(22.7%)、「浴室・トイレなどの家屋内の設備が不便」(13.5%)、「耐震補強ができていない」(10.9%)が続いている。
- ・知的障害者は「特に困っていない」(64.6%)が最も多いが、それ以外では「住宅が狭い・または自分専用の部屋がない」(14.3%)、「浴室・トイレなどの家屋内の設備が不便」(11.4%)、「階段や段差に苦労する」(9.7%)が続いている。

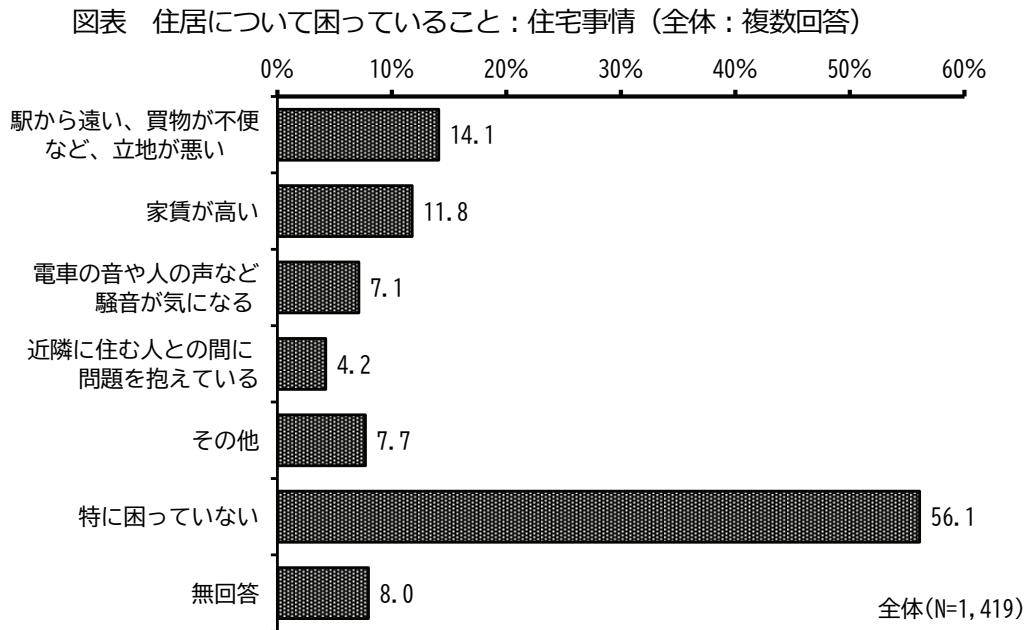
- ・精神障害者は「特に困っていない」(57.6%)が最も多いが、それ以外では「浴室・トイレなどの家屋内の設備が不便」(13.5%)、「階段や段差に苦労する」(11.5%)、「住宅が狭い・または自分専用の部屋がない」(10.5%)が続いている。
- ・難病患者は「特に困っていない」(68.0%)が最も多いが、それ以外では「階段や段差に苦労する」(12.0%)、「住宅が狭い・または自分専用の部屋がない」(8.8%)、「浴室・トイレなどの家屋内の設備が不便」(8.0%)と「エレベーターがない」(8.0%)が同率で続いている。

図表 住居について困っていること：設計・設備（障害等の種類別：複数回答）



(2)住宅事情について(いくつでも○)

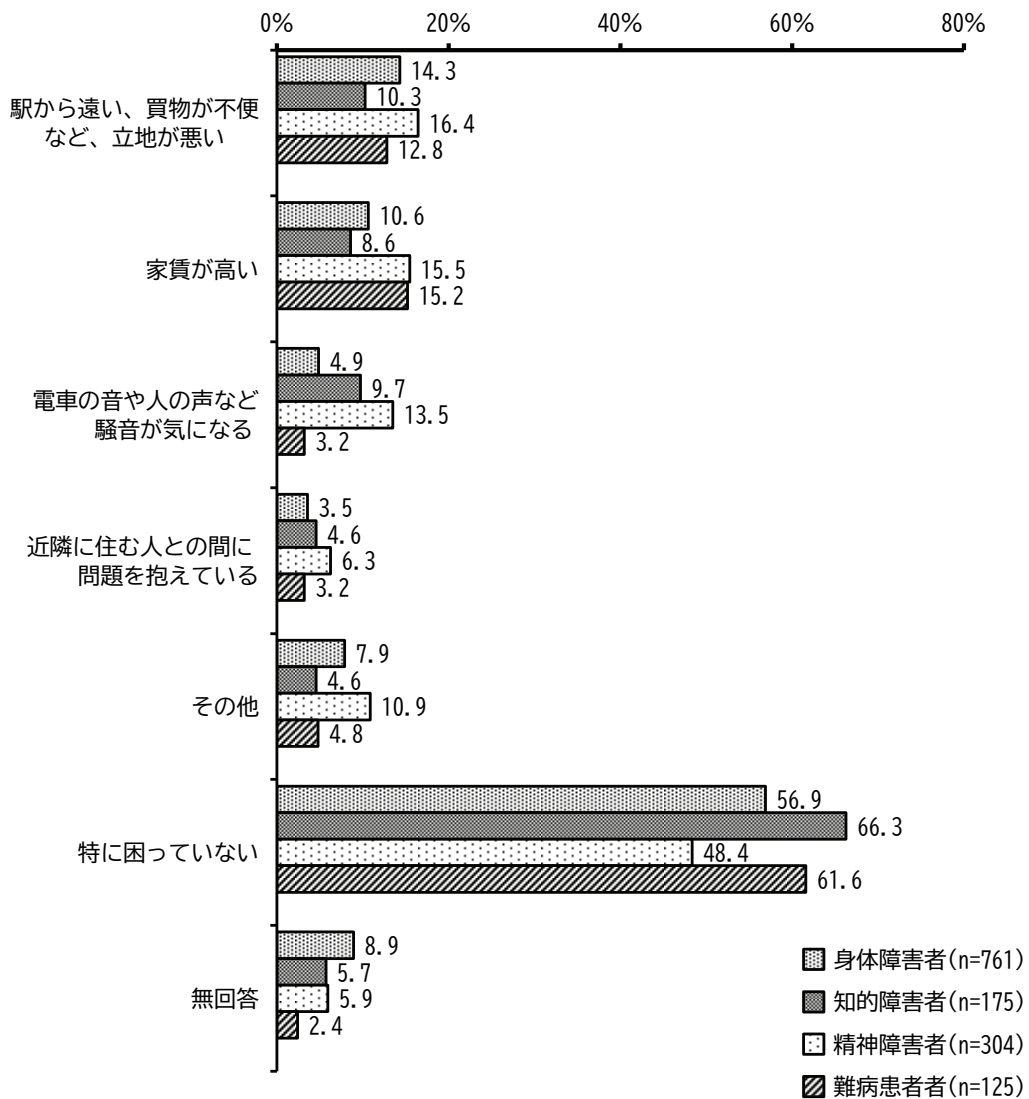
- ・「特に困っていない」(56.1%)が最も多いが、それ以外では「駅から遠い、買物が不便など、立地が悪い」(14.1%)、「家賃が高い」(11.8%)、「その他」(7.7%)が続いている。



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「特に困っていない」(56.9%)が最も多いが、それ以外では「駅から遠い、買物が不便など、立地が悪い」(14.3%)、「家賃が高い」(10.6%)、「その他」(7.9%)が続いている。
- ・知的障害者は「特に困っていない」(66.3%)が最も多いが、それ以外では「駅から遠い、買物が不便など、立地が悪い」(10.3%)、「電車の音や人の声など騒音が気になる」(9.7%)、「家賃が高い」(8.6%)が続いている。
- ・精神障害者は「特に困っていない」(48.4%)が最も多いが、それ以外では「駅から遠い、買物が不便など、立地が悪い」(16.4%)、「家賃が高い」(15.5%)、「電車の音や人の声など騒音が気になる」(13.5%)が続いている。
- ・難病患者者は「特に困っていない」(61.6%)が最も多いが、それ以外では「家賃が高い」(15.2%)、「駅から遠い、買物が不便など、立地が悪い」(12.8%)、「その他」(4.8%)が続いている。

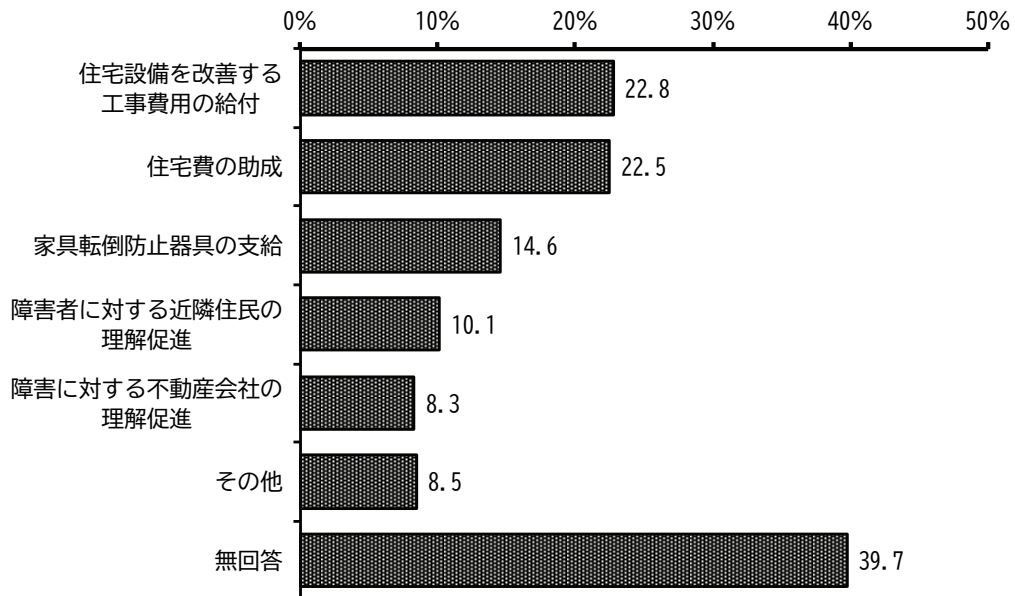
図表 住居について困っていること：住宅事情（障害等の種類別：複数回答）



問3 お住まいに関する困りごとで、希望する支援は次のどれですか。(いくつでも○)

- ・「住宅設備を改善する工事費用の給付」(22.8%)が最も多く、次いで「住宅費の助成」(22.5%)、「家具転倒防止器具の支給」(14.6%)が続いている。

図表 住居の困りごとに対して希望する支援（全体：複数回答）

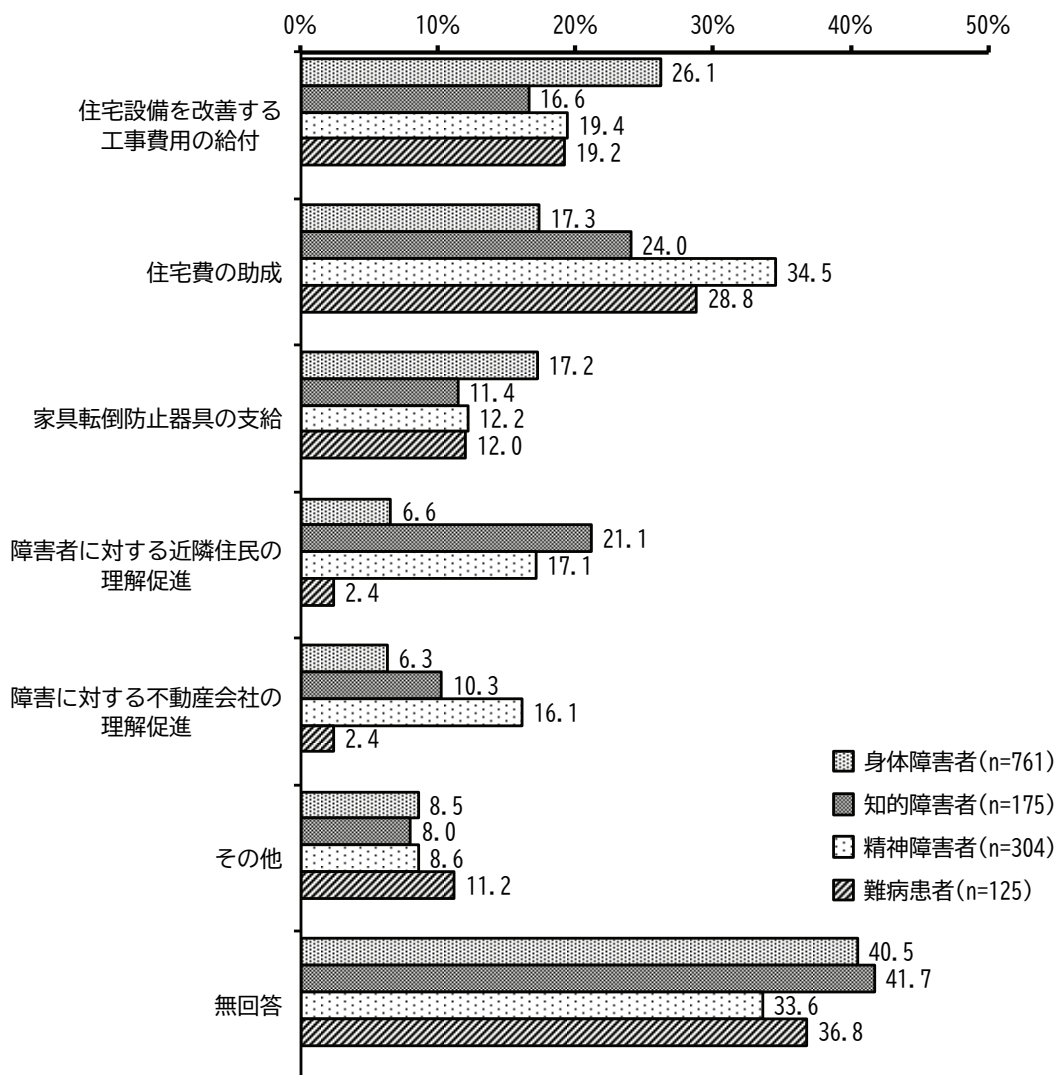


全体(N=1,419)

【障害等の種類別】

- ・ 身体障害者は「住宅設備を改善する工事費用の給付」(26.1%)が最も多く、次いで「住宅費の助成」(17.3%)、「家具転倒防止器具の支給」(17.2%)が続いている。
- ・ 知的障害者は「住宅費の助成」(24.0%) が最も多く、次いで「障害者に対する近隣住民の理解促進」(21.1%)、「住宅設備を改善する工事費用の給付」(16.6%)が続いている。
- ・ 精神障害者は「住宅費の助成」(34.5%)が最も多く、次いで「住宅設備を改善する工事費用の給付」(19.4%)、「障害者に対する近隣住民の理解促進」(17.1%)が続いている。
- ・ 難病患者は「住宅費の助成」(28.8%) が最も多く、次いで「住宅設備を改善する工事費用の給付」(19.2%)、「家具転倒防止器具の支給」(12.0%)が続いている。

図表 住居の困りごとに対して希望する支援（障害等の種類別：複数回答）



(3) 日常生活について

問4 あなたの日常生活についておたずねします。次のそれぞれの状況について、1~3のいずれか1つに○をつけてください。((1)~(11)について、それぞれ1つに○)

(1)日常生活の状況(ADL)等：食事

- ・「一部介助が必要」が8.1%、「全面的に介助が必要」が5.0%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：食事（全体）

(%)



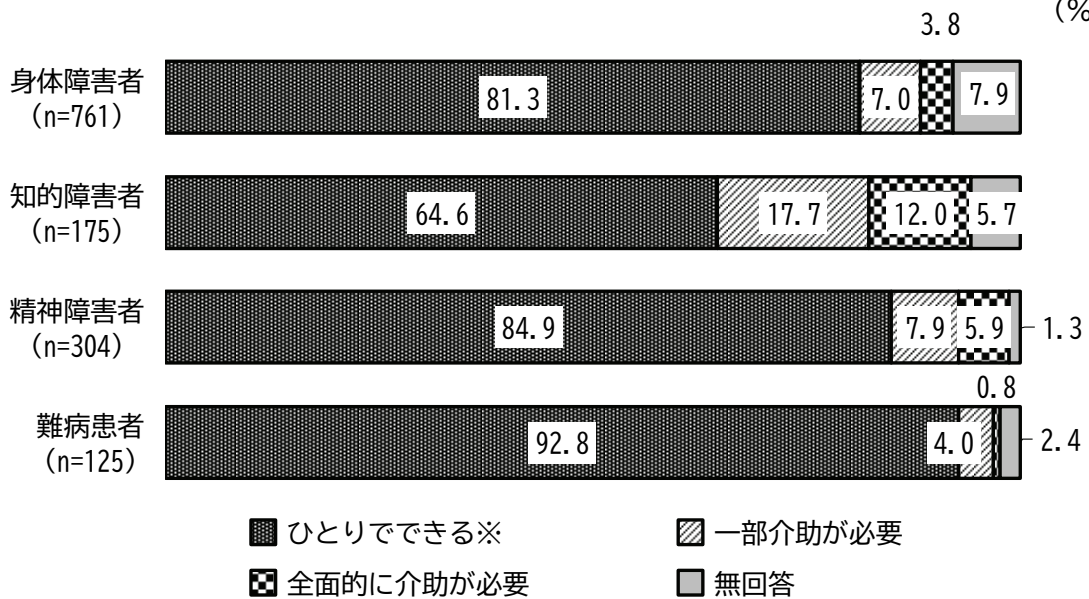
※補装具の使用を含む

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「一部介助が必要」が7.0%、「全面的に介助が必要」が3.8%である。
- ・知的障害者は「一部介助が必要」が17.7%、「全面的に介助が必要」が12.0%である。
- ・精神障害者は「一部介助が必要」が7.9%、「全面的に介助が必要」が5.9%である。
- ・難病患者は「一部介助が必要」が4.0%、「全面的に介助が必要」が0.8%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：食事（障害等の種類別）

(%)



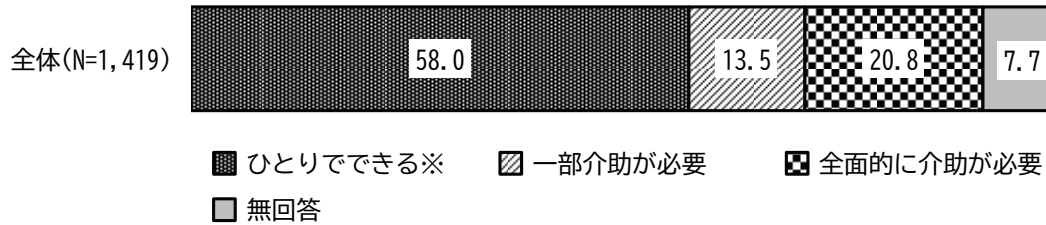
※補装具の使用を含む

(2)日常生活の状況(ADL)等：調理

- ・「一部介助が必要」が13.5%、「全面的に介助が必要」が20.8%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：調理（全体）

(%)



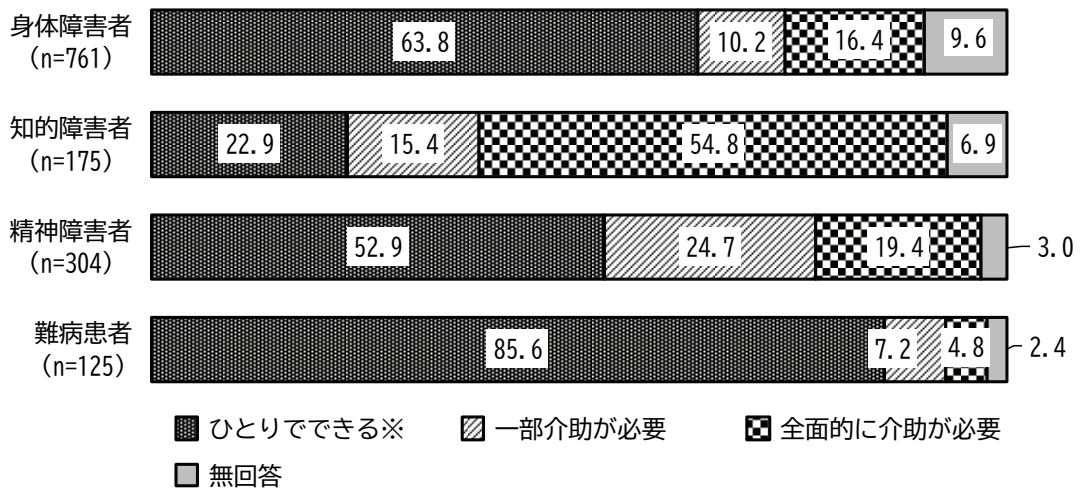
※補装具の使用を含む

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「一部介助が必要」が10.2%、「全面的に介助が必要」が16.4%である。
- ・知的障害者は「一部介助が必要」が15.4%、「全面的に介助が必要」が54.8%である。
- ・精神障害者は「一部介助が必要」が24.7%、「全面的に介助が必要」が19.4%である。
- ・難病患者は「一部介助が必要」が7.2%、「全面的に介助が必要」が4.8%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：調理（障害等の種類別）

(%)



※補装具の使用を含む

(3)日常生活の状況(ADL)等：排泄

- ・「一部介助が必要」が7.3%、「全面的に介助が必要」が5.7%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：排泄（全体）

(%)



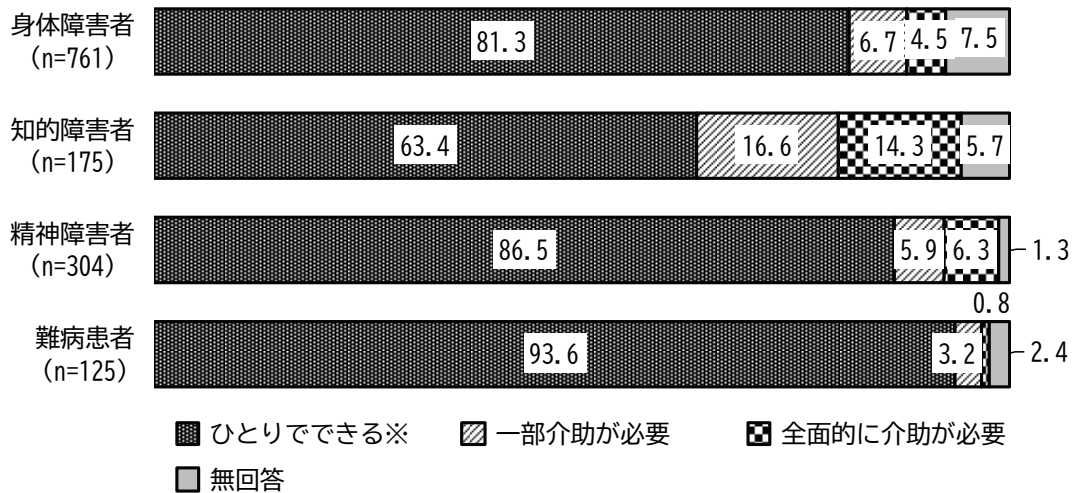
※補装具の使用を含む

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「一部介助が必要」が6.7%、「全面的に介助が必要」が4.5%である。
- ・知的障害者は「一部介助が必要」が16.6%、「全面的に介助が必要」が14.3%である。
- ・精神障害者は「一部介助が必要」が5.9%、「全面的に介助が必要」が6.3%である。
- ・難病患者は「一部介助が必要」が3.2%、「全面的に介助が必要」が0.8%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：排泄（障害等の種類別）

(%)



※補装具の使用を含む

(4)日常生活の状況(ADL)等：着替え

- ・「一部介助が必要」が10.4%、「全面的に介助が必要」が6.3%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：着替え（全体）

(%)



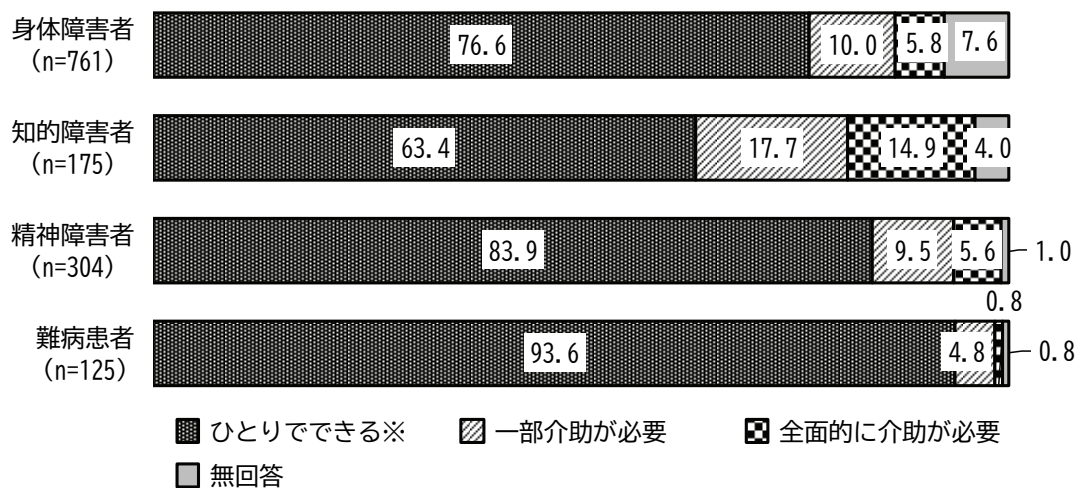
※補装具の使用を含む

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「一部介助が必要」が10.0%、「全面的に介助が必要」が5.8%である。
- ・知的障害者は「一部介助が必要」が17.7%、「全面的に介助が必要」が14.9%である。
- ・精神障害者は「一部介助が必要」が9.5%、「全面的に介助が必要」が5.6%である。
- ・難病患者は「一部介助が必要」が4.8%、「全面的に介助が必要」が0.8%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：着替え（障害等の種類別）

(%)



※補装具の使用を含む

(5)日常生活の状況(ADL)等：入浴

- ・「一部介助が必要」が11.0%、「全面的に介助が必要」が10.2%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：入浴（全体）

(%)



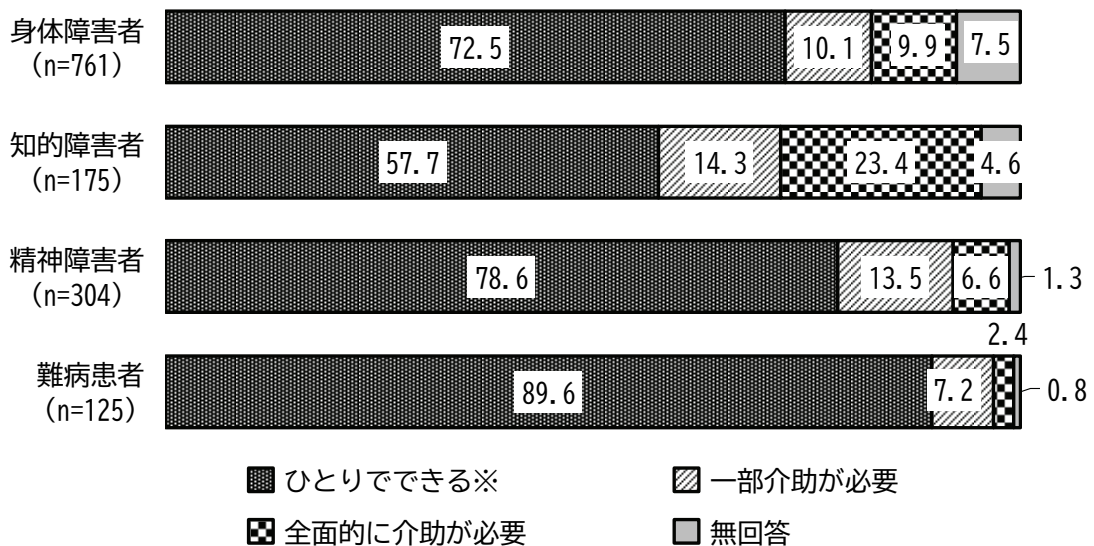
※補装具の使用を含む

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「一部介助が必要」が10.1%、「全面的に介助が必要」が9.9%である。
- ・知的障害者は「一部介助が必要」が14.3%、「全面的に介助が必要」が23.4%である。
- ・精神障害者は「一部介助が必要」が13.5%、「全面的に介助が必要」が6.6%である。
- ・難病患者は「一部介助が必要」が7.2%、「全面的に介助が必要」が2.4%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：入浴（障害等の種類別）

(%)



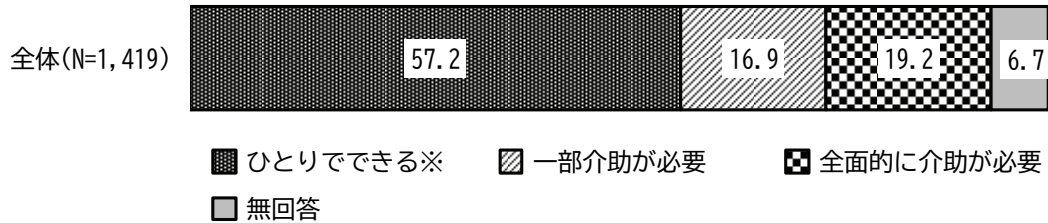
※補装具の使用を含む

(6)日常生活の状況(ADL)等：掃除、洗濯

- ・「一部介助が必要」が16.9%、「全面的に介助が必要」が19.2%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：掃除、洗濯（全体）

(%)



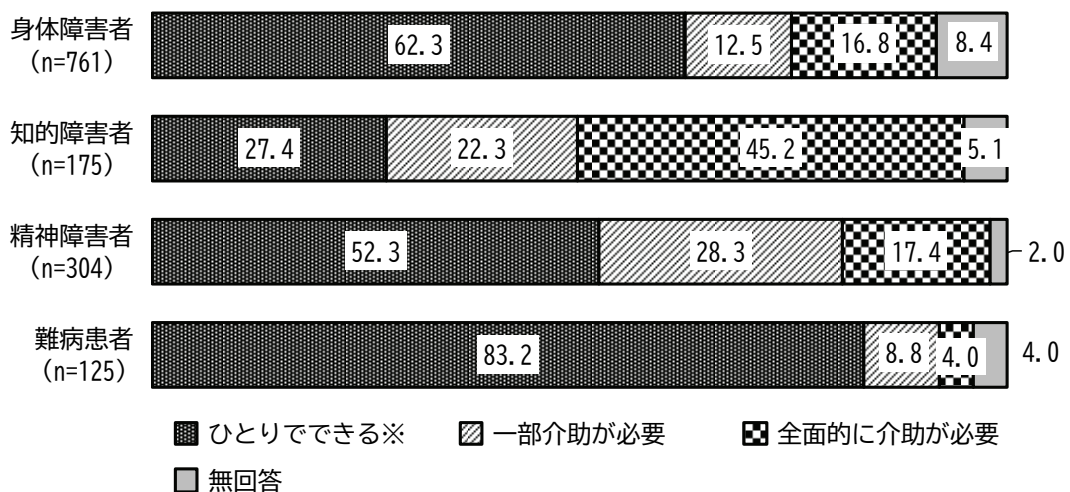
※補装具の使用を含む

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「一部介助が必要」が12.5%、「全面的に介助が必要」が16.8%である。
- ・知的障害者は「一部介助が必要」が22.3%、「全面的に介助が必要」が45.2%である。
- ・精神障害者は「一部介助が必要」が28.3%、「全面的に介助が必要」が17.4%である。
- ・難病患者は「一部介助が必要」が8.8%、「全面的に介助が必要」が4.0%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：掃除、洗濯（障害等の種類別）

(%)



※補装具の使用を含む

(7)日常生活の状況(ADL)等：室内の移動

- ・「一部介助が必要」が7.6%、「全面的に介助が必要」が5.8%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：室内の移動（全体）

(%)



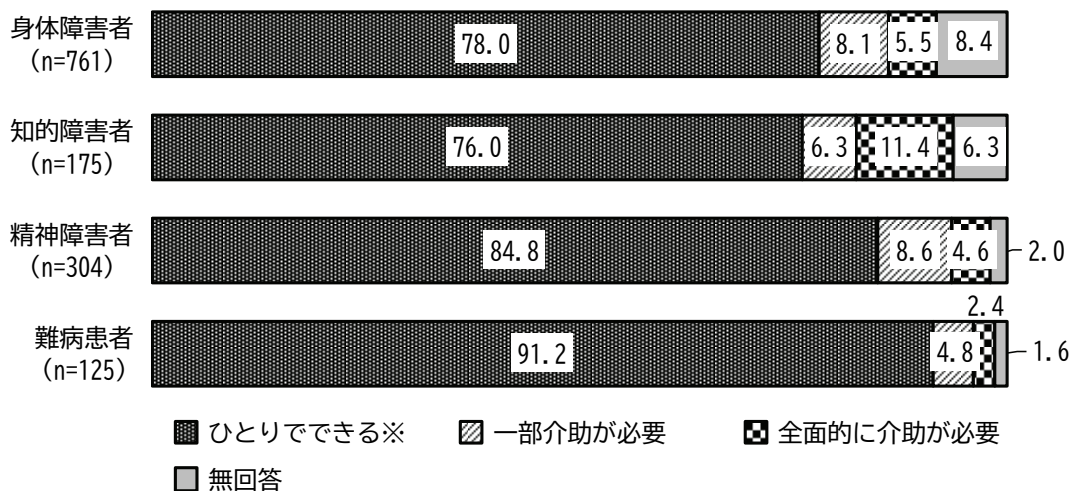
※補装具の使用を含む

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「一部介助が必要」が8.1%、「全面的に介助が必要」が5.5%である。
- ・知的障害者は「一部介助が必要」が6.3%、「全面的に介助が必要」が11.4%である。
- ・精神障害者は「一部介助が必要」が8.6%、「全面的に介助が必要」が4.6%である。
- ・難病患者は「一部介助が必要」が4.8%、「全面的に介助が必要」が2.4%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：室内の移動（障害等の種類別）

(%)



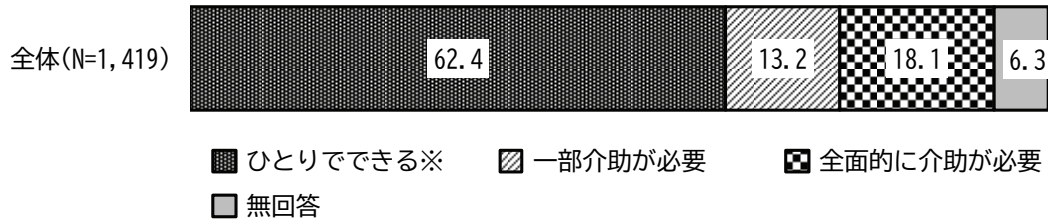
※補装具の使用を含む

(8)日常生活の状況(ADL)等：お金の管理

- ・「一部介助が必要」が13.2%、「全面的に介助が必要」が18.1%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：お金の管理（全体）

(%)



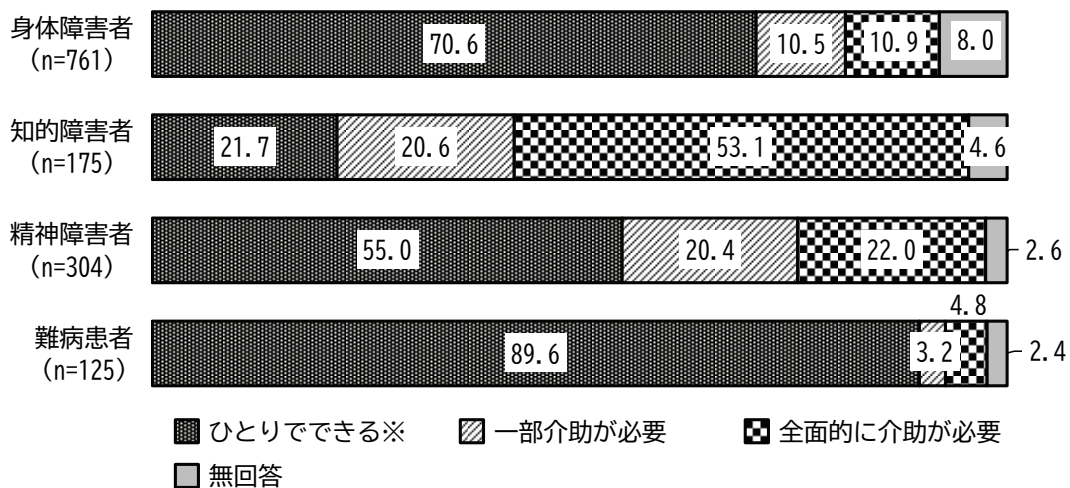
※補装具の使用を含む

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「一部介助が必要」が10.5%、「全面的に介助が必要」が10.9%である。
- ・知的障害者は「一部介助が必要」が20.6%、「全面的に介助が必要」が53.1%である。
- ・精神障害者は「一部介助が必要」が20.4%、「全面的に介助が必要」が22.0%である。
- ・難病患者は「一部介助が必要」が3.2%、「全面的に介助が必要」が4.8%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：お金の管理（障害等の種類別）

(%)



※補装具の使用を含む

(9)日常生活の状況(ADL)等：外出(買い物なども含む)

- ・「一部介助が必要」が17.1%、「全面的に介助が必要」が18.9%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：外出(買い物なども含む) (全体)

(%)



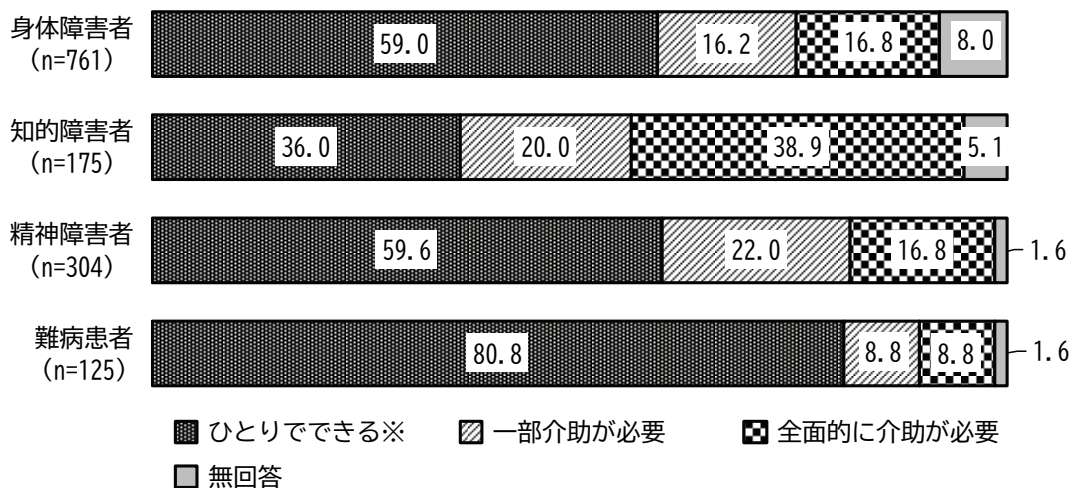
※補装具の使用を含む

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「一部介助が必要」が16.2%、「全面的に介助が必要」が16.8%である。
- ・知的障害者は「一部介助が必要」が20.0%、「全面的に介助が必要」が38.9%である。
- ・精神障害者は「一部介助が必要」が22.0%、「全面的に介助が必要」が16.8%である。
- ・難病患者は「一部介助が必要」が8.8%、「全面的に介助が必要」が8.8%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：外出(買い物なども含む) (障害等の種類別)

(%)



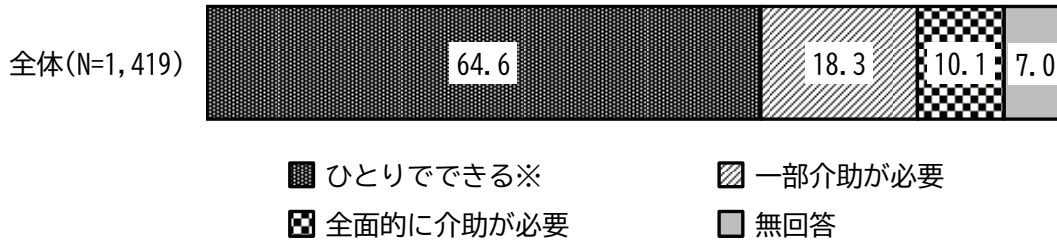
※補装具の使用を含む

(10)日常生活の状況(ADL)等：人とのコミュニケーション

- ・「一部介助が必要」が18.3%、「全面的に介助が必要」が10.1%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：人とのコミュニケーション（全体）

(%)



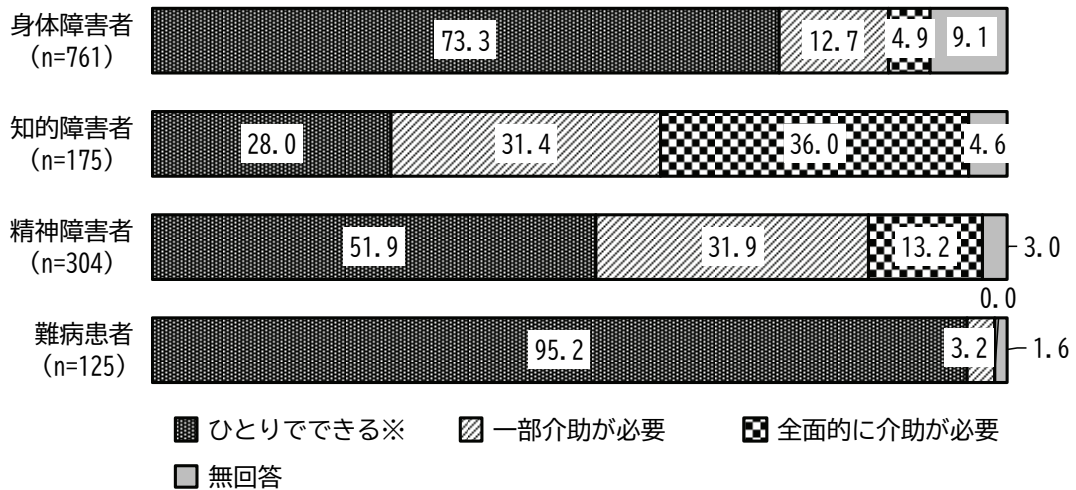
※補装具の使用を含む

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「一部介助が必要」が12.7%、「全面的に介助が必要」が4.9%である。
- ・知的障害者は「一部介助が必要」が31.4%、「全面的に介助が必要」が36.0%である。
- ・精神障害者は「一部介助が必要」が31.9%、「全面的に介助が必要」が13.2%である。
- ・難病患者は「一部介助が必要」が3.2%、「全面的に介助が必要」が0.0%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：人とのコミュニケーション（障害等の種類別）

(%)



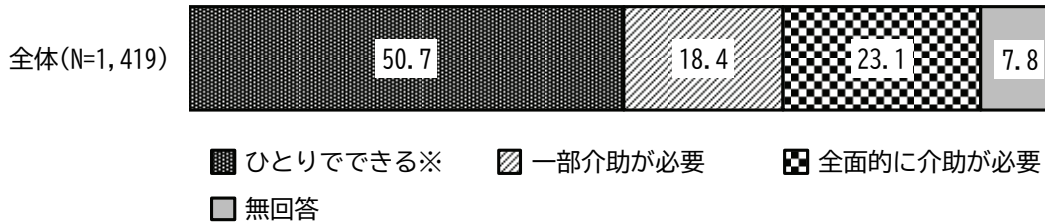
※補装具の使用を含む

(11)日常生活の状況(ADL)等：障害福祉サービスなどの手続き

- ・「一部介助が必要」が18.4%、「全面的に介助が必要」が23.1%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：障害福祉サービスなどの手続き（全体）

(%)



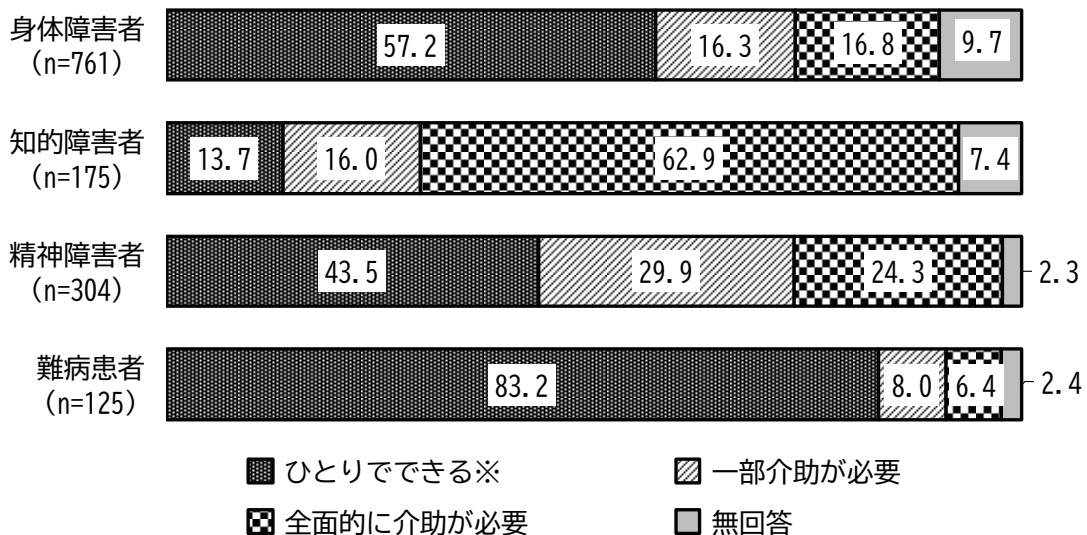
※補装具の使用を含む

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「一部介助が必要」が16.3%、「全面的に介助が必要」が16.8%である。
- ・知的障害者は「一部介助が必要」が16.0%、「全面的に介助が必要」が62.9%である。
- ・精神障害者は「一部介助が必要」が29.9%、「全面的に介助が必要」が24.3%である。
- ・難病患者は「一部介助が必要」が8.0%、「全面的に介助が必要」が6.4%である。

図表 日常生活の状況(ADL)等：障害福祉サービスなどの手続き（障害等の種類別）

(%)

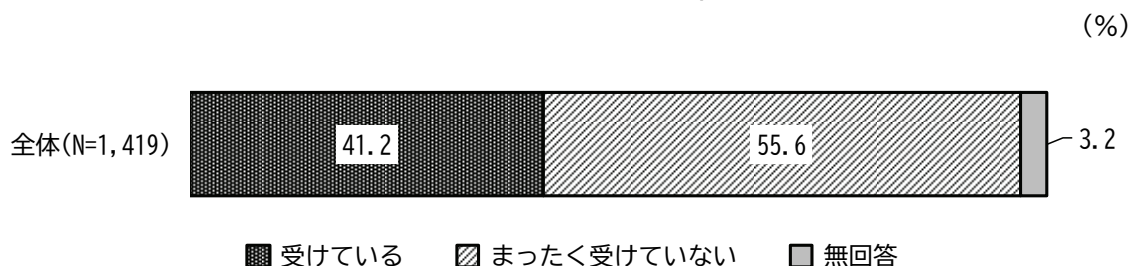


※補装具の使用を含む

問5 あなたは、日常生活において何らかの介助を受けていますか。(1つに○)

- ・「受けている」は41.2%である。

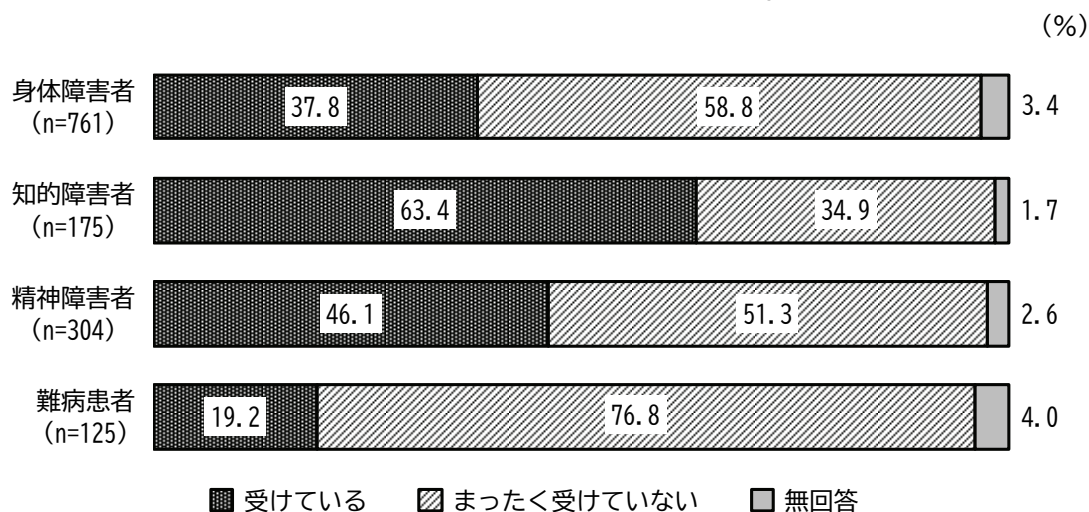
図表 介助の状況（全体）



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「受けている」が37.8%である。
- ・知的障害者は「受けている」が63.4%である。
- ・精神障害者は「受けている」が46.1%である。
- ・難病患者は「受けている」が19.2%である。

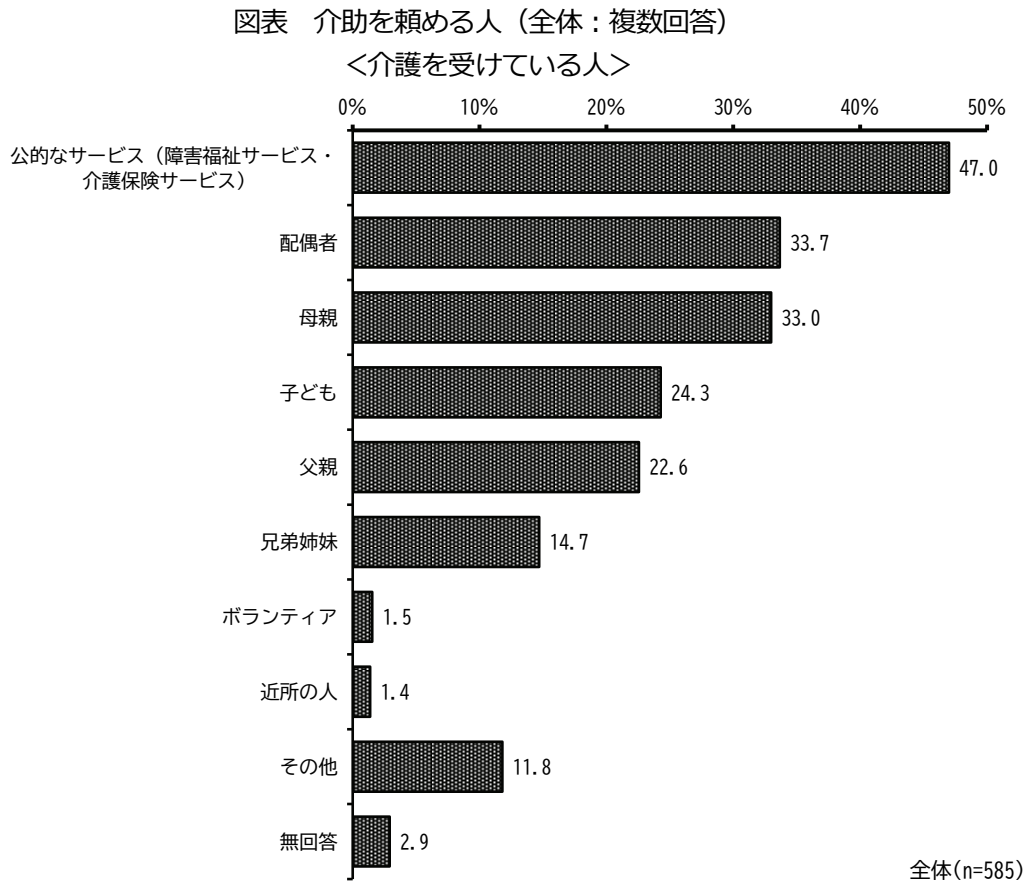
図表 介助の状況（障害等の種類別）



問5-1 問5で「1.受けている」と答えた方におたずねします。

(1) 介助を頼めるのはどなたですか。(いくつでも○)

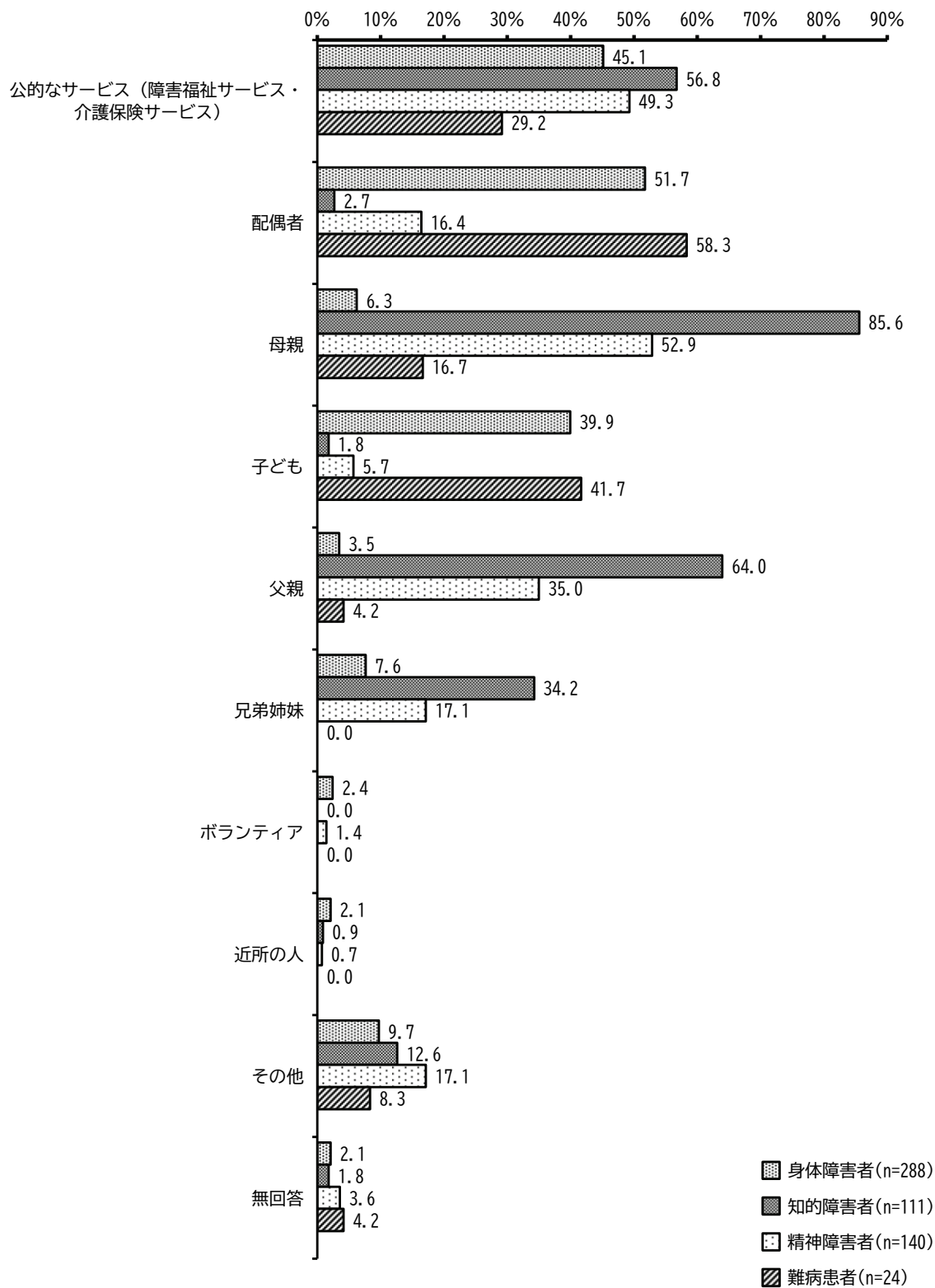
- ・ 「公的なサービス(障害福祉サービス・介護保険サービス)」(47.0%)が最も多く、次いで「配偶者」(33.7%)、「母親」(33.0%)が続いている。



【障害等の種類別】

- ・ 身体障害者は「配偶者」(51.7%) が最も多く、次いで「公的なサービス(障害福祉サービス・介護保険サービス)」(45.1%)、「子ども」(39.9%)が続いている。
- ・ 知的障害者は「母親」(85.6%) が最も多く、次いで「父親」(64.0%)、「公的なサービス(障害福祉サービス・介護保険サービス)」(56.8%)が続いている。
- ・ 精神障害者は「母親」(52.9%) が最も多く、次いで「公的なサービス(障害福祉サービス・介護保険サービス)」(49.3%)、「父親」(35.0%)が続いている。
- ・ 難病患者者は「配偶者」(58.3%) が最も多く、次いで「子ども」(41.7%)、「公的なサービス(障害福祉サービス・介護保険サービス)」(29.2%)が続いている。

図表 介助を頼める人（障害等の種類別：複数回答）
 <介護を受けている人>

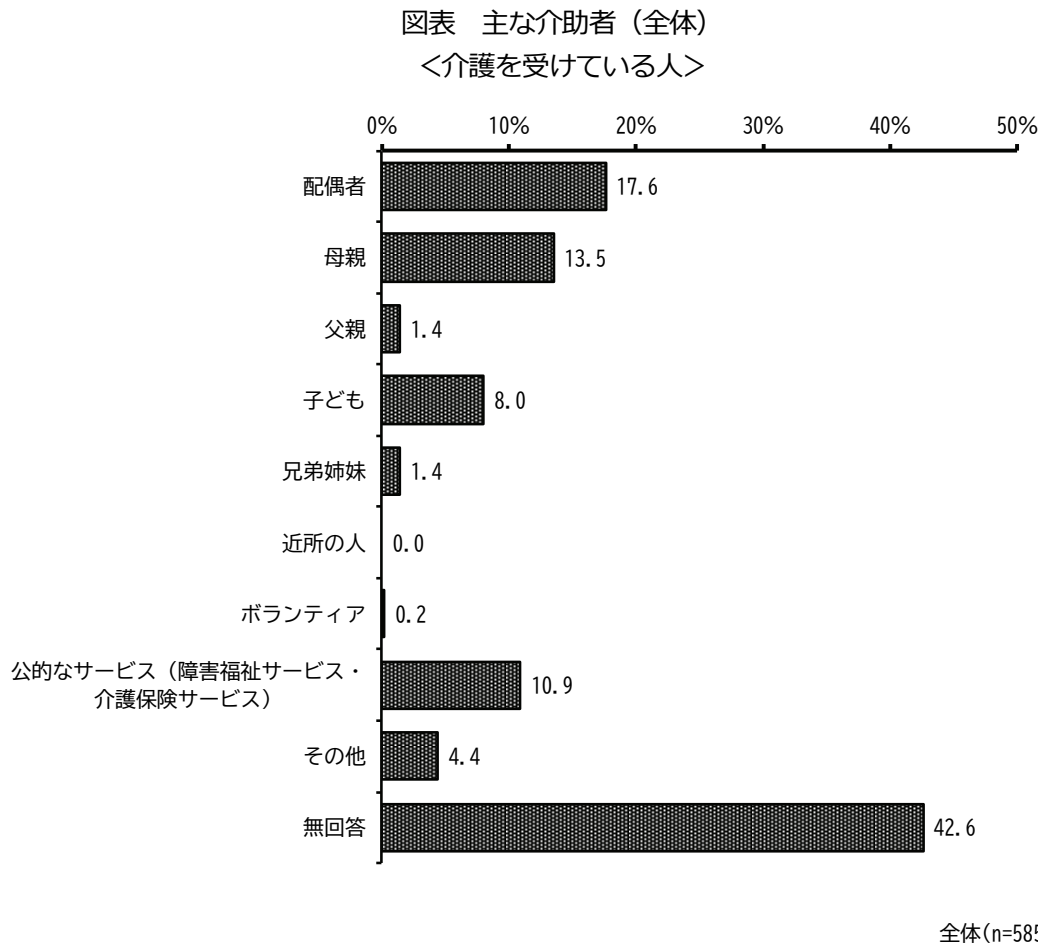


問5-1 問5で「1.受けている」と答えた方におたずねします。

(2)主な介助者はどなたですか。

((1)の選択肢から1つだけ の中に記入してください)

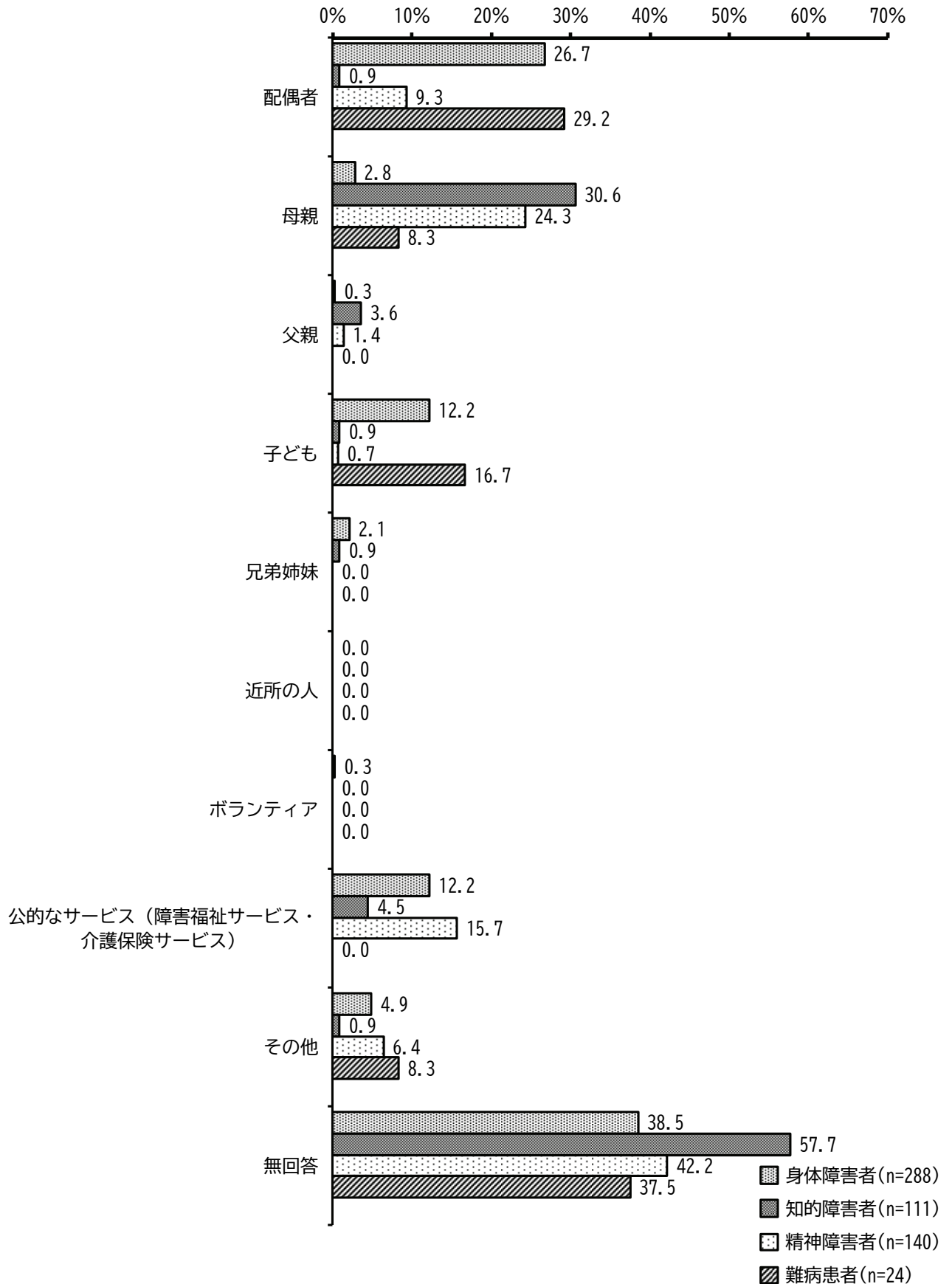
- ・無回答を除くと「配偶者」(17.6%)が最も多く、次いで「母親」(13.5%)、「公的なサービス(障害福祉サービス・介護保険サービス)」(10.9%)が続いている。



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は無回答を除くと「配偶者」(26.7%)が最も多く、次いで「子ども」(12.2%)と「公的なサービス(障害福祉サービス・介護保険サービス)」(12.2%)が同率が続いている。
- ・知的障害者は無回答を除くと「母親」(30.6%)が最も多く、次いで「公的なサービス(障害福祉サービス・介護保険サービス)」(4.5%)、「父親」(3.6%)が続いている。
- ・精神障害者は無回答を除くと「母親」(24.3%)が最も多く、次いで「公的なサービス(障害福祉サービス・介護保険サービス)」(15.7%)、「配偶者」(9.3%)が続いている。
- ・難病患者は無回答を除くと「配偶者」(29.2%)が最も多く、次いで「子ども」(16.7%)、「母親」(8.3%)が続いている。

図表 主な介助者（障害等の種類別）
 <介護を受けている人>



問5-2 問5で「1.受けている」と答えた方におたずねします。

公的なサービスによる介助(介護保険サービス、障害福祉サービス)を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。(1つに○)

- ・「受けていない」(34.5%)が最も多く、次いで「週に2~3日」(18.5%)が続いている。

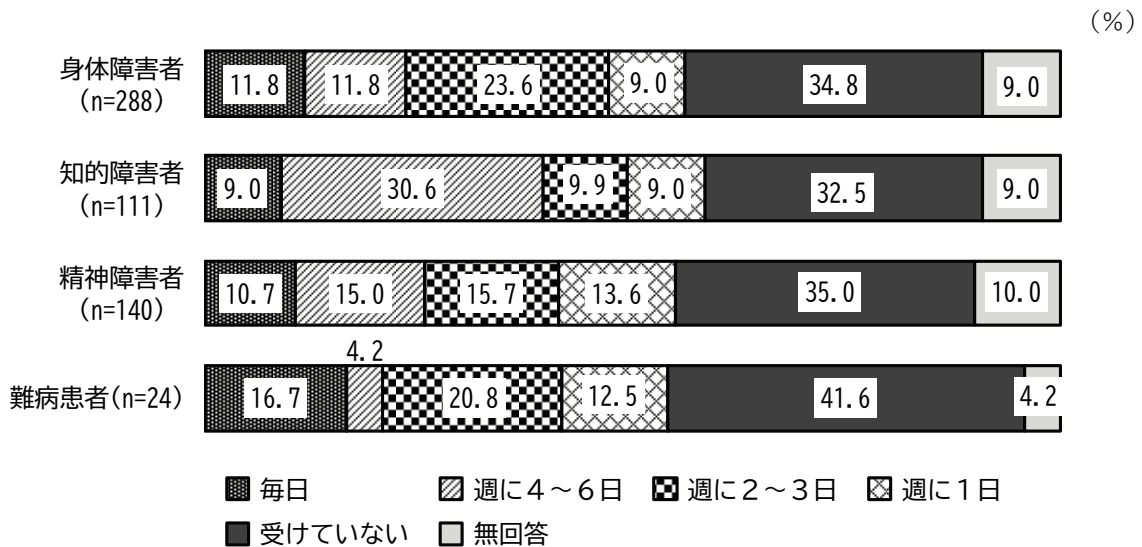
図表 公的サービスによる介助の頻度 (全体)
 <介護を受けている人>



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「受けていない」(34.8%)が最も多く、次いで「週に2~3日」(23.6%)が続いている。
- ・知的障害者は「受けていない」(32.5%)が最も多く、次いで「週に4~6日」(30.6%)が続いている。
- ・精神障害者は「受けていない」(35.0%)が最も多く、次いで「週に2~3日」(15.7%)が続いている。
- ・難病患者は「受けていない」(41.6%)が最も多く、次いで「週に2~3日」(20.8%)が続いている。

図表 公的サービスによる介助の頻度 (障害等の種類別)
 <介護を受けている人>

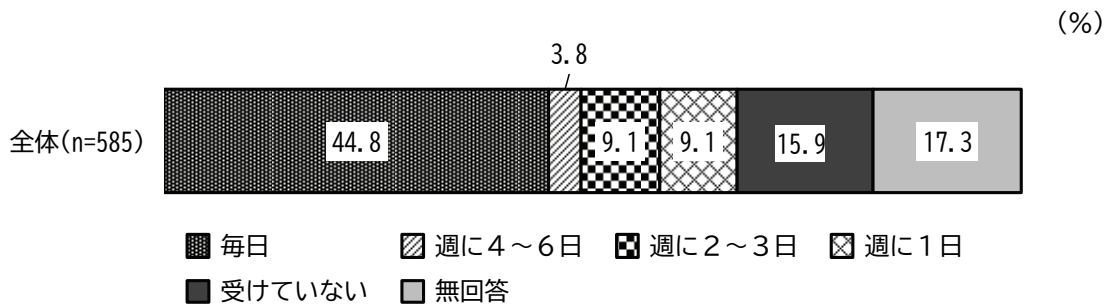


問5-3 問5で「1.受けている」と答えた方におたずねします。

家族・親族・ボランティア(公的なサービスを除く)の介助を1週間のうち何日ぐらい受けていますか。
(1つに○)

- ・「毎日」が44.8%である。

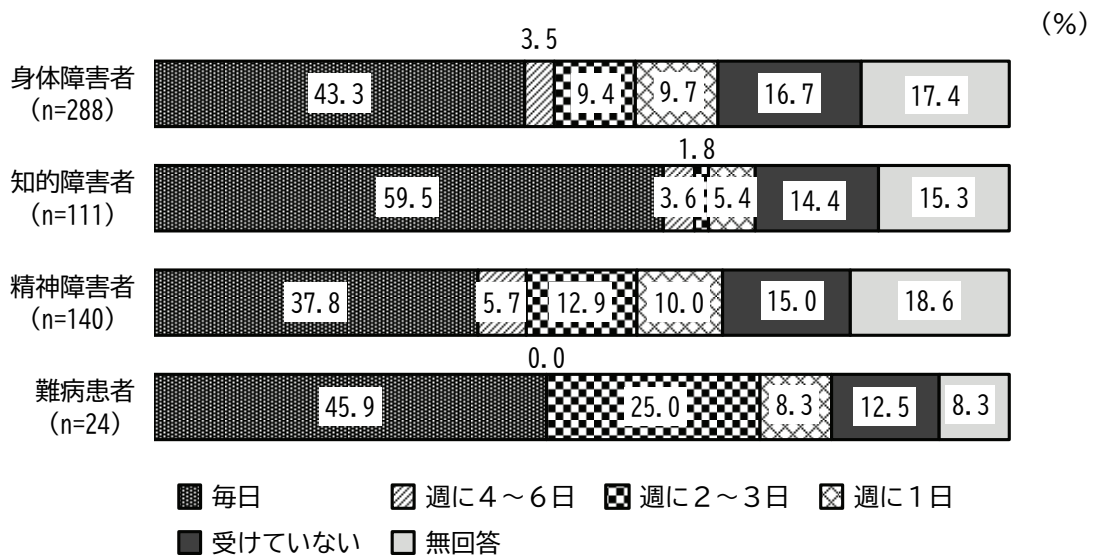
図表 家族等介助の頻度 (全体)
<介護を受けている人>



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「毎日」が43.3%である。
- ・知的障害者は「毎日」が59.5%と約6割を占めている。
- ・精神障害者は「毎日」が37.8%である。
- ・難病患者は「毎日」が45.9%である。

図表 家族等介助の頻度 (障害等の種類別)
<介護を受けている人>

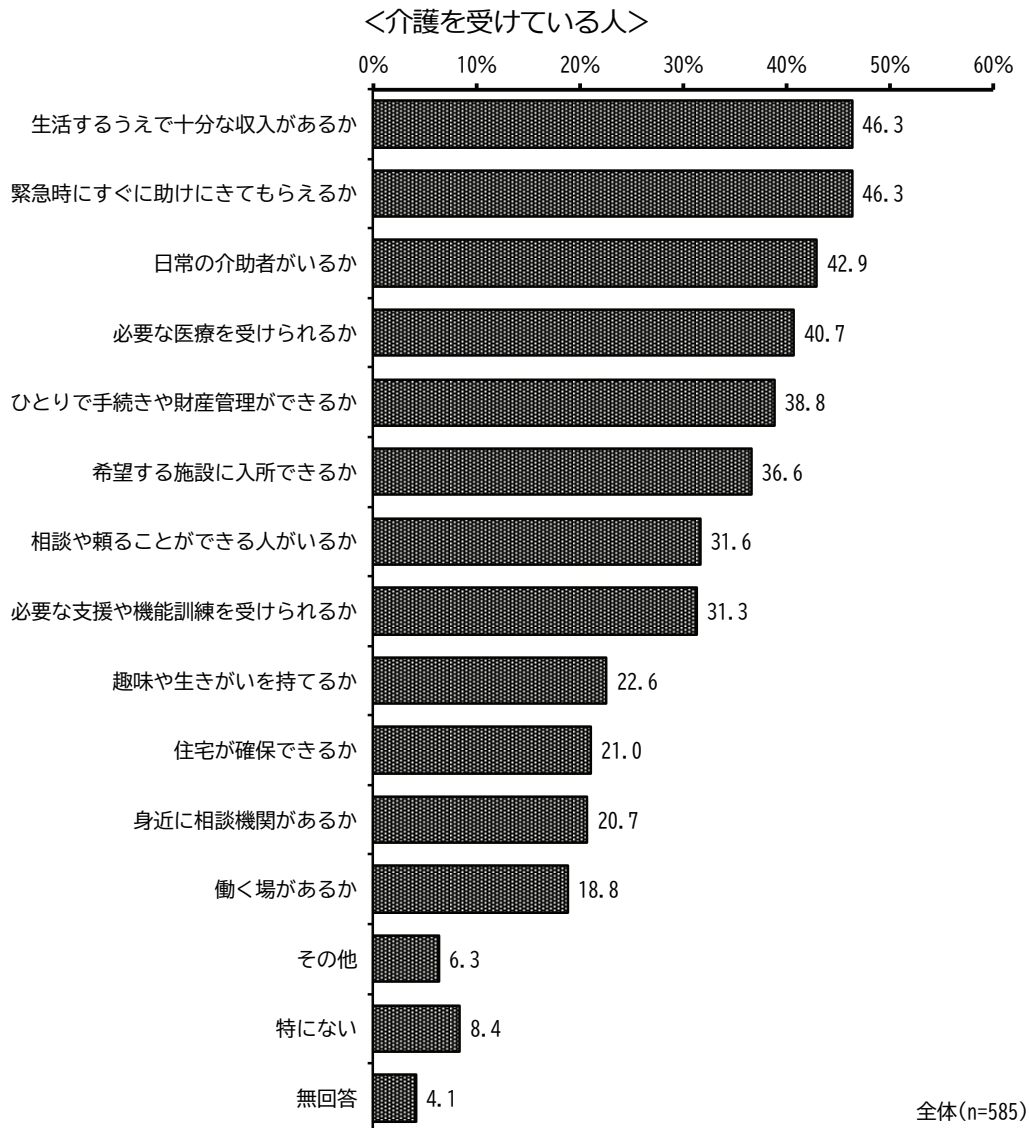


問5-4 あなた(あて名のご本人)が、将来のことで、特に不安に感じていることは何ですか。

(いくつでも○)

- ・「生活するうえで十分な収入があるか」(46.3%)と「緊急時にすぐに助けにきてもらえるか」(46.3%)が同率で最も多く、次いで「日常の介助者がいるか」(42.9%)が続いている。

図表 将来の不安なこと (全体：複数回答)

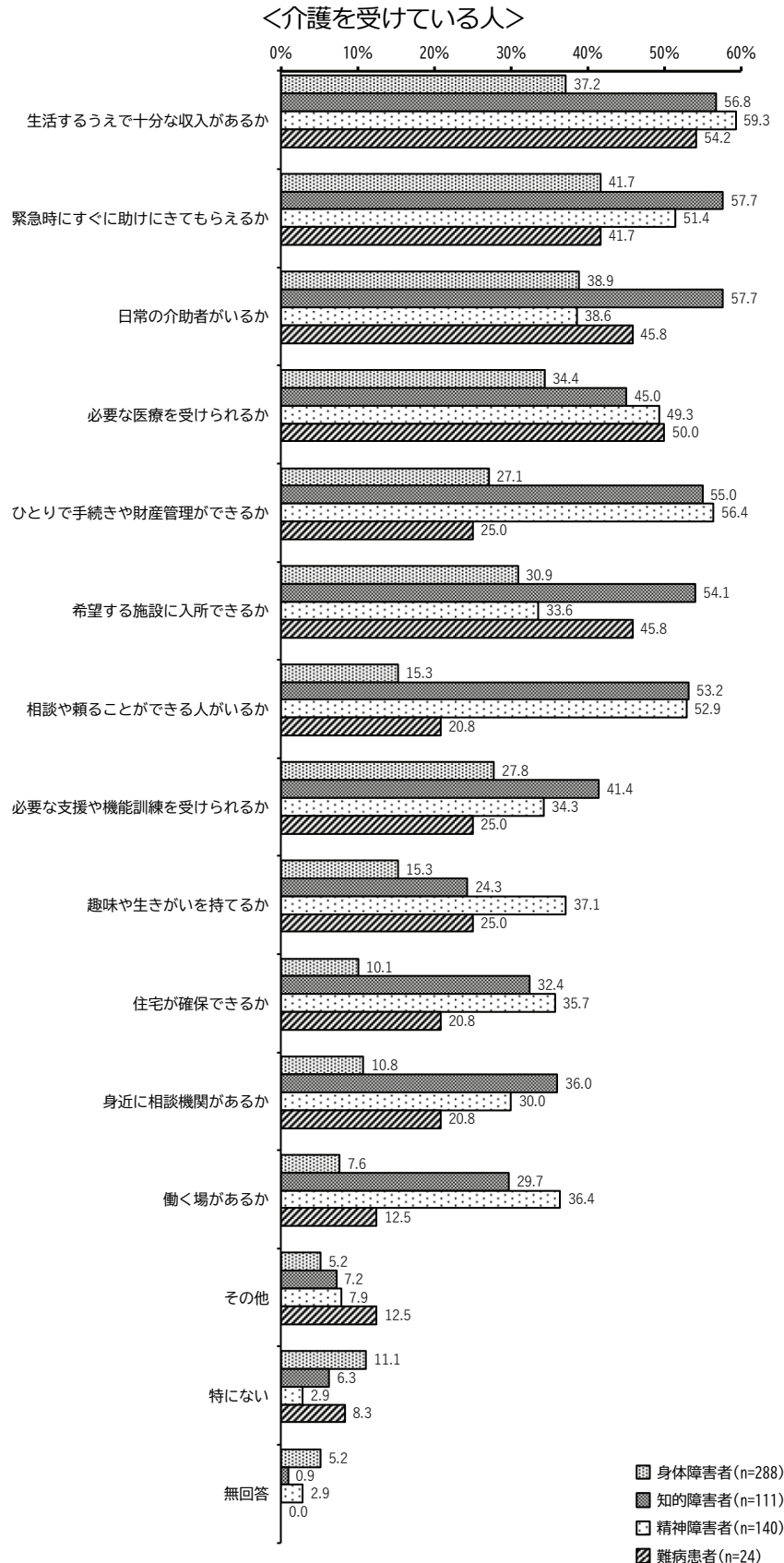


【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「緊急時にすぐに助けにきてもらえるか」(41.7%)が最も多く、次いで「日常の介助者がいるか」(38.9%)、「生活するうえで十分な収入があるか」(37.2%)が続いている。
- ・知的障害者は「緊急時にすぐに助けにきてもらえるか」(57.7%)と「日常の介助者がいるか」(57.7%)が同率で最も多く、次いで「生活するうえで十分な収入があるか」(56.8%)が続いている。
- ・精神障害者は「生活するうえで十分な収入があるか」(59.3%)が最も多く、次いで「ひとりで手続きや財産管理ができるか」(56.4%)、「相談や頼ることができる人がいるか」(52.9%)が続いている。

- ・ 難病患者は「生活するうえで十分な収入があるか」(54.2%)が最も多く、次いで「必要な医療を受けられるか」(50.0%)、「日常の介助者がいるか」(45.8%)と「希望する施設に入所できるか」(45.8%)が同率で続いている。

図表 将来の不安なこと（障害等の種類別：複数回答）



(4) 障害福祉サービスの利用について

問6 福祉サービスの利用状況・利用意向について、おたずねします。(1)～(8)のそれぞれについて、「1」～「7」にいくつでも○をつけてください。

- ・「希望通り利用できている」と「利用しているが希望通りではない」をあわせた<利用者層>は、『補装具・日常生活用具費の支給』(14.4%)が最も多く、『相談支援』(14.3%)、『日中活動系サービス』(13.1%)が続いている。
- ・「利用したいが事業所に空きがない」と「利用したい事業所がない」、「今後、利用したい」をあわせた<未利用者層>は、『相談支援』(26.6%)、『短期入所サービス』(21.9%)、『移動支援』(20.6%)が続いている。『訪問系サービス』(20.4%)、『居住系サービス』(20.1%)も2割を超えている。

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は、<利用者層>では『補装具・日常生活用具費の支給』(17.9%)、<未利用者層>では『相談支援』(25.1%)が最も多い。
- ・知的障害者は、<利用者層>では『日中活動系サービス』(38.3%)、<未利用者層>では『居住系サービス』(46.8%)が最も多い。
- ・精神障害者は、<利用者層>では『相談支援』(25.4%)、<未利用者層>でも『相談支援』(29.0%)が最も多い。
- ・難病患者は、<利用者層>では『相談支援』(4.8%)と『補装具・日常生活用具費の支給』(4.8%)、<未利用者層>では『相談支援』(24.0%)が最も多い。

図表 障害福祉サービスの利用状況・利用意向(全体、障害等の種類別)

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できている	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	9.4	3.0	0.6	0.8	19.0	16.8	30.1	21.3	12.4	20.4
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	8.5	2.6	0.5	0.3	20.8	16.0	26.3	25.5	11.1	21.6
	知的障害者 (n=175)	11.4	5.7	0.6	2.9	20.0	14.3	29.1	17.7	17.1	23.5
	精神障害者 (n=304)	12.2	3.6	1.0	1.0	15.5	20.1	35.2	13.2	15.8	17.5
	難病患者 (n=125)	3.2	0.8	0.0	0.8	12.8	17.6	47.2	17.6	4.0	13.6

(2) 日中活動系サービス

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できている	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	9.9	3.2	0.7	1.1	12.3	18.7	30.5	24.0	13.1	14.1
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	4.1	3.0	0.5	0.7	14.2	18.8	30.0	29.4	7.1	15.4
	知的障害者 (n=175)	32.6	5.7	2.9	1.7	7.4	11.4	23.4	16.0	38.3	12.0
	精神障害者 (n=304)	16.8	3.6	0.3	2.3	10.9	22.4	28.9	15.1	20.4	13.5
	難病患者 (n=125)	0.8	0.8	0.0	0.8	10.4	18.4	49.6	19.2	1.6	11.2

第2部 調査結果の概要

(3) 居住系サービス

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できる	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	2.4	0.7	1.8	1.0	17.3	21.7	31.6	24.3	3.1	20.1
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	1.8	0.5	0.3	0.3	14.6	22.1	31.4	29.3	2.3	15.2
	知的障害者 (n=175)	5.1	2.3	9.1	4.0	33.7	14.9	18.9	16.6	7.4	46.8
	精神障害者 (n=304)	2.6	0.7	2.0	1.3	17.4	25.3	34.2	16.8	3.3	20.7
	難病患者 (n=125)	1.6	0.0	0.8	0.0	11.2	22.4	44.8	19.2	1.6	12.0

(4) 短期入所サービス

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できる	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	3.9	3.2	1.6	0.8	19.5	20.0	29.2	22.8	7.1	21.9
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	3.2	0.8	0.7	0.5	20.5	20.0	27.6	27.3	4.0	21.7
	知的障害者 (n=175)	10.9	16.0	4.0	4.0	18.3	14.3	20.6	16.0	26.9	26.3
	精神障害者 (n=304)	3.6	3.3	3.0	0.3	19.1	23.4	32.9	15.5	6.9	22.4
	難病患者 (n=125)	0.8	0.0	0.8	0.0	12.8	22.4	44.8	18.4	0.8	13.6

(5) 相談支援

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できる	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	11.4	2.9	0.6	1.1	24.9	11.6	25.6	22.3	14.3	26.6
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	6.2	1.3	0.3	0.4	24.4	12.1	27.5	28.1	7.5	25.1
	知的障害者 (n=175)	29.1	5.1	1.7	2.3	26.3	6.3	14.3	15.4	34.2	30.3
	精神障害者 (n=304)	18.8	6.6	1.0	2.3	25.7	11.5	23.4	11.5	25.4	29.0
	難病患者 (n=125)	4.0	0.8	0.0	0.0	24.0	15.2	39.2	16.8	4.8	24.0

(6) 移動支援

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できる	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	4.4	2.7	1.0	1.2	18.4	18.3	30.3	24.2	7.1	20.6
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	2.5	0.9	0.3	0.5	19.7	16.7	29.8	29.8	3.4	20.5
	知的障害者 (n=175)	12.0	11.4	4.6	3.4	19.4	15.4	20.0	15.4	23.4	27.4
	精神障害者 (n=304)	6.6	3.6	1.3	1.3	15.8	23.7	32.6	15.5	10.2	18.4
	難病患者 (n=125)	1.6	0.0	0.0	0.8	12.8	19.2	46.4	19.2	1.6	13.6

(7) 意思疎通支援

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できる	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	1.6	0.5	0.1	0.3	6.2	24.3	39.3	28.0	2.1	6.6
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	2.0	0.9	0.0	0.1	7.4	21.7	35.9	32.2	2.9	7.5
	知的障害者 (n=175)	1.7	0.0	0.0	1.1	4.6	26.3	38.9	27.4	1.7	5.7
	精神障害者 (n=304)	1.0	0.0	0.3	0.0	3.6	31.6	44.1	19.7	1.0	3.9
	難病患者 (n=125)	0.8	0.0	0.0	0.0	7.2	22.4	50.4	19.2	0.8	7.2

(8) 補装具・日常生活用具費の支給

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できる	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	9.8	4.6	0.1	0.3	16.8	16.1	29.2	23.5	14.4	17.2
障害等の種類	身体障害者 (n=761)	12.0	5.9	0.1	0.1	22.6	10.4	23.1	26.1	17.9	22.8
	知的障害者 (n=175)	12.0	5.1	0.0	1.1	4.6	22.9	29.7	24.6	17.1	5.7
	精神障害者 (n=304)	6.3	2.3	0.0	0.3	9.5	26.0	38.5	17.4	8.6	9.8
	難病患者 (n=125)	4.8	0.0	0.0	0.0	15.2	18.4	44.8	16.8	4.8	15.2

【所持手帳等の種類別】

- ・身体障害者手帳所持者は、＜利用者層＞では『補装具・日常生活用具費の支給』(21.4%)、＜未利用者層＞では『相談支援』(25.0%)が最も多い。
- ・愛の手帳所持者は、＜利用者層＞では『日中活動系サービス』(41.8%)、＜未利用者層＞では『居住系サービス』(46.5%)が最も多い。
- ・精神障害者保健福祉手帳所持者は、＜利用者層＞では『相談支援』(25.3%)、＜未利用者層＞でも『相談支援』(31.8%)が最も多い。
- ・自立支援医療受給者証所持者は、＜利用者層＞では『相談支援』(25.8%)、＜未利用者層＞でも『相談支援』(29.4%)が最も多い。
- ・特定医療費受給者証所持者は、＜利用者層＞では『補装具・日常生活用具費の支給』(12.0%)、＜未利用者層＞では『相談支援』(25.5%)が最も多い。

図表 障害福祉サービスの利用状況・利用意向(全体、所持手帳等の種類別)

(1) 訪問系サービス

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できている	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	9.4	3.0	0.6	0.8	19.0	16.8	30.1	21.3	12.4	20.4
所持手帳の種類	身体障害者手帳所持者 (n=882)	11.5	3.6	0.7	0.5	20.2	15.0	25.3	24.1	15.1	21.4
	愛の手帳所持者 (n=234)	14.1	5.6	0.4	2.1	20.1	13.2	28.6	17.1	19.7	22.6
	精神障害者保健福祉手帳所持者 (n=198)	8.6	4.0	1.0	1.5	15.2	25.3	37.4	9.1	12.6	17.7
	自立支援医療受給者証所持者 (n=245)	12.7	4.5	0.8	1.2	15.9	18.0	34.3	14.3	17.2	17.9
	特定医療費受給者証所持者 (n=200)	9.5	1.5	0.5	0.5	16.0	14.5	39.5	18.5	11.0	17.0

※表側は複数回答のため、対象者が重複している。

(2) 日中活動系サービス

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できている	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	9.9	3.2	0.7	1.1	12.3	18.7	30.5	24.0	13.1	14.1
所持手帳の種類	身体障害者手帳所持者 (n=882)	8.5	3.6	0.5	0.7	13.0	17.9	28.8	27.7	12.1	14.2
	愛の手帳所持者 (n=234)	35.0	6.8	2.6	1.7	8.1	11.5	20.9	14.5	41.8	12.4
	精神障害者保健福祉手帳所持者 (n=198)	15.2	2.5	0.0	3.5	11.1	25.3	30.8	11.6	17.7	14.6
	自立支援医療受給者証所持者 (n=245)	17.1	4.5	0.4	1.6	10.2	21.2	29.0	16.3	21.6	12.2
	特定医療費受給者証所持者 (n=200)	4.5	2.0	0.0	1.5	10.5	16.0	43.5	22.0	6.5	12.0

※表側は複数回答のため、対象者が重複している。

(3) 居住系サービス

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できている	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	2.4	0.7	1.8	1.0	17.3	21.7	31.6	24.3	3.1	20.1
所持手帳の種類	身体障害者手帳所持者 (n=882)	2.3	0.7	1.1	0.5	16.1	21.3	30.3	28.2	3.0	17.7
	愛の手帳所持者 (n=234)	6.0	2.1	7.7	3.8	35.0	15.0	17.1	16.7	8.1	46.5
	精神障害者保健福祉手帳所持者 (n=198)	2.0	1.0	1.5	1.0	13.6	28.3	40.4	12.6	3.0	16.1
	自立支援医療受給者証所持者 (n=245)	2.9	0.8	2.0	1.6	17.6	22.9	33.5	18.8	3.7	21.2
	特定医療費受給者証所持者 (n=200)	2.0	0.0	1.0	1.0	13.0	20.5	42.0	21.0	2.0	15.0

※表側は複数回答のため、対象者が重複している。

(4) 短期入所サービス

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)
		希望通り利用できている	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい					
全体	(N=1,419)	3.9	3.2	1.6	0.8	19.5	20.0	29.2	22.8	7.1	21.9
所持手帳の種類	身体障害者手帳所持者 (n=882)	4.3	3.3	1.2	0.7	20.2	19.0	26.5	26.0	7.6	22.1
	愛の手帳所持者 (n=234)	11.5	15.8	5.6	3.0	20.1	13.2	19.7	15.0	27.3	28.7
	精神障害者保健福祉手帳所持者 (n=198)	2.0	0.5	1.5	0.5	18.7	26.8	37.9	12.6	2.5	20.7
	自立支援医療受給者証所持者 (n=245)	4.1	3.7	3.7	0.4	18.8	20.8	32.2	17.1	7.8	22.9
	特定医療費受給者証所持者 (n=200)	3.0	2.5	1.0	0.0	20.0	18.5	37.0	19.0	5.5	21.0

※表側は複数回答のため、対象者が重複している。

第2部 調査結果の概要

(5) 相談支援

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層 (再掲)	未利用者層 (再掲)	
所持手帳の種類		希望通り 利用でき ている	利用して いるが希 望通りで はない	利用した いが事業 所に空き がない	利用した い事業所 がない	今後、利 用したい						
全体	(N=1,419)	11.4	2.9	0.6	1.1	24.9	11.6	25.6	22.3	14.3	26.6	
所持手帳の種類	身体障害者手帳所持者	(n=882)	10.0	1.8	0.3	0.7	24.0	11.3	26.1	26.0	11.8	25.0
	愛の手帳所持者	(n=234)	29.9	6.4	1.7	3.0	26.5	5.1	13.2	14.5	36.3	31.2
	精神障害者保健福祉手帳所持者	(n=198)	18.2	7.1	1.0	1.5	29.3	11.6	24.2	8.1	25.3	31.8
	自立支援医療受給者証所持者	(n=245)	18.0	7.8	1.2	2.9	25.3	10.6	22.0	13.1	25.8	29.4
	特定医療費受給者証所持者	(n=200)	7.5	2.5	0.0	0.5	25.0	11.0	35.0	18.5	10.0	25.5

※表側は複数回答のため、対象者が重複している。

(6) 移動支援

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層 (再掲)	未利用者層 (再掲)	
所持手帳の種類		希望通り 利用でき ている	利用して いるが希 望通りで はない	利用した いが事業 所に空き がない	利用した い事業所 がない	今後、利 用したい						
全体	(N=1,419)	4.4	2.7	1.0	1.2	18.4	18.3	30.3	24.2	7.1	20.6	
所持手帳の種類	身体障害者手帳所持者	(n=882)	4.8	2.4	0.9	0.8	19.4	15.6	28.9	27.9	7.2	21.1
	愛の手帳所持者	(n=234)	15.4	11.5	4.3	3.4	20.5	13.7	18.4	14.1	26.9	28.2
	精神障害者保健福祉手帳所持者	(n=198)	3.5	2.0	0.5	1.0	15.2	28.3	36.9	12.6	5.5	16.7
	自立支援医療受給者証所持者	(n=245)	7.8	4.1	1.6	1.6	16.7	20.0	31.0	17.6	11.9	19.9
	特定医療費受給者証所持者	(n=200)	3.5	2.5	0.0	1.0	16.0	15.0	41.5	20.5	6.0	17.0

※表側は複数回答のため、対象者が重複している。

(7) 意思疎通支援

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層 (再掲)	未利用者層 (再掲)	
所持手帳の種類		希望通り 利用でき ている	利用して いるが希 望通りで はない	利用した いが事業 所に空き がない	利用した い事業所 がない	今後、利 用したい						
全体	(N=1,419)	1.6	0.5	0.1	0.3	6.2	24.3	39.3	28.0	2.1	6.6	
所持手帳の種類	身体障害者手帳所持者	(n=882)	2.2	0.8	0.1	0.2	7.0	21.5	37.2	31.2	3.0	7.3
	愛の手帳所持者	(n=234)	1.7	0.0	0.0	0.9	4.7	25.2	40.6	26.9	1.7	5.6
	精神障害者保健福祉手帳所持者	(n=198)	1.5	0.0	0.0	0.0	3.5	34.8	45.5	14.6	1.5	3.5
	自立支援医療受給者証所持者	(n=245)	1.2	0.0	0.4	0.0	4.1	29.0	43.3	22.4	1.2	4.5
	特定医療費受給者証所持者	(n=200)	0.5	0.0	0.0	0.0	6.0	19.5	51.0	23.0	0.5	6.0

※表側は複数回答のため、対象者が重複している。

(8) 補装具・日常生活用具費の支給

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層 (再掲)	未利用者層 (再掲)	
所持手帳の種類		希望通り 利用でき ている	利用して いるが希 望通りで はない	利用した いが事業 所に空き がない	利用した い事業所 がない	今後、利 用したい						
全体	(N=1,419)	9.8	4.6	0.1	0.3	16.8	16.1	29.2	23.5	14.4	17.2	
所持手帳の種類	身体障害者手帳所持者	(n=882)	14.5	6.9	0.1	0.2	21.1	10.3	22.9	24.4	21.4	21.4
	愛の手帳所持者	(n=234)	13.7	5.6	0.0	0.9	4.7	22.6	29.5	23.1	19.3	5.6
	精神障害者保健福祉手帳所持者	(n=198)	3.5	0.5	0.0	0.0	9.1	28.8	44.4	13.6	4.0	9.1
	自立支援医療受給者証所持者	(n=245)	6.5	2.9	0.0	0.4	10.6	23.7	36.3	20.0	9.4	11.0
	特定医療費受給者証所持者	(n=200)	9.5	2.5	0.0	0.5	17.0	13.0	39.0	18.5	12.0	17.5

※表側は複数回答のため、対象者が重複している。

【身体障害者手帳の記載項目別】

- ・ 視覚障害は、＜利用者層＞では『補装具・日常生活用具費の支給』（16.7%）、＜未利用者層＞では『訪問系サービス』（36.7%）が最も多い。
- ・ 聴覚障害は、＜利用者層＞では『補装具・日常生活用具費の支給』（30.5%）、＜未利用者層＞では『相談支援』（22.2%）が最も多い。
- ・ 音声・言語・そしゃく・平衡機能障害は、＜利用者層＞では『補装具・日常生活用具費の支給』（31.4%）、＜未利用者層＞では『日中活動系サービス』（25.7%）が最も多い。
- ・ 肢体不自由（上肢・下肢・体幹の障害）は、＜利用者層＞では『補装具・日常生活用具費の支給』（31.3%）、＜未利用者層＞では『相談支援』（24.5%）が最も多い。
- ・ 内部障害は、＜利用者層＞では『補装具・日常生活用具費の支給』（7.9%）、＜未利用者層＞では『相談支援』（27.8%）が最も多い。

図表 障害福祉サービスの利用状況・利用意向(全体、身体障害者手帳記載項目別)

(1) 訪問系サービス

		利用者層		未利用者層		利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)	
		希望通り利用できる	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したいが事業所に空きがない						
		今後、利用したい	今後、利用したい								
全体	(N=1,419)	9.4	3.0	0.6	0.8	19.0	16.8	30.1	21.3	12.4	20.4
身体障害者手帳に記載された項目	視覚障害 (n=60)	11.7	1.7	0.0	0.0	36.7	13.3	13.3	25.0	13.4	36.7
	聴覚障害 (n=95)	5.3	2.1	0.0	0.0	12.6	20.0	30.5	29.5	7.4	12.6
	音声・言語・そしゃく・平衡機能障害 (n=35)	20.0	2.9	0.0	2.9	11.4	17.1	28.6	17.1	22.9	14.3
	肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害) (n=428)	18.0	6.8	1.2	0.9	18.5	12.9	21.5	21.3	24.8	20.6
	内部障害 (n=316)	3.2	0.9	0.3	0.0	23.7	15.8	30.1	26.6	4.1	24.0

(2) 日中活動系サービス

		利用者層		未利用者層		利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)	
		希望通り利用できる	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したいが事業所に空きがない						
		今後、利用したい	今後、利用したい								
全体	(N=1,419)	9.9	3.2	0.7	1.1	12.3	18.7	30.5	24.0	13.1	14.1
身体障害者手帳に記載された項目	視覚障害 (n=60)	8.3	5.0	0.0	0.0	18.3	15.0	25.0	30.0	13.3	18.3
	聴覚障害 (n=95)	9.5	4.2	0.0	1.1	10.5	18.9	30.5	26.3	13.7	11.6
	音声・言語・そしゃく・平衡機能障害 (n=35)	8.6	8.6	5.7	5.7	14.3	14.3	37.1	14.3	17.2	25.7
	肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害) (n=428)	13.6	6.1	0.9	1.2	12.4	17.1	25.2	24.8	19.7	14.5
	内部障害 (n=316)	1.6	0.9	0.3	0.3	14.9	18.7	32.6	31.0	2.5	15.5

(3) 居住系サービス

		利用者層		未利用者層		利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)	
		希望通り利用できる	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したいが事業所に空きがない						
		今後、利用したい	今後、利用したい								
全体	(N=1,419)	2.4	0.7	1.8	1.0	17.3	21.7	31.6	24.3	3.1	20.1
身体障害者手帳に記載された項目	視覚障害 (n=60)	1.7	0.0	0.0	0.0	16.7	18.3	35.0	28.3	1.7	16.7
	聴覚障害 (n=95)	2.1	2.1	0.0	0.0	13.7	16.8	34.7	30.5	4.2	13.7
	音声・言語・そしゃく・平衡機能障害 (n=35)	5.7	0.0	0.0	0.0	5.7	25.7	40.0	22.9	5.7	5.7
	肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害) (n=428)	3.0	1.2	2.1	0.5	17.1	23.1	26.6	26.9	4.2	19.7
	内部障害 (n=316)	1.3	0.3	0.6	0.3	17.7	19.3	32.0	29.1	1.6	18.6

(4) 短期入所サービス

		利用者層		未利用者層		利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)	
		希望通り利用できる	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したいが事業所に空きがない						
		今後、利用したい	今後、利用したい								
全体	(N=1,419)	3.9	3.2	1.6	0.8	19.5	20.0	29.2	22.8	7.1	21.9
身体障害者手帳に記載された項目	視覚障害 (n=60)	5.0	3.3	0.0	0.0	20.0	15.0	25.0	31.7	8.3	20.0
	聴覚障害 (n=95)	3.2	2.1	1.1	2.1	16.8	18.9	27.4	29.5	5.3	20.0
	音声・言語・そしゃく・平衡機能障害 (n=35)	5.7	0.0	2.9	2.9	14.3	22.9	37.1	17.1	5.7	20.1
	肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害) (n=428)	7.0	6.3	2.3	0.9	20.8	18.5	22.9	23.1	13.3	24.0
	内部障害 (n=316)	0.9	0.6	0.0	0.0	21.8	19.3	29.4	28.5	1.5	21.8

第2部 調査結果の概要

(5) 相談支援

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層 (再掲)	未利用者層 (再掲)
		希望通り 利用でき ている	利用して いるが希 望通りで はない	利用した いが事業 所に空き がない	利用した いが事業 所に空き がない	今後、利 用したい					
全体	(N=1,419)	11.4	2.9	0.6	1.1	24.9	11.6	25.6	22.3	14.3	26.6
身体障害者手帳に記載された項目											
	視覚障害 (n=60)	8.3	0.0	0.0	1.7	25.0	10.0	23.3	31.7	8.3	26.7
	聴覚障害 (n=95)	8.4	2.1	1.1	1.1	20.0	9.5	29.5	29.5	10.5	22.2
	音声・言語・そしゃく・平衡機能障害 (n=35)	17.1	0.0	2.9	2.9	17.1	8.6	40.0	14.3	17.1	22.9
	肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害) (n=428)	15.9	3.3	0.2	1.2	23.1	10.7	22.7	23.1	19.2	24.5
	内部障害 (n=316)	2.5	0.6	0.0	0.3	27.5	12.7	28.2	28.5	3.1	27.8

(6) 移動支援

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層 (再掲)	未利用者層 (再掲)
		希望通り 利用でき ている	利用して いるが希 望通りで はない	利用した いが事業 所に空き がない	利用した いが事業 所に空き がない	今後、利 用したい					
全体	(N=1,419)	4.4	2.7	1.0	1.2	18.4	18.3	30.3	24.2	7.1	20.6
身体障害者手帳に記載された項目											
	視覚障害 (n=60)	8.3	5.0	1.7	0.0	31.7	8.3	18.3	30.0	13.3	33.4
	聴覚障害 (n=95)	5.3	1.1	0.0	2.1	11.6	15.8	34.7	29.5	6.4	13.7
	音声・言語・そしゃく・平衡機能障害 (n=35)	2.9	0.0	0.0	0.0	5.7	28.6	42.9	20.0	2.9	5.7
	肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害) (n=428)	6.5	4.2	1.6	0.9	20.1	15.2	26.2	25.9	10.7	22.6
	内部障害 (n=316)	1.6	0.3	0.0	0.3	19.0	16.5	32.0	30.7	1.9	19.3

(7) 意思疎通支援

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層 (再掲)	未利用者層 (再掲)
		希望通り 利用でき ている	利用して いるが希 望通りで はない	利用した いが事業 所に空き がない	利用した いが事業 所に空き がない	今後、利 用したい					
全体	(N=1,419)	1.6	0.5	0.1	0.3	6.2	24.3	39.3	28.0	2.1	6.6
身体障害者手帳に記載された項目											
	視覚障害 (n=60)	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	18.3	38.3	33.3	0.0	10.0
	聴覚障害 (n=95)	14.7	6.3	1.1	1.1	14.7	7.4	30.5	25.3	21.0	16.9
	音声・言語・そしゃく・平衡機能障害 (n=35)	8.6	2.9	0.0	0.0	11.4	22.9	34.3	20.0	11.5	11.4
	肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害) (n=428)	1.2	0.5	0.0	0.2	4.4	24.1	38.1	31.5	1.7	4.6
	内部障害 (n=316)	0.3	0.0	0.0	0.0	7.3	21.5	38.6	32.6	0.3	7.3

(8) 補装具・日常生活用具費の支給

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層 (再掲)	未利用者層 (再掲)
		希望通り 利用でき ている	利用して いるが希 望通りで はない	利用した いが事業 所に空き がない	利用した いが事業 所に空き がない	今後、利 用したい					
全体	(N=1,419)	9.8	4.6	0.1	0.3	16.8	16.1	29.2	23.5	14.4	17.2
身体障害者手帳に記載された項目											
	視覚障害 (n=60)	10.0	6.7	0.0	0.0	28.3	10.0	18.3	26.7	16.7	28.3
	聴覚障害 (n=95)	10.5	20.0	0.0	1.1	15.8	8.4	17.9	27.4	30.5	16.9
	音声・言語・そしゃく・平衡機能障害 (n=35)	20.0	11.4	0.0	0.0	11.4	17.1	28.6	11.4	31.4	11.4
	肢体不自由(上肢・下肢・体幹の障害) (n=428)	22.4	8.9	0.2	0.2	23.1	7.2	17.1	21.0	31.3	23.5
	内部障害 (n=316)	6.0	1.9	0.0	0.0	20.3	14.6	30.1	27.5	7.9	20.3

【重度心身障害者】

- ・ 身体障害者手帳（1級または2級）および愛の手帳（1度または2度）の所持者は33人である。
- ・ <利用者層>では『日中活動系サービス』、『補装具・日常生活用具費の支給』がともに27人で最も多く、次いで『短期入所サービス』、『訪問系サービス』が続いている。
- ・ <未利用者層>では『居住系サービス』が最も多く、次いで『移動支援』、『相談支援』が続いている。

図表 障害福祉サービスの利用状況・利用意向(重度心身障害者)

		利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層 (再掲)	未利用者層 (再掲)
		希望通り 利用でき ている	利用して いるが希 望通りで はない	利用した いが事業 所に空き がない	利用した いが事業 所に空き がない	今後、利 用したい					
(1) 訪問系サービス	(n=33)	14	7	0	1	5	1	2	4	21	6
(2) 日中活動系サービス	(n=33)	21	6	0	0	0	1	4	1	27	0
(3) 居住系サービス	(n=33)	1	2	4	1	14	4	4	4	3	19
(4) 短期入所サービス	(n=33)	6	16	5	1	1	2	3	3	22	7
(5) 相談支援	(n=33)	16	2	0	2	6	0	6	1	18	8
(6) 移動支援	(n=33)	4	9	4	1	8	0	7	3	13	13
(7) 意思疎通支援	(n=33)	0	0	0	0	1	8	18	6	0	1
(8) 補装具・日常生活用具費の支給	(n=33)	18	9	0	0	1	2	3	0	27	1

【障害の種類×年代】

(短期入所サービス)

- ・身体障害者は、年齢が上がるほど、「今後、利用したい」が多くなっている。18～39歳は21人中9人(42.9%)が「利用したくない」と回答しており、回答者はすべて「本人」である。
- ・知的障害者は、「利用しているが希望通りではない」が18～39歳で全体より10ポイント以上、40～64歳で全体より5ポイント以上高い。
- ・精神障害者は、65歳以上で「今後、利用したい」が全体より10ポイント以上高い。
- ・難病患者は、年齢が上がるほど、「今後、利用したい」が多くなっている。

(相談支援)

- ・身体障害者は、年齢が上がるほど、「今後、利用したい」が多くなっている。
- ・知的障害者は、18～39歳で「希望通り利用できている」は20ポイント以上、「今後利用したい」も全体より5ポイント程度高く、現在の利用状況、今後の利用意向ともに高い。
- ・精神障害者は、18～39歳で「希望通り利用できている」は10ポイント程度、「今後利用したい」も全体より5ポイント以上高く、現在の利用状況、今後の利用意向ともに高い。40～64歳は「希望通り利用できている」が全体より5ポイント以上高い。
- ・難病患者は、65歳以上で「希望通り利用できている」が1割台である。いずれの年代も「今後、利用したい」が2割以上である。

図表 障害福祉サービスの利用状況・利用意向(全体、障害等の種類×年代別)

(4) 短期入所サービス(障害の種類×年代)

			利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)	
			希望通り利用できている	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい						
全体		(N=1,419)	3.9	3.2	1.6	0.8	19.5	20.0	29.2	22.8	7.1	21.9	
障害等の種類×年代	身体障害者	18～39歳 (n=21)	4.8	0.0	4.8	0.0	9.5	42.9	33.3	4.8	4.8	14.3	
		40～64歳 (n=192)	2.1	1.0	1.0	0.5	12.0	29.2	36.5	18.8	3.1	13.5	
		65歳以上 (n=533)	3.6	0.8	0.4	0.6	24.4	15.8	24.6	30.4	4.4	25.4	
	知的障害者	18～39歳 (n=124)	12.1	19.4	5.6	4.8	20.2	14.5	17.7	11.3		31.5	30.6
		40～64歳 (n=40)	10.0	10.0	0.0	2.5	12.5	15.0	27.5	22.5		20.0	15.0
		65歳以上 (n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	22.2	44.4		0.0	22.2
	精神障害者	18～39歳 (n=125)	7.2	6.4	6.4	0.0	21.6	25.6	26.4	8.0		13.6	28.0
		40～64歳 (n=156)	0.6	0.6	0.6	0.6	15.4	22.4	41.0	18.6		1.2	16.6
		65歳以上 (n=21)	4.8	4.8	0.0	0.0	33.3	19.0	14.3	28.6		9.6	33.3
	難病患者	18～39歳 (n=33)	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	24.2	66.7	3.0		0.0	6.1
		40～64歳 (n=56)	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	23.2	42.9	19.6		0.0	14.3
		65歳以上 (n=35)	2.9	0.0	0.0	0.0	17.1	20.0	28.6	31.4		2.9	17.1

(5) 相談支援(障害の種類×年代)

			利用者層		未利用者層			利用したくない	分からない	無回答	利用者層(再掲)	未利用者層(再掲)	
			希望通り利用できている	利用しているが希望通りではない	利用したいが事業所に空きがない	利用したい事業所がない	今後、利用したい						
全体		(N=1,419)	11.4	2.9	0.6	1.1	24.9	11.6	25.6	22.3	14.3	26.6	
障害等の種類×年代	身体障害者	18～39歳 (n=21)	9.5	4.8	0.0	0.0	14.3	28.6	38.1	4.8	14.3	14.3	
		40～64歳 (n=192)	5.2	2.6	0.5	0.5	25.0	14.6	31.8	20.3	7.8	26.0	
		65歳以上 (n=533)	6.6	0.8	0.2	0.4	25.1	10.3	25.9	31.0	7.4	25.7	
	知的障害者	18～39歳 (n=124)	33.9	5.6	1.6	3.2	29.8	5.6	9.7	11.3		39.5	34.6
		40～64歳 (n=40)	22.5	5.0	2.5	0.0	17.5	7.5	25.0	20.0		27.5	20.0
		65歳以上 (n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	33.3	44.4		0.0	11.1
	精神障害者	18～39歳 (n=125)	20.0	7.2	0.8	2.4	31.2	11.2	20.0	7.2		27.2	34.4
		40～64歳 (n=156)	18.6	5.8	1.3	2.6	21.2	12.2	26.9	12.8		24.4	25.1
		65歳以上 (n=21)	14.3	9.5	0.0	0.0	28.6	9.5	19.0	19.0		23.8	28.6
	難病患者	18～39歳 (n=33)	0.0	0.0	0.0	0.0	24.2	15.2	57.6	3.0		0.0	24.2
		40～64歳 (n=56)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	19.6	37.5	17.9		0.0	25.0
		65歳以上 (n=35)	14.3	0.0	0.0	0.0	22.9	8.6	25.7	28.6		14.3	22.9

問6-1 障害者福祉サービスの満足度は、次のうちどれですか。(1つに○)

- ・「満足」(30.2%)と「やや満足」(35.4%)をあわせた<満足層>は65.6%である。「やや不満」(17.5%)と「不満」(3.9%)をあわせた<不満層>は21.4%である。

図表 障害福祉サービスの満足度(全体)
<障害福祉サービスを利用している人>

(%)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者、知的障害者、精神障害者の<満足層(身体：66.8%、知的：64.6%、精神：66.1%)>は、全体(65.6%)とあまり変わらない。

【重度心身障害者】

- ・重度心身障害者33人のうち、問6の(1)～(8)で1つでも「希望通り利用できている」、「利用しているが希望通りではない」と回答した28人に障害者福祉サービスの満足度をたずねた。<満足層>は、19人、<不満層>は9人である。

図表 障害福祉サービスの満足度(重度心身障害者)
<障害福祉サービスを利用している人>

(人)

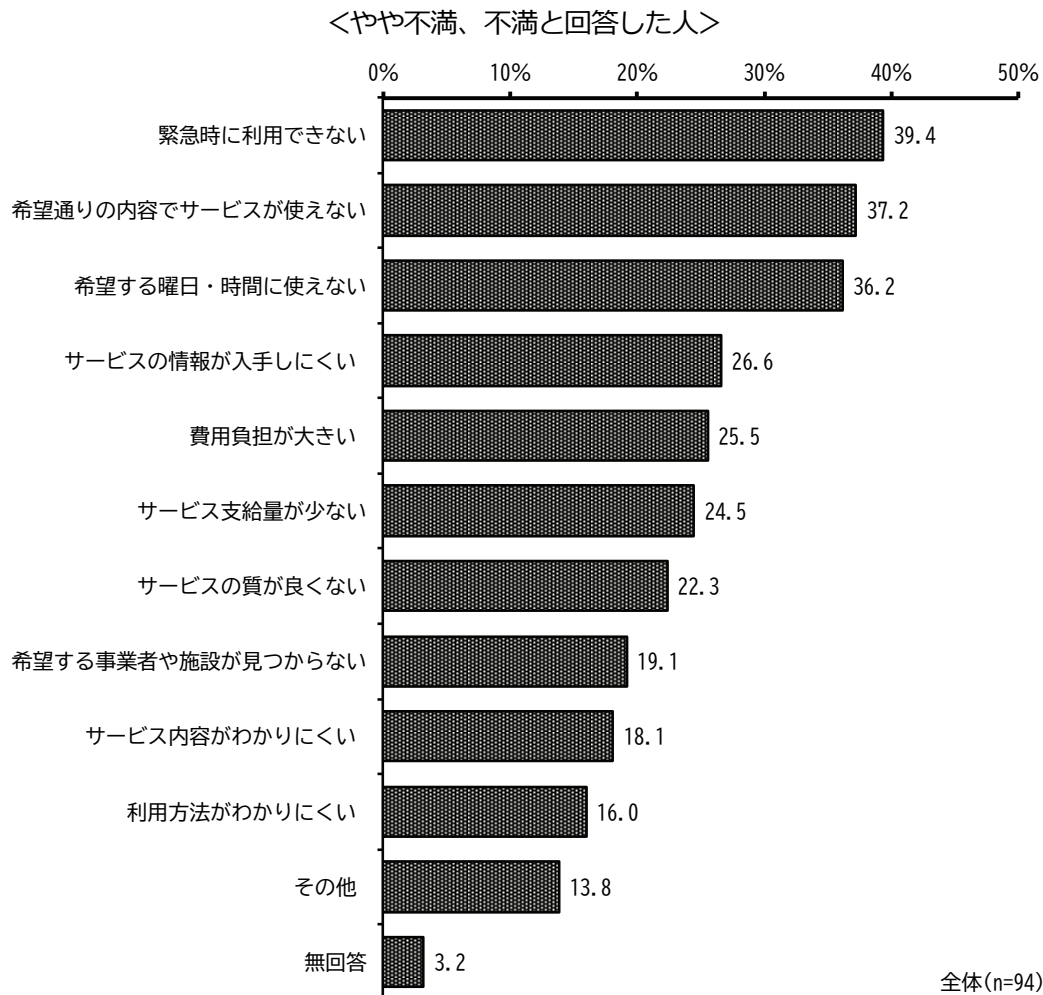
		満足層		不満層		満足層 (再掲)	不満層 (再掲)
		満足	やや満足	やや不満	不満		
重度心身障害者	(n=28)	7	12	6	3	19	9

問6-2 問6-1で「3」「4」と答えた方におたずねします。

サービスの不満な理由は次のうちどれですか。(いくつでも○)

- ・ <不満層>にその理由をたずねたところ、「緊急時に利用できない」(39.4%)が最も多く、次いで「希望通りの内容でサービスが使えない」(37.2%)、「希望する曜日・時間に使えない」(36.2%)が続いている。

図表 サービスの不満な理由(全体：複数回答)

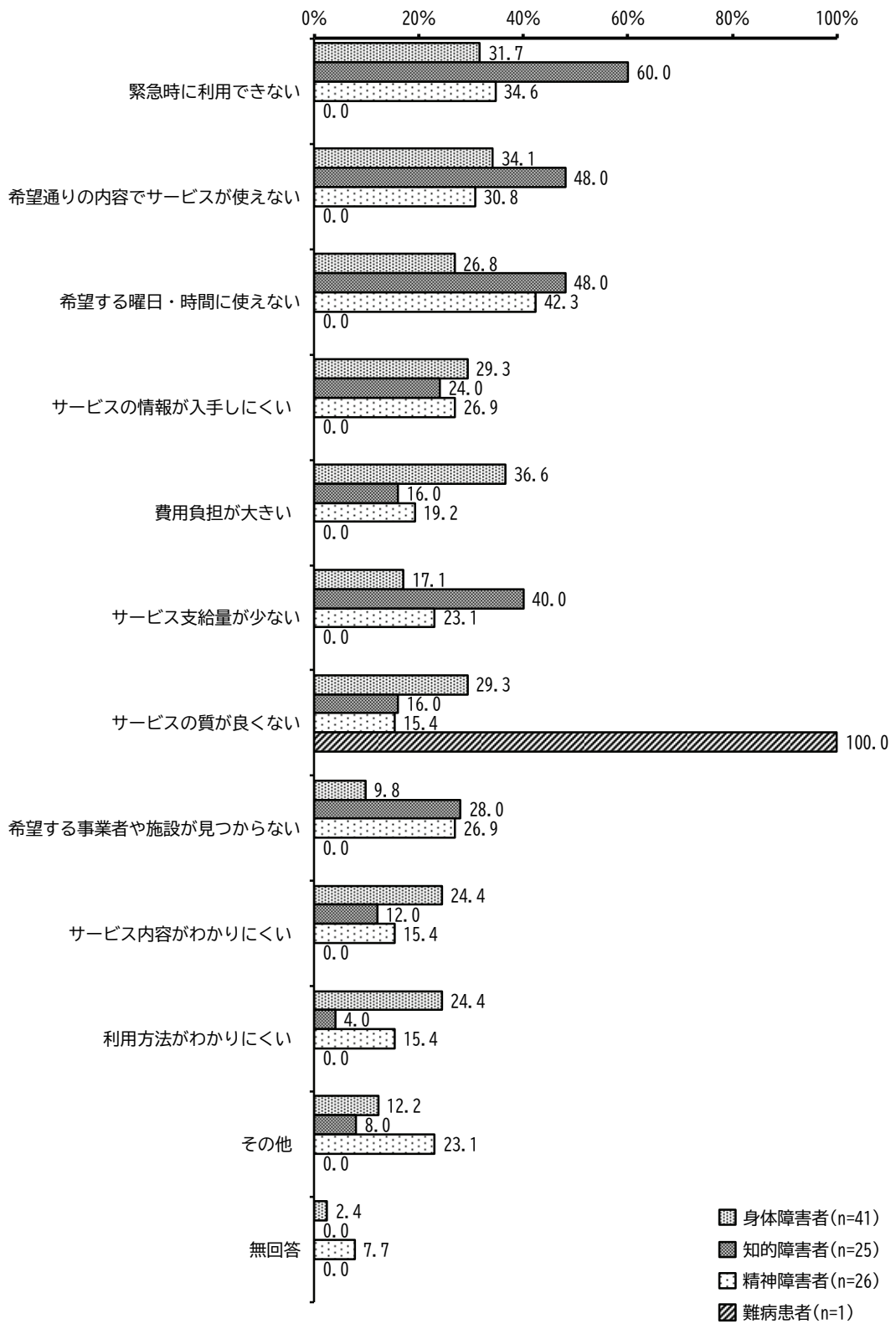


【障害等の種類別】

- ・ 身体障害者は「費用負担が大きい」(36.6%)が最も多く、次いで「希望通りの内容でサービスが使えない」(34.1%)、「緊急時に利用できない」(31.7%)が続いている。
- ・ 知的障害者は「緊急時に利用できない」(60.0%)が最も多く、次いで「希望通りの内容でサービスが使えない」(48.0%)と、「希望する曜日・時間に使えない」(48.0%)が同率で続いている。
- ・ 精神障害者は「希望する曜日・時間に使えない」(42.3%)が最も多く、次いで「緊急時に利用できない」(34.6%)、「希望通りの内容でサービスが使えない」(30.8%)が続いている。
- ・ 難病患者は回答者数が1人であるが、「サービスの質が良くない」と回答している。

図表 サービスの不満な理由(障害等の種類別：複数回答)

<やや不満、不満と回答した人>



【重度心身障害者】

- ・ 重度心身障害者 33 人のうち、問 6 の(1)～(8)で 1 つでも「やや不満」、「不満」と回答した 9 人に障害者福祉サービスの不満な理由をたずねた。
- ・ 「緊急時に利用できない」が 6 人と最も多く、次いで「希望通りの内容でサービスが使えない」、「サービス支給量が少ない」がそれぞれ 4 人で続いている。

図表 サービスの不満な理由(重度心身障害者：複数回答)

<やや不満、不満と回答した人>

		(人)											
		緊急時に 利用でき ない	希望通り の内容で サービス が使えな い	希望する 曜日・時 間に使え ない	サービス の情報が 入手しに くい	費用負担 が大きい	サービス 支給量が 少ない	サービス の質が良 くない	希望する 事業者や 施設が見 つからな い	サービス 内容がわ かりにく い	利用方法 がわかり にくい	その他	無回答
重度心身障害者	(n=9)	6	4	0	1	0	4	0	2	0	0	3	0

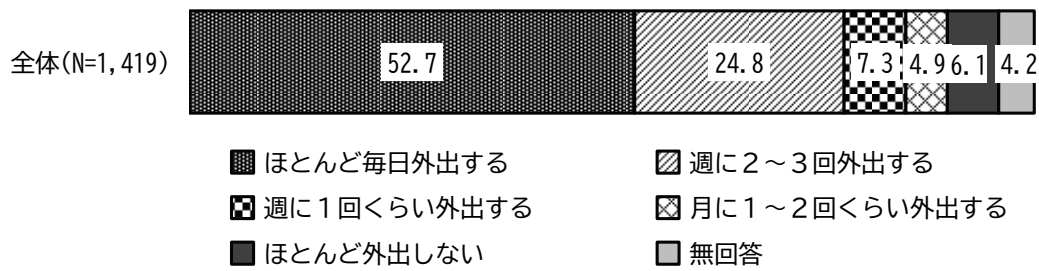
(5) 日ごろの活動について

問7 あなたは、普段の生活の中でどれくらい外出しますか。(1つに○)

- ・「ほとんど毎日外出する」(52.7%)が最も多く、「週に2～3回外出する」(24.8%)が続いている。

図表 外出の頻度(全体)

(%)

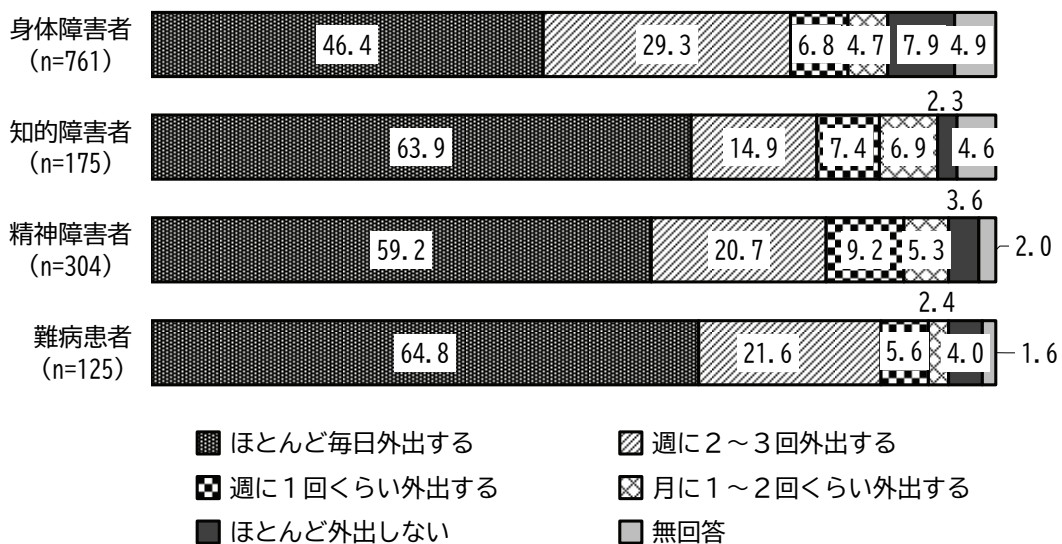


【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「ほとんど毎日外出する」(46.4%)が最も多く、「週に2～3回外出する」(29.3%)が続いている。
- ・知的障害者は「ほとんど毎日外出する」(63.9%)が最も多く、「週に2～3回外出する」(14.9%)が続いている。
- ・精神障害者は「ほとんど毎日外出する」(59.2%)が最も多く、「週に2～3回外出する」(20.7%)が続いている。
- ・難病患者は「ほとんど毎日外出する」(64.8%)が最も多く、「週に2～3回外出する」(21.6%)が続いている。

図表 外出の頻度(障害等の種類別)

(%)

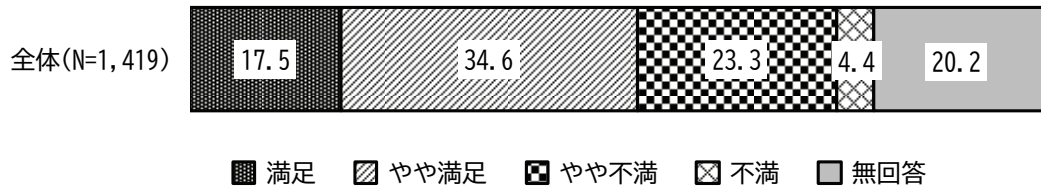


問8 市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度は、次のうちどれですか。(1つに○)

- ・「満足」(17.5%)と「やや満足」(34.6%)をあわせた<満足>は52.1%、「やや不満」(23.3%)と「不満」(4.4%)をあわせた<不満>は27.7%である。

図表 市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度(全体)

(%)

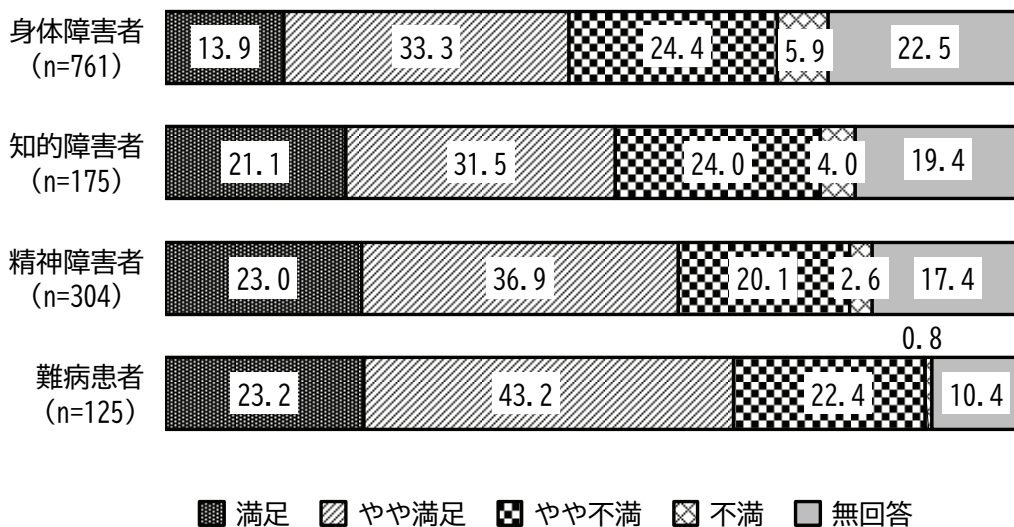


【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「満足」(13.9%)と「やや満足」(33.3%)をあわせた<満足>は47.2%、「やや不満」(24.4%)と「不満」(5.9%)をあわせた<不満>は30.3%である。
- ・知的障害者は「満足」(21.1%)と「やや満足」(31.5%)をあわせた<満足>は52.6%、「やや不満」(24.0%)と「不満」(4.0%)をあわせた<不満>は28.0%である。
- ・精神障害者は「満足」(23.0%)と「やや満足」(36.9%)をあわせた<満足>は59.9%、「やや不満」(20.1%)と「不満」(2.6%)をあわせた<不満>は22.7%である。
- ・難病患者は「満足」(23.2%)と「やや満足」(43.2%)をあわせた<満足>は66.4%、「やや不満」(22.4%)と「不満」(0.8%)をあわせた<不満>は23.2%である。

図表 市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度(障害等の種類別)

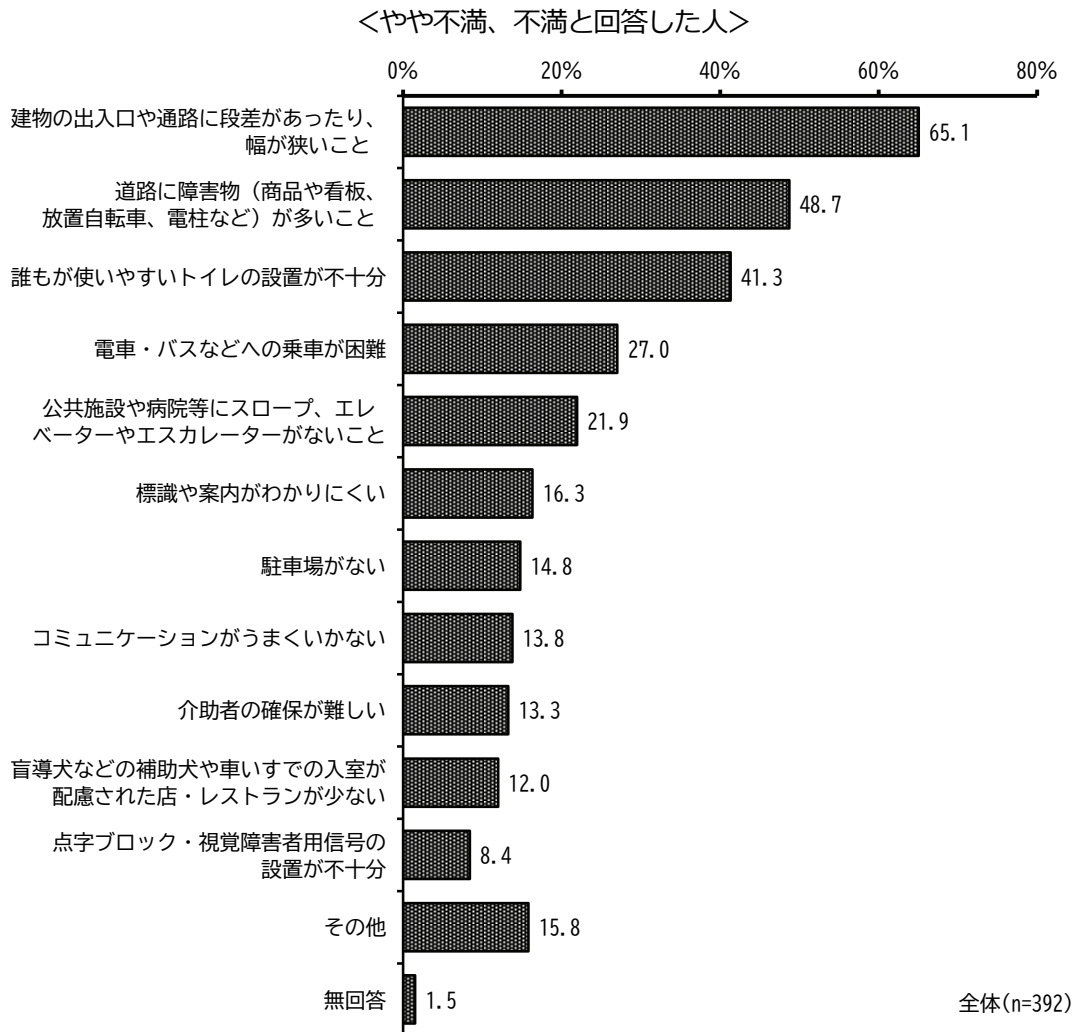
(%)



問8-1 問8で「3」「4」と答えた方におたずねします。バリアフリー環境の整備状況に不満な理由は次のうちどれですか。(いくつでも○)

- ・「建物の出入口や通路に段差があったり、幅が狭いこと」(65.1%)が最も多く、次いで「道路に障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が多いこと」(48.7%)、「誰もが使いやすいトイレの設置が不十分」(41.3%)が続いている。

図表 市内のバリアフリー環境の整備状況の不満な理由(全体：複数回答)

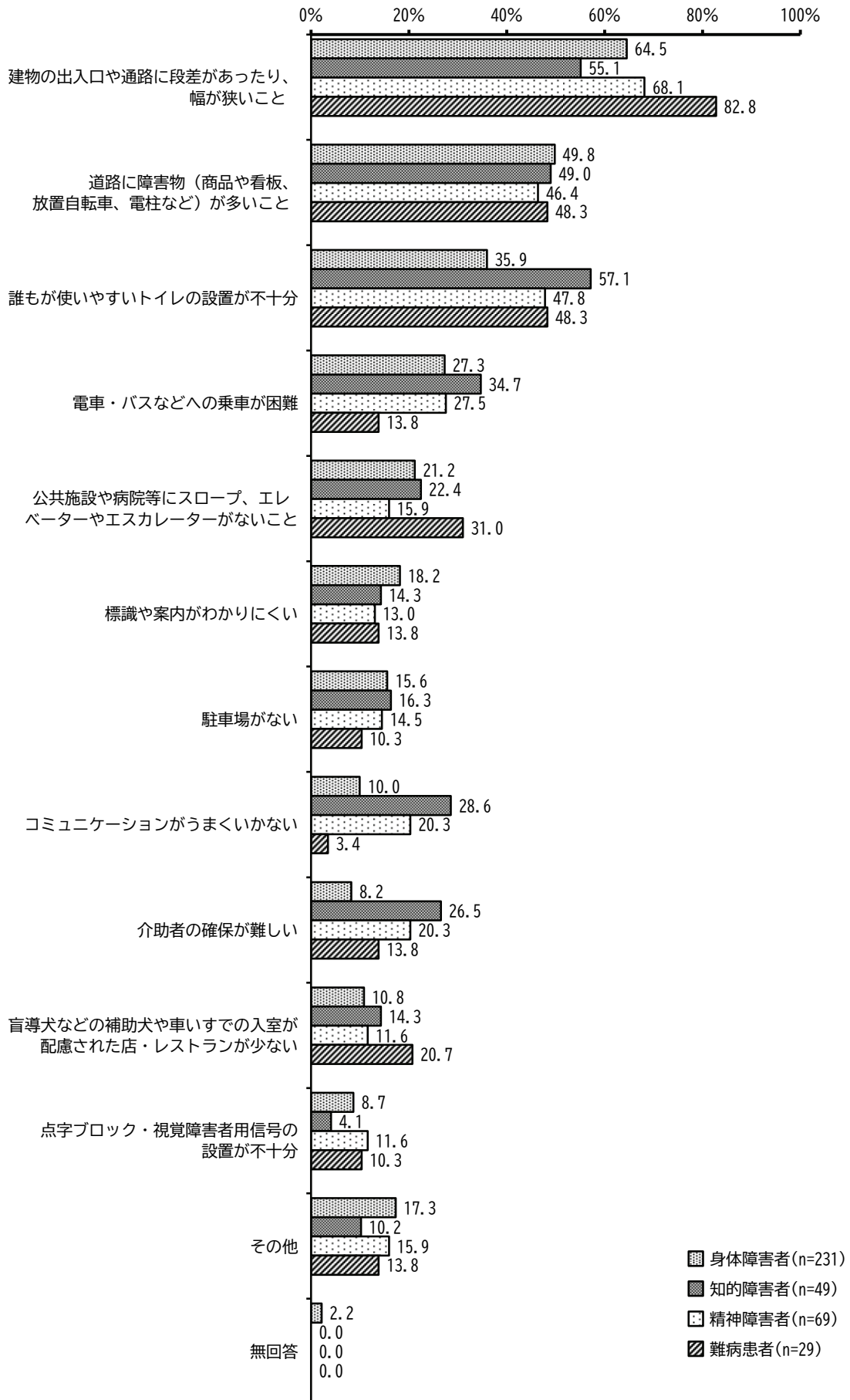


【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「建物の出入口や通路に段差があったり、幅が狭いこと」(64.5%)が最も多く、次いで「道路に障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が多いこと」(49.8%)、「誰もが使いやすいトイレの設置が不十分」(35.9%)が続いている。
- ・知的障害者は「誰もが使いやすいトイレの設置が不十分」(57.1%) が最も多く、次いで「建物の出入口や通路に段差があったり、幅が狭いこと」(55.1%)、「道路に障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が多いこと」(49.0%)が続いている。全体と比べて「コミュニケーションがうまくいかない」(28.6%)は14.8ポイント、「介助者の確保が難しい」(26.5%)は13.2ポイント高い。
- ・精神障害者は「建物の出入口や通路に段差があったり、幅が狭いこと」(68.1%)が最も多く、次いで「誰もが使いやすいトイレの設置が不十分」(47.8%)、「道路に障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が多いこと」(46.4%)が続いている。
- ・難病患者は「建物の出入口や通路に段差があったり、幅が狭いこと」(82.8%)が最も多く、次いで「道路に障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が多いこと」(48.3%)と「誰もが使いやすいトイレの設置が不十分」(48.3%)が同率で続いている。

図表 市内のバリアフリー環境の整備状況の不満な理由(障害等の種類別：複数回答)

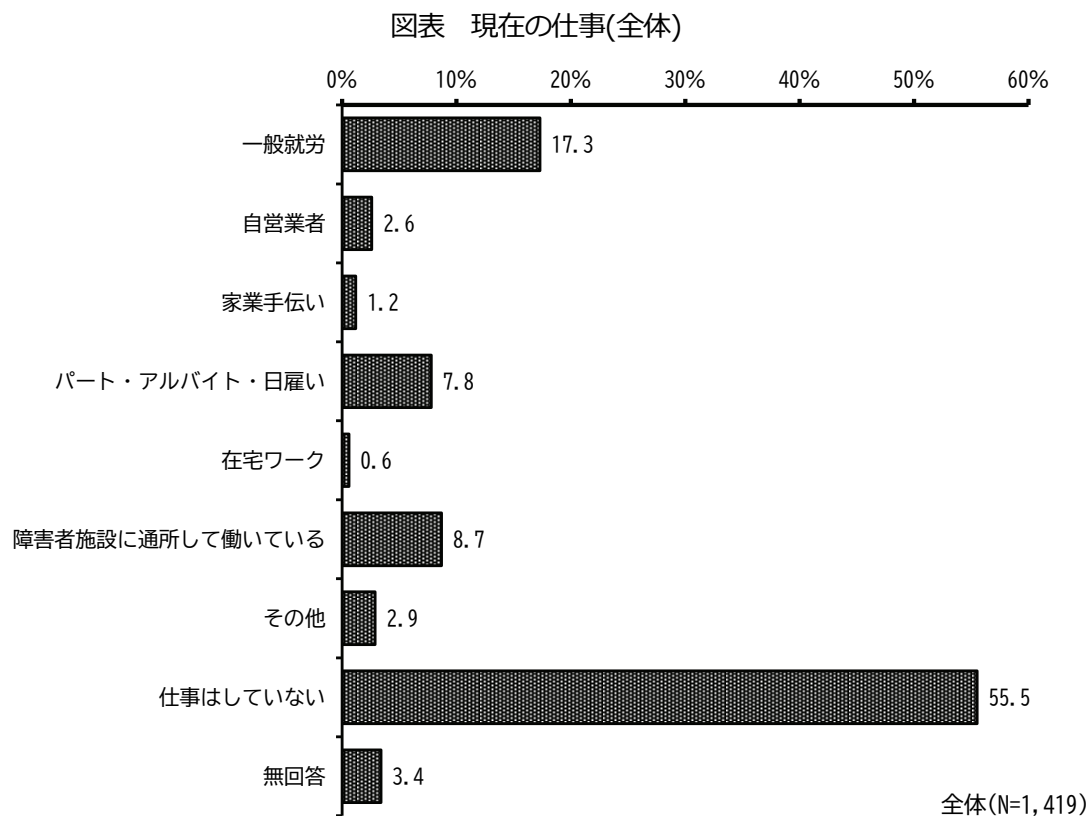
<やや不満、不満と回答した人>



(6) 就労について

問9 あなたは現在どのような仕事をしていますか。(1つに○)

- ・「仕事はしていない」(55.5%)と「無回答」(3.4%)を除くと、<仕事をしている人>は41.1%である。「一般就労」(17.3%)が最も多く、次いで「障害者施設に通所して働いている」(8.7%)、「パート・アルバイト・日雇い」(7.8%)が続いている。



【障害等の種類×年代別】

- ・身体障害者は18～39歳で52.4%、40～64歳で60.4%が仕事をしている。18～39歳は33.3%、40～64歳は40.6%が「一般就労」である。
- ・知的障害者は18～39歳で79.9%、40～64歳で67.5%が仕事をしている。18～39歳と40～64歳は「障害者施設に通所して働いている」（18～39歳：41.1%、40～64歳：42.5%）が最も多く、次いで「一般就労」（18～39歳：22.6%、40～64歳：12.5%）が多い。
- ・精神障害者は18～39歳で64.0%、40～64歳で47.4%が仕事をしている。18～39歳は「障害者施設に通所して働いている」（24.0%）が最も多く、次いで「一般就労」（18.4%）、「パート・アルバイト・日雇い」（13.6%）が続いている。40～64歳は「一般就労」（17.9%）が最も多く、次いで「パート・アルバイト・日雇い」（12.8%）、「障害者施設に通所して働いている」（10.3%）が続いている。40～64歳は、他の障害に比べ、仕事をしている人が少ない。
- ・難病患者は、18～39歳で78.8%、40～64歳で67.9%が仕事をしている。18～39歳は「一般就労」（45.5%）が最も多く、「パート・アルバイト・日雇い」（24.2%）が続いている。40～64歳は「一般就労」（51.7%）が最も多く、他は1割に満たない。

図表 現在の仕事(全体、障害等の種類×年代別)

			仕事をしている人							仕事はしていない	無回答	仕事をしている人(再掲)
			一般就労	障害者施設に通所して働いている	パート・アルバイト・日雇い	自営業者	家業手伝い	在宅ワーク	その他			
全体		(N=1,419)	17.3	8.7	7.8	2.6	1.2	0.6	2.9	55.5	3.4	41.1
障害等の種類×年代	身体障害者	18～39歳 (n=21)	33.3	0.0	9.5	0.0	0.0	4.8	4.8	47.6	0.0	52.4
		40～64歳 (n=192)	40.6	1.6	8.9	5.2	1.0	0.5	2.6	36.5	3.1	60.4
		65歳以上 (n=533)	3.2	0.6	4.5	3.0	1.3	0.6	1.9	81.5	3.4	15.1
	知的障害者	18～39歳 (n=124)	22.6	41.1	8.9	0.0	0.8	0.0	6.5	16.9	3.2	79.9
		40～64歳 (n=40)	12.5	42.5	10.0	2.5	0.0	0.0	25.0	7.5	67.5	
		65歳以上 (n=9)	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	77.8	11.1	11.1	
	精神障害者	18～39歳 (n=125)	18.4	24.0	13.6	0.8	1.6	0.0	5.6	35.2	0.8	64.0
		40～64歳 (n=156)	17.9	10.3	12.8	1.3	1.9	0.6	2.6	50.0	2.6	47.4
		65歳以上 (n=21)	0.0	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	71.4	9.5	19.1
	難病患者	18～39歳 (n=33)	45.5	0.0	24.2	0.0	3.0	6.1	0.0	21.2	0.0	78.8
		40～64歳 (n=56)	51.7	0.0	5.4	5.4	1.8	0.0	3.6	32.1	0.0	67.9
		65歳以上 (n=35)	8.6	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	85.6	2.9	11.5

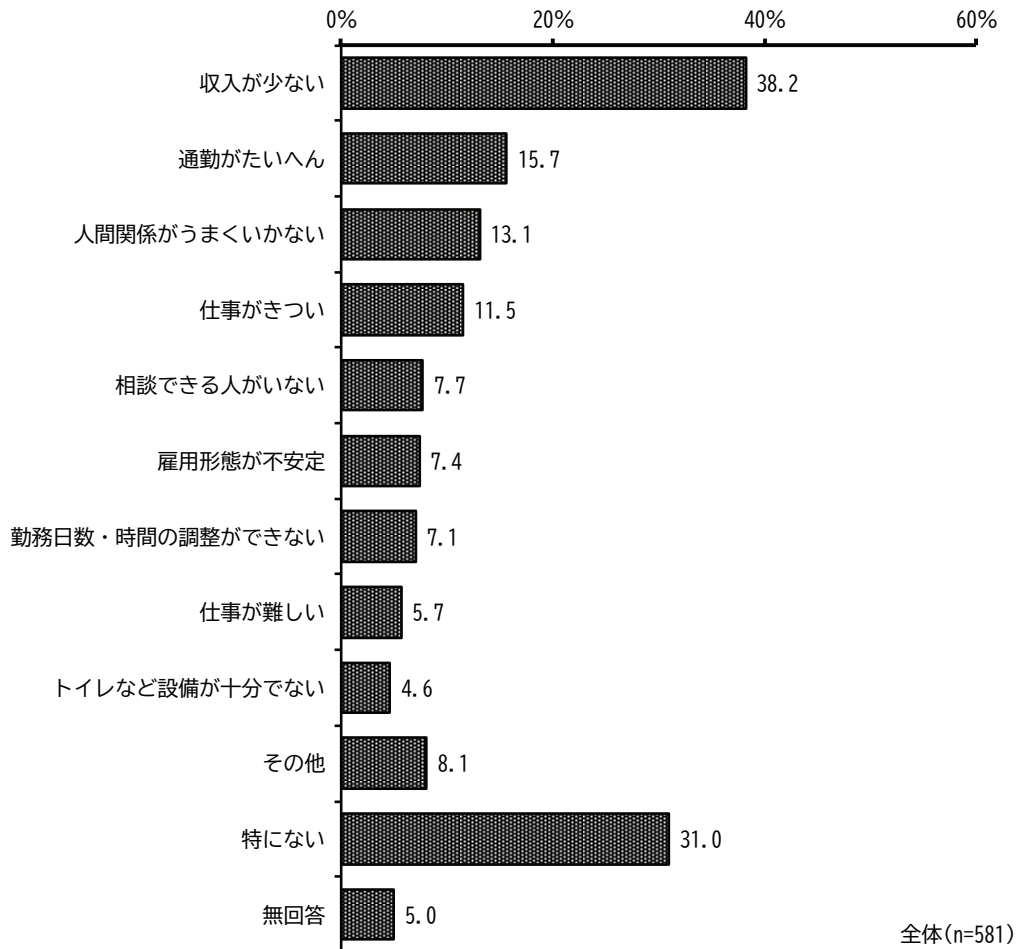
問9-1 問9で「1」～「7」と答えた方におたずねします。

仕事をするうえで不安がありますか。(いくつでも○)

- ・「収入が少ない」(38.2%)が最も多く、「通勤がたいへん」(15.7%)、「人間関係がうまくいかない」(13.1%)が続いている。

図表 仕事上の不安(全体：複数回答)

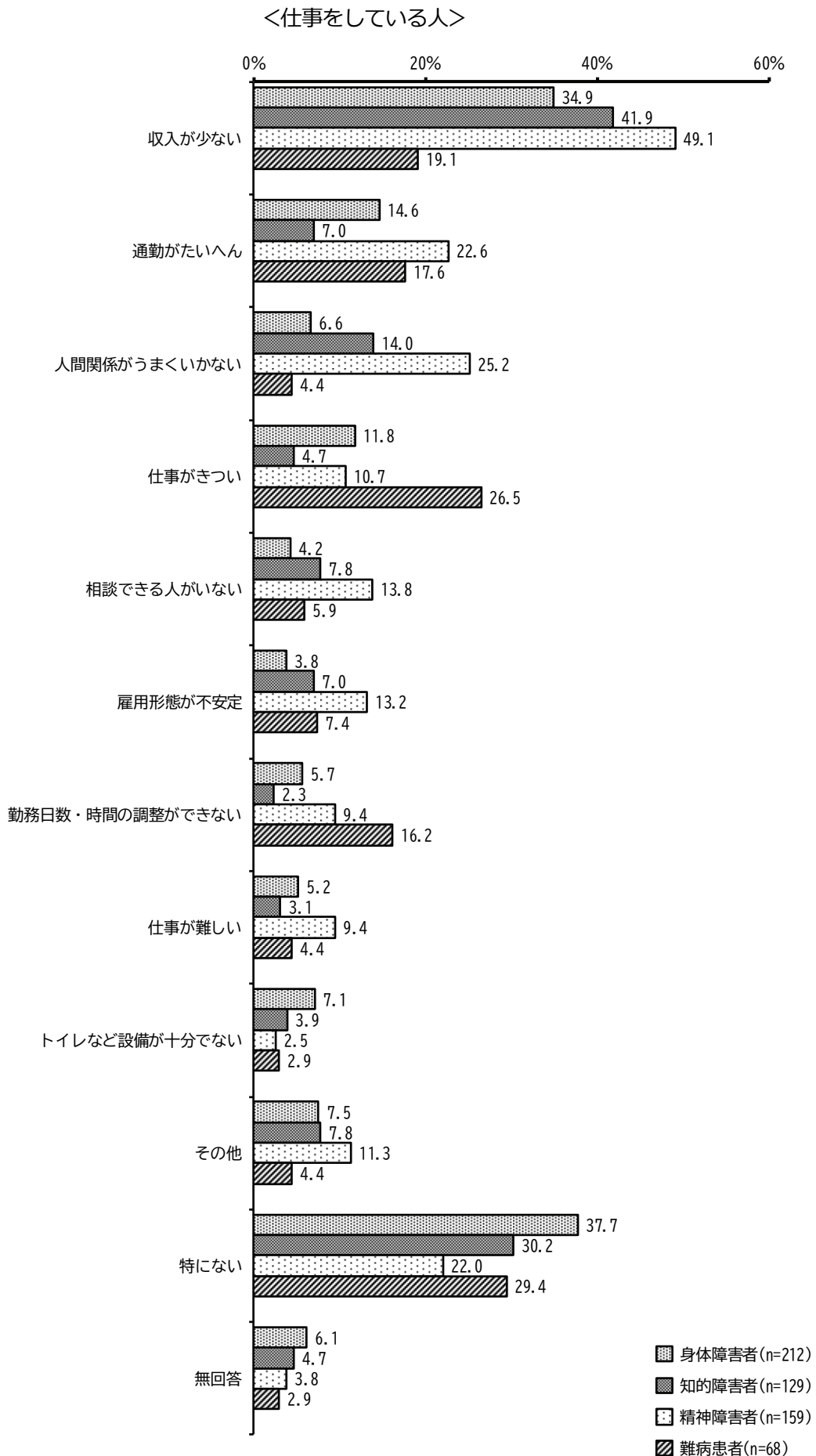
<仕事をしている人>



【障害等の種類別】

- ・身体障害者、知的障害者、精神障害者ともに、「収入が少ない」(身体：34.9%、知的：41.9%、精神：49.1%)が最も多い。
- ・「収入が少ない」以外では、身体障害者は「通勤がたいへん」(14.6%)、知的障害者と精神障害者は「人間関係がうまくいかない」(知的：14.0%、精神：25.2%)が続いている。
- ・精神障害者は「通勤がたいへん」(22.6%)が2割を超えている。また、「相談できる人がいない」(13.8%)は全体より6.1ポイント、「雇用形態が不安定」(13.2%)は全体より5.8ポイント高い。
- ・難病患者は、「仕事がつい」(26.5%)が最も多く、2割を超えている。

図表 仕事上の不安(障害等の種類別：複数回答)

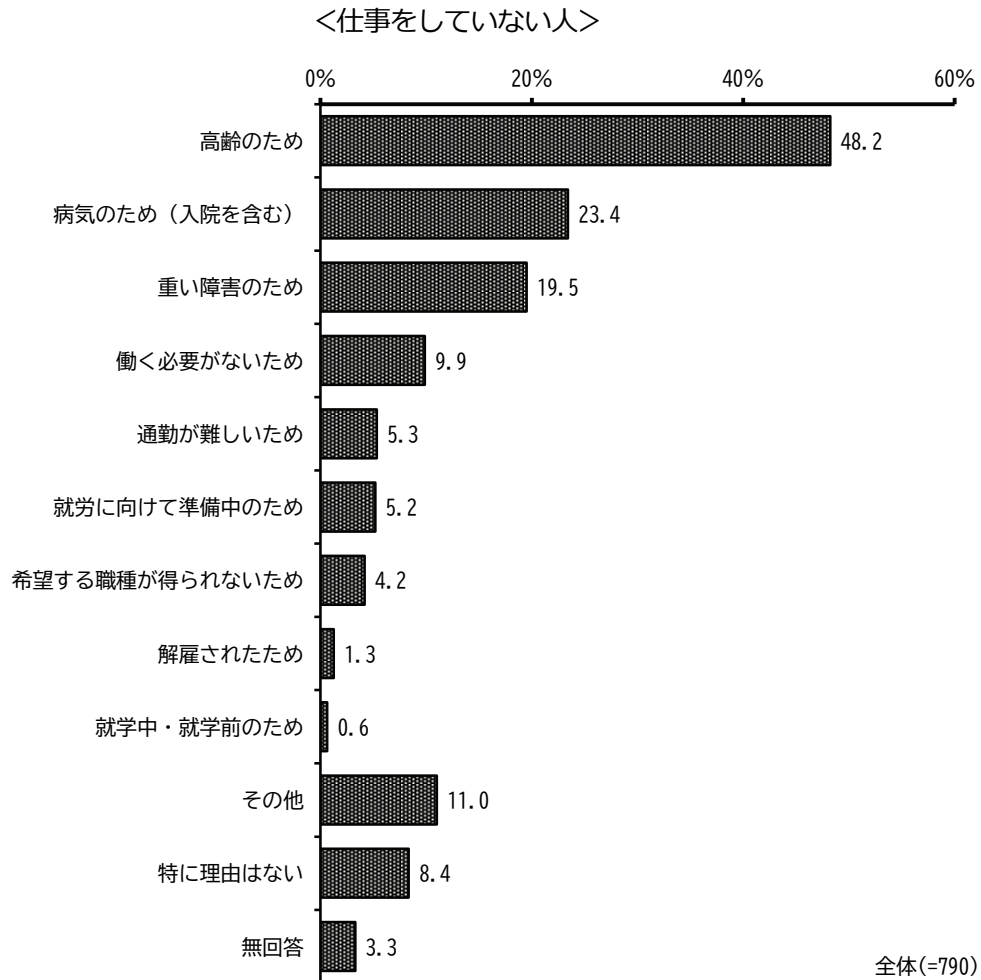


問9-2 問9で「8.仕事はしていない」と答えた方におたずねします。

仕事をしていない理由は次のどれですか。(いくつでも○)

- ・「高齢のため」(48.2%)が最も多く、「病気のため(入院を含む)」(23.4%)、「重い障害のため」(19.5%)が続いている。

図表 仕事をしていない理由(全体：複数回答)



【障害等の種類×年代別】

- ・「高齢のため」、「重い障害のため」、「病気のため(入院を含む)」以外の理由について、障害の種類・年代別に分析する。
- ・18～39歳は、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者のいずれも「就労に向けて準備中のため」(身体：30.0%、知的：14.3%、精神：25.0%、難病：28.6%)が多い。
- ・身体障害者は、18～39歳は「働く必要がないため」(20.0%)、「その他」(30.0%)も多い。「その他」の内容は、ペースメーカーが入っている、体調がよくない、子どもがいる、などがみられる。
- ・知的障害者は、18～39歳と40～64歳で「希望する職種が得られないため」(18～39歳：9.5%、40～64歳：10.0%)も1割程度である。
- ・精神障害者は、18～39歳は「就労に向けて準備中のため」(25.0%)が最も多く、「通勤が難しいため」(18.2%)、「その他」も多い。「その他」の内容は、体調が安定しない、通院日が多くそれほど休みがとれない、などがみられる。40～64歳は「希望する職種が得られないため」(12.8%)も多い。
- ・難病患者は、18～39歳で「通勤が難しいため」と「就労に向けて準備中のため」が7人中2人(28.6%)、「希望する職種が得られないため」と「解雇されたため」が7人中1人(14.3%)、40～64歳で「その他」(11.1%)が多い。「その他」の内容は、働ける体力がない、定年退職後再任用として働き卒業した、子どもが小さいためなどがみられる。65歳以上で「働く必要がないため」(20.0%)が多い。

図表 仕事をしていない理由(全体、障害等の種類×年代別：複数回答)

<仕事をしていない人>

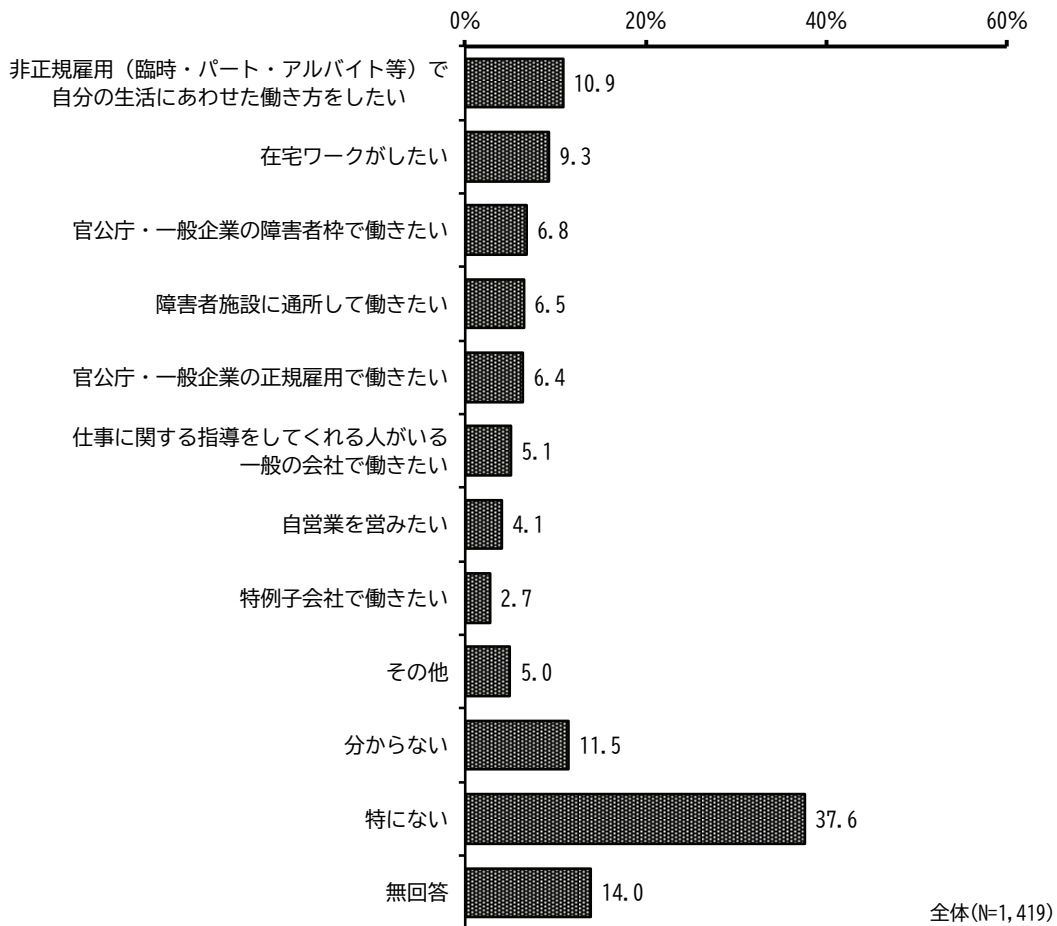
(%)

		高齢のため	病気のため(入院を含む)	重い障害のため	働く必要がないため	通勤が難しいため	就労に向けて準備中のため	希望する職種が得られないため	解雇されたため	就学中・就学前のため	その他	特に理由はない	無回答	
全体	(n=790)	48.2	23.4	19.5	9.9	5.3	5.2	4.2	1.3	0.6	11.0	8.4	3.3	
障害等の種類×年代	身体障害者													
	18～39歳	(n=10)	0.0	40.0	30.0	20.0	0.0	30.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	
	40～64歳	(n=70)	10.0	22.9	30.0	2.9	17.1	10.0	1.4	0.0	15.7	11.4	5.7	
	65歳以上	(n=435)	70.8	15.2	17.2	12.9	2.3	0.7	1.8	1.1	0.0	7.8	3.2	
	知的障害者													
	18～39歳	(n=21)	0.0	9.5	61.9	0.0	0.0	14.3	9.5	0.0	9.5	4.8	4.8	0.0
	40～64歳	(n=10)	0.0	10.0	50.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	65歳以上	(n=7)	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
	精神障害者													
	18～39歳	(n=44)	0.0	29.5	27.3	4.5	18.2	25.0	6.8	0.0	4.5	27.3	0.0	2.3
	40～64歳	(n=78)	6.4	51.3	15.4	7.7	9.0	10.3	12.8	1.3	0.0	20.5	5.1	3.8
	65歳以上	(n=15)	46.7	26.7	33.3	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7
難病患者														
18～39歳	(n=7)	0.0	71.4	0.0	0.0	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	
40～64歳	(n=18)	11.1	66.7	5.6	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	11.1	16.7	5.6	
65歳以上	(n=30)	63.3	33.3	6.7	20.0	6.7	0.0	0.0	3.3	0.0	10.0	0.0	0.0	

問10 あなたは、今後どのような仕事がしたいですか。(いくつでも○)

- ・「特にない」(37.6%)と「分からない」(11.5%)以外では、「非正規雇用(臨時・パート・アルバイト等)で自分の生活にあわせた働き方をしたい」(10.9%)が最も多く、次いで「在宅ワークがしたい」(9.3%)、「官公庁・一般企業の障害者枠で働きたい」(6.8%)が続いている。

図表 今後したい仕事 (全体：複数回答)



【障害等の種類×年代別】

- ・身体障害者は、18～39歳は「在宅ワークがしたい」(28.6%)と「官公庁・一般企業の正規雇用で働きたい」(28.6%)が同率で最も多く、次いで「非正規雇用(臨時・パート・アルバイト等)で自分の生活にあわせた働き方をしたい」(19.0%)と「官公庁・一般企業の障害者枠で働きたい」(19.0%)が同率で続いている。40～64歳では「在宅ワークがしたい」(17.2%)が最も多く、次いで「非正規雇用(臨時・パート・アルバイト等)で自分の生活にあわせた働き方をしたい」(15.1%)、「官公庁・一般企業の障害者枠で働きたい」(14.1%)が続いている。
- ・知的障害者は、18～39歳は「障害者施設に通所して働きたい」(29.0%)が最も多く、次いで「仕事に関する指導をしてくれる人がいる一般の会社で働きたい」(14.5%)、「特例子会社で働きたい」(13.7%)が続いている。40～64歳では「障害者施設に通所して働きたい」(25.0%)が最も多く、次いで「非正規雇用(臨時・パート・アルバイト等)で自分の生活にあわせた働き方をしたい」(12.5%)、「官公庁・一般企業の障害者枠で働きたい」(7.5%)が続いている。
- ・精神障害者は18～39歳は「非正規雇用(臨時・パート・アルバイト等)で自分の生活にあわせた働き方をしたい」(16.8%)と「官公庁・一般企業の障害者枠で働きたい」(16.8%)が同率で最も多く、次いで「在宅ワークがしたい」(16.0%)と「仕事に関する指導をしてくれる人がいる一般の会社で働きたい」(16.0%)が同率で続いている。40～64歳では「非正規雇用(臨時・パート・アルバイト等)で自分の生活にあわせた働き方をしたい」(17.3%)と「在宅ワークがしたい」(17.3%)が同率で最も多く、次いで「官公庁・一般企業の障害者枠で働きたい」(14.1%)が続いている。
- ・難病患者は18～39歳は「非正規雇用(臨時・パート・アルバイト等)で自分の生活にあわせた働き方をしたい」(36.4%)と「官公庁・一般企業の正規雇用で働きたい」(36.4%)が同率で最も多く、次いで「在宅ワークがしたい」(33.3%)が続いている。40～64歳では「非正規雇用(臨時・パート・アルバイト等)で自分の生活にあわせた働き方をしたい」(28.6%)が最も多く、次いで「在宅ワークがしたい」(12.5%)と「官公庁・一般企業の正規雇用で働きたい」(12.5%)が同率で続いている。

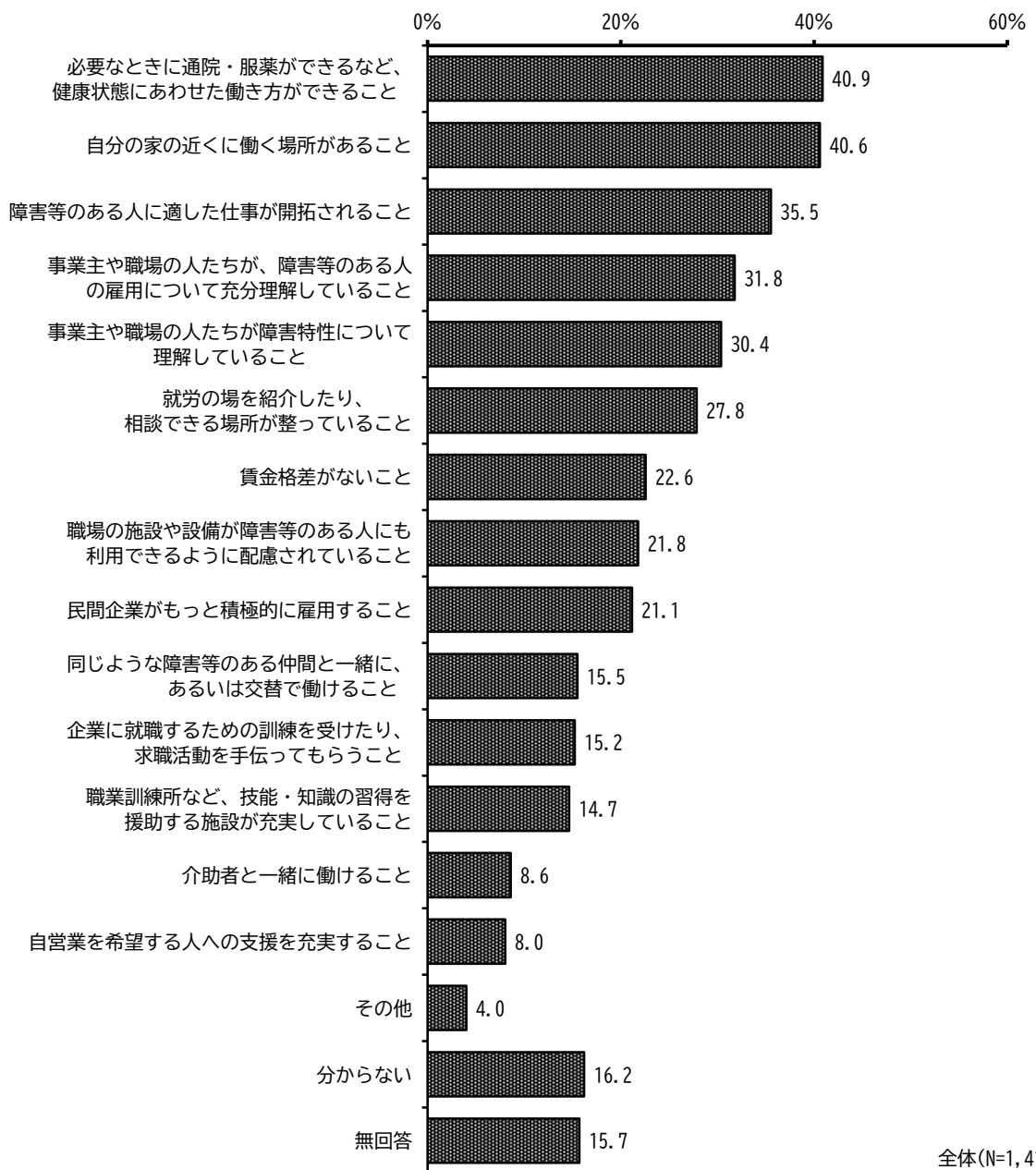
図表 今後したい仕事 (全体、障害等の種類×年代別：複数回答)

			(%)	非正規雇用 (臨時・ パート・ア ルバイト 等)で自分 の生活にあ わせた働き 方をしたい	在宅ワーク がしたい	官公庁・一 般企業の障 害者枠で働 きたい	障害者施設 に通所して 働きたい	官公庁・一 般企業の正 規雇用で働 きたい	仕事に関す る指導をし てくれる人 がいる一般 の会社で働 きたい
全体			(N=1,419)	10.9	9.3	6.8	6.5	6.4	5.1
障害等の種類 ×年代	身体障害者	18～39歳	(n=21)	19.0	28.6	19.0	4.8	28.6	0.0
		40～64歳	(n=192)	15.1	17.2	14.1	1.6	12.5	3.1
		65歳以上	(n=533)	5.3	3.6	0.8	1.1	0.6	0.6
	知的障害者	18～39歳	(n=124)	4.0	4.0	9.7	29.0	2.4	14.5
		40～64歳	(n=40)	12.5	0.0	7.5	25.0	0.0	5.0
		65歳以上	(n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	精神障害者	18～39歳	(n=125)	16.8	16.0	16.8	14.4	13.6	16.0
		40～64歳	(n=156)	17.3	17.3	14.1	9.6	10.3	12.8
		65歳以上	(n=21)	9.5	9.5	4.8	4.8	0.0	4.8
	難病患者	18～39歳	(n=33)	36.4	33.3	3.0	0.0	36.4	0.0
		40～64歳	(n=56)	28.6	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
		65歳以上	(n=35)	5.7	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9
				自営業を営 みたい	特例子会社 で働きたい	その他	分からない	特にない	無回答
全体			(N=1,419)	4.1	2.7	5.0	11.5	37.6	14.0
障害等の種類 ×年代	身体障害者	18～39歳	(n=21)	4.8	4.8	14.3	4.8	23.8	0.0
		40～64歳	(n=192)	8.3	1.6	5.2	14.1	28.1	8.9
		65歳以上	(n=533)	1.7	0.2	2.3	8.3	57.4	21.2
	知的障害者	18～39歳	(n=124)	1.6	13.7	6.5	12.9	16.9	8.9
		40～64歳	(n=40)	0.0	5.0	5.0	25.0	17.5	17.5
		65歳以上	(n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	精神障害者	18～39歳	(n=125)	8.8	7.2	10.4	14.4	13.6	2.4
		40～64歳	(n=156)	7.7	3.2	8.3	19.2	16.0	5.1
		65歳以上	(n=21)	0.0	0.0	0.0	9.5	47.6	19.0
	難病患者	18～39歳	(n=33)	3.0	0.0	9.1	9.1	15.2	3.0
		40～64歳	(n=56)	10.7	0.0	7.1	8.9	33.9	3.6
		65歳以上	(n=35)	0.0	0.0	2.9	2.9	65.7	20.0

問11 障害等のある人が働くためにはどのようなことを希望しますか。(いくつでも○)

- ・「必要なときに通院・服薬ができるなど、健康状態にあわせた働き方ができること」(40.9%)が最も多く、「自分の家の近くに働く場所があること」(40.6%)、「障害等のある人に適した仕事が開拓されること」(35.5%)が続いている。

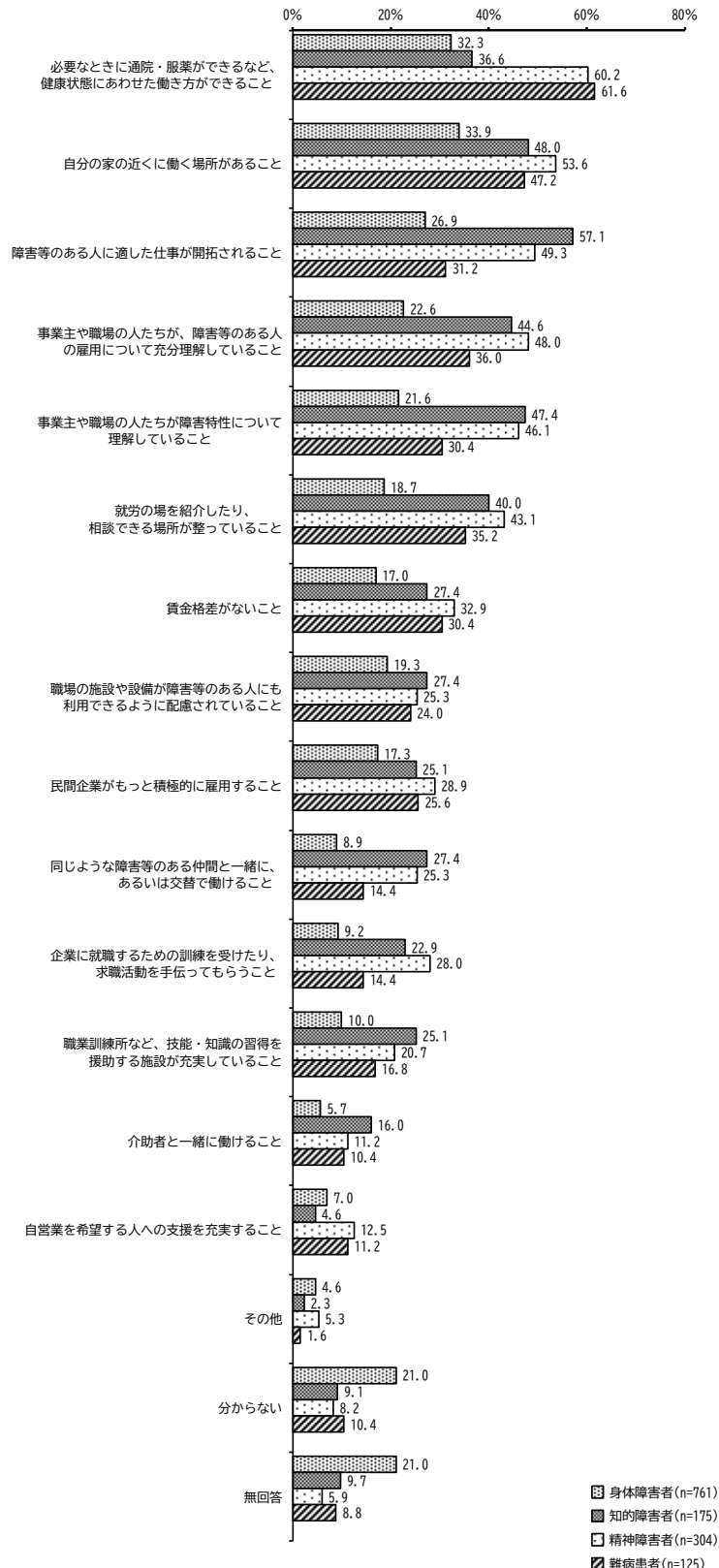
図表 障害等のある人が働くために希望すること (全体：複数回答)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「自分の家の近くに働く場所があること」(33.9%)、知的障害者は「障害等のある人に適した仕事が開拓されること」(57.1%)、精神障害者と難病患者は「必要なときに通院・服薬ができるなど、健康状態にあわせた働き方ができること」(精神：60.2%、難病：61.6%)が最も多い。

図表 障害等のある人が働くために希望すること(障害等の種類別：複数回答)

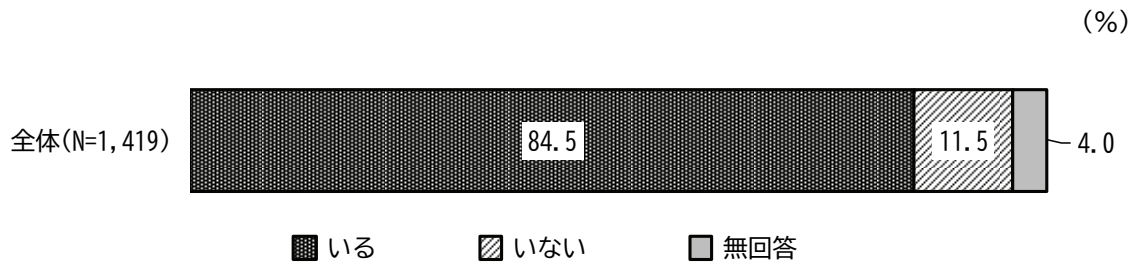


(7) 相談・権利擁護について

問12 あなたは、悩みや困りごとを相談できる人がいますか。(1つに○)

- ・「いる」が84.5%、「いない」が11.5%である。

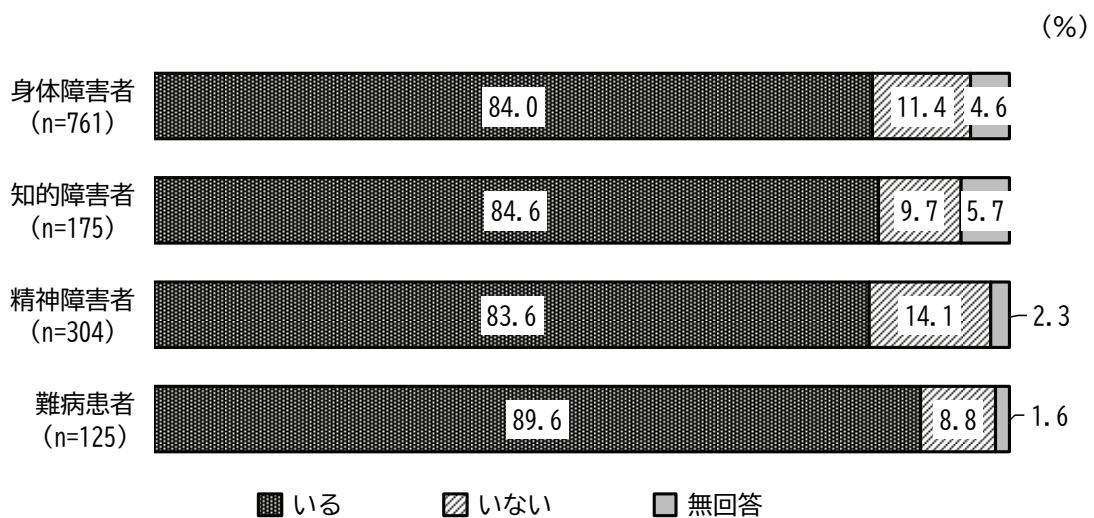
図表 相談できる人の有無(全体)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者のいずれも、全体と同様「いる」が8割を超えている。

図表 相談できる人の有無(障害等の種類別)

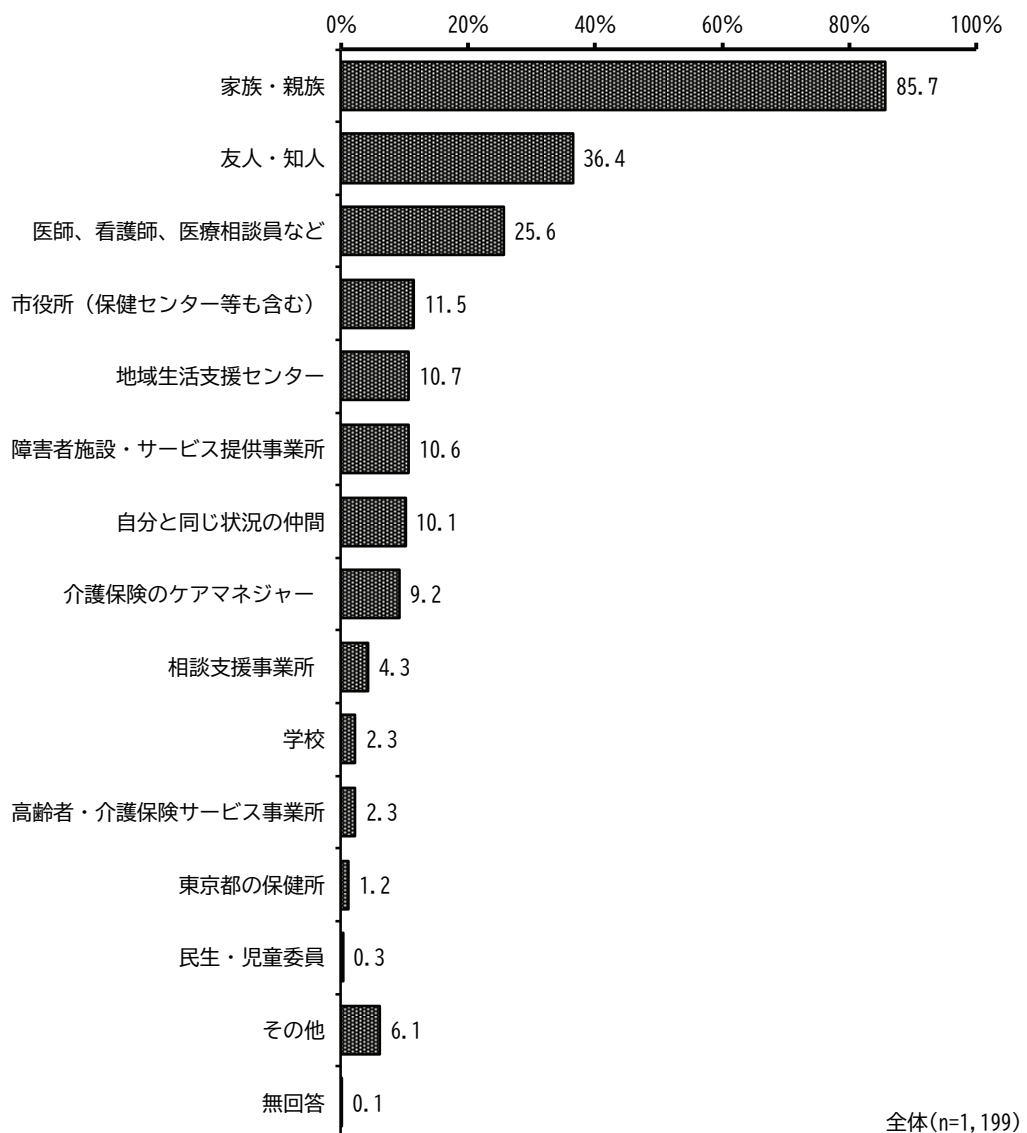


問12-1 問12で「1.いる」と答えた方におたずねします。

悩みや困りごとについて、次の人・相談機関等に相談したことはありますか。(いくつでも○)

- ・問12で「いる」と回答した人に悩みや困りごとの相談先についてたずねたところ、「家族・親族」(85.7%)が最も多く、「友人・知人」(36.4%)、「医師、看護師、医療相談員など」(25.6%)が続いている。「市役所(保健センター等も含む)」(11.5%)、「地域生活支援センター」(10.7%)、「障害者施設・サービス提供事業所」(10.6%)、「自分と同じ状況の仲間」(10.1%)も1割を超えている。

図表 相談先(全体：複数回答)
 <相談できる人がいると回答した人>

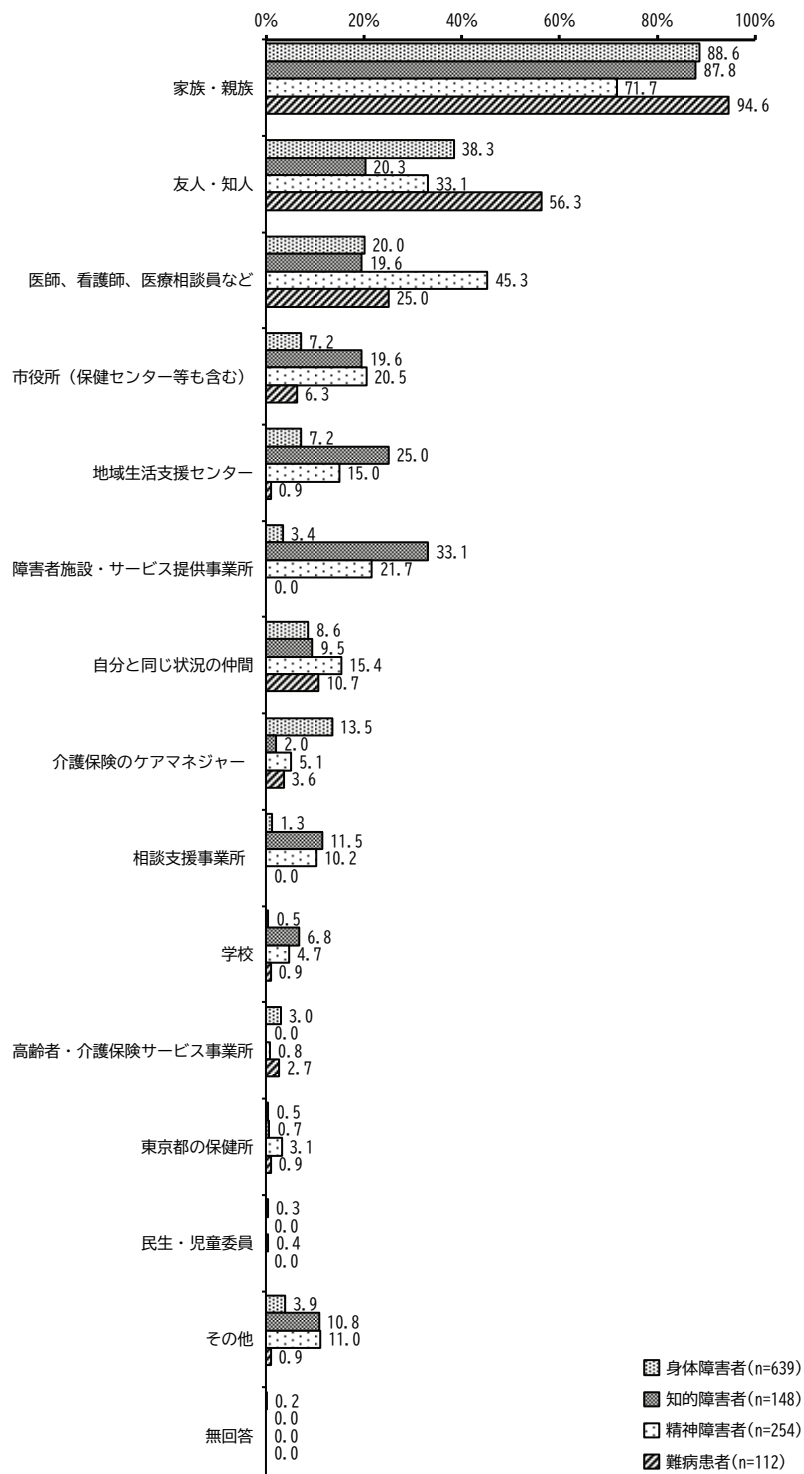


【障害等の種類別】

- ・ 身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者のいずれも、「家族・親族」(身体：88.6%、知的：87.8%、精神：71.7%、難病：94.6%)が最も多い。
- ・ 2番目に多い項目は、身体障害者と難病患者は「友人・知人」(身体：38.3%、難病患者：56.3%)、知的障害者は「障害者施設・サービス提供事業所」(33.1%)、精神障害者は「医師、看護師、医療相談員など」(45.3%)となっている。

図表 相談先(障害等の種類別：複数回答)

<相談できる人がいると回答した人>



問13 あなたは、次の府中市内の障害等のある人のための相談機関等を知っていますか。

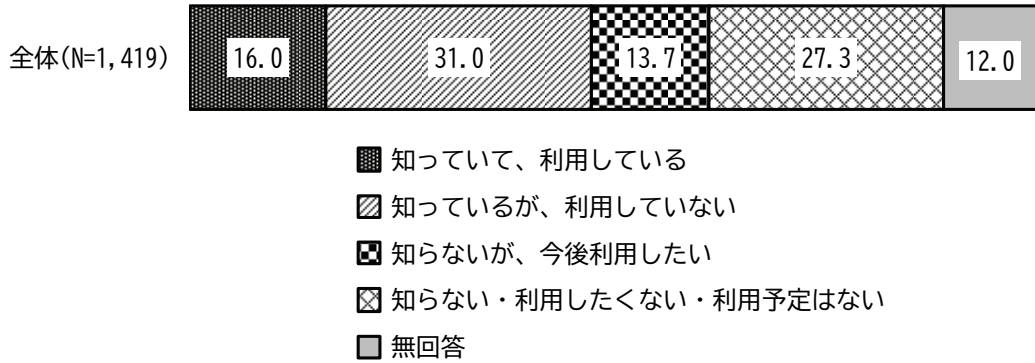
((1)~(4)について、それぞれ1つに○)

(1)地域生活支援センター(み〜な、あけぼの、プラザ、ふらっと)

・「知っている、利用している」(16.0%)と「知っているが、利用していない」(31.0%)をあわせたく知っている>は47.0%である。「知らないが、今後利用したい」は13.7%である。

図表 市内の相談機関等の認知度・利用状況：地域生活支援センター(全体)

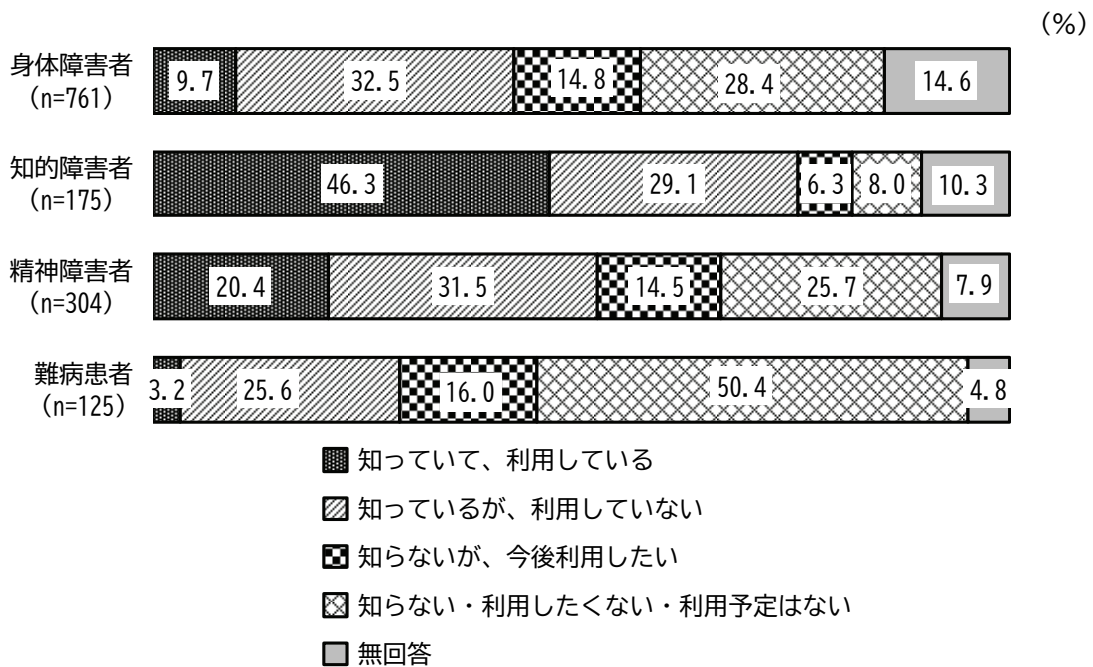
(%)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「知っている、利用している」(9.7%)と「知っているが、利用していない」(32.5%)をあわせて<知っている>は42.2%である。「知らないが、今後利用したい」は14.8%である。
- ・知的障害者は「知っている、利用している」(46.3%)と「知っているが、利用していない」(29.1%)をあわせて<知っている>は75.4%である。「知らないが、今後利用したい」は6.3%である。
- ・精神障害者は「知っている、利用している」(20.4%)と「知っているが、利用していない」(31.5%)をあわせて<知っている>は51.9%である。「知らないが、今後利用したい」は14.5%である。
- ・難病患者は「知っている、利用している」(3.2%)と「知っているが、利用していない」(25.6%)をあわせて<知っている>は28.8%である。「知らないが、今後利用したい」は16.0%である。

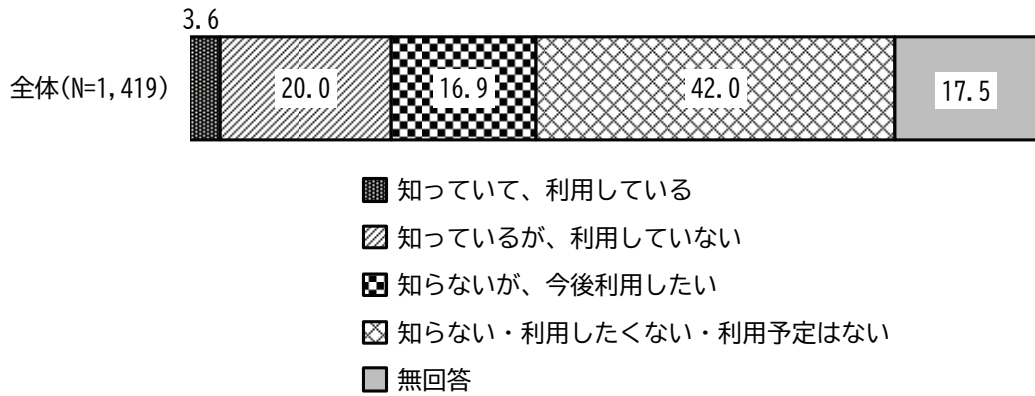
図表 市内の相談機関等の認知度・利用状況：地域生活支援センター(障害等の種類別)



(2)身体障害者相談員・知的障害者相談員

- ・「知っている、利用している」(3.6%)と「知っているが、利用していない」(20.0%)をあわせたく知っている>は23.6%である。「知らないが、今後利用したい」は16.9%である。

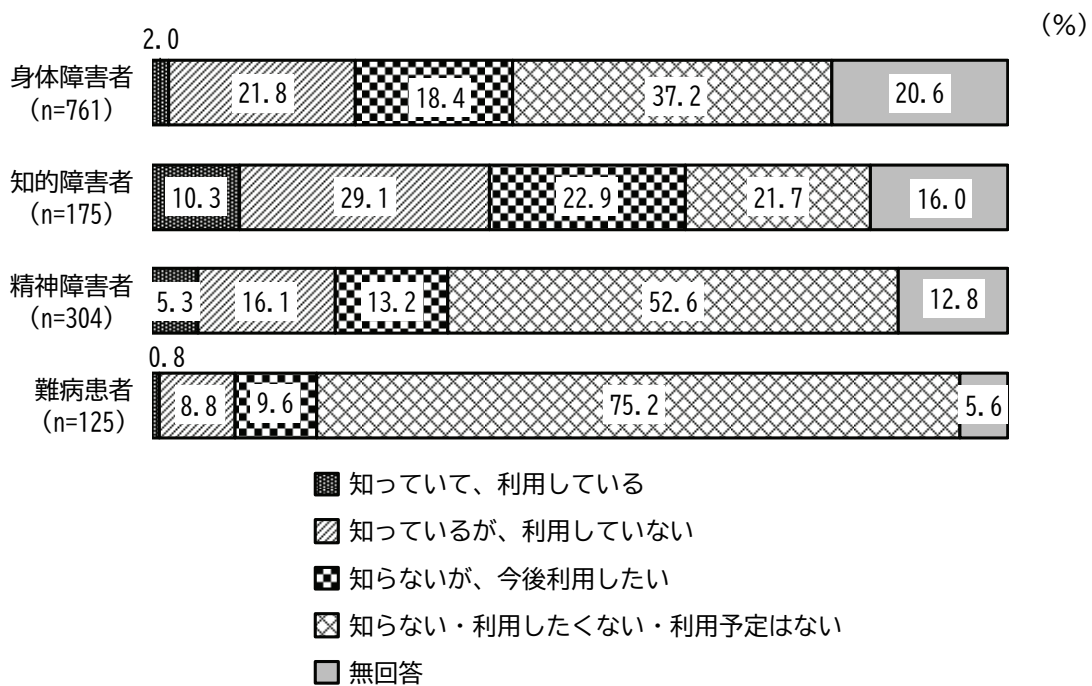
図表 市内の相談機関等の認知度・利用状況：身体障害者相談員・知的障害者相談員(全体)
(%)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「知っている、利用している」(2.0%)と「知っているが、利用していない」(21.8%)をあわせて<知っている>は23.8%である。「知らないが、今後利用したい」は18.4%である。
- ・知的障害者は「知っている、利用している」(10.3%)と「知っているが、利用していない」(29.1%)をあわせて<知っている>は39.4%である。「知らないが、今後利用したい」は22.9%である。
- ・精神障害者は「知っている、利用している」(5.3%)と「知っているが、利用していない」(16.1%)をあわせて<知っている>は21.4%である。「知らないが、今後利用したい」は13.2%である。
- ・難病患者は「知っている、利用している」(0.8%)と「知っているが、利用していない」(8.8%)をあわせて<知っている>は9.6%である。「知らないが、今後利用したい」は9.6%である。

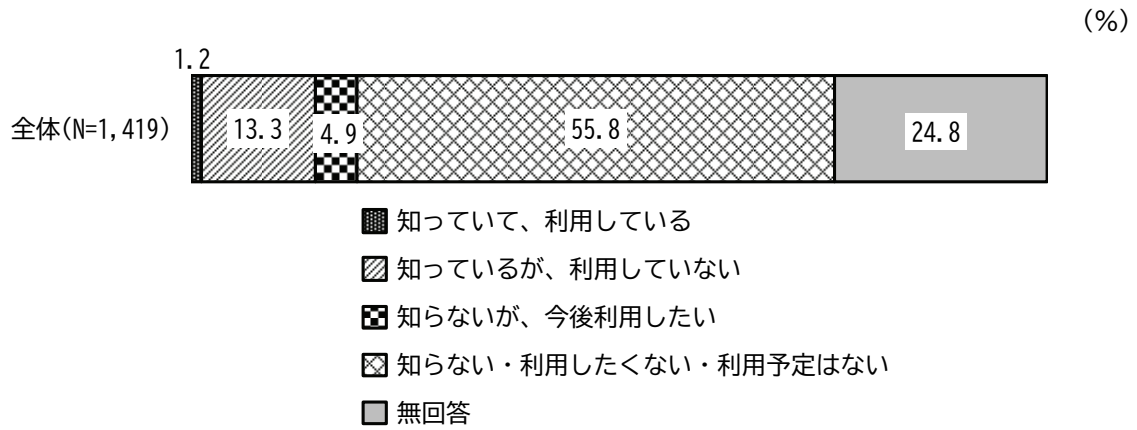
図表 市内の相談機関等の認知度・利用状況：身体障害者相談員・知的障害者相談員(障害等の種類別)



(3)聴覚障害者相談事業

- ・「知っている、利用している」(1.2%)と「知っているが、利用していない」(13.3%)をあわせたく知っている>は14.5%である。「知らないが、今後利用したい」は4.9%である。

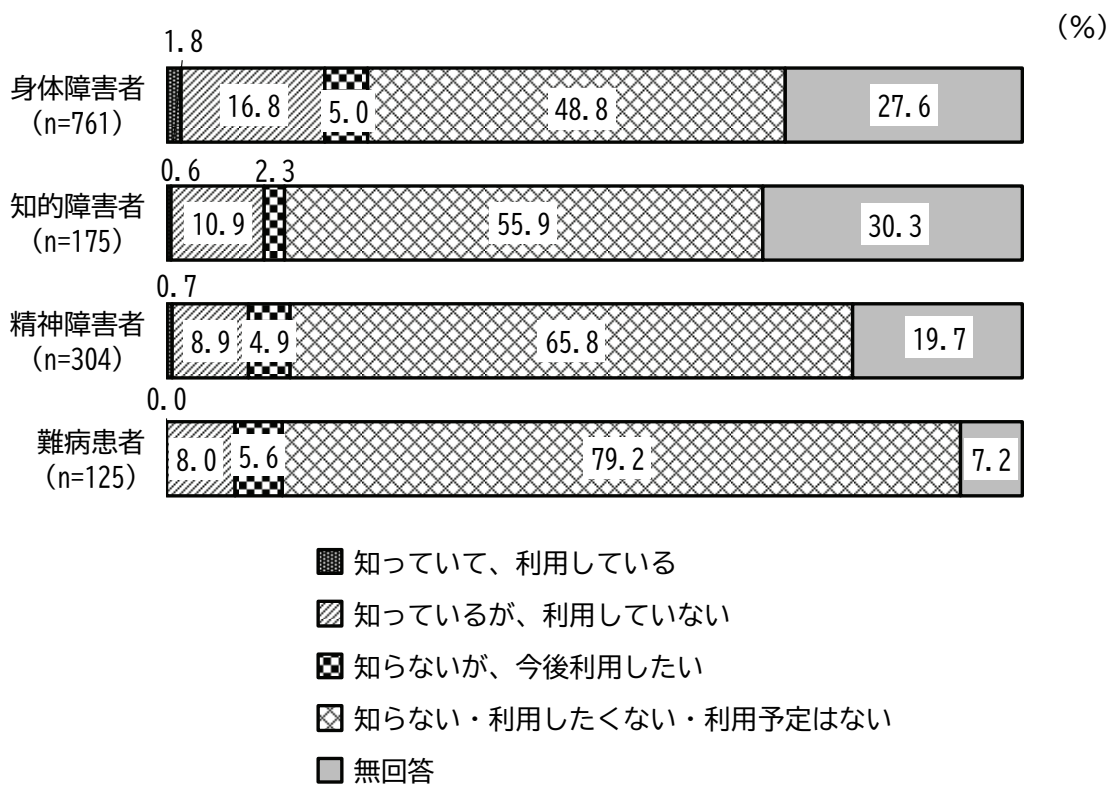
図表 市内の相談機関等の認知度・利用状況：聴覚障害者相談事業(全体)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「知っていて、利用している」(1.8%)と「知っているが、利用していない」(16.8%)をあわせて<知っている>は18.6%である。「知らないが、今後利用したい」は5.0%である。
- ・知的障害者は「知っていて、利用している」(0.6%)と「知っているが、利用していない」(10.9%)をあわせて<知っている>は11.5%である。「知らないが、今後利用したい」は2.3%である。
- ・精神障害者は「知っていて、利用している」(0.7%)と「知っているが、利用していない」(8.9%)をあわせて<知っている>は9.6%である。「知らないが、今後利用したい」は4.9%である。
- ・難病患者は「知っていて、利用している」(0.0%)と「知っているが、利用していない」(8.0%)をあわせて<知っている>は8.0%である。「知らないが、今後利用したい」は5.6%である。

図表 市内の相談機関等の認知度・利用状況：聴覚障害者相談事業(障害等の種類別)

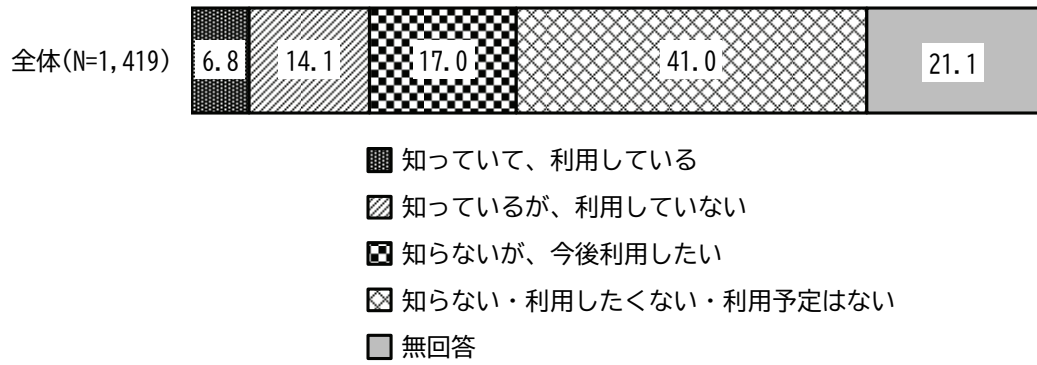


(4)計画相談支援事業所

- ・「知っている、利用している」(6.8%)と「知っているが、利用していない」(14.1%)をあわせたく知っている>は20.9%である。「知らないが、今後利用したい」は17.0%である。

図表 市内の相談機関等の認知度・利用状況：計画相談支援事業所(全体)

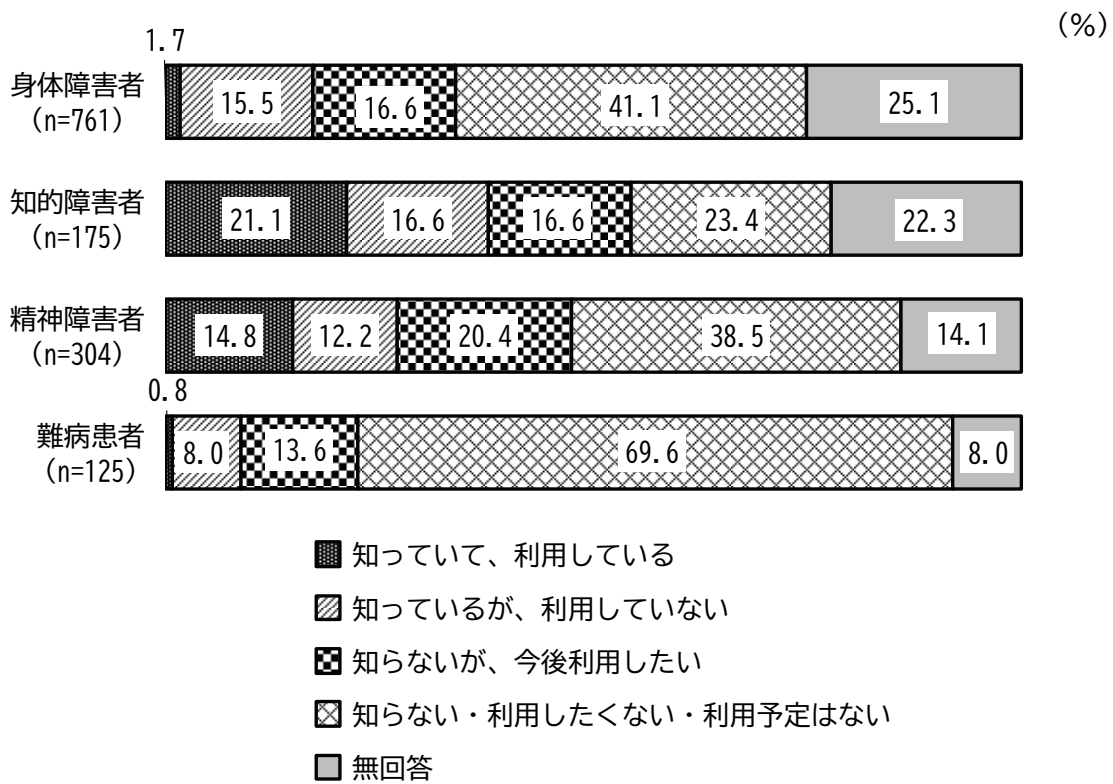
(%)



【障害等の種類別】

- ・ 身体障害者は「知っていて、利用している」(1.7%)と「知っているが、利用していない」(15.5%)をあわせて<知っている>は17.2%である。「知らないが、今後利用したい」は16.6%である。
- ・ 知的障害者は「知っていて、利用している」(21.1%)と「知っているが、利用していない」(16.6%)をあわせて<知っている>は37.7%である。「知らないが、今後利用したい」は16.6%である。
- ・ 精神障害者は「知っていて、利用している」(14.8%)と「知っているが、利用していない」(12.2%)をあわせて<知っている>は27.0%である。「知らないが、今後利用したい」は20.4%である。
- ・ 難病患者は「知っていて、利用している」(0.8%)と「知っているが、利用していない」(8.0%)をあわせて<知っている>は8.8%である。「知らないが、今後利用したい」は13.6%である。

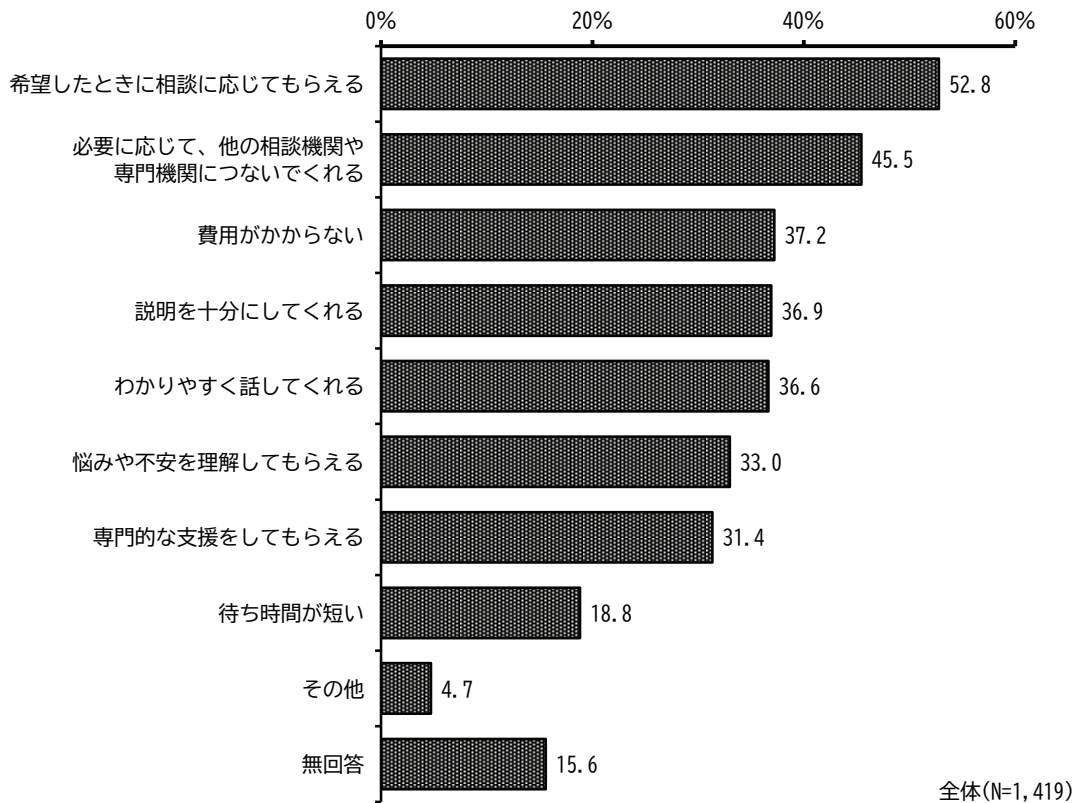
図表 市内の相談機関等の認知度・利用状況：計画相談支援事業所(障害等の種類別)



問14 府中市内の障害等のある人のための相談機関等に求めることは何ですか。(いくつでも○)

- ・「希望したときに相談に応じてもらえる」(52.8%)が最も多く、次いで「必要に応じて、他の相談機関や専門機関につないでくれる」(45.5%)、「費用がかからない」(37.2%)が続いている。

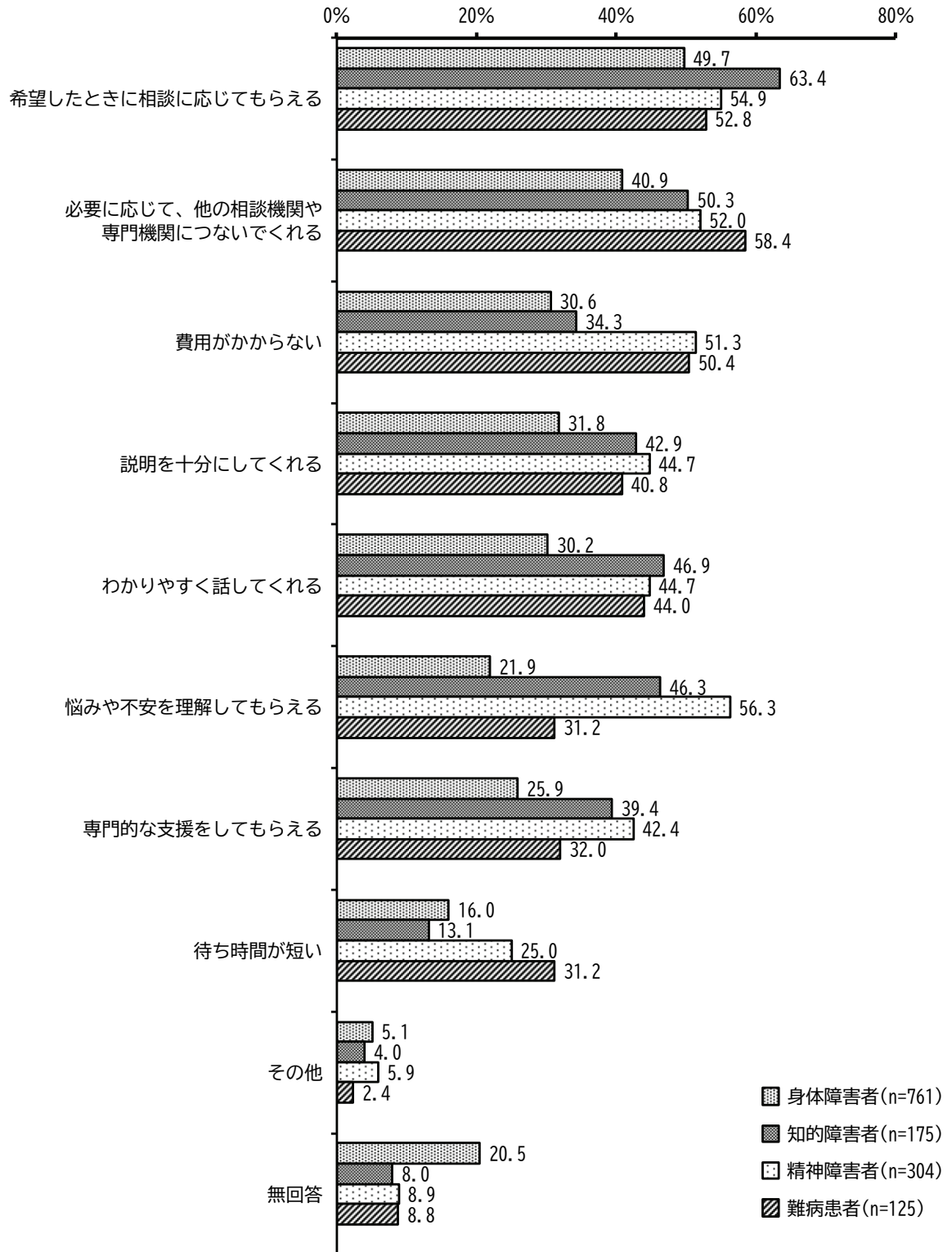
図表 市内の相談機関等に求めること(全体：複数回答)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「希望したときに相談に応じてもらえる」(49.7%)が最も多く、次いで「必要に応じて、他の相談機関や専門機関につないでくれる」(40.9%)、「説明を十分にしてくれる」(31.8%)が続いている。
- ・知的障害者は「希望したときに相談に応じてもらえる」(63.4%)が最も多く、次いで「必要に応じて、他の相談機関や専門機関につないでくれる」(50.3%)、「わかりやすく話してくれる」(46.9%)が続いている。
- ・精神障害者は「悩みや不安を理解してもらえる」(56.3%)が最も多く、次いで「希望したときに相談に応じてもらえる」(54.9%)、「必要に応じて、他の相談機関や専門機関につないでくれる」(52.0%)が続いている。
- ・難病患者は「必要に応じて、他の相談機関や専門機関につないでくれる」(58.4%)が最も多く、次いで「希望したときに相談に応じてもらえる」(52.8%)、「費用がかからない」(50.4%)が続いている。

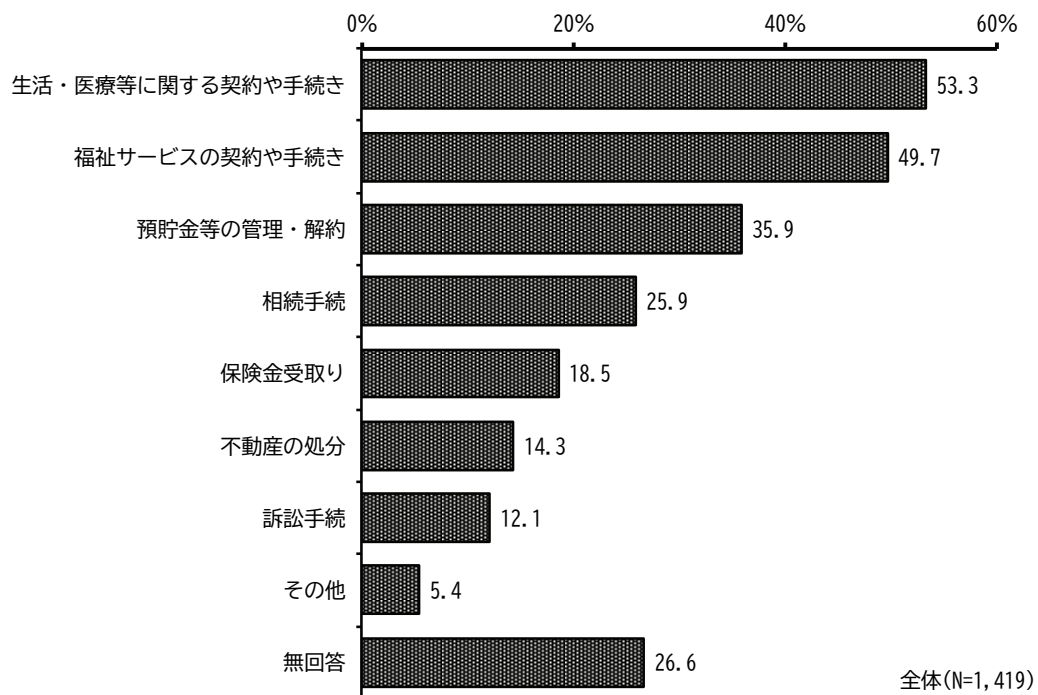
図表 市内の相談機関等に求めること(障害等の種類別：複数回答)



問 15 認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者(「成年後見人」等)をつけることで、本人を法律的に支援する制度として、成年後見制度があります。あなたは、今後成年後見制度を利用するとした場合、成年後見人等にやってほしいことは何ですか。(いくつでも○)

- ・「生活・医療等に関する契約や手続き」(53.3%)が最も多く、「福祉サービスの契約や手続き」(49.7%)、「預貯金等の管理・解約」(35.9%)が続いている。

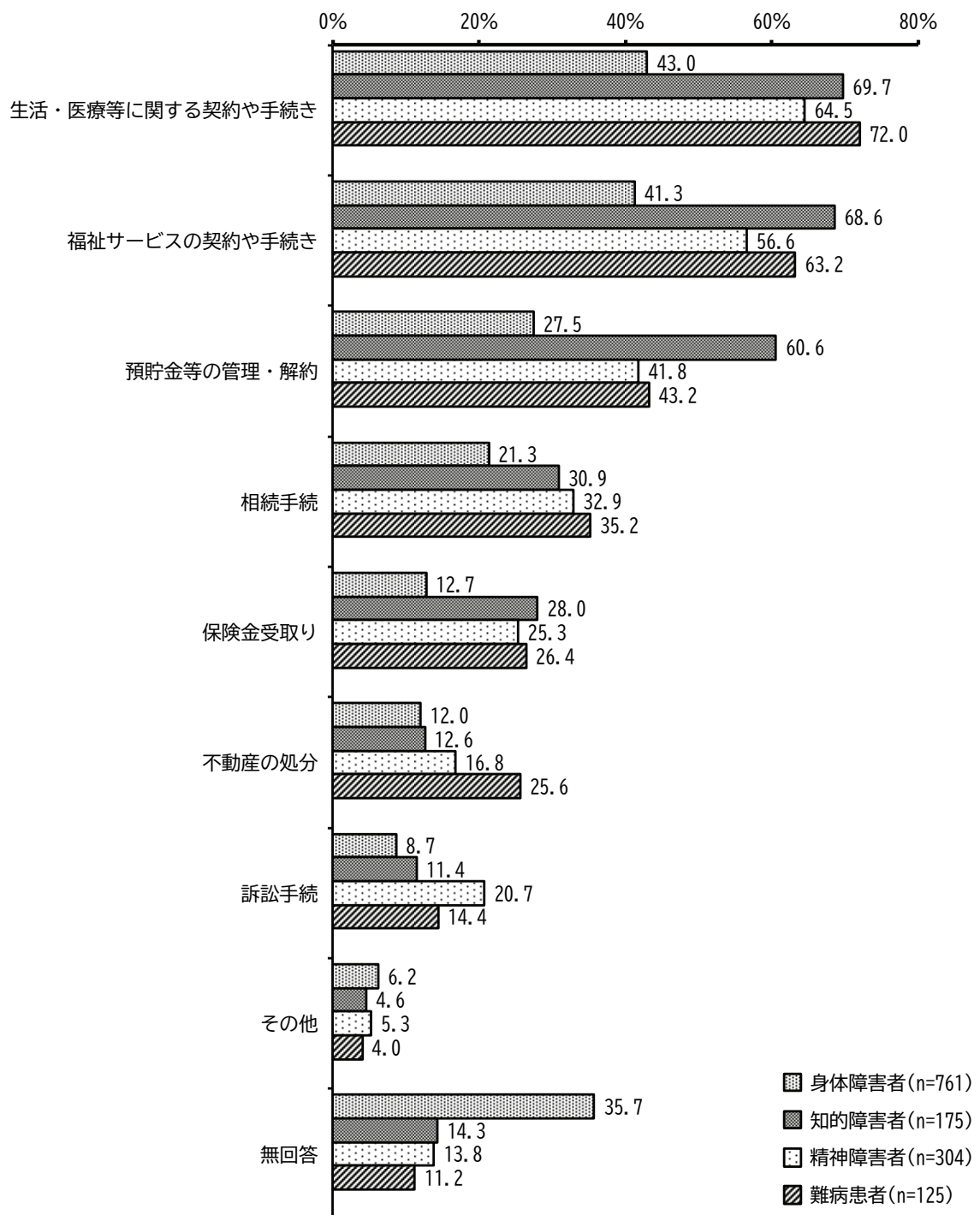
図表 成年後見人等にやってほしいこと(全体：複数回答)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者のいずれも、上位3位は全体と同様の傾向を示している。「生活・医療等に関する契約や手続き」（身体：43.0%、知的：69.7%、精神：64.5%、難病：72.0%）が最も多く、次いで「福祉サービスの契約や手続き」（身体：41.3%、知的：68.6%、精神：56.6%、難病：63.2%）、「預貯金等の管理・解約」（身体：27.5%、知的：60.6%、精神：41.8%、難病：43.2%）となっている。

図表 後見人等によつてほしいこと(障害等の種類別：複数回答)

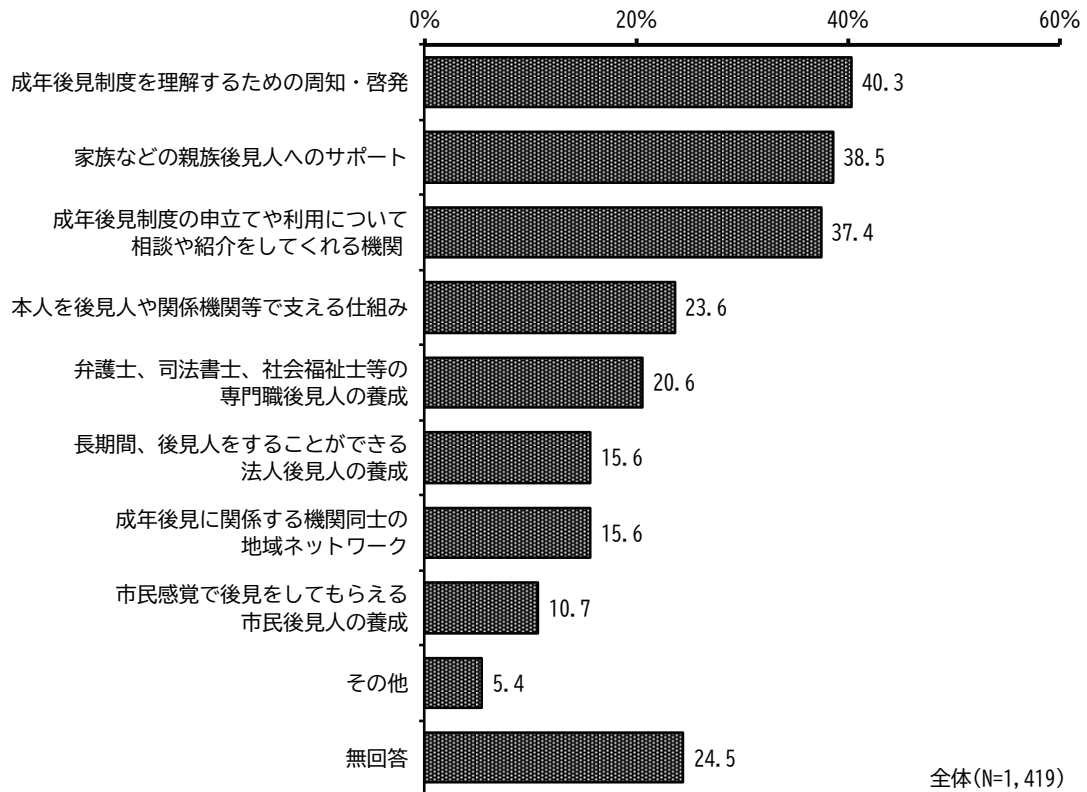


問16 あなたは、成年後見制度が利用しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(いくつでも○)

- ・「成年後見制度を理解するための周知・啓発」(40.3%)が最も多く、「家族などの親族後見人へのサポート」(38.5%)、「成年後見制度の申立てや利用について相談や紹介をしてくれる機関」(37.4%)が続いている。

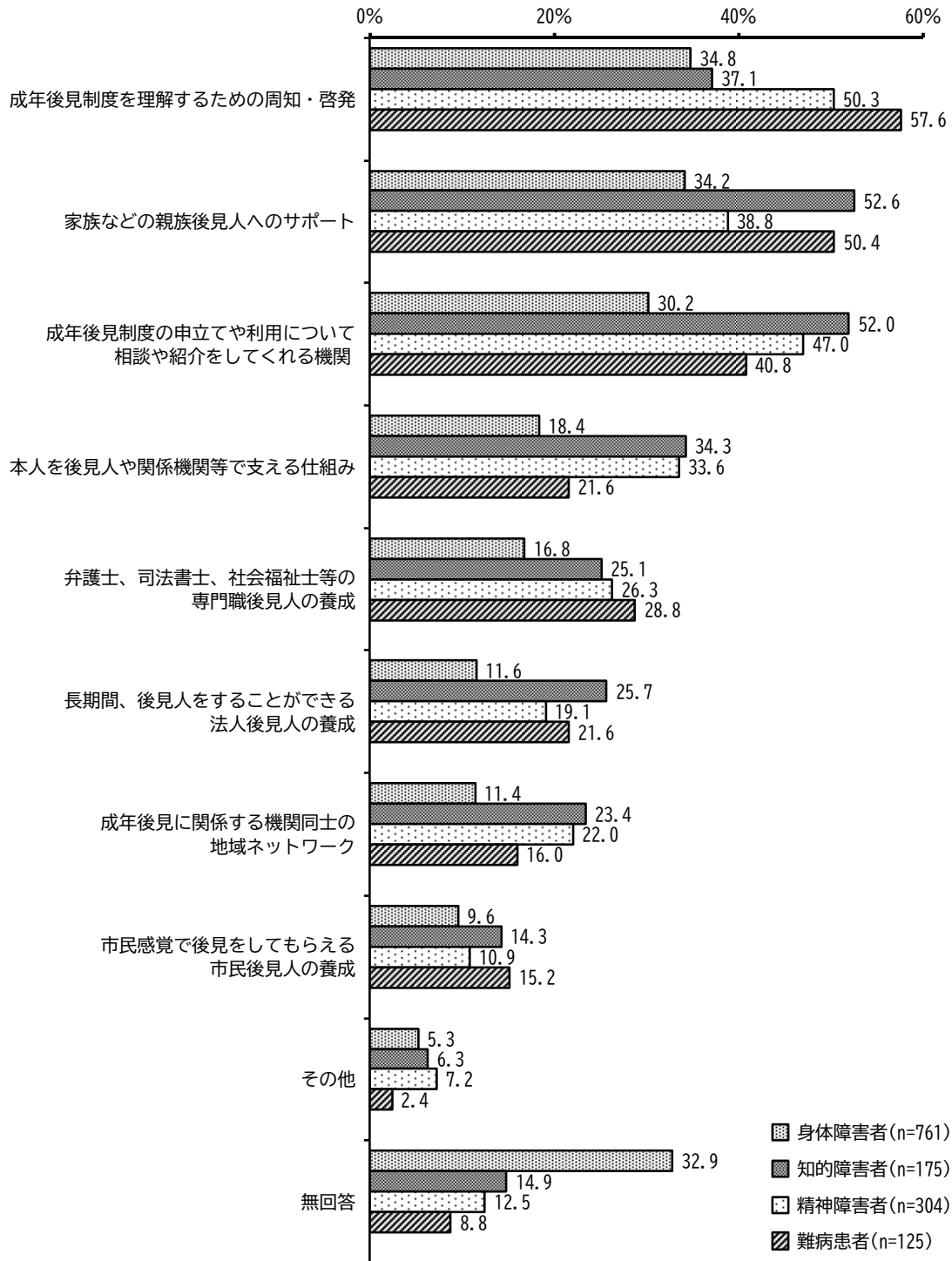
図表 成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと(全体：複数回答)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者、精神障害者、難病患者は「成年後見制度を理解するための周知・啓発」(身体：34.8%、精神：50.3%、難病：57.6%)が最も多い。知的障害者は「家族などの親族後見人へのサポート」(52.6%)が最も多い。

図表 成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと(障害等の種類別：複数回答)

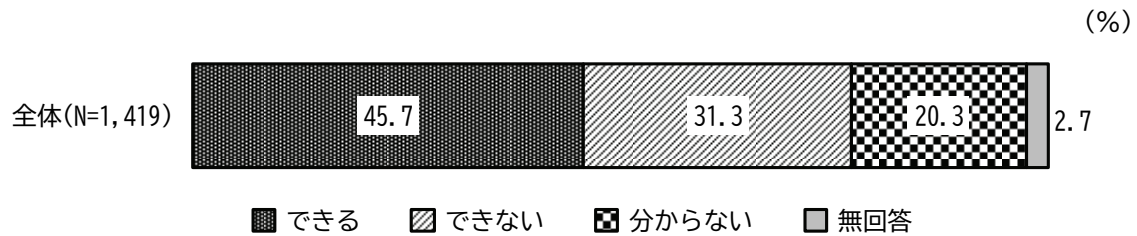


(8) 防災について

問17 あなたは、地震や災害などの緊急時に、ひとりで避難することができますか。(1つに○)

- ・地震や災害などの緊急時に、ひとりで避難することが「できない」と回答した人は31.3%である。

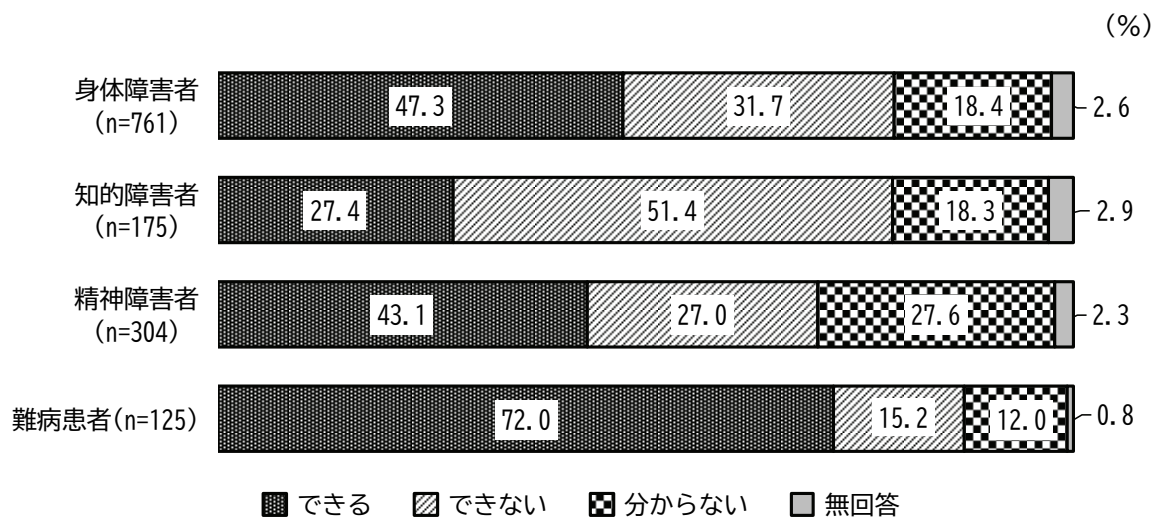
図表 緊急時の単独避難ができるか(全体)



【障害等の種類別】

- ・知的障害者は「できない」と回答した人が51.4%と半数を超えている。

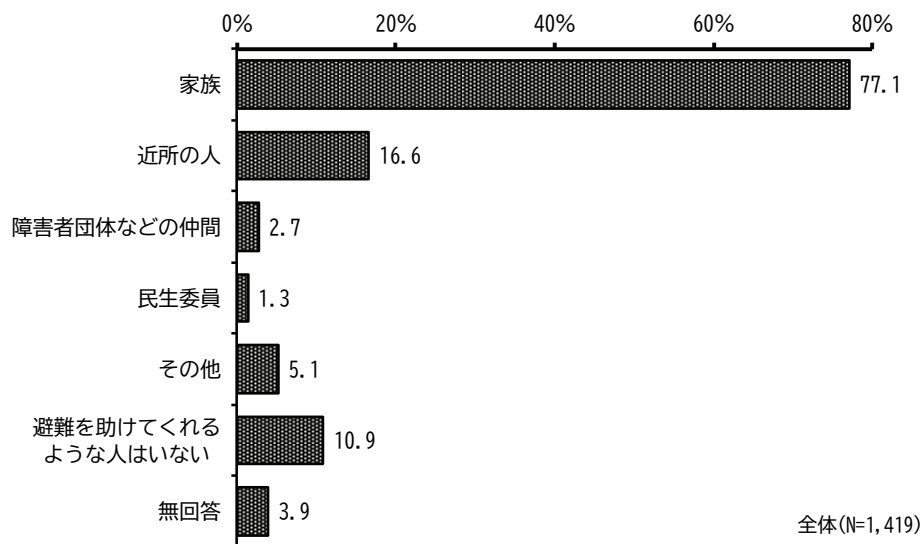
図表 緊急時の単独避難ができるか(障害等の種類別)



問18 地震や災害などが起きた場合に、避難を助けてくれるような人がいますか。(いくつでも○)

- ・「避難を助けてくれるような人はいない」と回答した人は10.9%である。

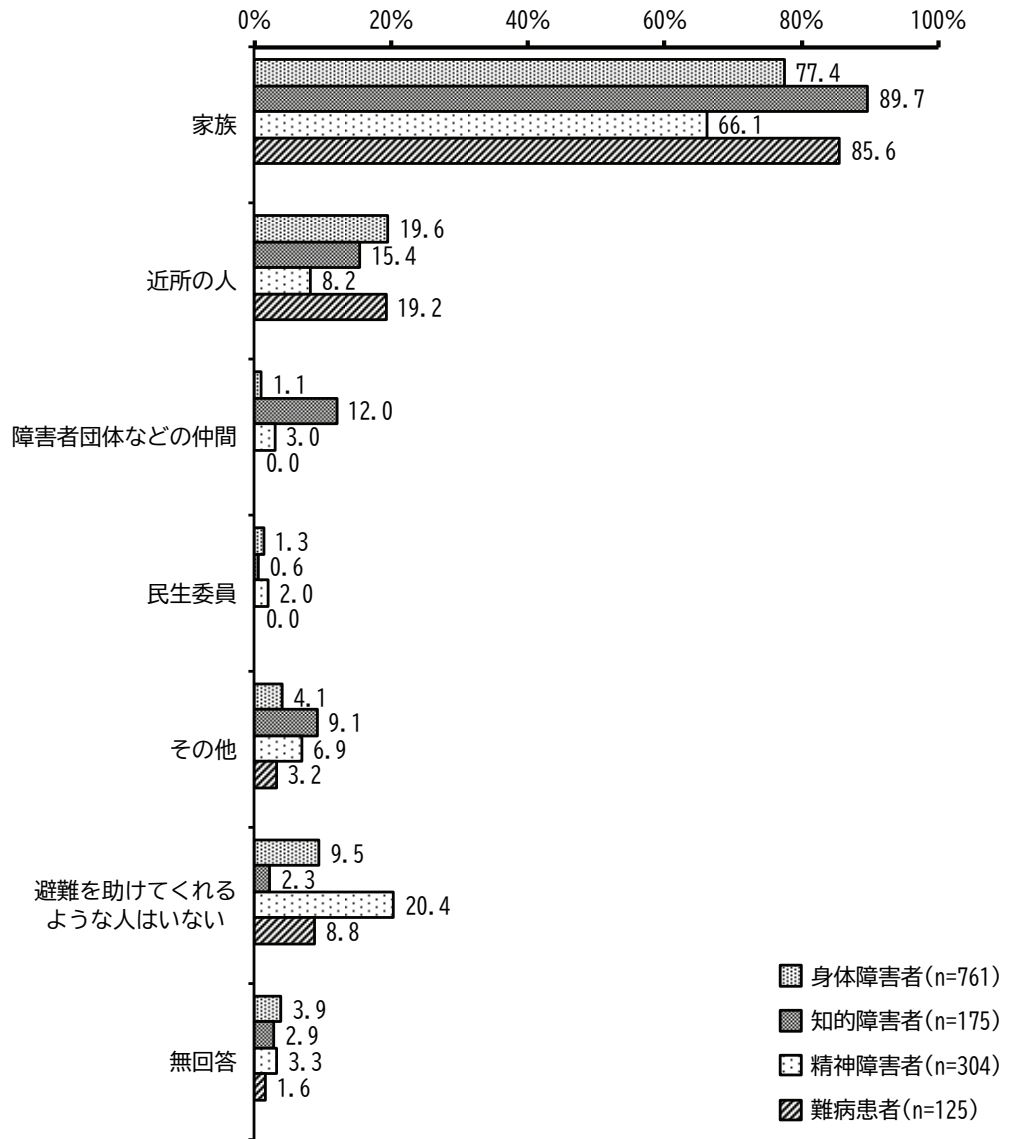
図表 地震や災害時に避難を助けてくれる人(全体：複数回答)



【障害等の種類別】

・精神障害者は、「避難を助けてくれるような人はいない」と回答した人が20.4%である。

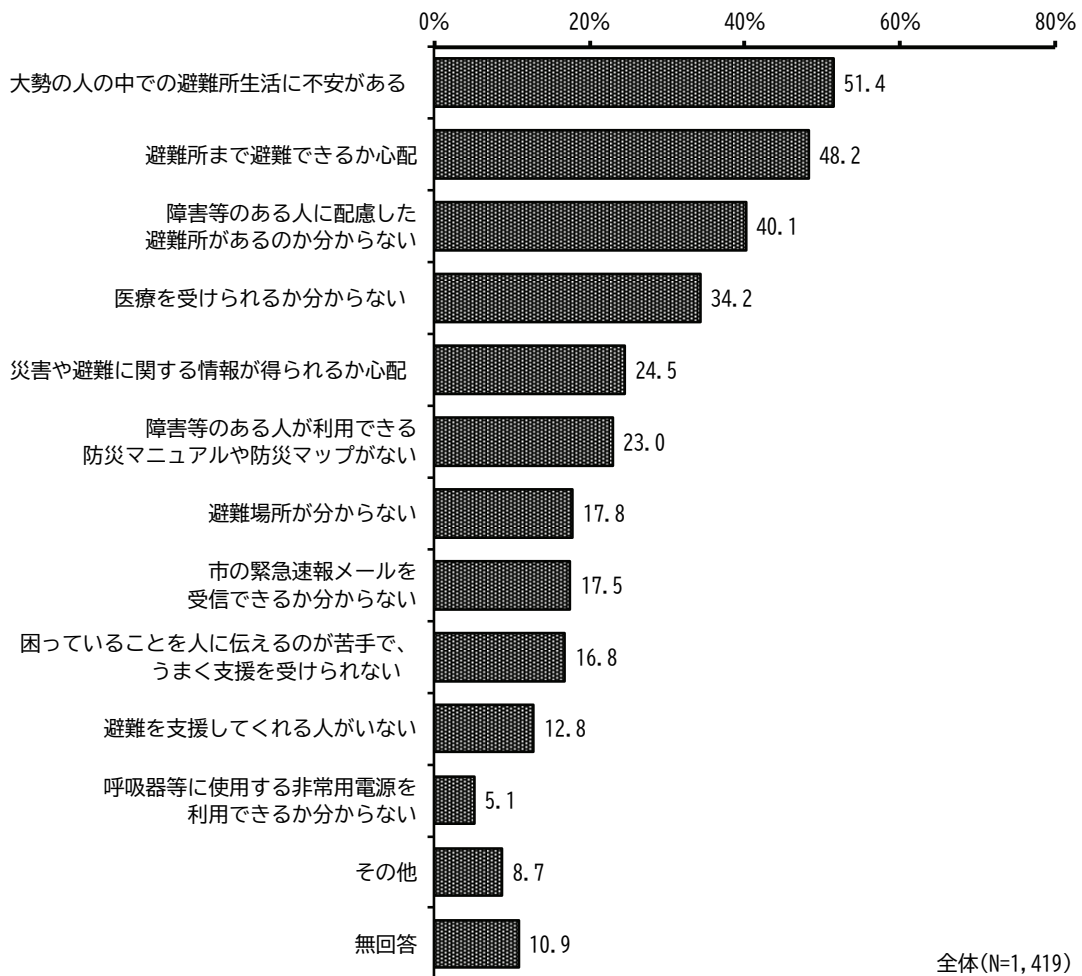
図表 地震や災害時に避難を助けてくれる人(障害等の種類別：複数回答)



問19 あなたが災害時に困ること・不安なことは何ですか。(いくつでも○)

- ・「大勢の人の中での避難所生活に不安がある」(51.4%)が最も多く、「避難所まで避難できるか心配」(48.2%)、「障害等のある人に配慮した避難所があるのか分からない」(40.1%)が続いている。

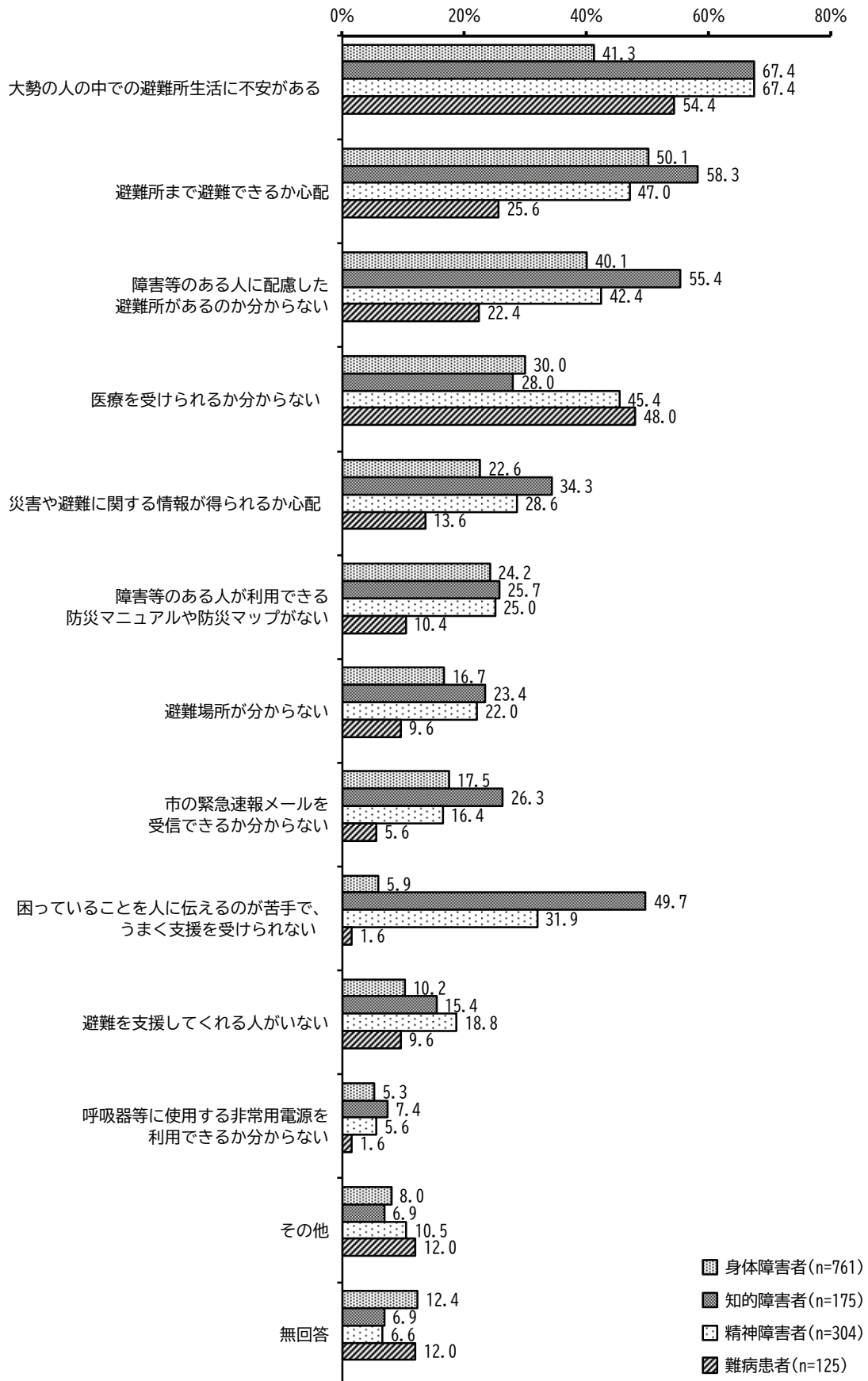
図表 災害時の不安や心配ごと (全体：複数回答)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「避難所まで避難できるか心配」(50.1%)が最も多い。
- ・知的障害者、精神障害者、難病患者は「大勢の人の中での避難所生活に不安がある」(知的：67.4%、精神：67.4%、難病：54.4%)が最も多い。
- ・知的障害者は「避難所まで避難できるか心配」(58.3%)、「障害等のある人に配慮した避難所があるのか分からない」(55.4%)が5割を超えている。「困っていることを人に伝えるのが苦手で、うまく支援を受けられない」(49.7%)も5割弱となっている。また、「災害や避難に関する情報が得られるか心配」(34.3%)は全体より9.8ポイント、「市の緊急速報メールを受信できるか分からない」(26.3%)は全体より8.8ポイント高い。
- ・精神障害者、難病患者は「医療を受けられるか分からない」(精神：45.4%、難病：48.0%)が4割を超えている。

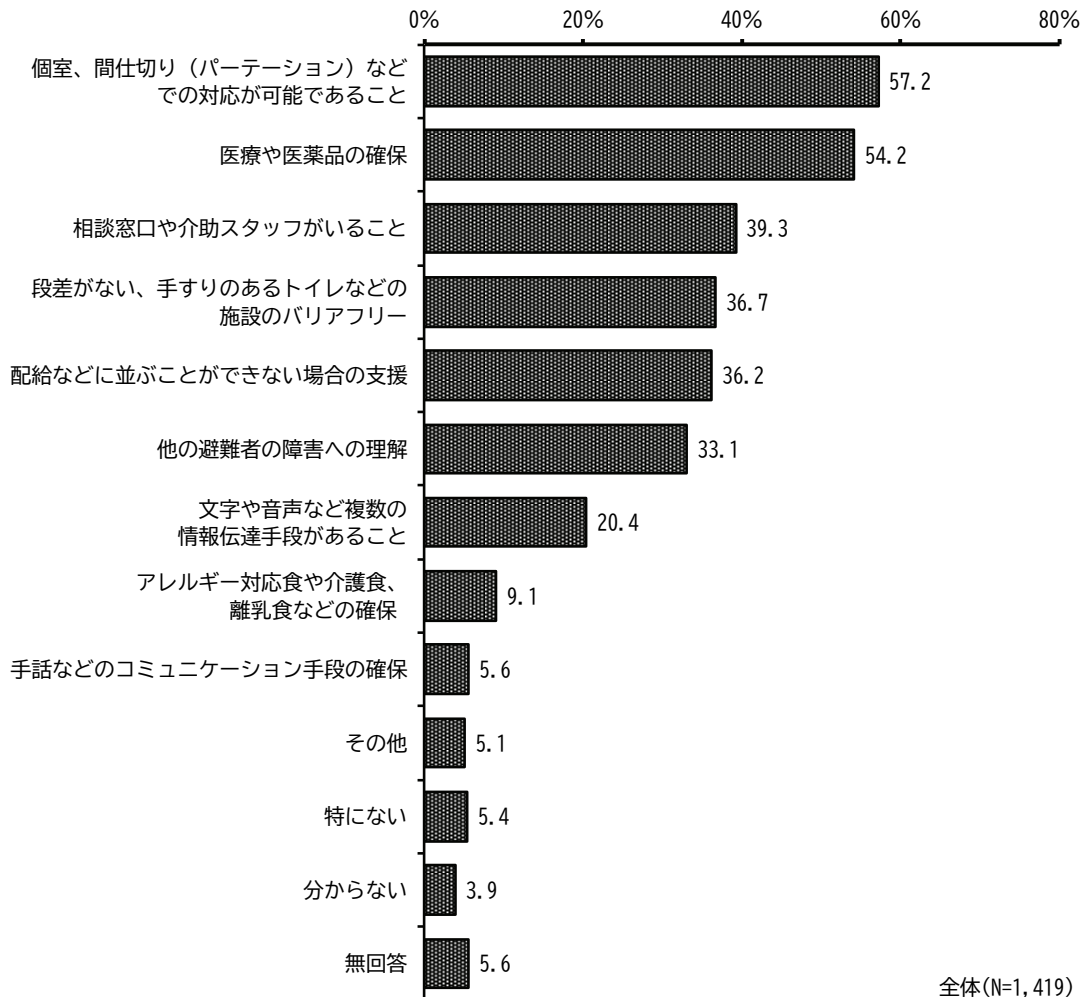
図表 災害時の不安や心配ごと(障害等の種類別：複数回答)



問20 地震などの災害が発生したときに、避難所で配慮してほしいことは何ですか。(いくつでも○)

- ・「個室、間仕切り(パーテーション)などでの対応が可能であること」(57.2%)が最も多く、次いで「医療や医薬品の確保」(54.2%)、「相談窓口や介助スタッフがいること」(39.3%)が続いている。

図表 避難場所で希望する配慮 (全体：複数回答)

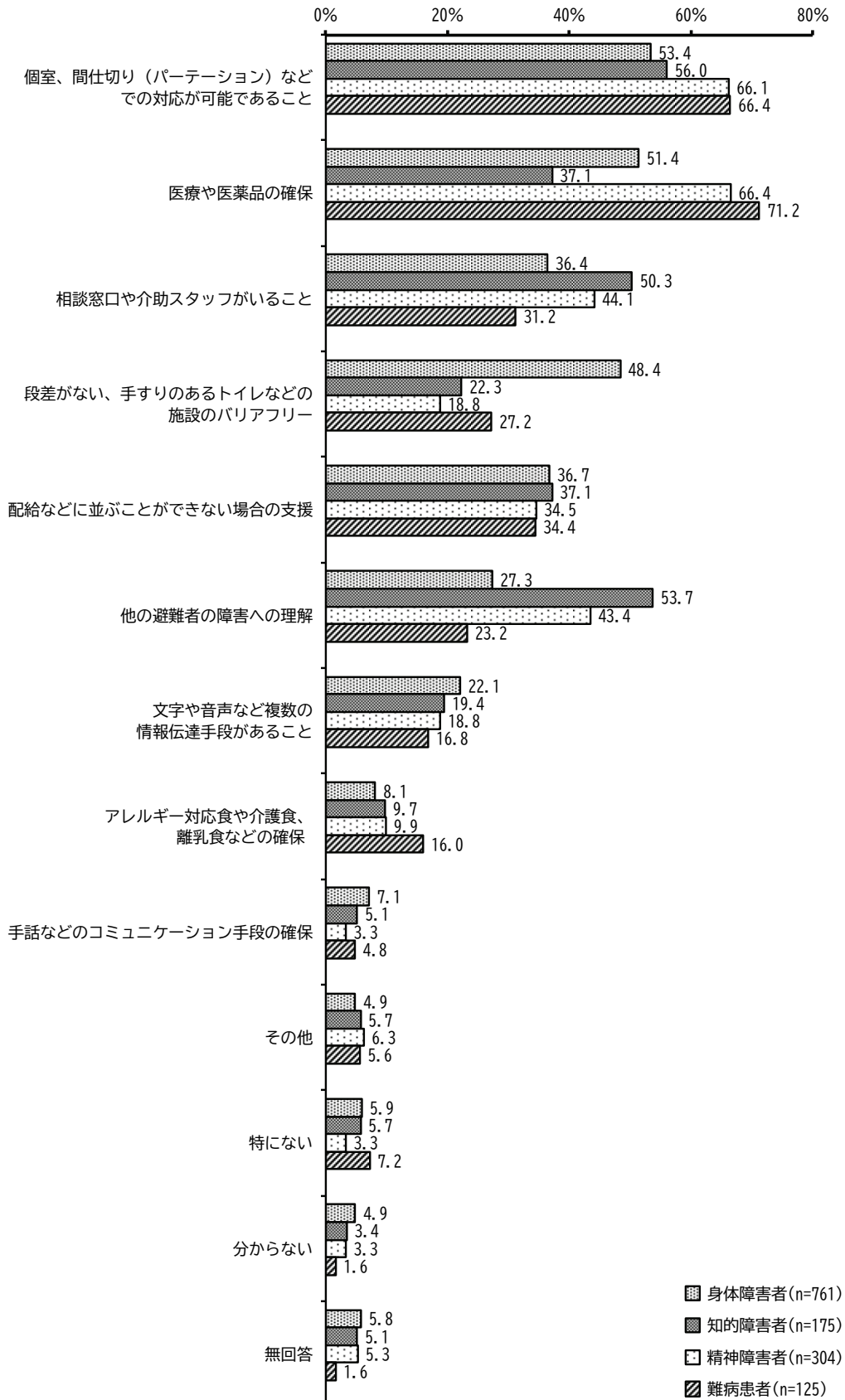


【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「個室、間仕切り(パーテーション)などでの対応が可能であること」(53.4%)が最も多く、次いで「医療や医薬品の確保」(51.4%)、「段差がない、手すりのあるトイレなどの施設のバリアフリー」(48.4%)が続いている。
- ・知的障害者は「個室、間仕切り(パーテーション)などでの対応が可能であること」(56.0%)が最も多く、次いで「他の避難者の障害への理解」(53.7%)、「相談窓口や介助スタッフがいること」(50.3%)が続いている。
- ・精神障害者は「医療や医薬品の確保」(66.4%)が最も多く、次いで「個室、間仕切り(パーテーション)などでの対応が可能であること」(66.1%)、「相談窓口や介助スタッフがいること」(44.1%)が続いている。

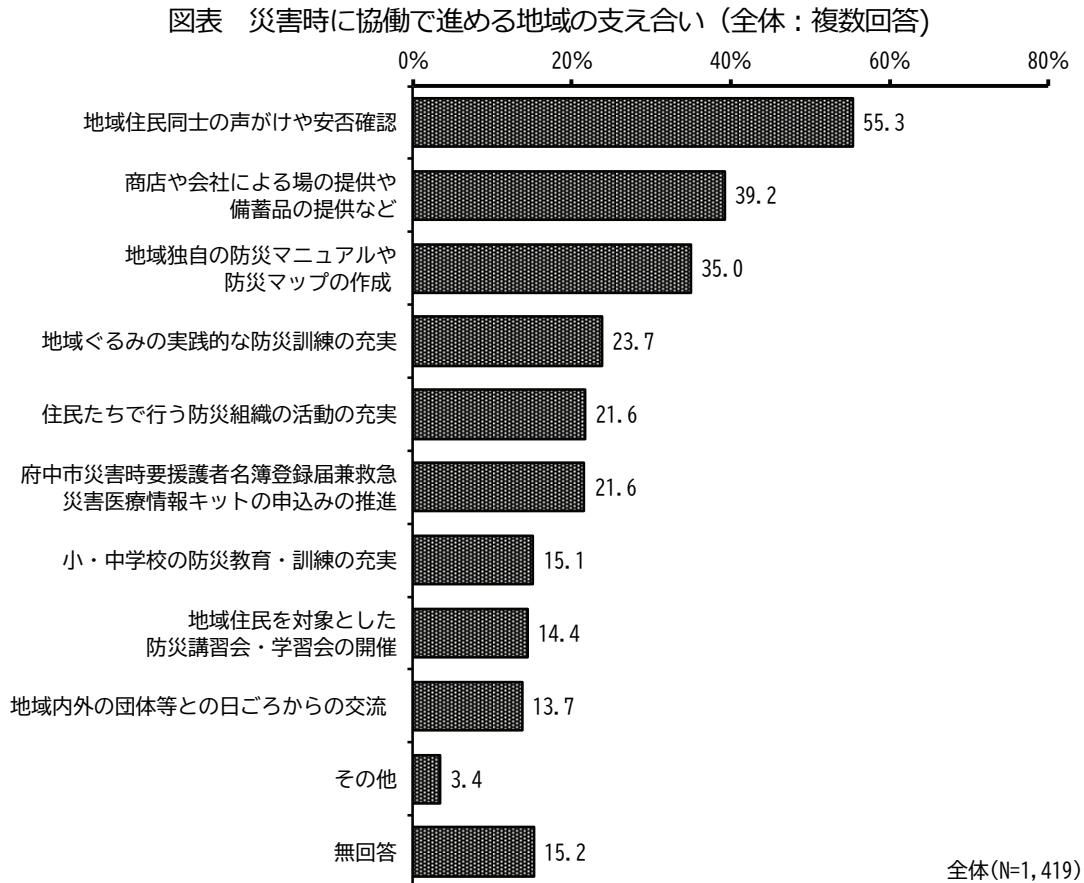
- ・ 難病患者は「医療や医薬品の確保」(71.2%)が最も多く、次いで「個室、間仕切り(パーテーション)などでの対応が可能であること」(66.4%)、「配給などに並ぶことができない場合の支援」(34.4%)、が続いている。

図表 避難場所で希望する配慮(障害等の種類別：複数回答)



問 21 あなたが、災害に備えて市民や企業等が行政と協働で取り組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも○)

- ・「地域住民同士の声かけや安否確認」(55.3%)が最も多く、次いで「商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など」(39.2%)、「地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成」(35.0%)が続いている。

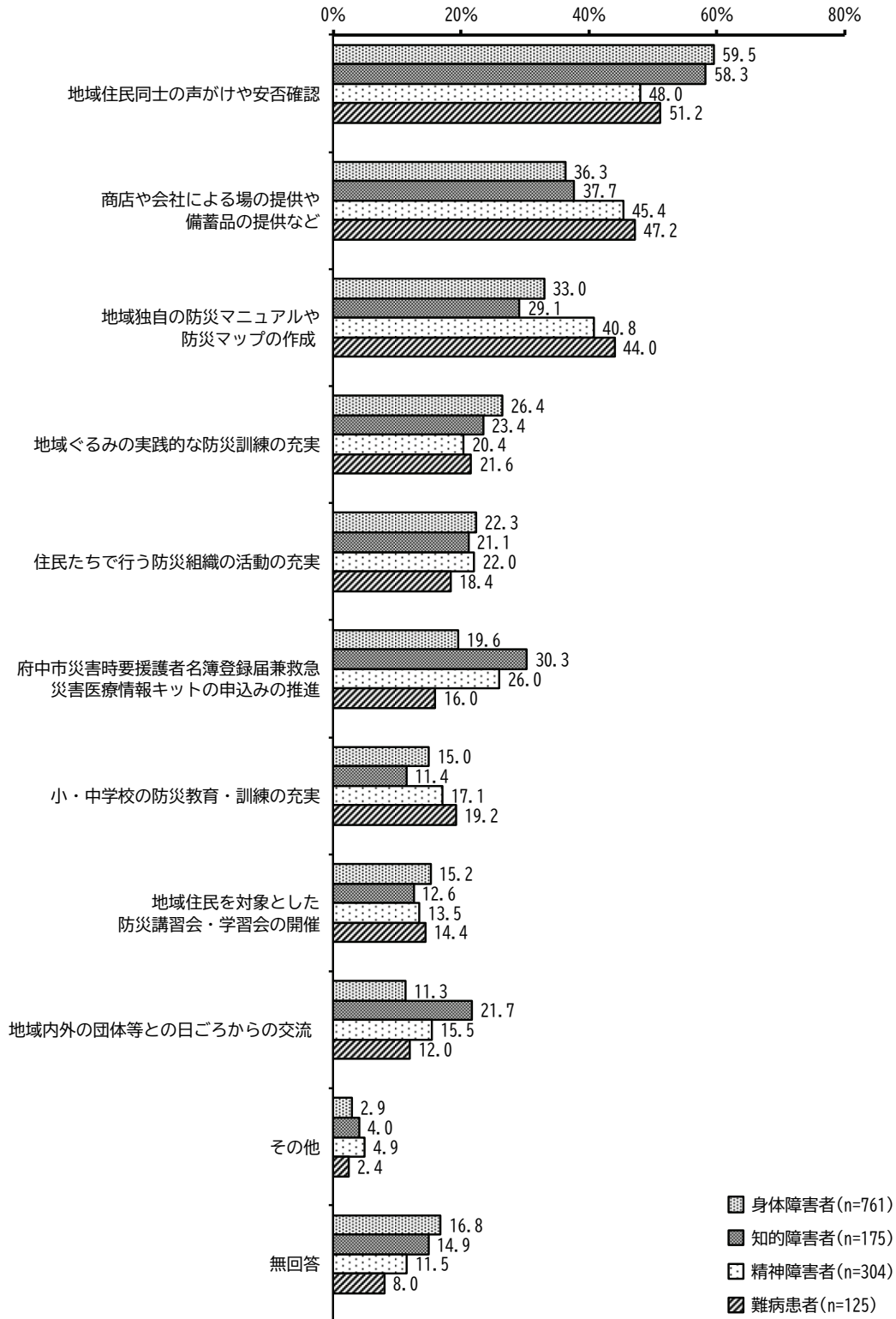


【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「地域住民同士の声かけや安否確認」(59.5%)が最も多く、次いで「商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など」(36.3%)、「地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成」(33.0%)が続いている。
- ・知的障害者は「地域住民同士の声かけや安否確認」(58.3%)が最も多く、次いで「商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など」(37.7%)、「府中市災害時要援護者名簿登録届兼救急災害医療情報キットの申込みの推進」(30.3%)が続いている。
- ・精神障害者は「地域住民同士の声かけや安否確認」(48.0%)が最も多く、次いで「商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など」(45.4%)、「地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成」(40.8%)が続いている。

- ・ 難病患者は「地域住民同士の声かけや安否確認」(51.2%)が最も多く、次いで「商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など」(47.2%)、「地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成」(44.0%)が続いている。

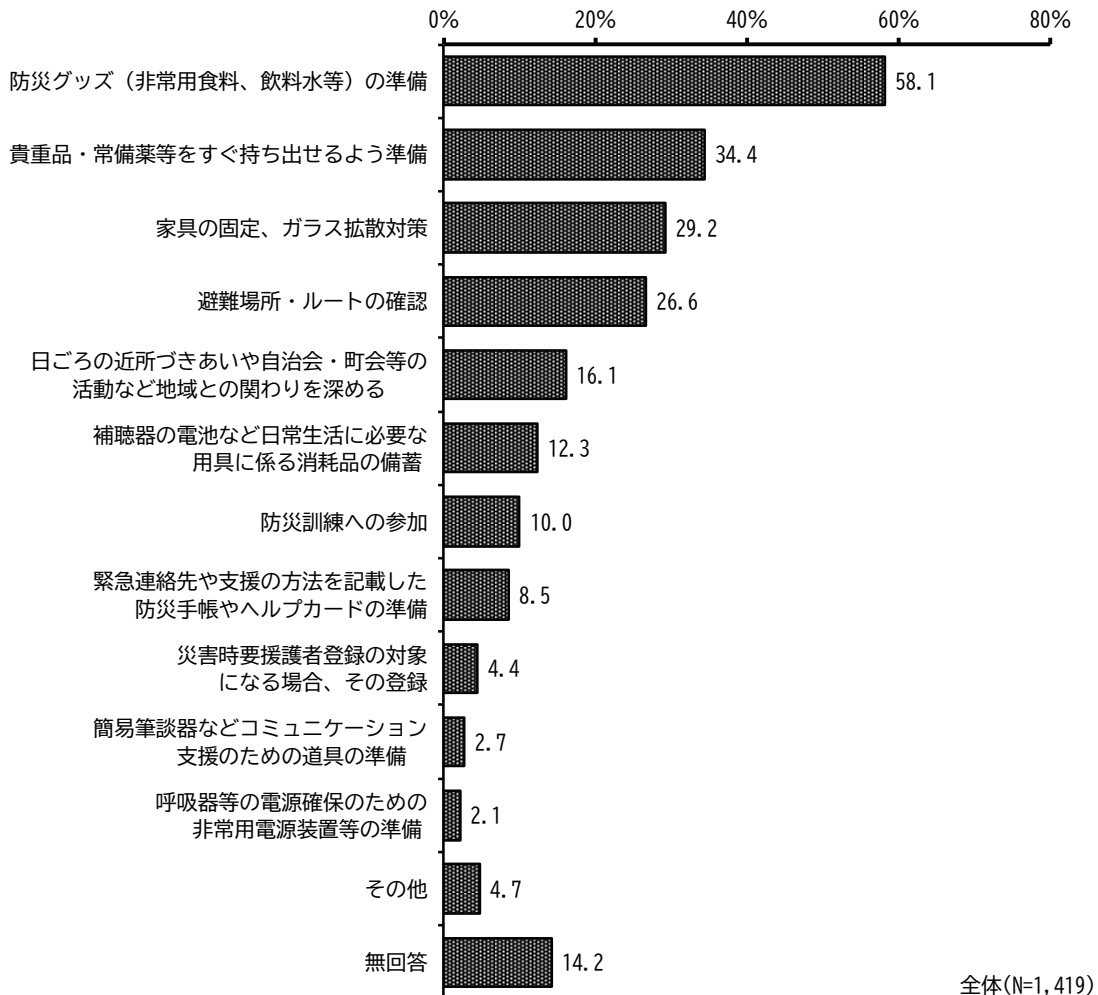
図表 災害時に協働で進める地域の支え合い(障害等の種類別：複数回答)



問22 あなたが災害対策としてふだんから行っていることは何ですか。(いくつでも○)

- ・「防災グッズ(非常用食料、飲料水等)の準備」(58.1%)が最も多く、次いで「貴重品・常備薬等をすぐ持ち出せるよう準備」(34.4%)、「家具の固定、ガラス拡散対策」(29.2%)が続いている。

図表 災害対策としてふだんから行っていること (全体：複数回答)

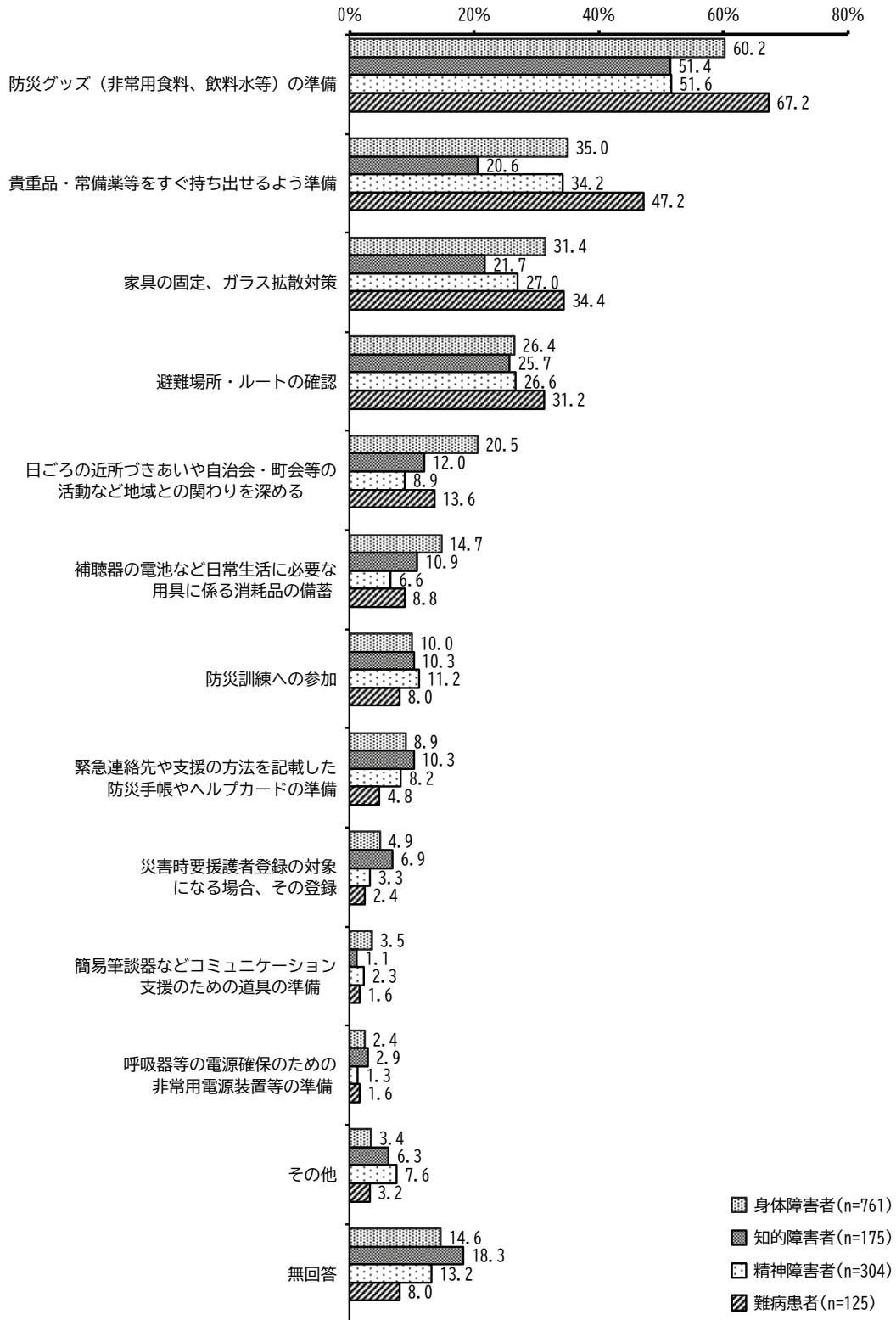


【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「防災グッズ(非常用食料、飲料水等)の準備」(60.2%)が最も多く、次いで「貴重品・常備薬等をすぐ持ち出せるよう準備」(35.0%)、「家具の固定、ガラス拡散対策」(31.4%)が続いている。
- ・知的障害者は「防災グッズ(非常用食料、飲料水等)の準備」(51.4%)が最も多く、次いで「避難場所・ルートの確認」(25.7%)、「家具の固定、ガラス拡散対策」(21.7%)が続いている。
- ・精神障害者は「防災グッズ(非常用食料、飲料水等)の準備」(51.6%)が最も多く、次いで「貴重品・常備薬等をすぐ持ち出せるよう準備」(34.2%)、「家具の固定、ガラス拡散対策」(27.0%)が続いている。

- ・ 難病患者は「防災グッズ(非常用食料、飲料水等)の準備」(67.2%)が最も多く、次いで「貴重品・常備薬等をすぐ持ち出せるよう準備」(47.2%)、「家具の固定、ガラス拡散対策」(34.4%)が続いている。

図表 災害対策としてふだんから行っていること(障害等の種類別：複数回答)



(9) 医療について

問23 あなたは、入院したことがありますか。(1つに○)

- ・「ある」は77.2%である。

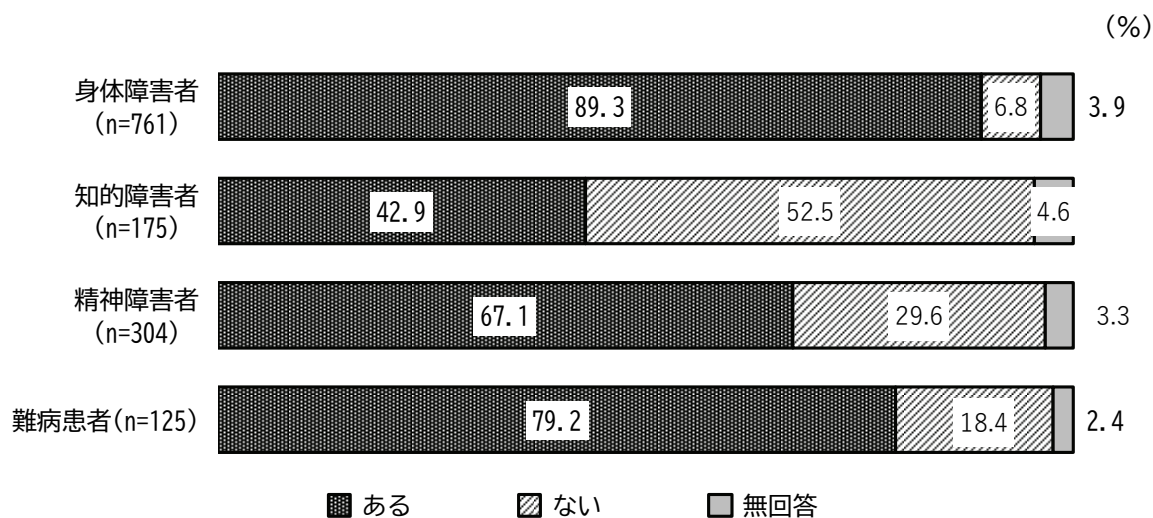
図表 入院経験の有無(全体)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「ある」が89.3%で、全体より12.1ポイント高い。

図表 入院経験の有無(障害等の種類別)

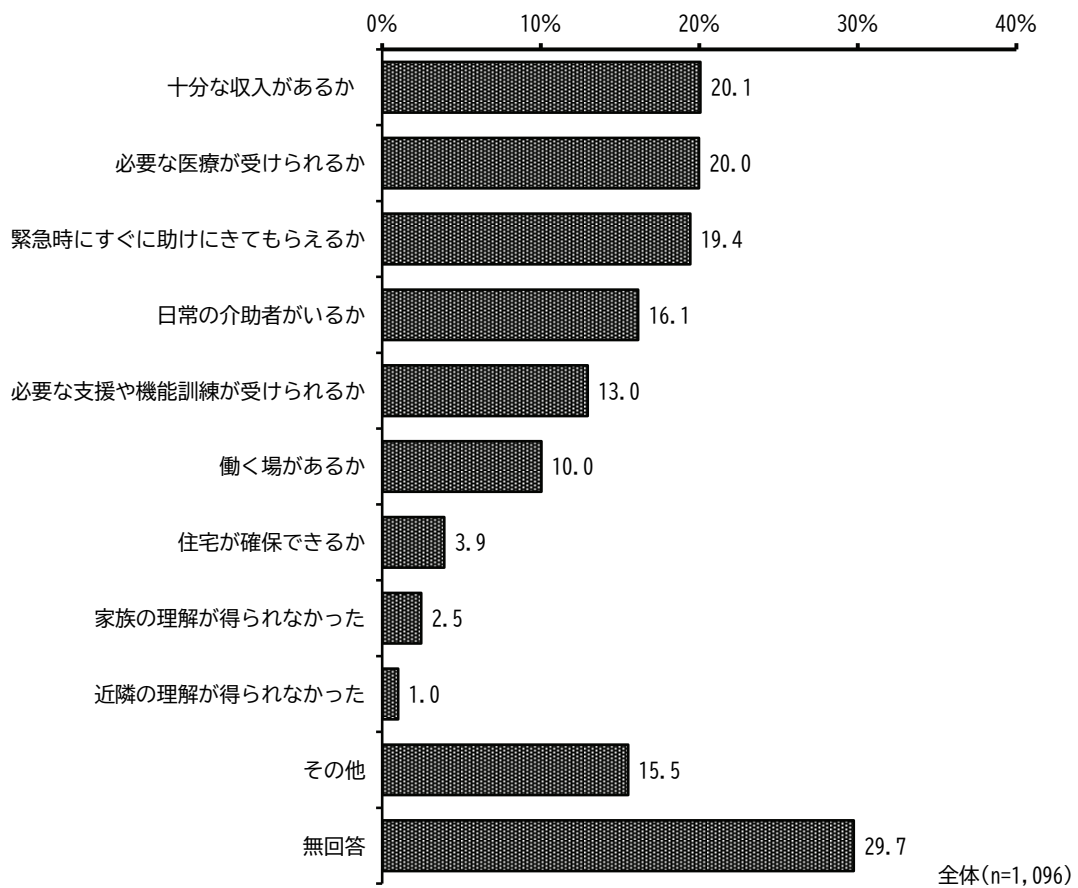


問23-1 問23で「1.ある」と答えた方におたずねします。

退院するにあたり困ったことはありましたか。(いくつでも○)

- ・「十分な収入があるか」(20.1%)が最も多く、「必要な医療が受けられるか」(20.0%)、「緊急時にすぐに助けにきてもらえるか」(19.4%)が続いている。

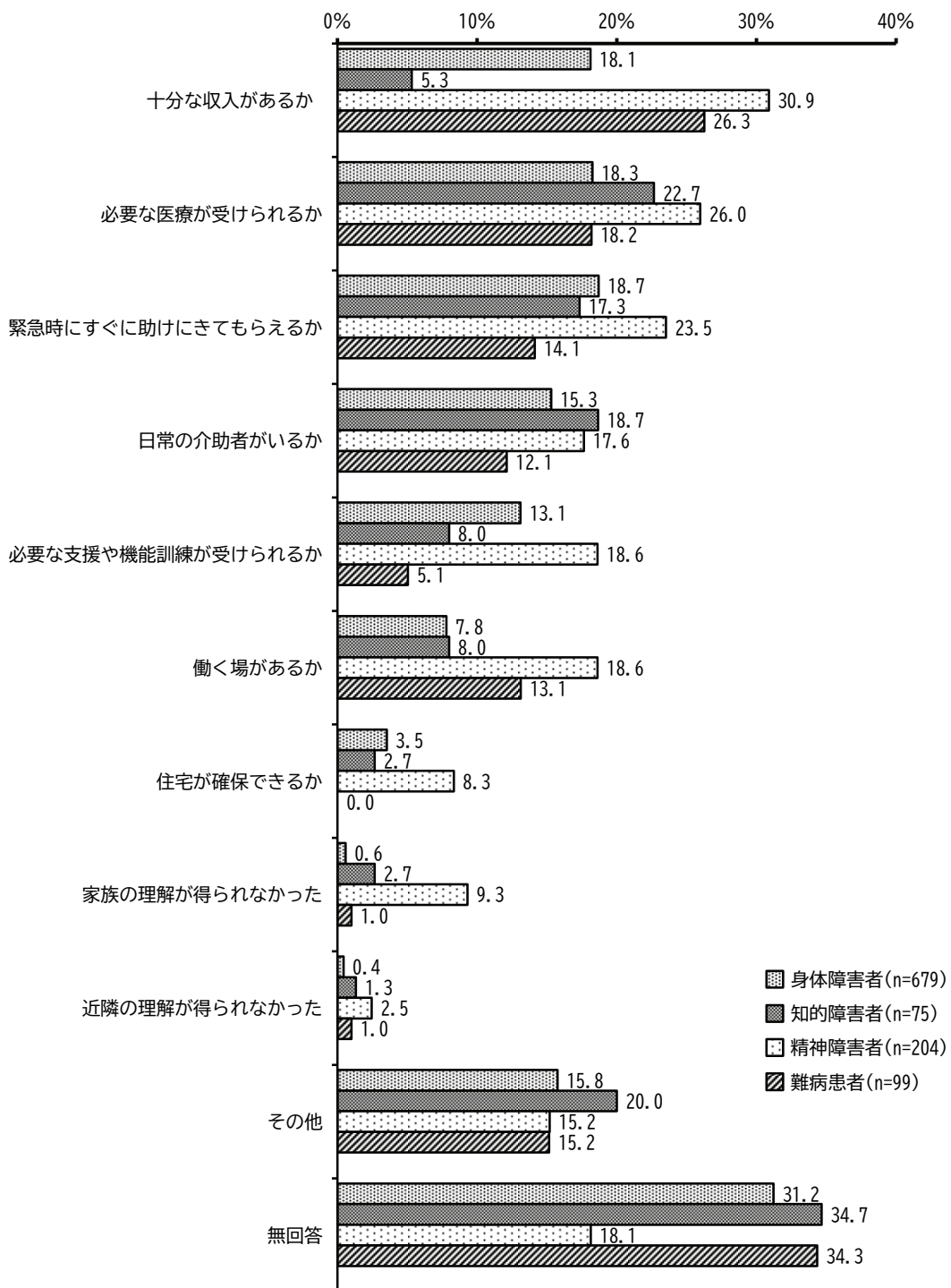
図表 退院するにあたっての困りごと (全体:複数回答)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「緊急時にすぐに助けにきてもらえるか」(18.7%)が最も多く、「必要な医療が受けられるか」(18.3%)が続いている。
- ・知的障害者は「必要な医療が受けられるか」(22.7%)が最も多く、「日常の介助者がいるか」(18.7%)が続いている。
- ・精神障害者と難病患者は「十分な収入があるか」(精神：30.9%、難病：26.3%)が最も多く、「必要な医療が受けられるか」(精神：26.0%、難病：18.2%)が続いている。

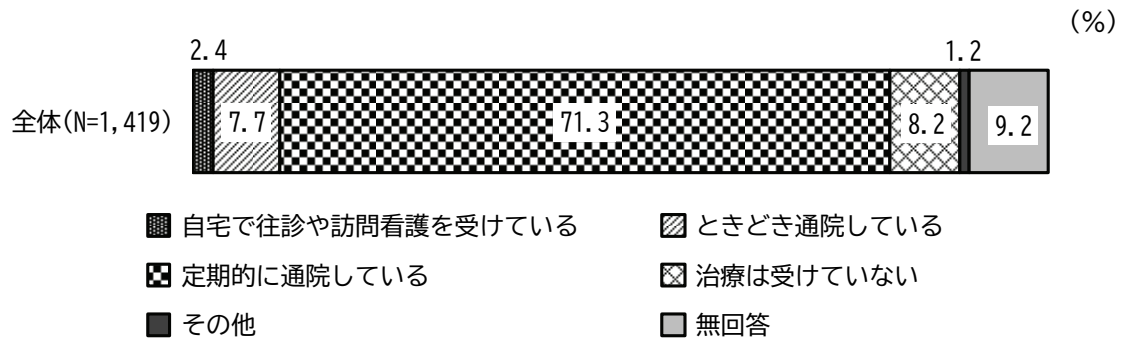
図表 退院するにあたっての困りごと(障害等の種類別:複数回答)



問24 あなたは、現在、通院して医師の治療を受けていますか。(1つに○)

- ・「定期的に通院している」(71.3%)が7割を超えている。

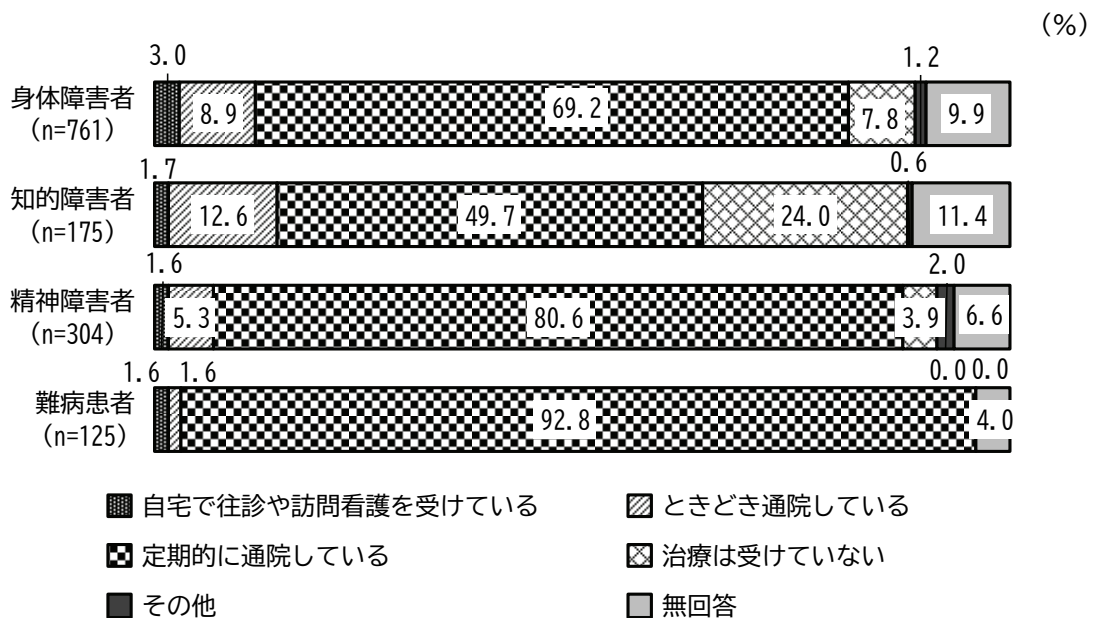
図表 現在受けている医療(全体)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者のいずれも「定期的に通院している」(身体:69.2%、知的:49.7%、精神:80.6%、難病:92.8%)が最も多い。全体と比べて、精神障害者は9.3ポイント、難病患者は21.5ポイント高い。

図表 現在受けている医療(障害等の種類別)

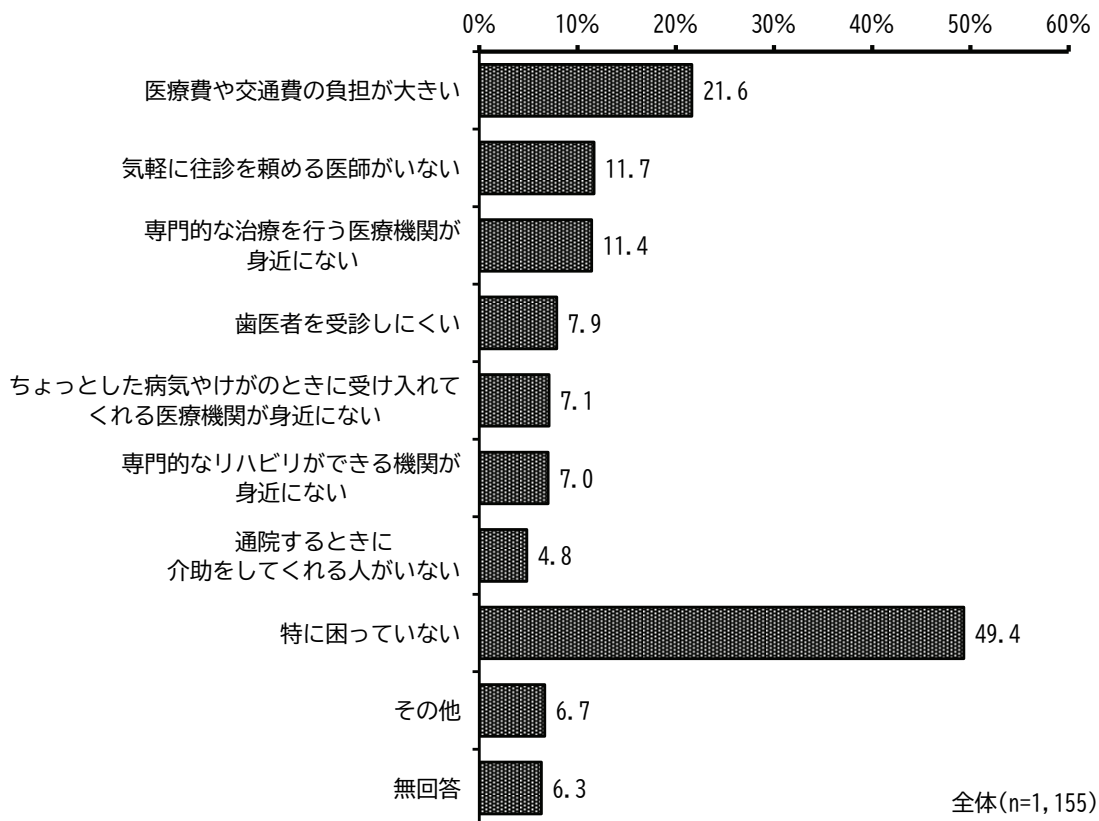


問24-1 問24で「1」、「2」、「3」と答えた方におたずねします。

通院などでお困りのことはありますか。(いくつでも○)

- ・ 困りごとの理由の中では、「医療費や交通費の負担が大きい」(21.6%)が最も多く、次いで「気軽に往診を頼める医師がいない」(11.7%)、「専門的な治療を行う医療機関が身近にない」(11.4%)が続いている。「特に困っていない」は49.4%である。

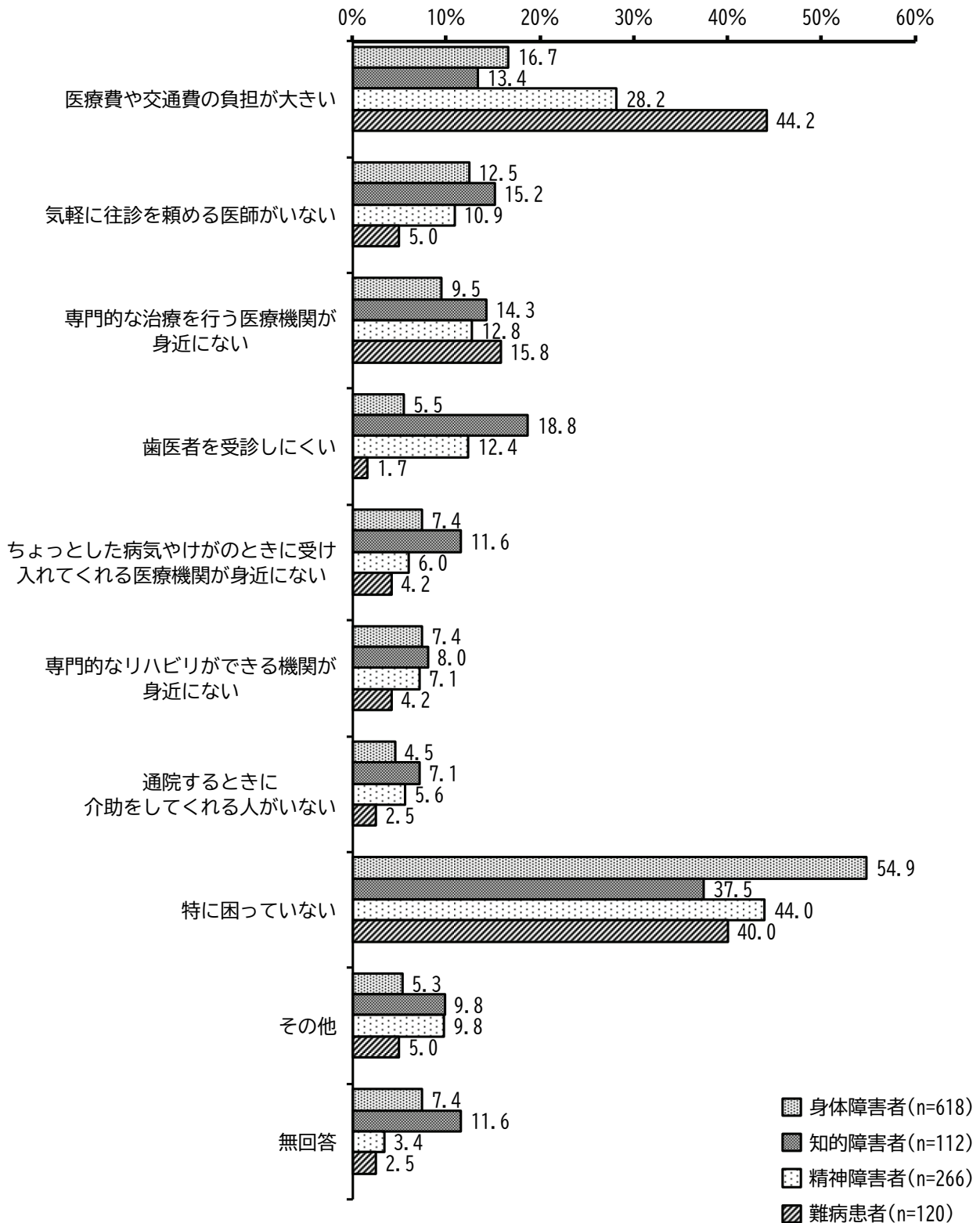
図表 通院などでの困りごと (全体:複数回答)



【障害等の種類別】

- ・身体障害者、精神障害者、難病患者は「医療費や交通費の負担が大きい」(身体:16.7%、精神:28.2%、難病:44.2%)が最も多い。
- ・知的障害者は「歯医者を受診しにくい」(18.8%)が最も多い。

図表 通院などでの困りごと(障害等の種類別:複数回答)



(10) 地域・共生社会について

問25 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに○)

- ・「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(34.9%)が最も多く、次いで「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(19.5%)、「全く交流はなく、近隣に住む人を知らない」(12.4%)が続いている。

図表 近所づきあいの現状 (全体)

(%)



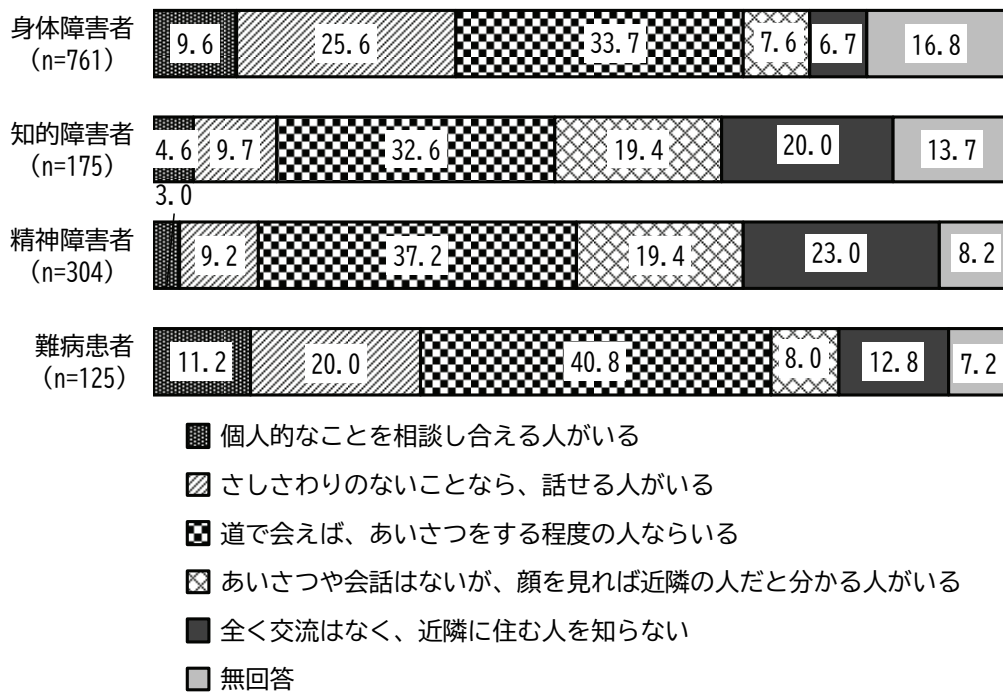
- 個人的なことを相談し合える人がいる
- さしさわりのないことなら、話せる人がいる
- 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる
- あいさつや会話は無いが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる
- 全く交流はなく、近隣に住む人を知らない
- 無回答

【障害等の種類別】

- ・身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者のいずれも「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」（身体：33.7%、知的：32.6%、精神：37.2%、難病：40.8%）が最も多い。
- ・身体障害者、難病患者は「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」（身体：25.6%、難病：20.0%）が2割台である。
- ・知的障害者と精神障害者は「全く交流はなく、近隣に住む人を知らない」（知的：20.0%、精神：23.0%）が2割台である。

図表 近所づきあいの現状（障害等の種類別）

(%)



【圏域別】

- ・ 武蔵台文化センター圏域、新町文化センター圏域は「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(武蔵台：33.3%、新町：24.7%)は、全体よりそれぞれ13.8ポイント、5.2ポイント高い。
- ・ 白糸台文化センター圏域、紅葉丘文化センター圏域、押立文化センター圏域は「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(白糸台：41.9%、紅葉丘：40.2%、押立：43.2%)が全体よりそれぞれ7.0ポイント、5.3ポイント、8.3ポイント高い。
- ・ 是政文化センター圏域は「全く交流はなく、近隣に住む人を知らない」(18.3%)が全体より5.9ポイント高い。

図表 近所づきあいの現状(全体、圏域別)

			(%)					
			個人的なことを相談し合える人がいる	さしさわりのないことなら、話せる人がいる	道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる	あいさつや会話はなくても、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる	全く交流はなく、近隣に住む人を知らない	無回答
全体		(N=1,419)	7.6	19.5	34.9	11.6	12.4	14.0
圏域別	中央文化センター圏域	(n=231)	6.1	17.3	32.8	15.2	17.3	11.3
	白糸台文化センター圏域	(n=141)	10.6	14.9	41.9	11.3	9.2	12.1
	西府文化センター圏域	(n=88)	8.0	15.9	34.1	12.5	12.5	17.0
	武蔵台文化センター圏域	(n=96)	5.2	33.3	34.4	7.3	6.3	13.5
	新町文化センター圏域	(n=162)	11.1	24.7	32.2	11.7	8.0	12.3
	住吉文化センター圏域	(n=152)	7.9	23.0	29.0	9.9	13.8	16.4
	是政文化センター圏域	(n=120)	5.0	20.0	34.2	11.7	18.3	10.8
	紅葉丘文化センター圏域	(n=107)	10.3	18.7	40.2	8.4	11.2	11.2
	押立文化センター圏域	(n=58)	8.6	13.8	43.2	10.3	6.9	17.2
	四谷文化センター圏域	(n=66)	10.6	19.7	36.3	7.6	10.6	15.2
片町文化センター圏域	(n=124)	5.6	16.9	39.6	12.9	12.1	12.9	

問 26 これからは、支え手側と受け手側に分かれるのではなく、誰もが役割を持ち、活躍できる地域共生社会の実現が求められています。

①あなたは地域で次のようなことを頼みたいと思いますか。【地域で頼みたいこと】

②また、地域で次のようなことを頼まれたらできますか。【地域で頼まれたらできること】

(1)～(8)について、①と②のそれぞれ1つに○をつけてください。

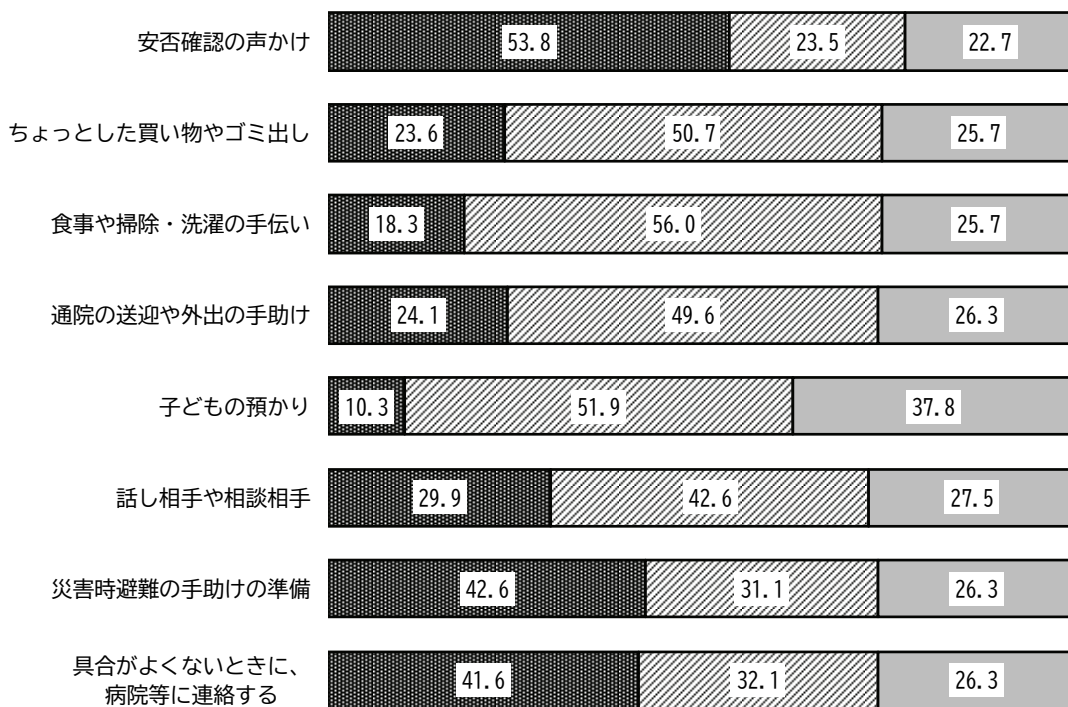
◎地域で頼みたいこと(問 26①)

- ・『安否確認の声かけ』(53.8%)が最も多く、次いで『災害時避難の手助けの準備』(42.6%)、『具合がよくないときに、病院等に連絡する』(41.6%)が続いている。

図表 地域で頼みたいこと (全体)

全体(N=1,419)

(%)



■ 頼みたい・頼みたいと思ったことがある ▨ 頼みたくない □ 無回答

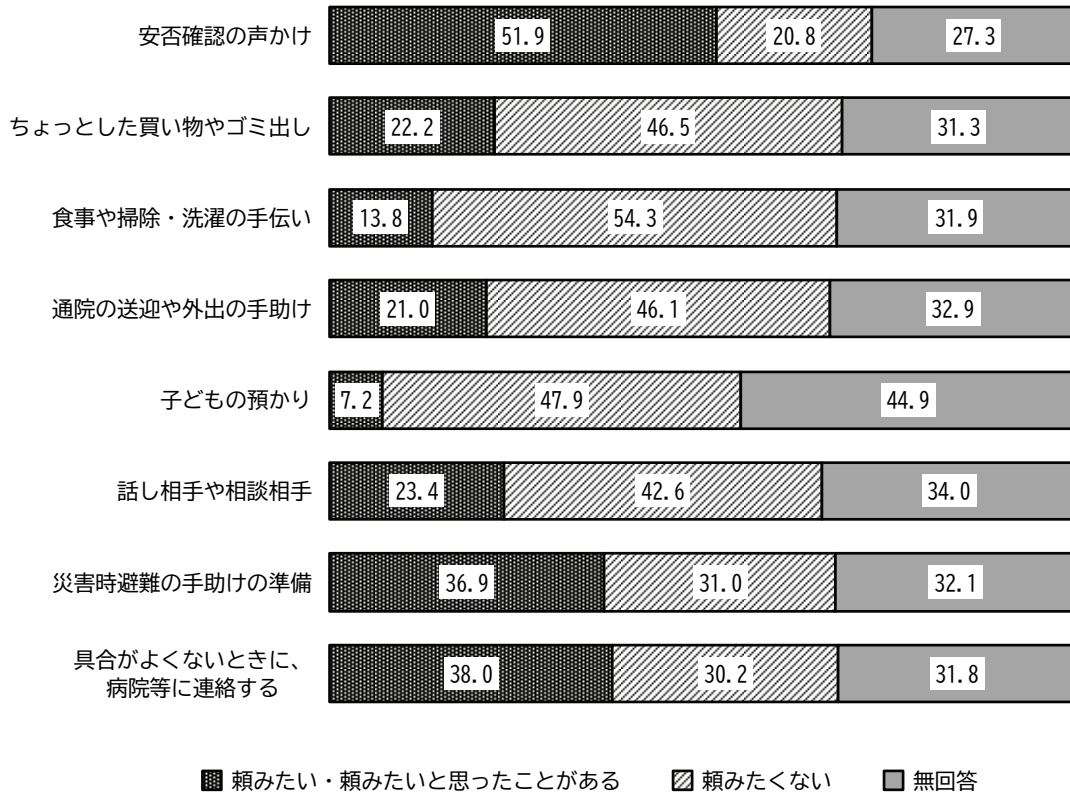
【障害等の種類別】

- ・身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者のいずれも『安否確認の声かけ』(身体：51.9%、知的：59.4%、精神：55.6%、難病：58.4%)が最も多い。
- ・2番目に多い項目は、身体障害者と難病患者は『具合がよくないときに、病院等に連絡する』(身体：38.0%、難病：44.0%)、知的障害者と精神障害者は『災害時避難の手助けの準備』(知的：54.3%、精神：52.6%)となっている。

図表 地域で頼みたいこと（障害等の種類別）

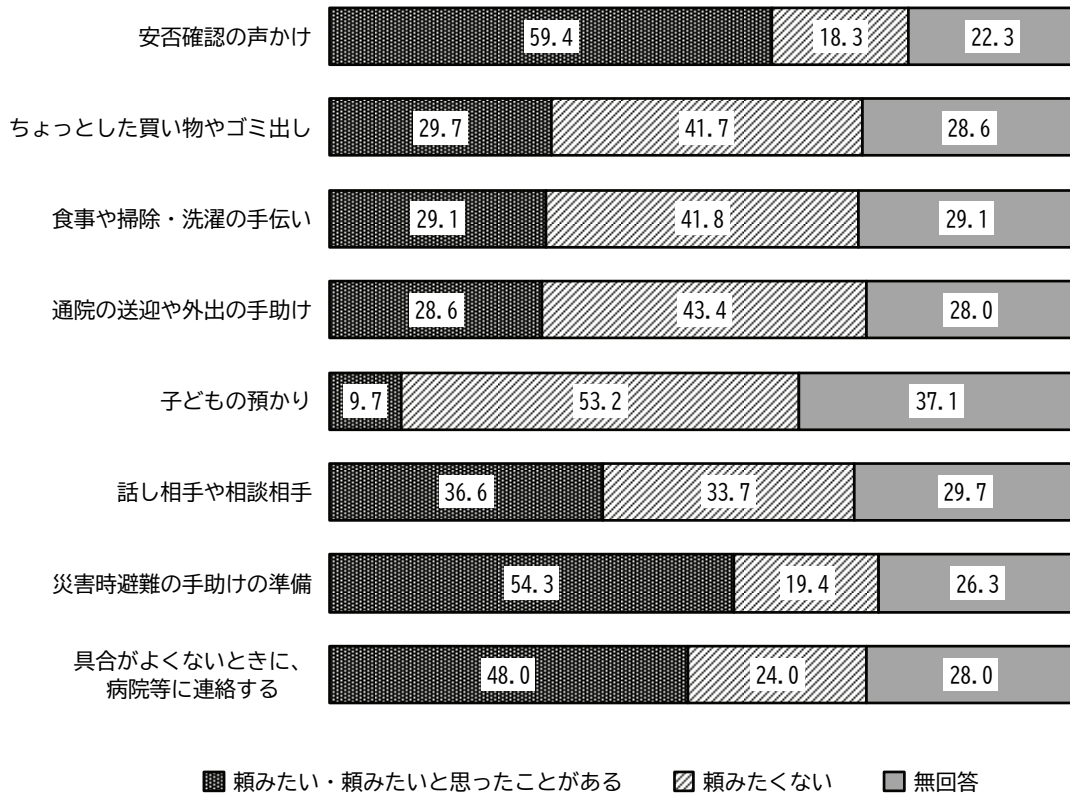
身体障害者(n=761)

(%)



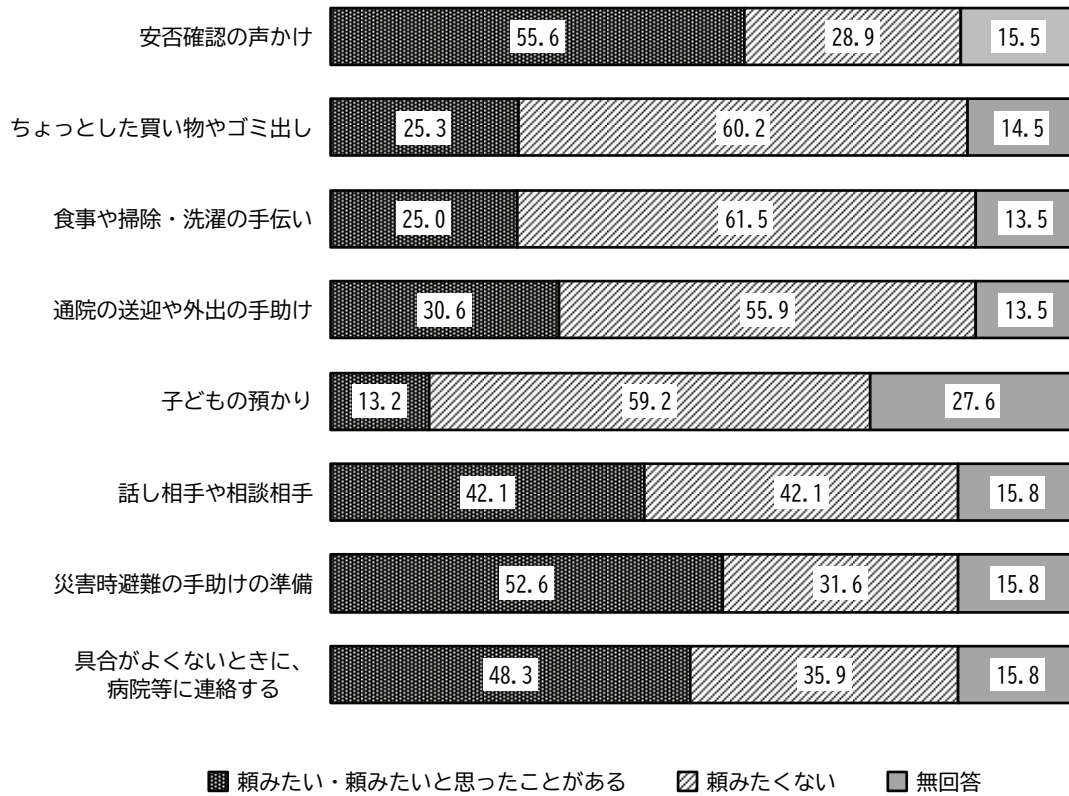
知的障害者(n=175)

(%)



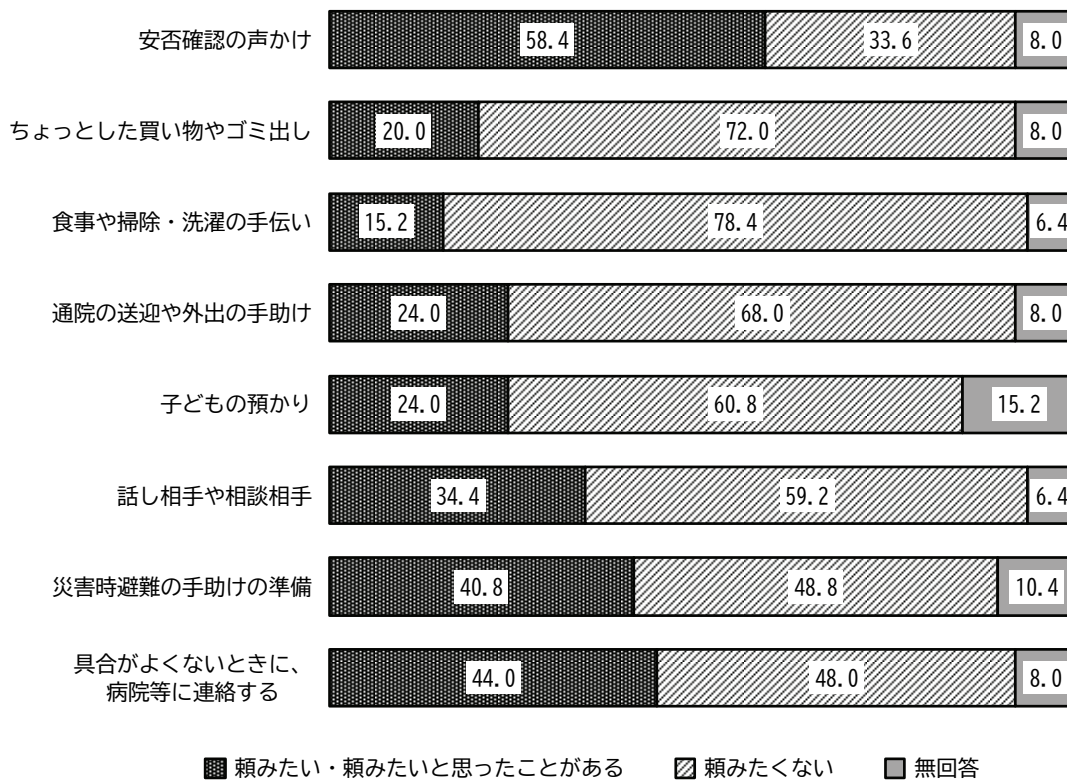
精神障害者(n=304)

(%)



難病患者(n=125)

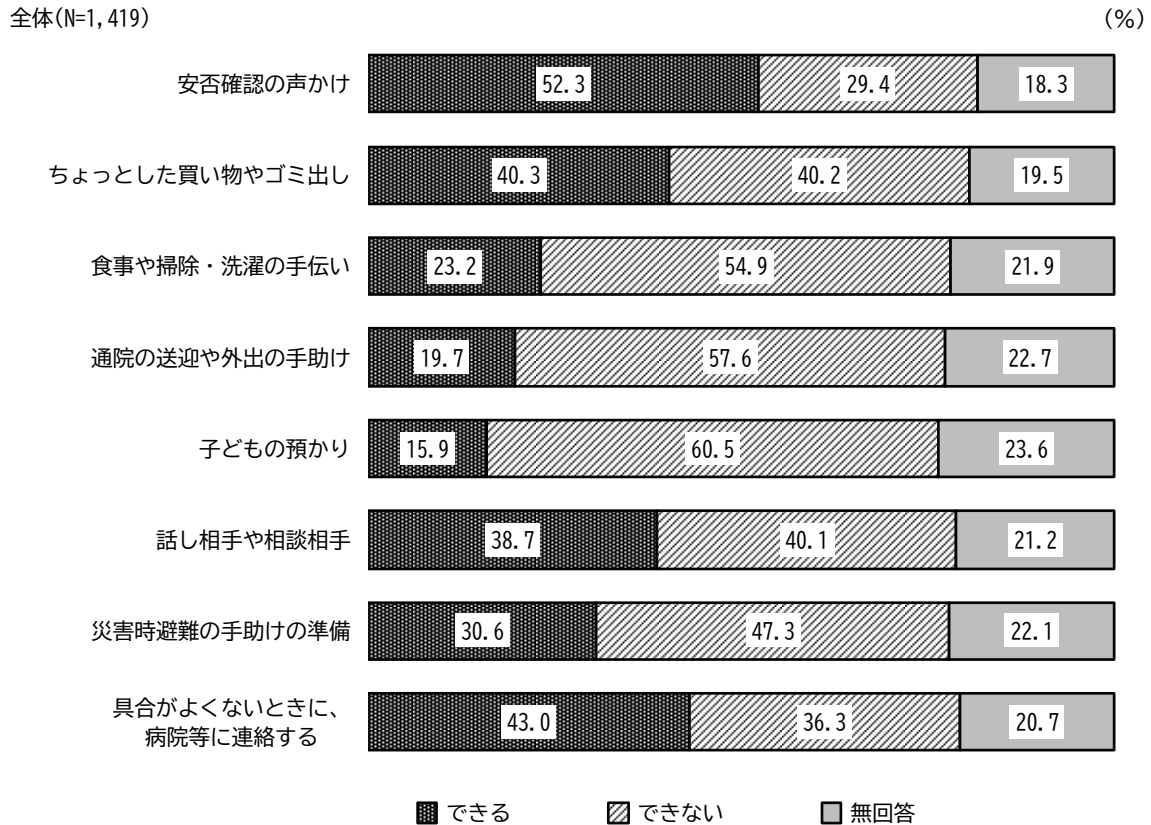
(%)



◎頼まれたらできること(問 26②)

- ・『安否確認の声かけ』(52.3%)が最も多く、次いで『具合がよくないときに、病院等に連絡する』(43.0%)、『ちょっとした買い物やゴミ出し』(40.3%)が続いている。

図表 頼まれたらできること (全体)



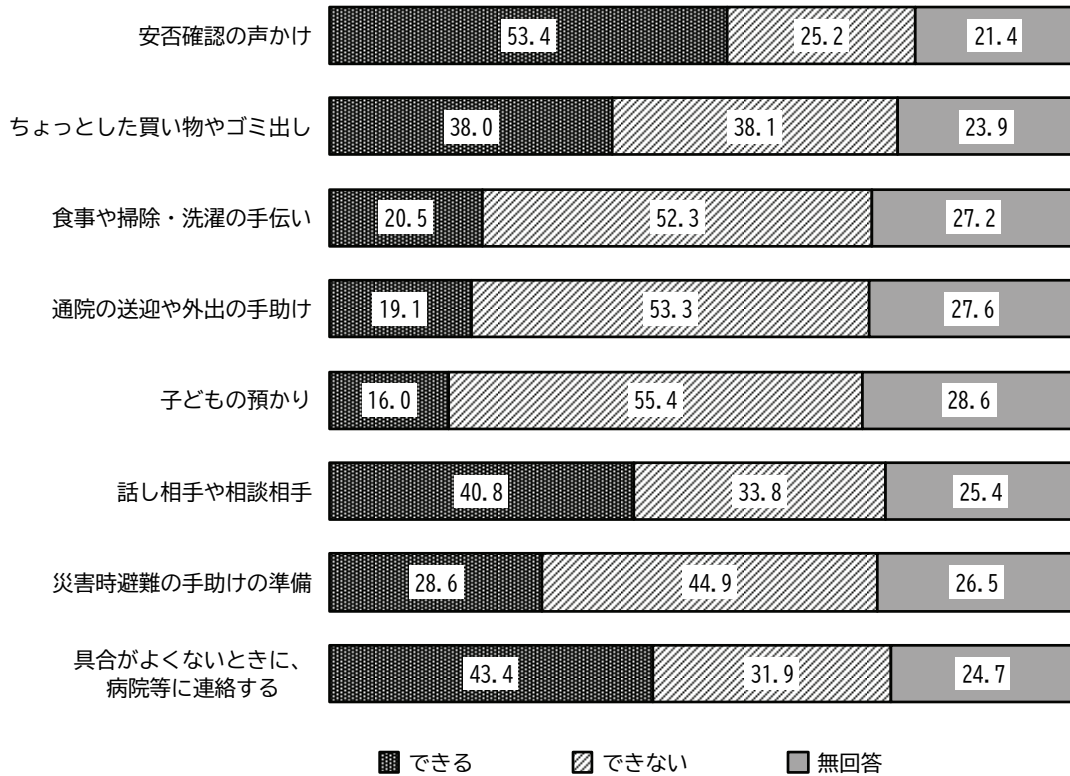
【障害等の種類別】

- ・身体障害者、精神障害者、難病患者は『安否確認の声かけ』(身体：53.4%、精神：51.3%、難病：81.6%)が最も多い。知的障害者は『ちょっとした買い物やゴミ出し』(34.3%)が最も多い。
- ・2番目に多い項目は、身体障害者、精神障害者、難病患者は『具合がよくないときに、病院等に連絡する』(身体：43.4%、精神：47.7%、難病：72.0%)、知的障害者は『安否確認の声かけ』(30.3%)となっている。

図表 頼まれたらできること（障害等の種類別）

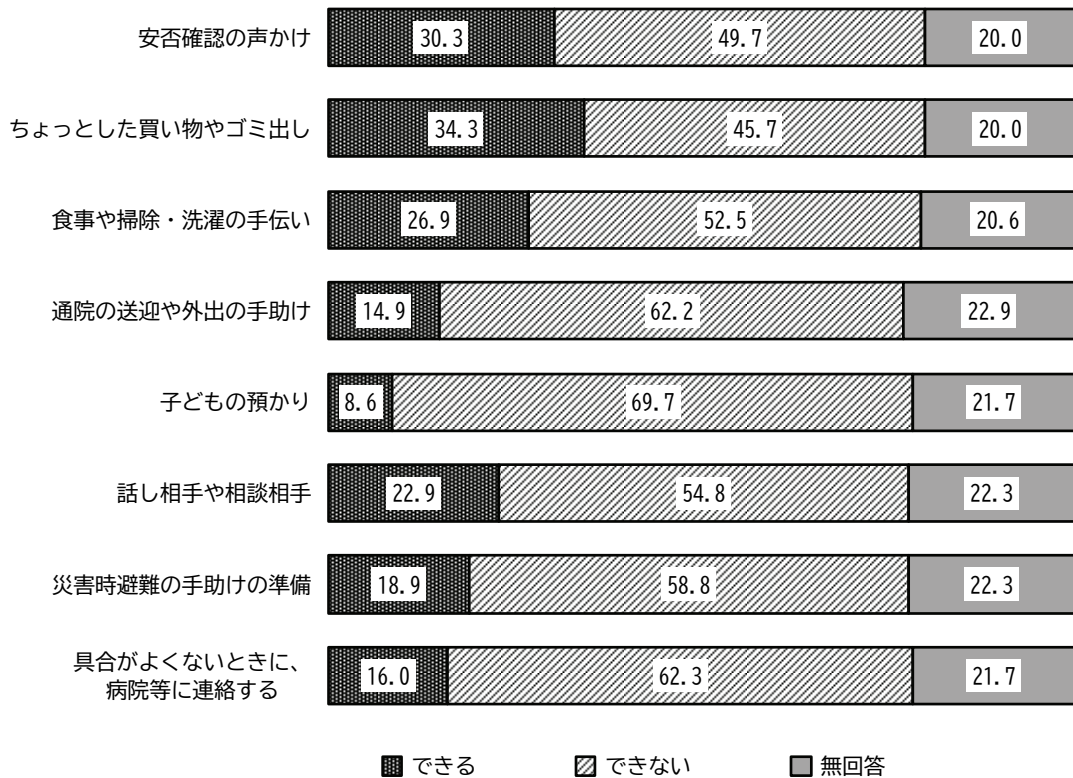
身体障害者(n=761)

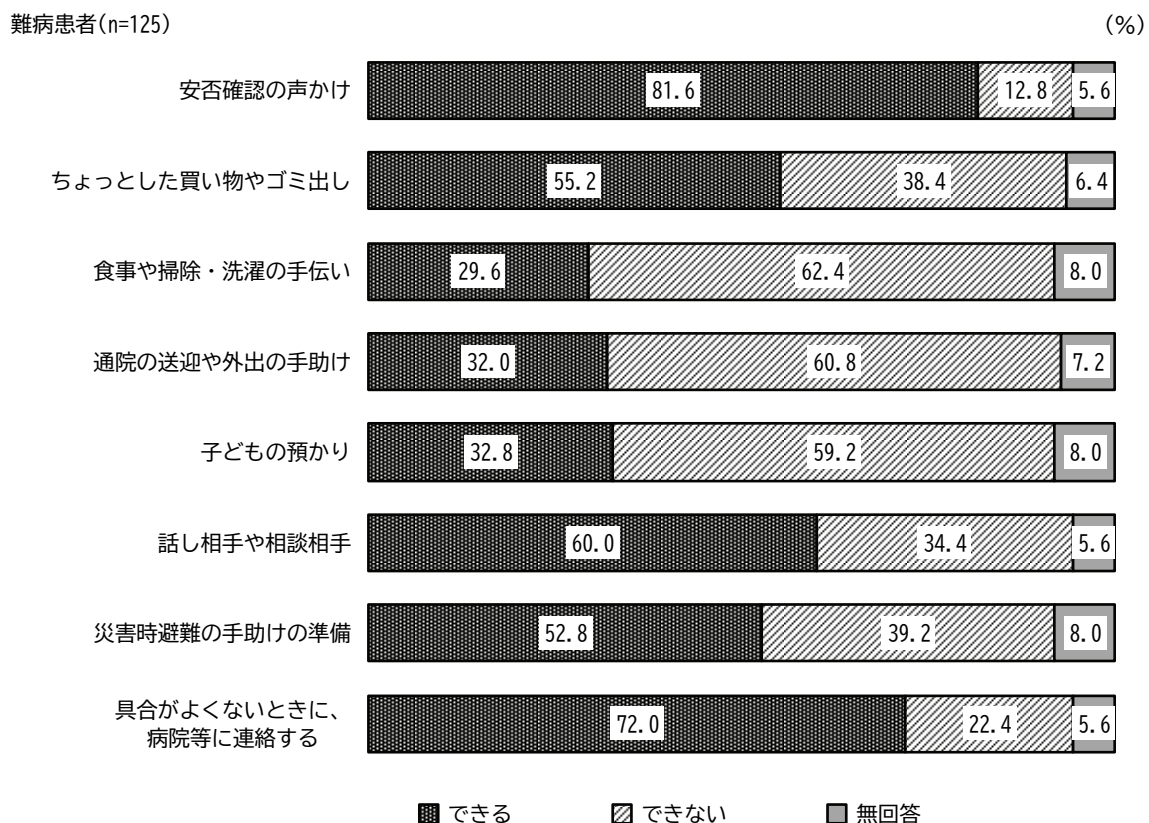
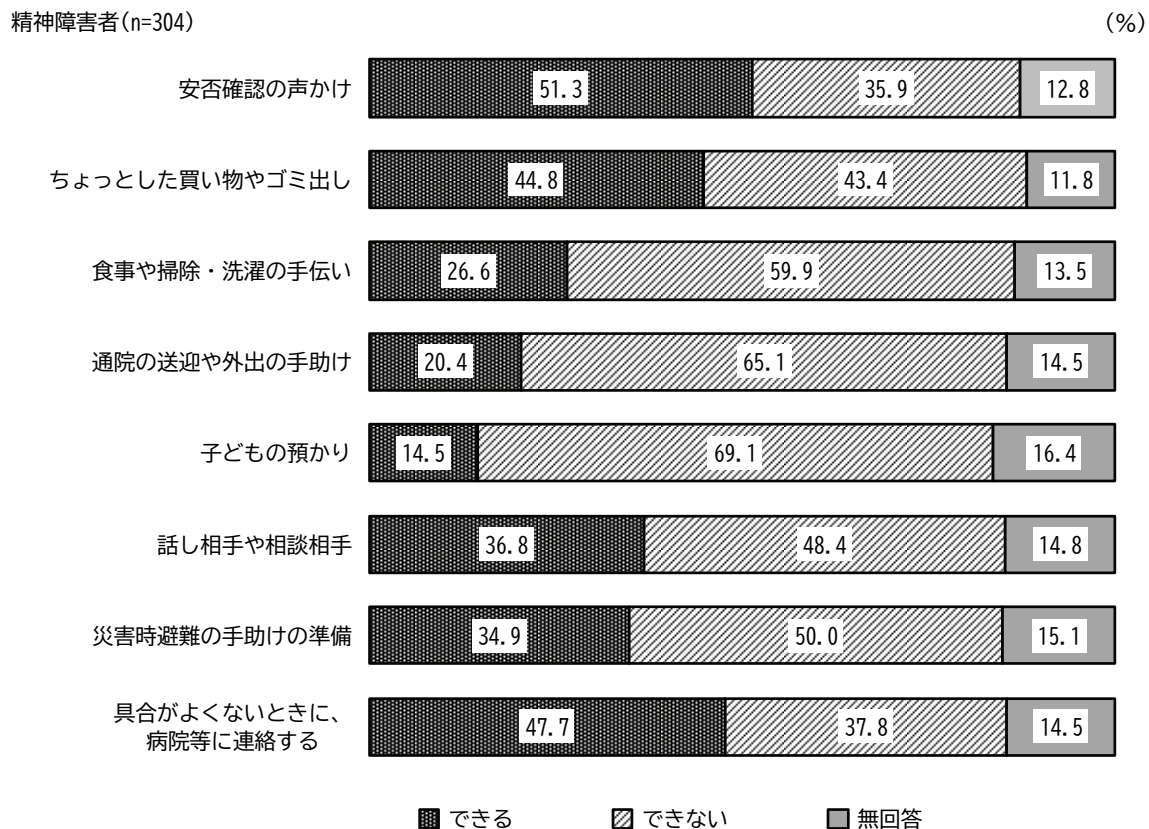
(%)



知的障害者(n=175)

(%)



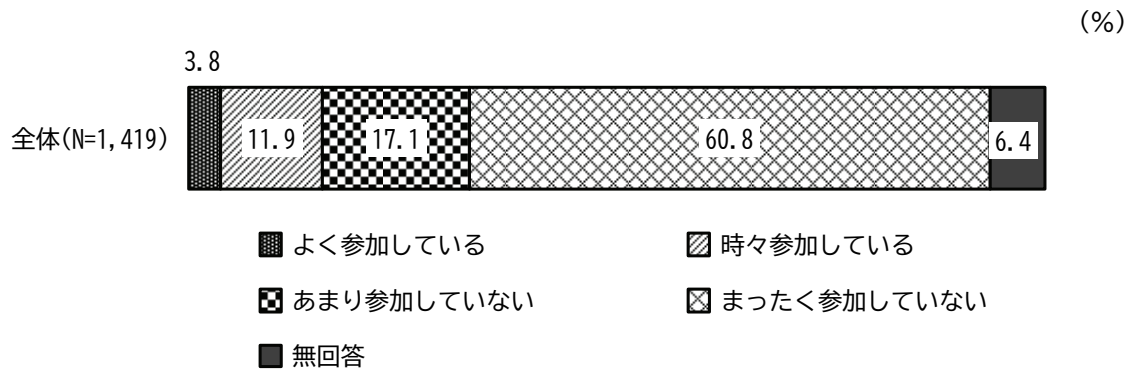


問27 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。

(1つに○)

- ・ 「よく参加している」(3.8%)と「時々参加している」(11.9%)をあわせた<参加している>は15.7%である。「あまり参加していない」(17.1%)と「まったく参加していない」(60.8%)をあわせた<参加していない>は77.9%である。

図表 地域活動への参加程度 (全体)



【圏域別】

- ・ 西府文化センター圏域と押立文化センター圏域は、「時々参加している」(西府:19.3%、押立:17.2%)が全体より5ポイント以上高い。
- ・ 押立文化センター圏域と四谷文化センター圏域は、「あまり参加していない」(押立:24.1%、四谷:25.8%)が全体より5ポイント以上高い。

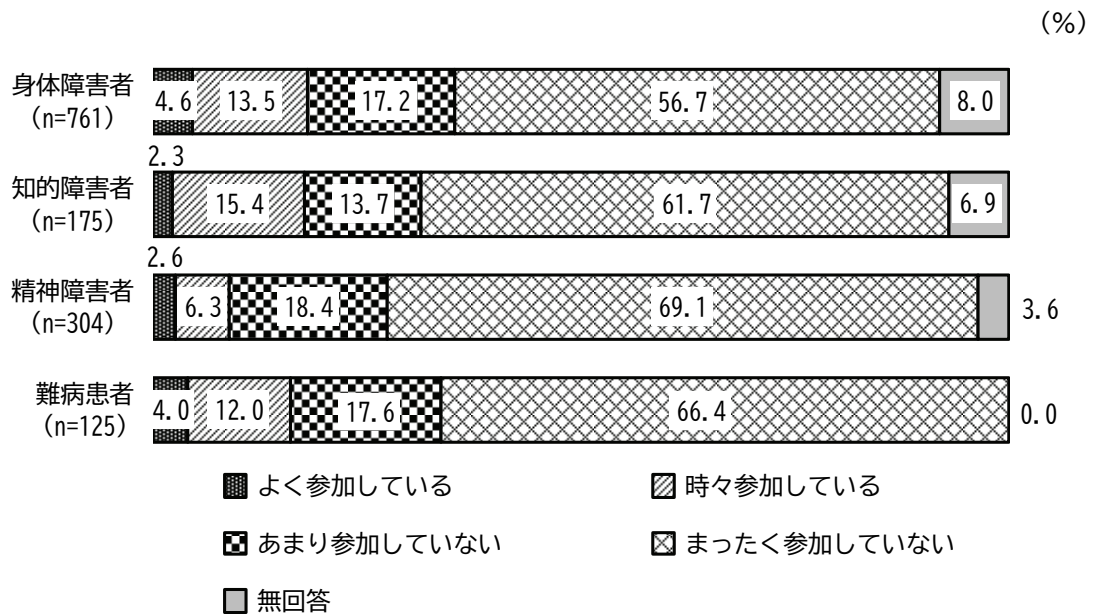
図表 地域活動への参加程度 (圏域別)

			(%)				
			よく参加している	時々参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
全体		(N=1,419)	3.8	11.9	17.1	60.8	6.4
圏域別	中央文化センター圏域	(n=231)	4.3	12.1	19.5	59.8	4.3
	白糸台文化センター圏域	(n=141)	3.5	10.6	17.0	63.2	5.7
	西府文化センター圏域	(n=88)	4.5	19.3	13.6	60.3	2.3
	武蔵台文化センター圏域	(n=96)	5.2	7.3	16.7	64.5	6.3
	新町文化センター圏域	(n=162)	6.8	11.1	19.1	58.1	4.9
	住吉文化センター圏域	(n=152)	2.6	13.2	11.8	63.2	9.2
	是政文化センター圏域	(n=120)	1.7	9.2	17.5	64.1	7.5
	紅葉丘文化センター圏域	(n=107)	2.8	14.0	16.8	61.7	4.7
	押立文化センター圏域	(n=58)	1.7	17.2	24.1	51.8	5.2
	四谷文化センター圏域	(n=66)	1.5	12.1	25.8	56.1	4.5
	片町文化センター圏域	(n=124)	3.2	13.7	17.7	59.8	5.6

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「よく参加している」(4.6%)と「時々参加している」(13.5%)をあわせて「参加している」は18.1%である。「あまり参加していない」(17.2%)と「まったく参加していない」(56.7%)をあわせて「参加していない」は73.9%である。
- ・知的障害者は「よく参加している」(2.3%)と「時々参加している」(15.4%)をあわせて「参加している」は17.7%である。「あまり参加していない」(13.7%)と「まったく参加していない」(61.7%)をあわせて「参加していない」は75.4%である。
- ・精神障害者は「よく参加している」(2.6%)と「時々参加している」(6.3%)をあわせて「参加している」は8.9%である。「あまり参加していない」(18.4%)と「まったく参加していない」(69.1%)をあわせて「参加していない」は87.5%である。
- ・難病患者は「よく参加している」(4.0%)と「時々参加している」(12.0%)をあわせて「参加している」は16.0%である。「あまり参加していない」(17.6%)と「まったく参加していない」(66.4%)をあわせて「参加していない」は84.0%である。

図表 地域活動への参加程度 (障害等の種類別)

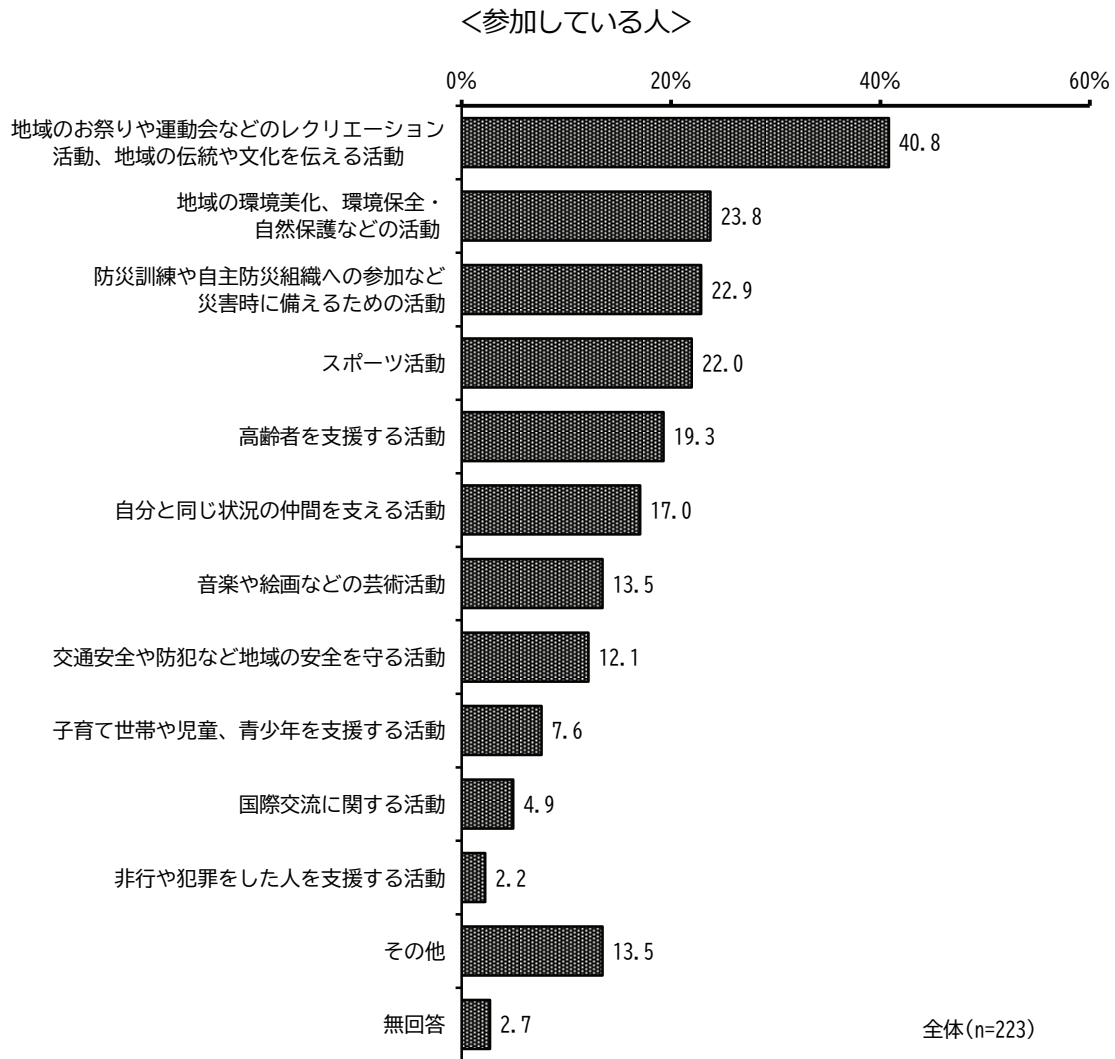


問 27-1 問 27 で「1」「2」と答えた方におたずねします。

どのような地域での活動やボランティアに参加していますか。(いくつでも○)

- ・「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動」(40.8%)が最も多く、次いで「地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動」(23.8%)、「防災訓練や自主防災組織への参加など災害時に備えるための活動」(22.9%)が続いている。

図表 参加している地域活動の種類 (全体：複数回答)



【圏域別】

- ・ 白糸台文化センター圏域は「子育て世帯や児童、青少年を支援する活動」(20.0%)が全体より 10 ポイント以上高い。
- ・ 西府文化センター圏域は「高齢者を支援する活動」(33.3%)、「音楽や絵画などの芸術活動」(23.8%)が全体より 10 ポイント以上高い。
- ・ 武蔵台文化センター圏域は「交通安全や防犯など地域の安全を守る活動」(33.3%)、「防災訓練や自主防災組織への参加など災害時に備えるための活動」(41.7%)が全体より 10 ポイント以上高い。
- ・ 新町文化センター圏域は「自分と同じ状況の仲間を支える活動」(27.6%)と「地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動」(34.5%)が全体より 10 ポイント以上高い。
- ・ 住吉文化センター圏域は「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動」(58.3%)と「防災訓練や自主防災組織への参加など災害時に備えるための活動」(33.3%)が全体より 10 ポイント以上高い。
- ・ 是政文化センター圏域は「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動」(61.5%)と「国際交流に関する活動」(23.1%)が全体より 10 ポイント以上高い。
- ・ 紅葉丘文化センター圏域は「スポーツ活動」(33.3%)が全体より 10 ポイント以上高い。
- ・ 四谷文化センター圏域は回答者数が 9 人と少ないが「高齢者を支援する活動」(4人:44.4%)、「防災訓練や自主防災組織への参加など災害時に備えるための活動」(3人:33.3%)、「交通安全や防犯など地域の安全を守る活動」(2人:22.2%)が全体より 10 ポイント以上高い。
- ・ 片町文化センター圏域は「地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動」(38.1%)と「スポーツ活動」(33.3%)が全体より 10 ポイント以上高い。

図表 参加している地域活動の種類（全体、圏域別：複数回答）

<参加している人>

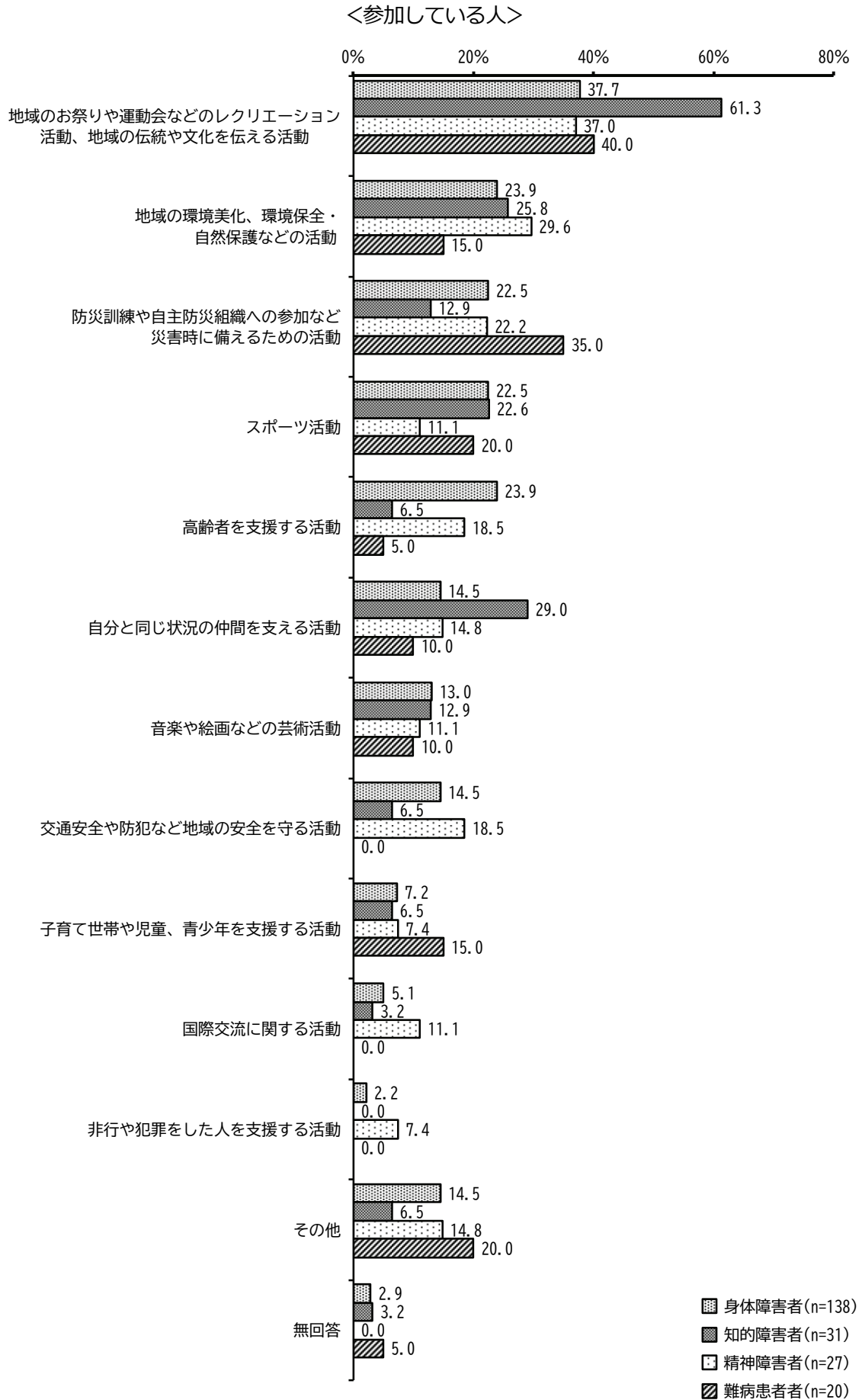
			地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	防災訓練や自主防災組織への参加など災害時に備えるための活動	スポーツ活動	高齢者を支援する活動	自分と同じ状況の仲間を支える活動	音楽や絵画などの芸術活動
全体	(n=223)	40.8	23.8	22.9	22.0	19.3	17.0	13.5	
圏域別									
	中央文化センター圏域 (n=38)	44.7	21.1	15.8	15.8	15.8	15.8	13.2	
	白糸台文化センター圏域 (n=20)	40.0	20.0	15.0	30.0	25.0	25.0	10.0	
	西府文化センター圏域 (n=21)	28.6	19.0	19.0	14.3	33.3	9.5	23.8	
	武蔵台文化センター圏域 (n=12)	16.7	16.7	41.7	8.3	16.7	25.0	16.7	
	新町文化センター圏域 (n=29)	31.0	34.5	31.0	13.8	17.2	27.6	6.9	
	住吉文化センター圏域 (n=24)	58.3	20.8	33.3	29.2	8.3	16.7	16.7	
	是政文化センター圏域 (n=13)	61.5	30.8	15.4	23.1	23.1	15.4	0.0	
	紅葉丘文化センター圏域 (n=18)	44.4	16.7	11.1	33.3	11.1	11.1	22.2	
	押立文化センター圏域 (n=11)	36.4	27.3	18.2	27.3	18.2	0.0	18.2	
	四谷文化センター圏域 (n=9)	33.3	11.1	33.3	22.2	44.4	0.0	22.2	
	片町文化センター圏域 (n=21)	47.6	38.1	23.8	33.3	9.5	14.3	9.5	

			交通安全や防犯など地域の安全を守る活動	子育て世帯や児童、青少年を支援する活動	国際交流に関する活動	非行や犯罪をした人を支援する活動	その他	無回答
全体	(n=223)	12.1	7.6	4.9	2.2	13.5	2.7	
圏域別								
	中央文化センター圏域 (n=38)	10.5	5.3	7.9	0.0	18.4	2.6	
	白糸台文化センター圏域 (n=20)	10.0	20.0	0.0	0.0	15.0	0.0	
	西府文化センター圏域 (n=21)	9.5	4.8	4.8	9.5	9.5	9.5	
	武蔵台文化センター圏域 (n=12)	33.3	8.3	8.3	0.0	16.7	0.0	
	新町文化センター圏域 (n=29)	3.4	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0	
	住吉文化センター圏域 (n=24)	20.8	12.5	4.2	4.2	4.2	4.2	
	是政文化センター圏域 (n=13)	7.7	7.7	23.1	0.0	15.4	7.7	
	紅葉丘文化センター圏域 (n=18)	11.1	11.1	0.0	0.0	16.7	5.6	
	押立文化センター圏域 (n=11)	18.2	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	
	四谷文化センター圏域 (n=9)	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	
	片町文化センター圏域 (n=21)	9.5	4.8	4.8	4.8	9.5	0.0	

【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動」（37.7%）が最も多く、次いで「地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動」（23.9%）と「高齢者を支援する活動」（23.9%）が同率で続いている。
- ・知的障害者は「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動」（61.3%）が最も多く、次いで「自分と同じ状況の仲間を支える活動」（29.0%）、「地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動」（25.8%）が続いている。
- ・精神障害者は「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動」（37.0%）が最も多く、次いで「地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動」（29.6%）、「防災訓練や自主防災組織への参加など災害時に備えるための活動」（22.2%）が続いている。
- ・難病患者は「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動」（40.0%）が最も多く、次いで「防災訓練や自主防災組織への参加など災害時に備えるための活動」（35.0%）、「スポーツ活動」（20.0%）が続いている。

図表 参加している地域活動の種類 (障害等の種類別：複数回答)



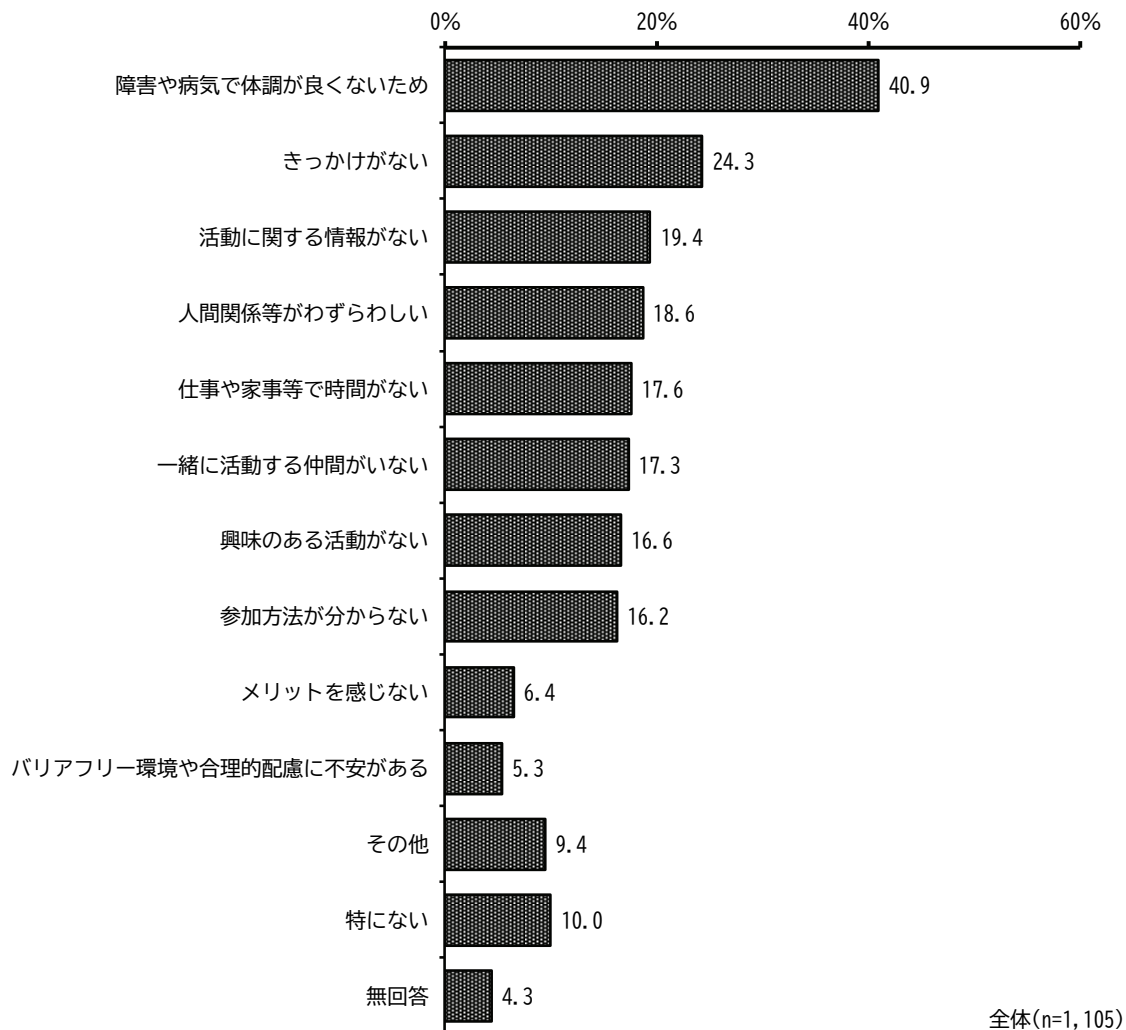
問27-2 問27で「3」「4」と答えた方におたずねします。

活動や行事に参加していない理由は次のどれですか。(いくつでも○)

- ・「障害や病気で体調が良くないため」(40.9%)が最も多く、次いで「きっかけがない」(24.3%)、「活動に関する情報がない」(19.4%)が続いている。

図表 参加していない理由 (全体：複数回答)

<参加していない人>

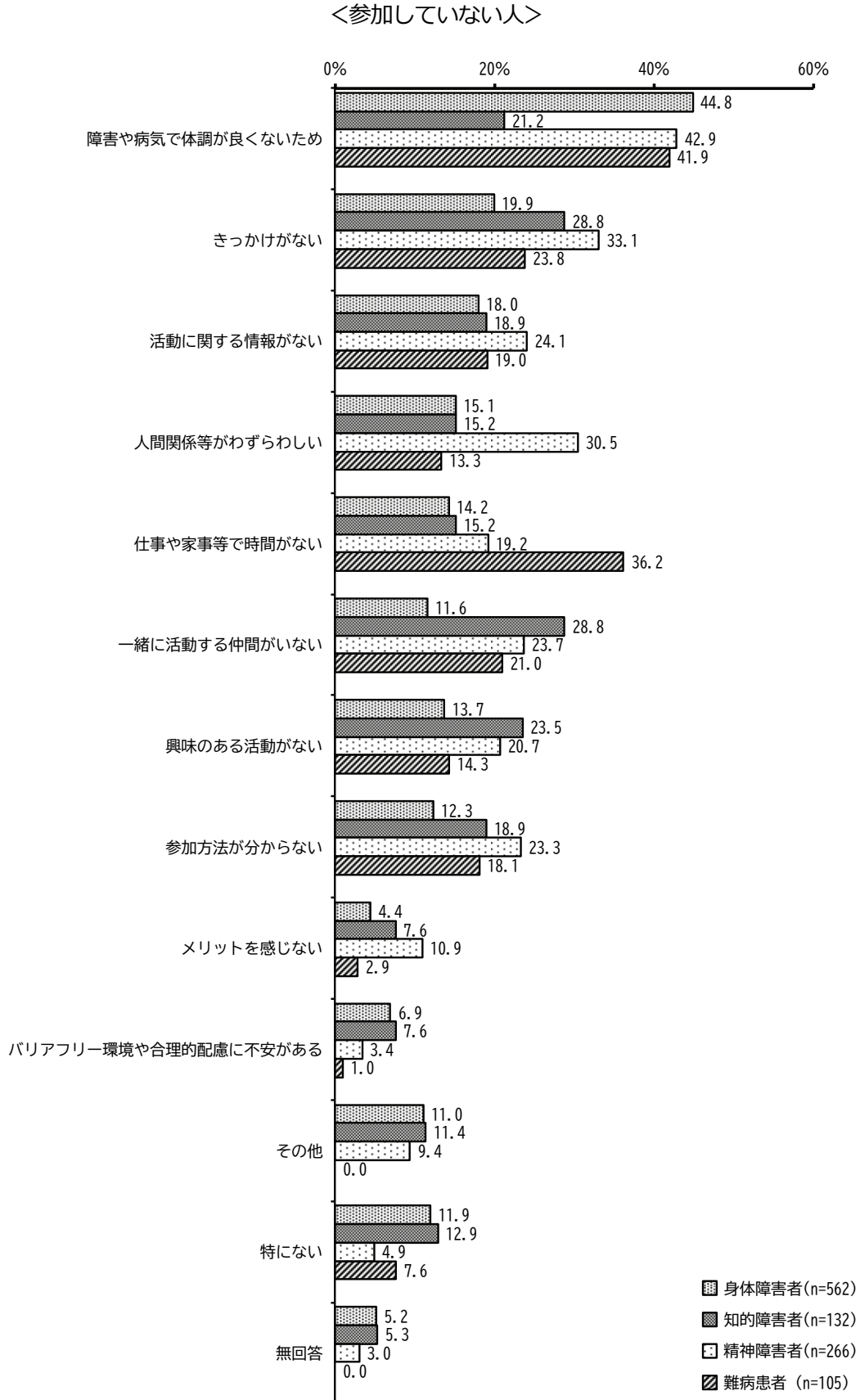


【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「障害や病気で体調が良くないため」(44.8%)が最も多く、次いで「きっかけがない」(19.9%)、「活動に関する情報がない」(18.0%)が続いている。
- ・知的障害者は「きっかけがない」(28.8%)と「一緒に活動する仲間がいない」(28.8%)が同率で最も多く、次いで「興味のある活動がない」(23.5%)が続いている。
- ・精神障害者は「障害や病気で体調が良くないため」(42.9%)が最も多く、次いで「きっかけがない」(33.1%)、「人間関係等がわずらわしい」(30.5%)が続いている。

- ・ 難病患者は「障害や病気で体調が良くないため」(41.9%)が最も多く、次いで「仕事や家事等で時間がない」(36.2%)、「きっかけがない」(23.8%)が続いている。

図表 参加していない理由（障害等の種類別：複数回答）

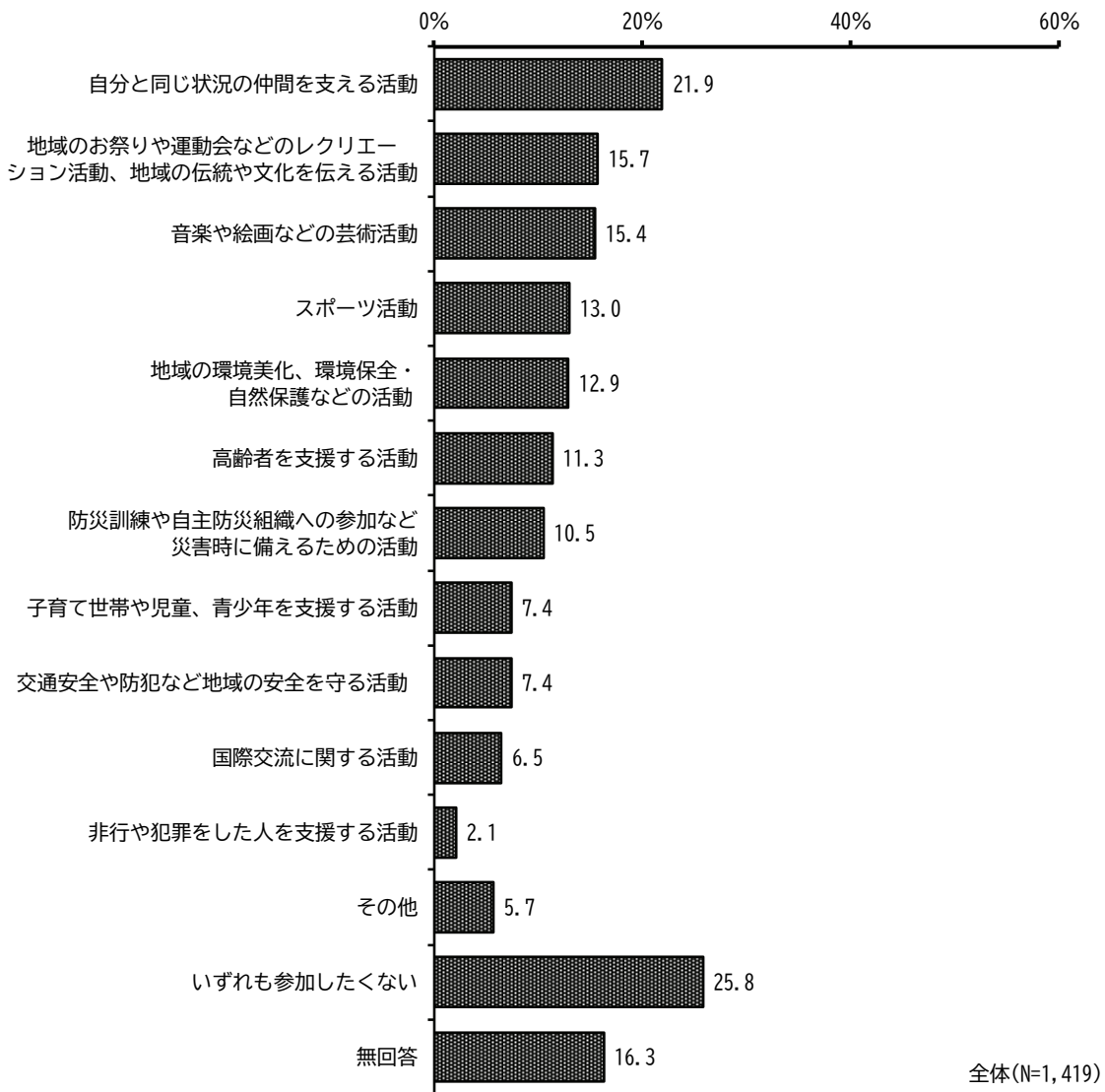


問28 今後参加したい、継続して参加したい地域活動やボランティア活動は、次のどれですか。

(いくつでも○)

- ・「自分と同じ状況の仲間を支える活動」(21.9%)が最も多く、次いで「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動」(15.7%)、「音楽や絵画などの芸術活動」(15.4%)が続いている。

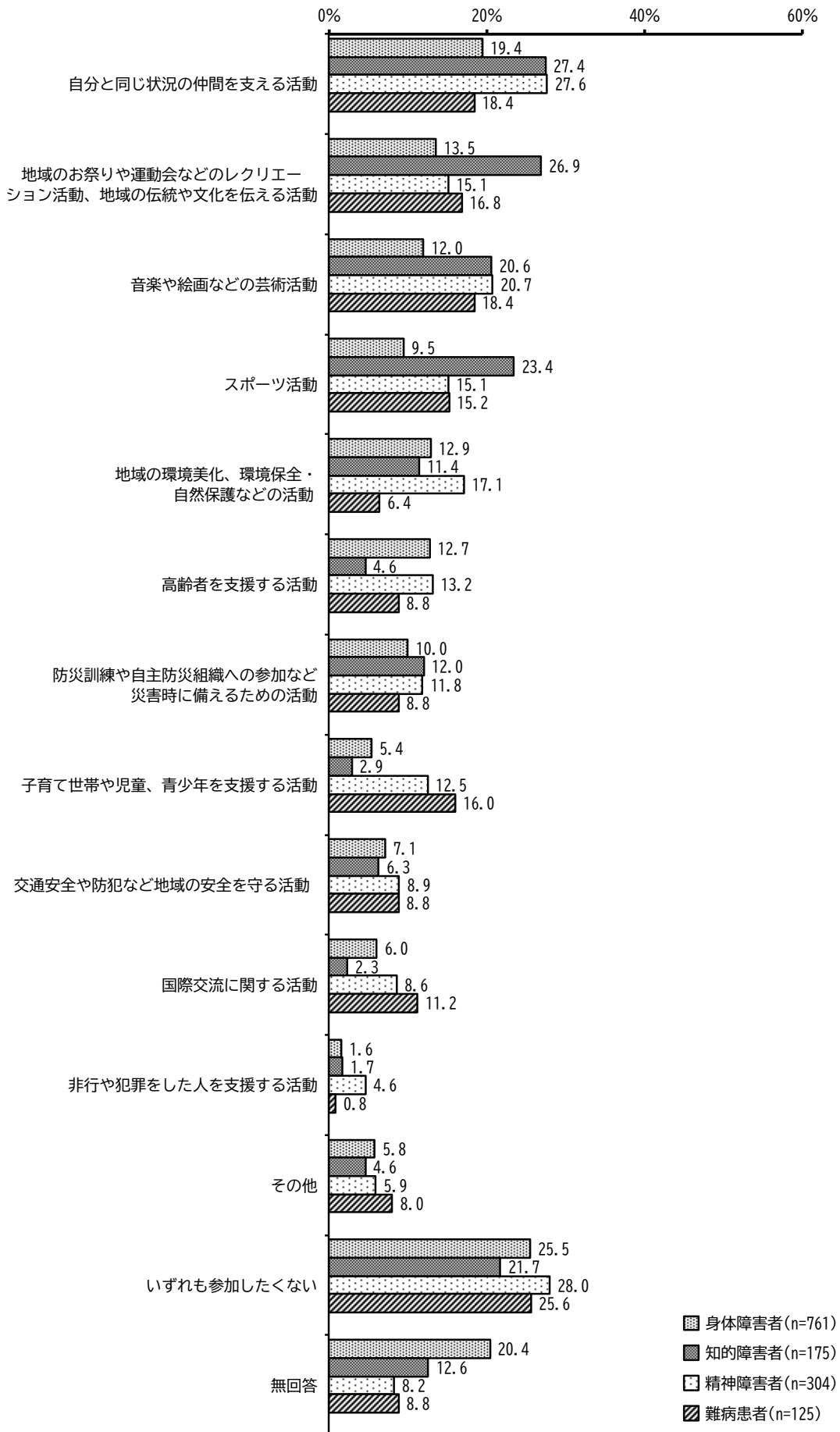
図表 今後参加したい、継続して参加したい地域活動（全体：複数回答）



【障害等の種類別】

- ・ 身体障害者は「自分と同じ状況の仲間を支える活動」(19.4%)が最も多く、次いで「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動」(13.5%)、「地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動」(12.9%)が続いている。
- ・ 知的障害者は「自分と同じ状況の仲間を支える活動」(27.4%)が最も多く、次いで「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動」(26.9%)、「スポーツ活動」(23.4%)が続いている。
- ・ 精神障害者は「自分と同じ状況の仲間を支える活動」(27.6%)が最も多く、次いで「音楽や絵画などの芸術活動」(20.7%)、「地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動」(17.1%)が続いている。
- ・ 難病患者は「自分と同じ状況の仲間を支える活動」(18.4%)と「音楽や絵画などの芸術活動」(18.4%)が同率で最も多く、次いで、「地域のお祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動」(16.8%)が続いている。

図表 今後参加したい、継続して参加したい地域活動（障害等の種類別：複数回答）



問29 障害等のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことをめざす「共生社会(ノーマライゼーション)」という考え方がありますが、この「共生社会(ノーマライゼーション)」は府中市民に十分理解されていると思いますか。(1つに○)

- ・「はい」が19.2%、「いいえ」が64.1%である。

図表 市民のノーマライゼーションの理解 (全体)

(%)

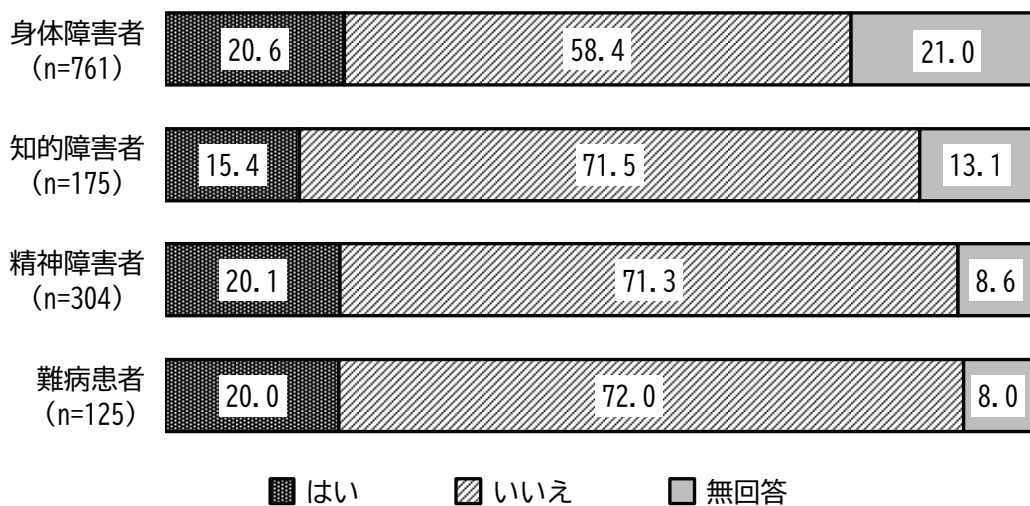


【障害等の種類別】

- ・知的障害者、精神障害者、難病患者は「いいえ」(知的：71.5%、精神：71.3%、難病：72.0%)が全体より5ポイント以上高い。

図表 市民のノーマライゼーションの理解 (障害等の種類別)

(%)

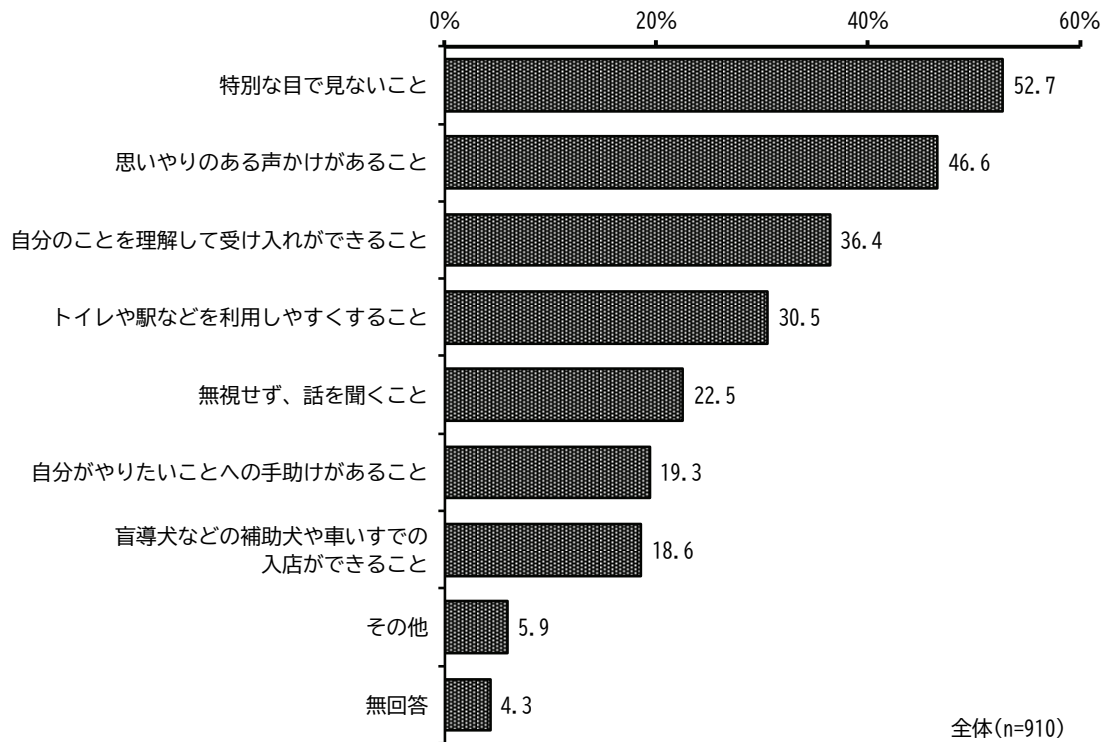


問 29-1 問 29 で「2.いいえ」と答えた方におたずねします。

どのようなことがあれば「理解されている」と思いますか。(3つまで○)

- ・「特別な目で見ないこと」(52.7%)が最も多く、次いで「思いやりのある声かけがあること」(46.6%)、「自分のことを理解して受け入れができること」(36.4%)が続いている。

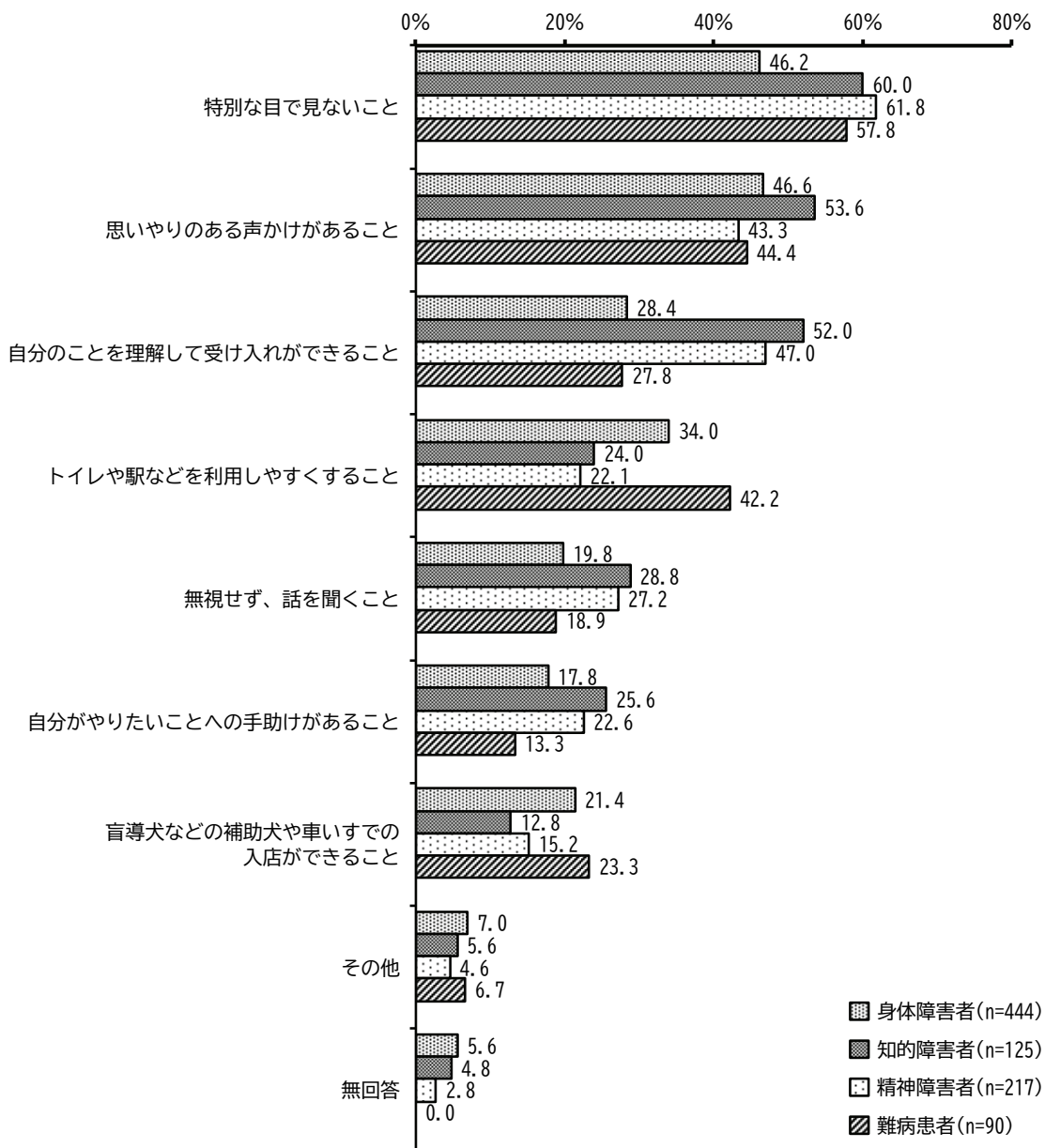
図表 どのようなことがあれば理解されていると思うか（全体：複数回答）
 <共生社会(ノーマライゼーション)は市民に十分理解されていないと答えた人>



【障害等の種類別】

- ・ 身体障害者は「思いやりのある声かけがあること」(46.6%)、知的障害者は「特別な目で見ないこと」(知的：60.0%、精神：61.8%、難病：57.8%)が最も多い。
- ・ 知的障害者と精神障害者は、「自分のことを理解して受け入れができること」(知的：52.0%、精神：47.0%)が全体より10ポイント以上高い。
- ・ 難病患者は、「トイレや駅などを利用しやすくすること」(42.2%)が全体より10ポイント以上高い。

図表 どのようなことがあれば理解されていると思うか（障害等の種類別：複数回答）
 <共生社会(ノーマライゼーション)は市民に十分理解されていないと答えた人>



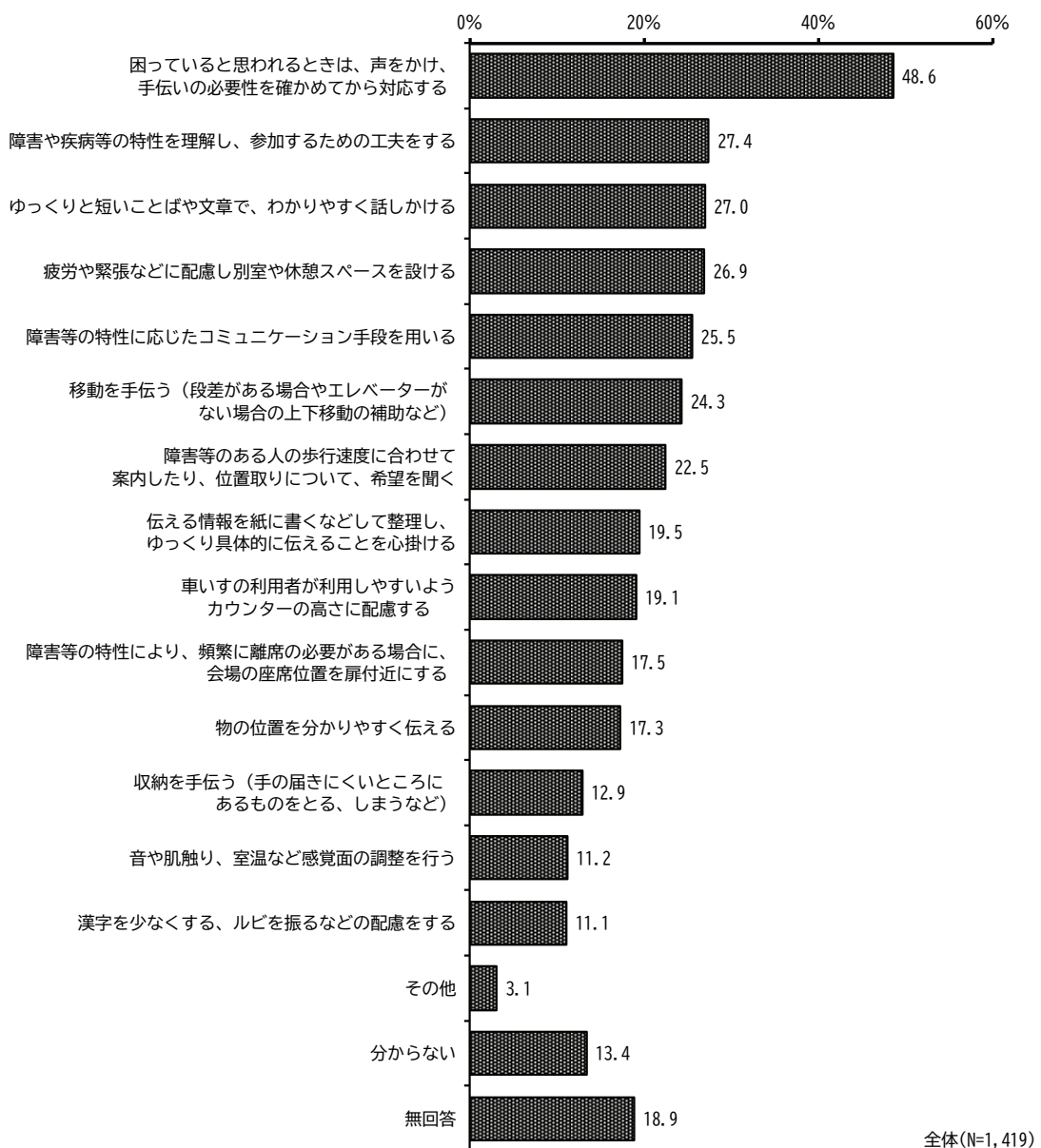
問30 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」では、「合理的配慮」として、国・地方公共団体や会社・お店など事業者に対して、障害等のある人からバリアを取り除く対応を求められた際に、対応することが求められています。

あなたは役所、会社、お店などに対し、どのような合理的配慮を必要としていますか。

(いくつでも○)

- ・「困っていると思われるときは、声をかけ、手伝いの必要性を確かめてから対応する」(48.6%)が最も多く、「障害や疾病等の特性を理解し、参加するための工夫をする」(27.4%)、「ゆっくりと短いことばや文章で、わかりやすく話しかける」(27.0%)が続いている。

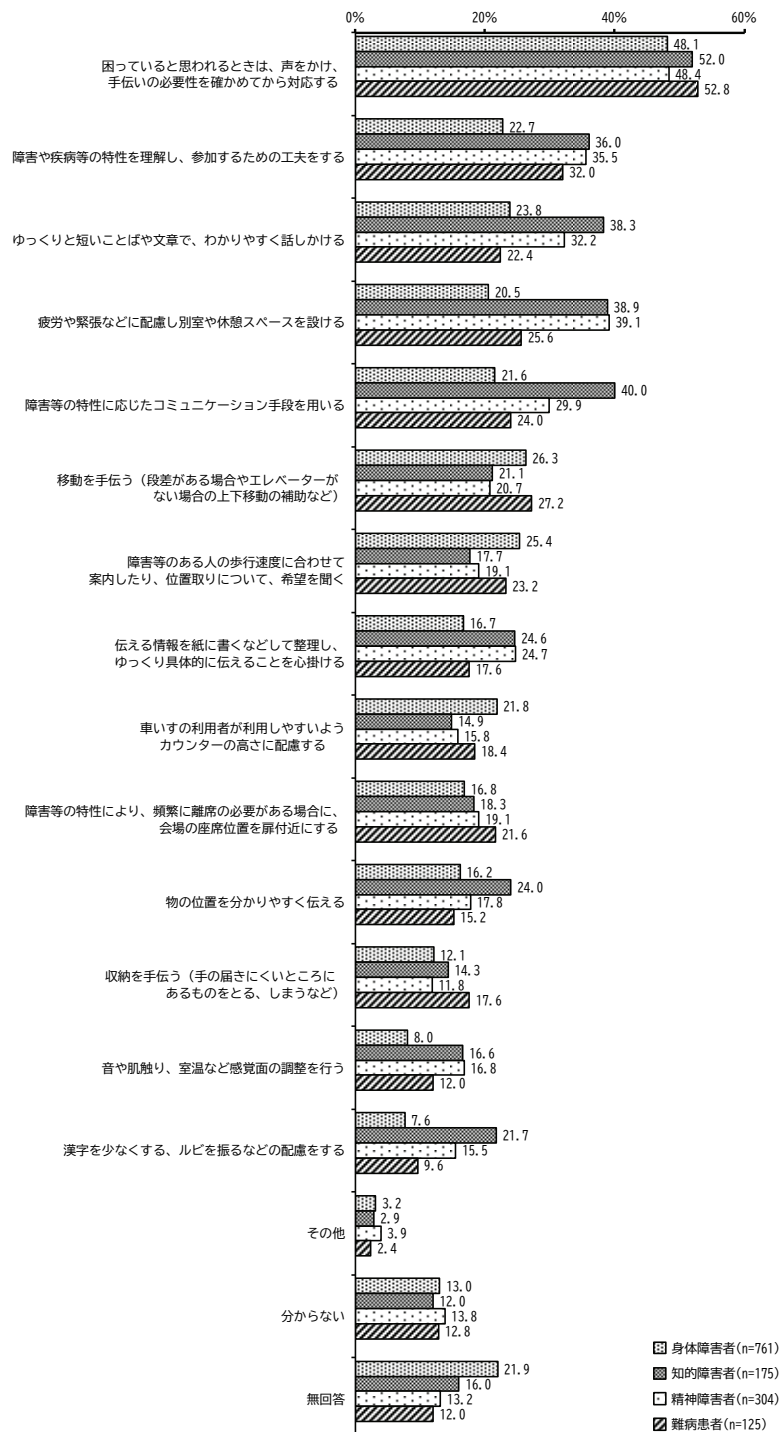
図表 必要とする合理的配慮（全体：複数回答）



【障害等の種類別】

- ・身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者のいずれも「困っていると思われるときは、声をかけ、手伝いの必要性を確かめてから対応する」(身体：48.1%、知的：52.0%、精神：48.4%、難病：52.8%)が最も多い。
- ・2番目に多い項目は、身体障害者は「移動を手伝う(段差がある場合やエレベーターがない場合の上下移動の補助など)」(26.3%)、知的障害者は「障害等の特性に応じたコミュニケーション手段を用いる」(40.0%)、精神障害者は「疲労や緊張などに配慮し別室や休憩スペースを設ける」(39.1%)、難病患者は「障害や疾病等の特性を理解し、参加するために工夫をする」(32.0%)となっている。

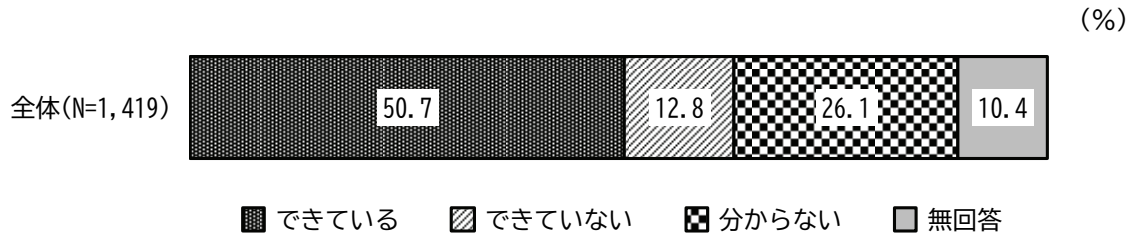
図表 必要とする合理的配慮（障害等の種類別：複数回答）



問31 あなたは、地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができていますか。(1つに○)

- ・「できている」は50.7%、「できていない」は12.8%である。

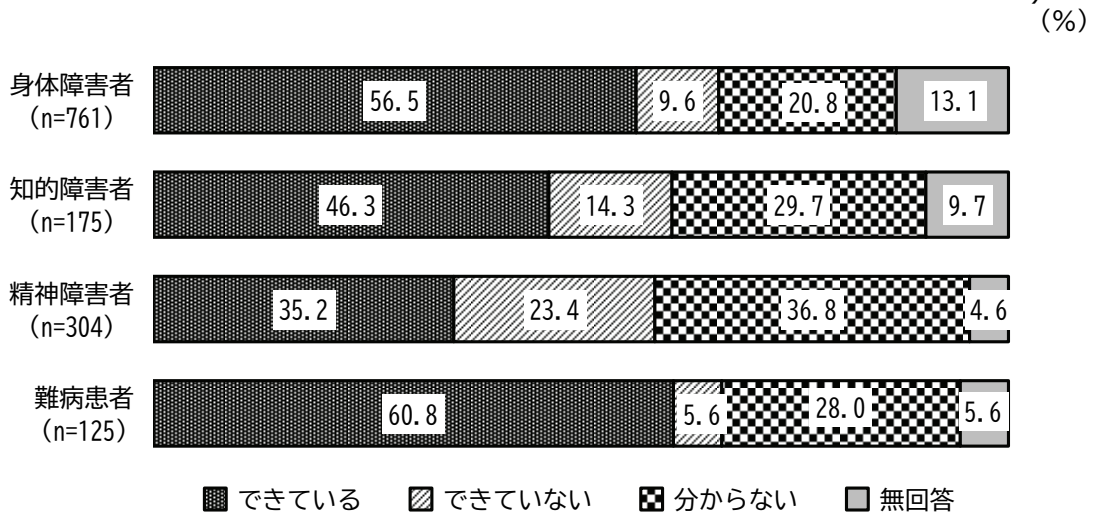
図表 地域の一員として安心して自分らしい暮らしができていますか(全体)



【障害等の種類別】

- ・精神障害者は「できていない」(23.4%)が全体より10.6ポイント高い。

図表 地域の一員として安心して自分らしい暮らしができていますか(障害等の種類別)



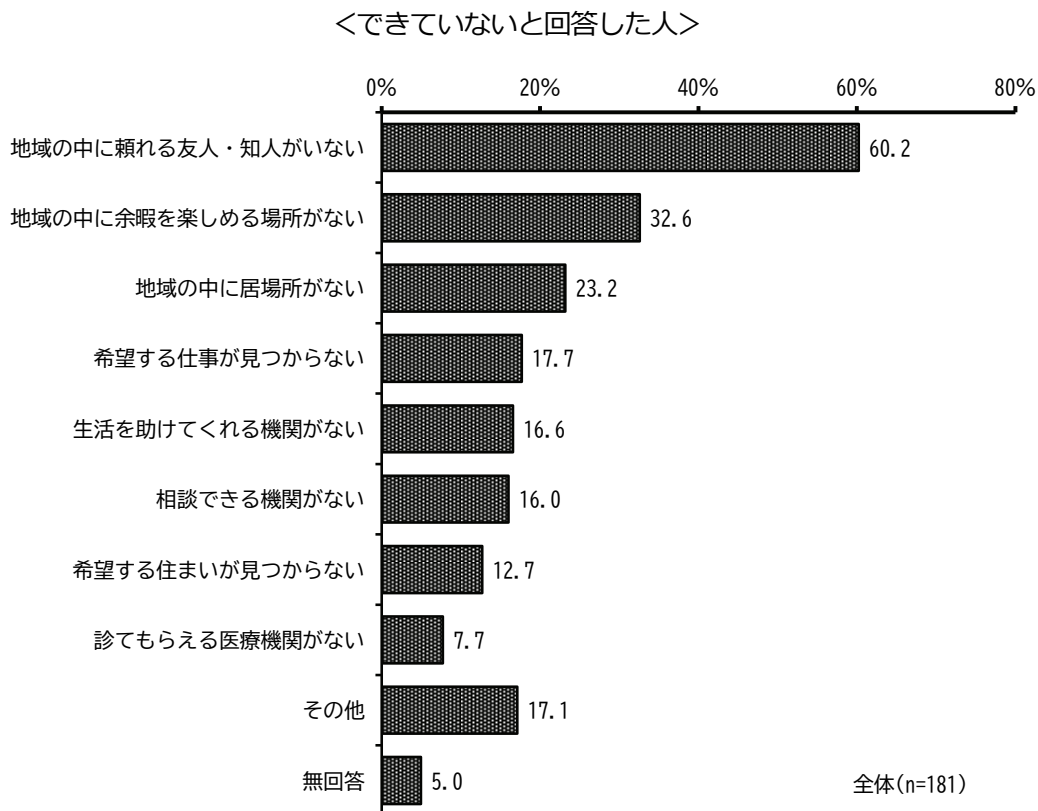
問31-1 問31で「2.できていない」と答えた方におたずねします。

地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができていないと感じる理由は何ですか。

(いくつでも○)

- ・「地域の中に頼れる友人・知人がいない」(60.2%)が最も多く、次いで「地域の中に余暇を楽しめる場所がない」(32.6%)、「地域の中に居場所がない」(23.2%)が続いている。

図表 自分らしい暮らしができていないと感じる理由（全体：複数回答）

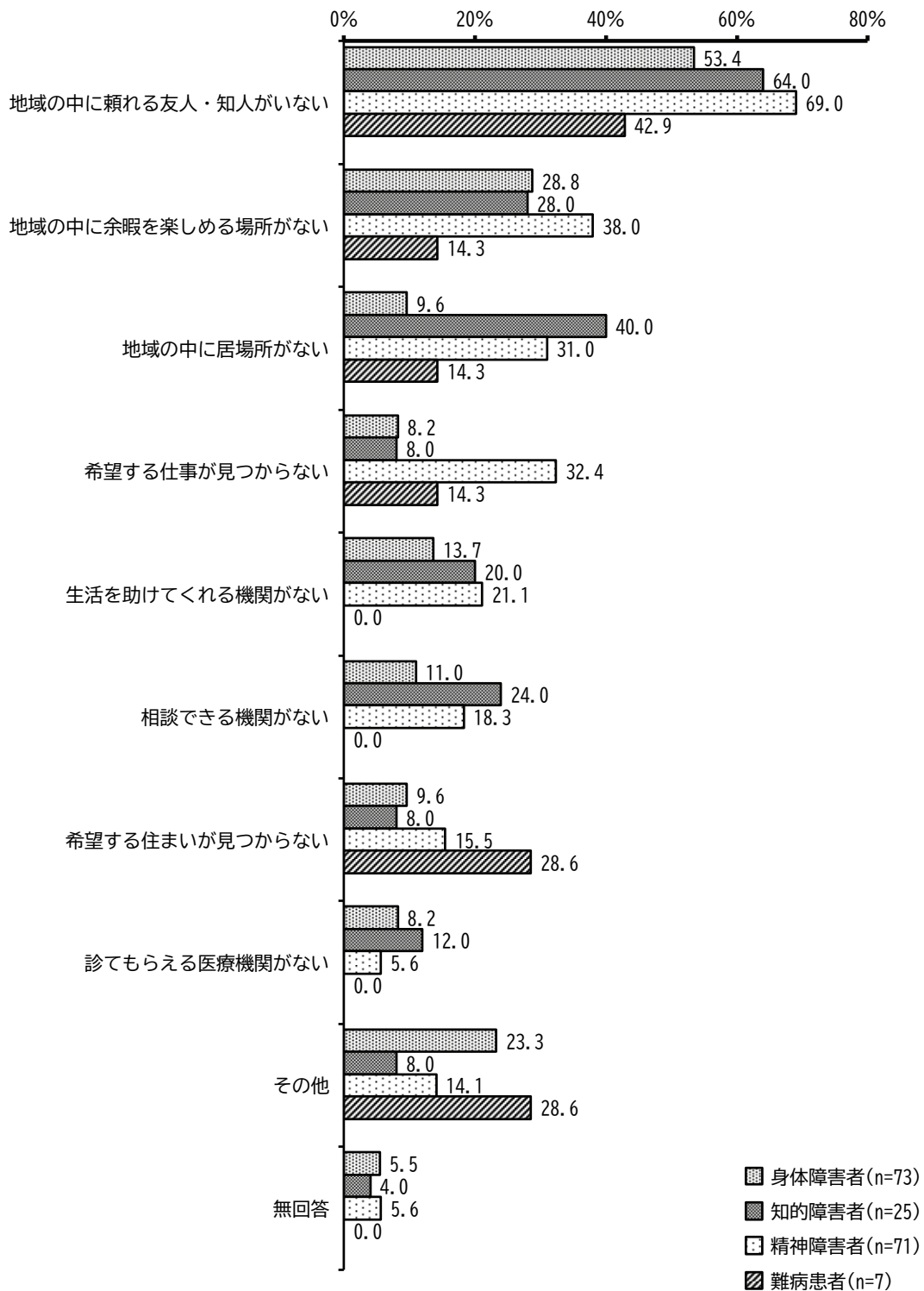


【障害等の種類別】

- ・ 身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者のいずれも「地域の中に頼れる友人・知人がいない」(身体：53.4%、知的：64.0%、精神：69.0%、難病：42.9%)が最も多い。
- ・ 2番目に多い項目は、身体障害者と精神障害者は「地域の中に余暇を楽しめる場所がない」(身体：28.8%、精神：38.0%)である。知的障害者は「地域の中に居場所がない」(40.0%)である。

図表 自分らしい暮らしができていないと感じる理由（障害等の種類別：複数回答）

<できていないと回答した人>

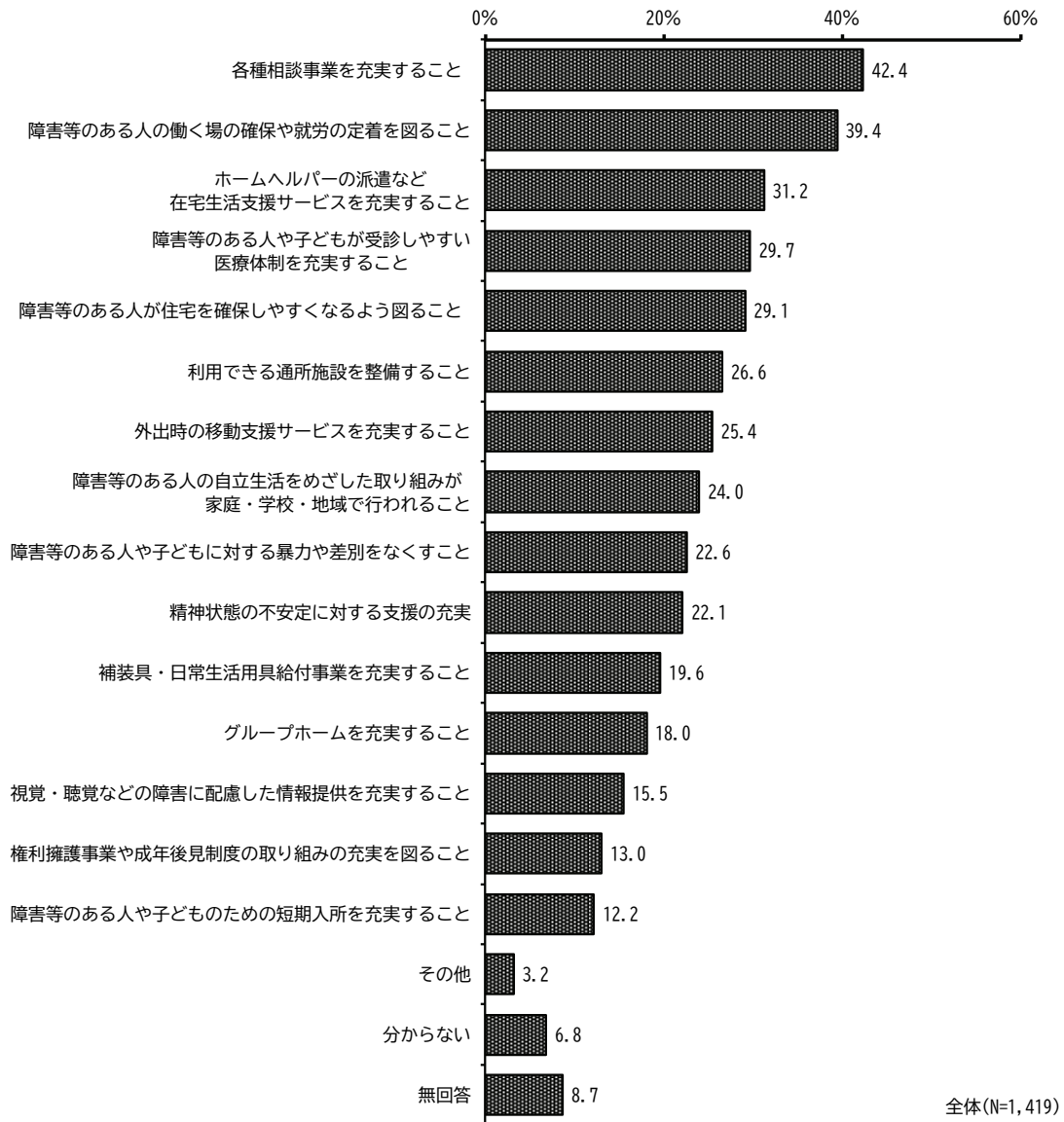


(11) 施策について

問32 府中市は障害等のある人の施策について、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。次の項目の中から、優先順位の高いものを5つ、下記の に番号を記入してください。

- ・「各種相談事業を充実すること」(42.4%)が最も多く、次いで「障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」(39.4%)、「ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること」(31.2%)が続いている。

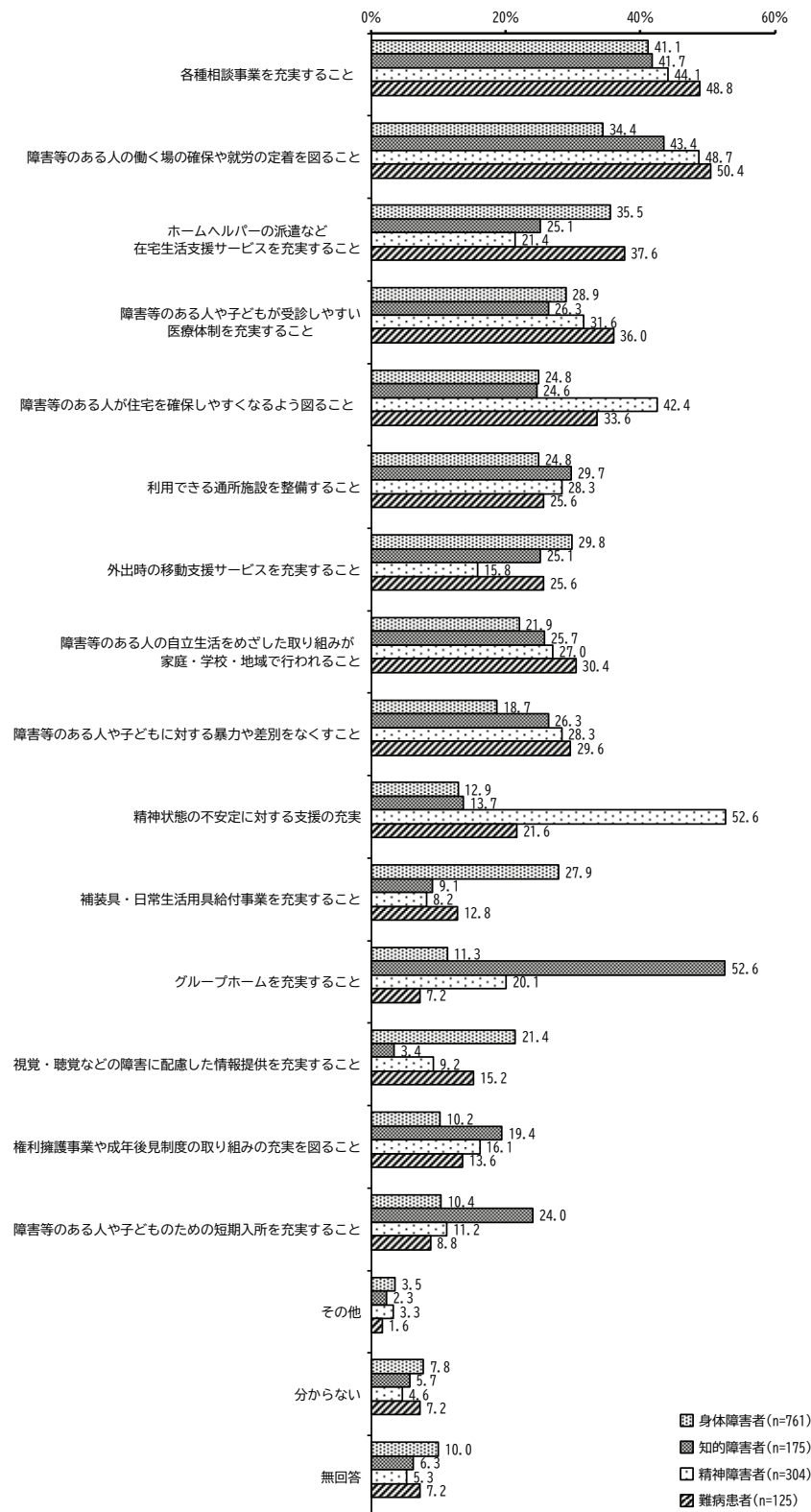
図表 充実を望む施策（全体：複数回答）



【障害等の種類別】

- ・身体障害者は「各種相談事業を充実すること」(41.1%)、知的障害者は「グループホームを充実すること」(52.6%)、精神障害者は「精神状態の不安定に対する支援の充実」(52.6%)、難病患者は「障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」(50.4%)が最も多い。

図表 充実を望む施策（障害等の種類別：複数回答）



【障害等の種類×年代別】

- ・身体障害者では、18～39歳と40～64歳は「障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」(18～39歳：66.7%、40～64歳：52.1%)、65歳以上は「各種相談事業を充実すること」(40.7%)が最も多い。その他の項目では、18～39歳と40～64歳で「補装具・日常生活用具給付事業を充実すること」、「視覚・聴覚などの障害に配慮した情報提供を充実すること」が全体より10ポイント以上高くなっている。
- ・知的障害者では、18～39歳は「グループホームを充実すること」(58.1%)、40～64歳と65歳以上は「各種相談事業を充実すること」(40～64歳：52.5%、65歳以上：44.4%)が最も多い。その他の項目では、40～64歳で「権利擁護事業や成年後見制度の取り組みの充実を図ること」、「グループホームを充実すること」、「障害等のある人や子どものための短期入所を充実すること」が全体より10ポイント以上高くなっている。
- ・精神障害者では、18～39歳と40～64歳は「障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」(18～39歳：57.6%、40～64歳：47.4%)、65歳以上は「利用できる通所施設を整備すること」(42.9%)が最も多い。その他の項目では、18歳～39歳は「障害等のある人が住宅を確保しやすくなるよう図ること」と「グループホームを充実すること」、「障害等のある人の自立生活をめざした取り組みが家庭・学校・地域で行われること」、40歳～64歳は「障害等のある人が住宅を確保しやすくなるよう図ること」が全体より10ポイント以上高くなっている。
- ・難病患者では、18～39歳は「障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること」(63.6%)、40～64歳と65歳以上は「各種相談事業を充実すること」(40～64歳：48.2%、65歳以上：51.4%)が最も多い。その他の項目では、18歳～39歳で「障害等のある人が住宅を確保しやすくなるよう図ること」、「障害等のある人の自立生活をめざした取り組みが家庭・学校・地域で行われること」、「障害等のある人や子どもが受診しやすい医療体制を充実すること」が全体より10ポイント以上高くなっている。40歳～64歳は「障害等のある人や子どもが受診しやすい医療体制を充実すること」が全体より10ポイント以上高くなっている。65歳以上は「ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること」が10ポイント以上高くなっている。

図表 充実を望む施策(全体、障害等の種類×年代別：複数回答)

(96)

			各種相談事業を充実すること	障害等のある人の働く場の確保や就労の定着を図ること	ホームヘルパーの派遣など在宅生活支援サービスを充実すること	障害等のある人や子どもが受診しやすい医療体制を充実すること	障害等のある人が住宅を確保しやすくなるように図ること	利用できる通所施設を整備すること	外出時の移動支援サービスを充実すること	障害等のある人の自立生活をめざした取り組みが家庭・学校・地域で行われること	障害等のある人や子どもに対する暴力や差別をなくすこと	
全体			(N=1,419)	42.4	39.4	31.2	29.7	29.1	26.6	25.4	24.0	22.6
障害等の種類×年代	身体障害者	18～39歳	(n=21)	28.6	66.7	28.6	33.3	42.9	19.0	19.0	28.6	47.6
		40～64歳	(n=192)	45.3	52.1	31.3	37.5	33.3	25.0	33.9	30.7	18.2
		65歳以上	(n=533)	40.7	26.6	37.3	25.9	20.8	25.5	29.3	18.8	17.4
	知的障害者	18～39歳	(n=124)	37.9	46.8	24.2	26.6	23.4	33.9	28.2	32.3	27.4
		40～64歳	(n=40)	52.5	35.0	27.5	25.0	30.0	25.0	17.5	10.0	27.5
		65歳以上	(n=9)	44.4	22.2	33.3	33.3	22.2	0.0	22.2	0.0	11.1
	精神障害者	18～39歳	(n=125)	45.6	57.6	16.8	37.6	40.0	27.2	12.8	36.0	33.6
		40～64歳	(n=156)	44.9	47.4	23.1	30.1	46.2	27.6	17.3	21.8	26.3
		65歳以上	(n=21)	33.3	9.5	38.1	9.5	33.3	42.9	23.8	14.3	9.5
	難病患者	18～39歳	(n=33)	48.5	63.6	21.2	45.5	45.5	24.2	27.3	48.5	36.4
		40～64歳	(n=56)	48.2	46.4	39.3	41.1	33.9	21.4	25.0	26.8	32.1
		65歳以上	(n=35)	51.4	45.7	51.4	20.0	22.9	34.3	25.7	20.0	20.0

			精神状態の不安定に対する支援の充実	補装具・日常生活用具給付事業を充実すること	グループホームを充実すること	視覚・聴覚などの障害に配慮した情報提供を充実すること	権利擁護事業や成年後見制度の取り組みの充実を図ること	障害等のある人や子どものための短期入所を充実すること	その他	分からない	無回答	
全体			(N=1,419)	22.1	19.6	18.0	15.5	13.0	12.2	3.2	6.8	8.7
障害等の種類×年代	身体障害者	18～39歳	(n=21)	19.0	61.9	9.5	52.4	0.0	9.5	9.5	0.0	0.0
		40～64歳	(n=192)	12.0	36.5	8.9	27.6	10.9	7.3	6.8	5.7	3.1
		65歳以上	(n=533)	13.1	23.3	12.2	18.2	10.1	11.3	2.3	8.6	12.8
	知的障害者	18～39歳	(n=124)	14.5	8.9	58.1	3.2	17.7	22.6	3.2	4.8	5.6
		40～64歳	(n=40)	12.5	10.0	40.0	5.0	27.5	27.5	0.0	7.5	5.0
		65歳以上	(n=9)	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	22.2
	精神障害者	18～39歳	(n=125)	48.8	8.0	31.2	6.4	20.0	16.0	4.8	4.8	1.6
		40～64歳	(n=156)	59.0	8.3	13.5	10.9	13.5	6.4	2.6	5.1	5.8
		65歳以上	(n=21)	28.6	9.5	4.8	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	19.0
	難病患者	18～39歳	(n=33)	18.2	15.2	0.0	12.1	12.1	6.1	3.0	3.0	3.0
		40～64歳	(n=56)	26.8	14.3	8.9	17.9	16.1	8.9	0.0	7.1	7.1
		65歳以上	(n=35)	17.1	8.6	11.4	14.3	11.4	11.4	2.9	8.6	11.4

問 33 府中市の障害等のある人の施策、地域で暮らし続けるために必要なこと等に関して、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・府中市の障害等のある人への施策、地域で暮らし続けるために必要なこと等に関して、自由記述形式でたずねたところ、395件の回答を得た。以下、主なものを掲載する。記入者が「本人」以外の場合は【 】内に本人との関係を記している。

(1)まちづくり (37件)

【身体障害者】

- ・狭い歩道に点字ブロックが中心にあり歩きづらい。自転車がスピードを出す、歩道上を通行している時危ない。緑信号が短い。(男性、65歳以上)
- ・日本には盲導犬に対する理解が得られにくく盲導犬利用者には外出しにくい環境になっている。公共の場所、店、レストランなど受け入れ可能な社会にしてもらい、視覚障害者が暮らしやすい環境づくりを希望する。(女性、35～39歳)
- ・横断歩道を渡る時、青に変わってからすぐに歩き出してもぎりぎりの場合がよくあります。ゆっくり歩いても安心して渡れる位の時間のゆとりがほしいです。(女性、55～59歳)
- ・分倍河原駅の駅前歩きにくく、でこぼこです。早急に修理して欲しいです。JRに続く橋も歩きづらいです。エスカレーター等の設置もお願いしたいです。(女性、65歳以上)
- ・いつも転倒に気をつけています。エスカレーターよりもエレベーターを利用したいです(場所の表示をわかりやすくして欲しいです)。(女性、65歳以上)

【精神障害者】

- ・子どもたちがママと同伴で遊べる安全な公園など作ったらいいです。(女性、60～64歳)

【難病患者】

- ・個室が3～4個位のトイレがいっぱいあるより、何十分も並ばなくてもいいような、個室がたくさんある大きさのトイレを作ってほしいです。(女性、45～49歳)
- ・我が家周辺の歩道が平坦ではなく、かなりデコボコ状態で雨が降ると大きな水溜りができ、転んでしまうリスクが高いです。街灯はあるものの、夜は暗い。犬のフンが後始末されていないことも多く、持病により免疫がないので、衛生上不安です。(女性、50～54歳)

(2)障害者施策全般 (27件)

【知的障害者】

- ・障害の理解・障害別の手助けのやり方(手助けをしたいが、やり方がわからないと聞いたことがある)。親亡き後の重度障害者の受け入れ先(入所施設、グループホーム等)。障害の特性に合わせた避難所。(男性、18～24歳)【母親】

【精神障害者】

- ・ サービス提供事業者の人員不足で受けられない時が多々ある。医療的ケア対応できる看護師も含め、人員の充実、確保をお願いしたい。(男性、25～29歳)【母親】
- ・ 障害等のある家庭の内部金銭状態をもっと理解して私達の納めている税金の使い道を考えなおしてほしい。(女性、18～24歳)
- ・ ひとり暮らし、仕事ができないほど病気を抱えている状態であるにも関わらず、受けられる支援がほとんどない。支援内容を充実させることと、支援を受ける理由は一人一人違うということを知りたい。(女性、35～39歳)

【難病患者】

- ・ 「障害」と「難病」のサービス格差が大きすぎると感じます。「難病」にも同じような法やサービスを望みます。(女性、30～34歳)
- ・ 障害の程度など個人差があるが、どうしても一まとめにしてしまう傾向がある。一人一人に寄り添う公共サービスがもう少し整うとよいと思う。(女性、60～64歳)

(3)障害・難病への理解 (26件)

【身体障害者】

- ・ 聴覚障害は(他にも難病など)、目でみて障害者とわからないので、無視されている。目でみて、わからない障害者がいる事を啓蒙して欲しい。(男性、65歳以上)
- ・ 緊急時、一人生活の障害者に助けの手がほしい。(男性、65歳以上)
- ・ 地域の人々の温かい心と偏見のない目が一番だと思います。(女性、65歳以上)

【知的障害者】

- ・ 軽度の障害者に対する支援を充実してほしい。(女性、40～44歳)

【精神障害者】

- ・ 障害等のある人の兄弟までも偏見の目で見られることがあり、障害は遺伝ではなく育て方が悪かったわけでもないことを広く世間に知ってもらいたいです。(男性、18～24歳)【母親】
- ・ 学校教育での障害者への理解を強くして頂きたいです。(男性、18～24歳)

【難病患者】

- ・ 健常者、障害者と分けるのではなく、普通学校での受け入れ等で、小さい頃から障害者に普通に接することができるようにしていくことだと思います。(女性、40～44歳)

(4)施設、グループホーム (24 件)

【身体障害者】

- ・重症の身体障害者の実態を把握してほしい。この人たちの声を聞いて施設に取り入れてほしい。(男性、45～49 歳)【父親】

【知的障害者】

- ・毎年何人くらいの新卒者が福祉就労を希望しそうか、人数の予測はつくはずですが、作業所不足は毎年言われているのに全く改善されていません。数年先を見越して障害者の通所施設の新設・整備にもっと力を入れてください。(男性、18～24 歳)【母親】
- ・障害者が地域で暮してゆくのは、たやすい事ではありません。小さな集団、グループホーム等で仲間と共に支援を受けながら生活することが望ましいと思います。当事者・家族と共に話し合い、進めるべきです。(女性、45～49 歳)【母親】

【精神障害者】

- ・グループホームの拡充・整備。(男性、45～49 歳)【父親】

(5)在宅生活支援 (16 件)

【身体障害者】

- ・施設でのネット環境の充実(情報収集、コミュニケーションの為)。(男性、55～59 歳)【配偶者】
- ・リハビリ等に力を入れてほしい。(女性、60～64 歳)

(6)情報提供 (15 件)

【身体障害者】

- ・災害ピクトグラムの普及・情報格差をなくす。(女性、45～49 歳)

【知的障害者】

- ・相談支援サービスを利用したいですが、事業所がなく方法もわかりません。案内が欲しいです。申請を待っていないで市役所からアウトリーチして下さい。(男性、18～24 歳)【母親】
- ・障害者用の医療機関の情報を広く開示する必要があると感じます。(男性、25～29 歳)【父親】

【精神障害者】

- ・ホームページに記載していると、よくあるが障害があれば、収入が少なくなる傾向にあり、ホームページを見る手段を持っていない。(男性、45～49 歳)
- ・障害の種別、等級などで利用できるサービスを探すのに項目、種別、等級など、選択していくと自分に合った情報が一覧で見られると便利。(男性、50～54 歳)
- ・市役所で相談する時に個室がほしい。(男性、50～54 歳)

(7)手続きや窓口対応 (15件)

【身体障害者】

- ・当事者の意見が、広く反映するようなシステム作りが必要。たとえば、自立支援協議会や、施策委員会などに市内に住んでいる当事者を複数入れるなど。福祉サービスをもっと受けやすくしてほしい(条件や枠組みをもっと広く、柔軟にしてほしい)。(女性、40～44歳)
- ・情報提供や相談できる窓口の一本化をお願いしたいです。(男性、45～49歳)【配偶者】

【精神障害者】

- ・障害福祉の窓口を土曜日も開けてほしいです。(男性、25～29歳)

(8)手当や経済的な支援 (14件)

【身体障害者】

- ・補聴器・電池の購入補助制度の復活を希望。(男性、60～64歳)

【知的障害者】

- ・通所施設まで通所するための交通費を補助して頂けると助かります。(女性、18～24歳)【母親】

【難病患者】

- ・これからの生活費が心配です。パートでも働ける場を用意していただけると安心して治療出来ます。非課税世帯だけでなく中所得者の生活援助もよろしくお願いします。(男性、55～59歳)【配偶者】
- ・難病の為、働ける期間と休職を繰り返し、収入が安定していない。手当金をもう少し増やしてほしい。(女性、30～34歳)

(9)移動支援、通院介助 (14件)

【身体障害者】

- ・車椅子タクシーを使用する時、予約していないと受け付けられないとか、特に夜間はほとんど断られる。緊張と不安がつくる。(男性、65歳以上)【配偶者】

【知的障害者】

- ・新しい場所に行くとき、医療機関などに、行くとき、つきそってくれる人が、いたらうれしい(障害が、軽くても、やっぱり不安だから)。(女性、45～49歳)

【精神障害者】

- ・府中市から遠方(他の区)への定期的(月1度など)通院に対する送迎の手伝いをしていただけたら有難い。(男性、65歳以上)

(10)相談 (12 件)

【身体障害者】

- ・いつでも(何でも)相談できる窓口を設けてほしい。福祉だけでなく生活全般にわたって、それを一本化したものが助かる。(男性、60～64 歳)

【精神障害者】

- ・民生委員の方がサポートして下さるのか。サポートして下さるのであれば、どのような内容をサポートしてもらえるのかよくわからない。(男性、18～24 歳)【母親】
- ・気軽に相談できるような場所がもっとあれば。もしくは知らないだけかも。もっと認知されればよい。(女性、25～29 歳)
- ・仕事が平日フルタイムなので障害関係の市役所窓口に行くには仕事を休まないとなりません。土曜開庁のときに関係事務を扱ってください。(男性、50～54 歳)
- ・障害を持っている人が集えるお茶の間のフリースペースが必要。そこで相談できたり、悩みをきいてもらいたい。(男性、55～59 歳)
- ・相談出来る人材のスキルをアップ、安定し、安心して相談できる所を多く設置して欲しい。(女性、30～34 歳)【母親】

(11)災害時の不安 (11 件)

【身体障害者】

- ・マンション内に車イス(障害者)の方がいるが、防災訓練には参加されず、遠慮している様子だった。本当はその方こそ一番防災訓練に参加すべきで、皆が助け合う、理解必要なので、どうしたら参加しやすくできるか気になる所です。(男性、45～49 歳)【配偶者】
- ・災害時の対応医療器機が必要な障害者の為の非常用電源(蓄電池)などの確保や給付等。(女性、40～44 歳)

【知的障害者】

- ・台風の時、避難勧告が来たが、避難所での生活は難しいと思い、自宅にいました。障害を持つ人に配慮していただける避難所を確保していただきたいと思いました。(男性、25～29 歳)【母親】

【精神障害者】

- ・台風などによる避難判断がやはり難しい。また市役所にて災害時要援護者登録したものの、その支援になって下さる人の面接や連絡が来なくてそろそろ 1 年以上経つので落ち着いたらまた行こうかと。(女性、35～39 歳)

【難病患者】

- ・台風避難勧告の時に行政と人とのつながりが大事だと思いました。(女性、65 歳以上)

(12)生活の不安 (9件)

【知的障害者】

- ・ 普通には就労できず、障害者枠では収入が低くすぎて、今後家庭を築いていくのに、生活できない。将来設計が不安です。20万以下では、家庭を持ってない。(男性、18～24歳)【母親】

【精神障害者】

- ・ 親の支援無き後自立、生活できるように手助けをしてほしい。(男性、18～24歳)

(13)就労 (9件)

【身体障害者】

- ・ 年齢が高くても働ける場。(女性、65歳以上)

【知的障害者】

- ・ 市の施設での働く場を増やしてほしい(市役所、文化センター、給食センターなど)。(男性、25～29歳)【母親】
- ・ 現在、一般就労で務めておりますが、生活の支援をして下さっている方が自分の相談、悩みを聞いていただけるので感謝の気持ちが大きいです。障害者の方もやがて健常者と同等に働ける環境を作っていただくことが今後の私自身のご要望でもあります。(男性、40～44歳)

【精神障害者】

- ・ まずは自立できることが必要と考えます。就労支援や住宅補助、必要に応じて利用できる相談窓口を充実させることを切に希望します。(女性、40～44歳)

(14)住宅 (8件)

【身体障害者】

- ・ 車イス等の生活になった時のリフォームに予算はないので、とても不安です。(女性、65歳以上)

【精神障害者】

- ・ 自立したく都営住宅市営住宅を希望しましたが、何度も落ちあきらめました。障害年金も数ヶ月不払いの為もらえず、働く収入もこれから先かぎられているので、一般の賃貸住宅しかないとなると、なかなかきびしいものです。そういった者にも、入居できる住まいが多くあったのなら、と考えます。(男性、30～34歳)【不明】

(15)交流 (8件)

【身体障害者】

- ・ 常に地域の皆と良いコミュニケーションが取れている事が大切。(男性、65歳以上)

- ・外へ出づらい。どこへでもどんな人が集まるのが普通な生活ができたらと思う。(女性、50～54歳)
- ・声かけ運動が大切。笑顔で、やさしく暖かい言葉を一言かけましょう。(女性、65歳以上)

(16)文化・スポーツ活動 (6件)

【身体障害者】

- ・私は視覚障害者です。朗読CD 図書を充実してほしい。(女性、65歳以上)【その他】

【知的障害者】

- ・知的障害はあっても「くらやみ祭り」に参加出来る仕組みがあればいいと思う。(男性、18～24歳)【母親】

(17)親亡き後の不安 (6件)

【知的障害者】

- ・親が面倒を見る事が出来なくなってからの対応について、相談にのってほしい。(女性、18～24歳)【母親】

(18)交通手段 (5件)

【身体障害者】

- ・交通網の充実(ちゅうバスの普及、経路の拡大)。(男性、60～64歳)
- ・西府町には、ちゅうバスが走っていません。これから高齢になると、配偶者も年なので、運転があぶなくなり、どこへも出かけられなくなります。(女性、65歳以上)

(19)近所づきあい (3件)

【身体障害者】

- ・地域の人の障害状況をある程度把握できると、見守りや手助けができると思います。こちらが注意することで、配慮もできると思います。(男性、65歳以上)【子ども】

(20)放課後等デイサービス (2件)

【精神障害者】

- ・高等部までは放課後等デイサービスがあり余暇を他の方と過ごせる時間があったのですが、卒業後、余暇を過ごす場所がなくなり、生活が変わってしまった。移動支援もヘルパー不足。障害者が共有できる施設をつくって頂きたいです。(男性、18～24歳)【母親】

(21)教育 (2件)

【知的障害者】

- ・ 家庭の取り組みにより、かなり生き方に差が生じているところがあると思います。子育ての段階から学校等と市が連携し見守る体制を具体的につくり、障害等のある人たちが自分らしく幸せに暮らせる取り組みを行っていただきたいです。(男性、18～24歳)【母親】

【難病患者】

- ・ 健常者と一緒に自由に生活できるようにバリアフリー化をすすめる。小学校、中学校、高校でも障害者と一緒に教育を受けるようにする。(男性、55～59歳)

(22)家族への支援 (2件)

【精神障害者】

- ・ 親が仕事を続けられる環境ではない。卒業後、急に朝はゆっくりの遅い時間に帰りは早い時間に。作業開始時間 10 時は遅い。9 時半位でないと、親は毎回遅刻で仕事が回らない。(女性、18～24歳)【母親】

(23)医療 (2件)

(24)謝意や政策への期待 (27件)

【精神障害者】

- ・ 今後も当事者の声を聞きながら一つ一つの施策実現のために頑張ってください。(男性、18～24歳)【母親】
- ・ 府中市は福祉サポートが、他の区や市に比べても整っていると思います。いい病院も多いし、住みやすいです。公共施設もきれいで使いやすいのが嬉しいです。(女性、25～29歳)

(25)その他 (93件)